小林さんちのメイドラゴン

クール教信者

Coolkyousinnjya

7

ACTION COMICS

The maid dragon of Kobayashi-san

小林さんちのメイドラゴン

The maid dragon of Kobayashi-san

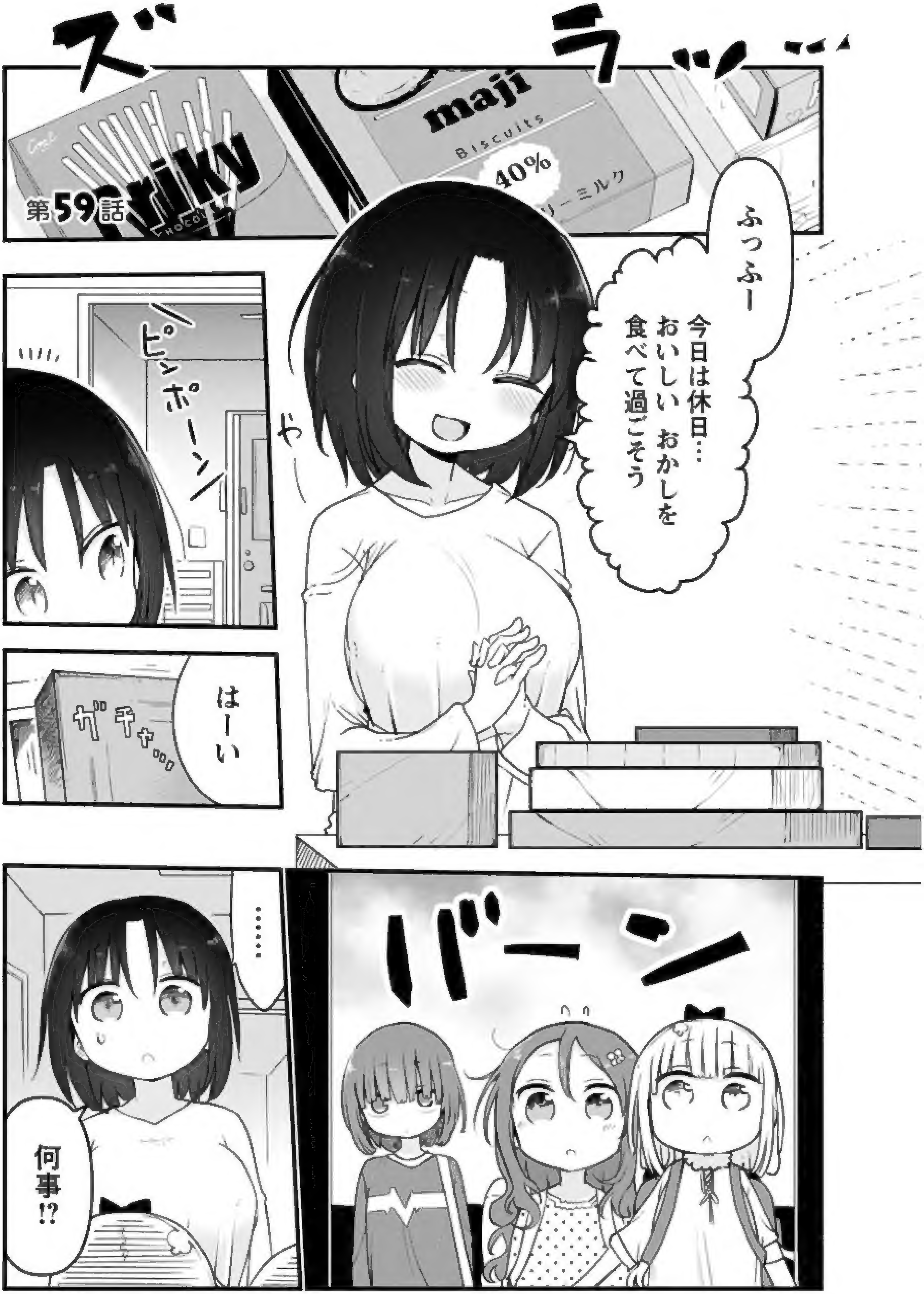
クール教信者
Coolkyousinnjya

7

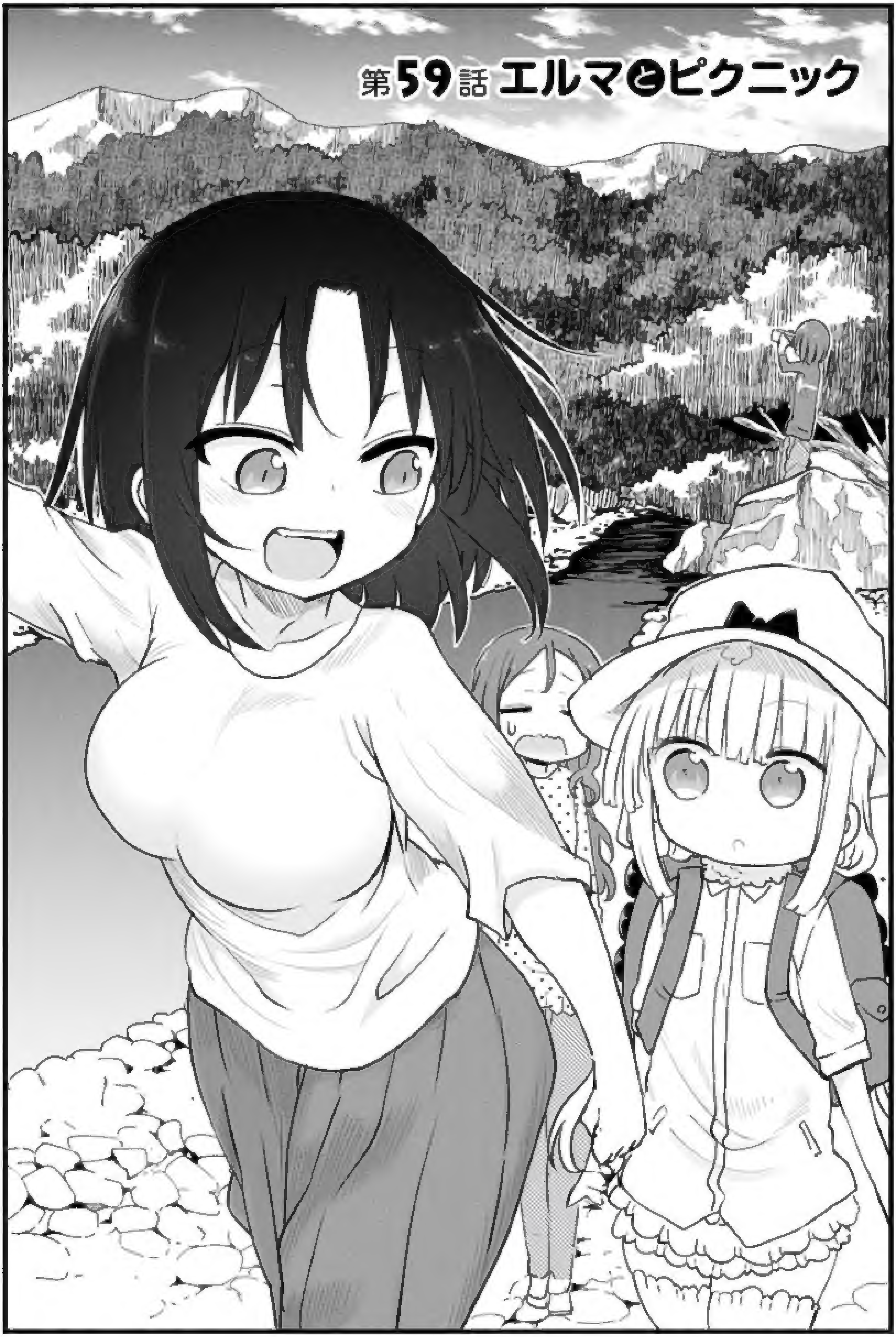
ACTION COMICS

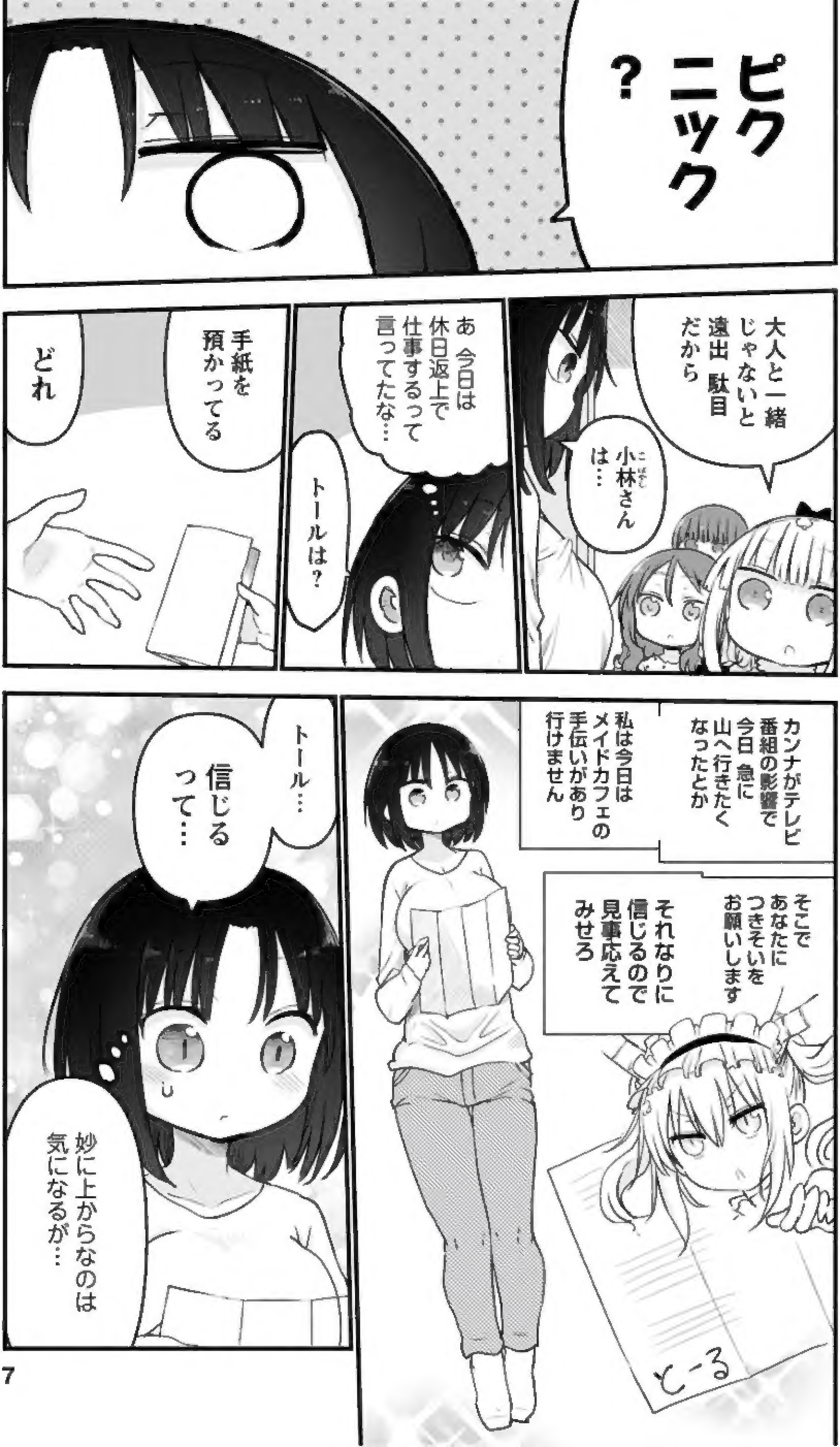
もくじ

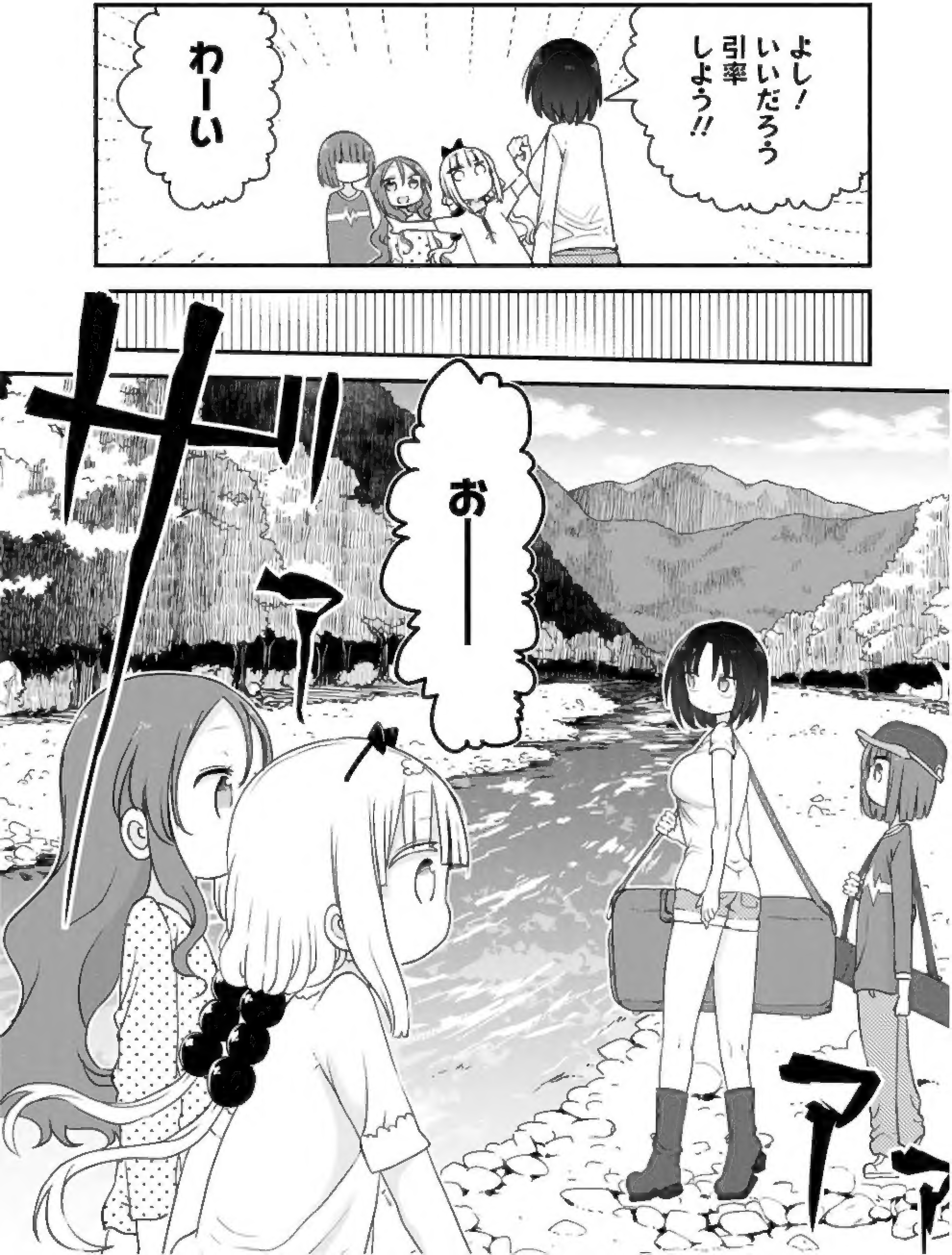
第59話 エルマとピクニック …… 005
第60話 トールと趣味 …… 023
第61話 ファフニールとルコア …… 035
第62話 カンナinニューヨーク …… 049
第63話 イルルと人形 …… 065
第64話 エルマとトール …… 079
第65話 翔太と魔法学校（上） …… 095
第66話 翔太と魔法学校（下） …… 107
第67話 カンナとグループ …… 121
第68話 小林さんと禁酒 …… 133

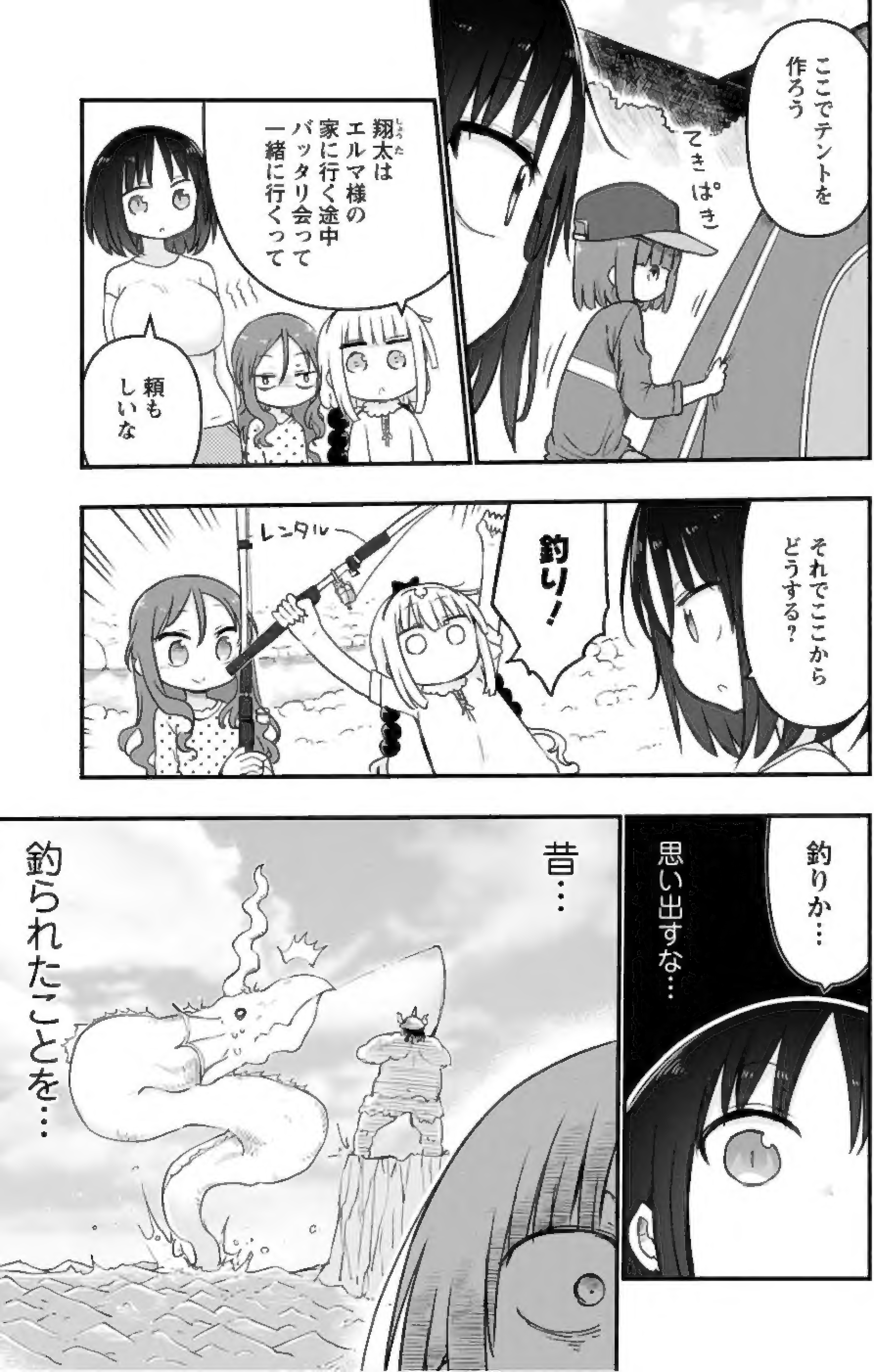

ズラッ
第59話
riky
maji
Biscuits
40%
リーミルク
ふっふー
今日は休日… おいしい おかしを 食べて過ごそう
や
ピンポーン
はーい
ガチャ
バーン
……
何事!?

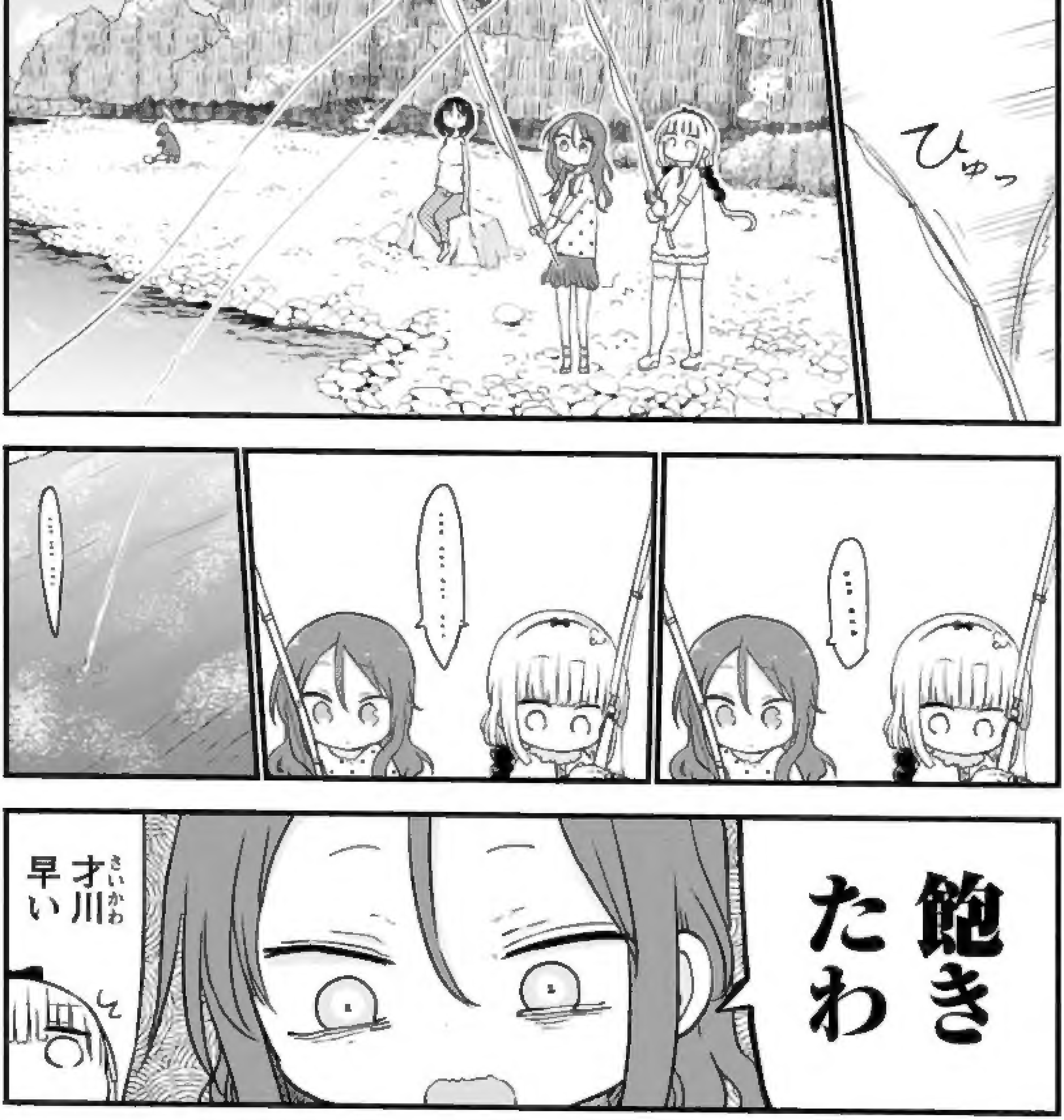
第59話 エルマとピクニック

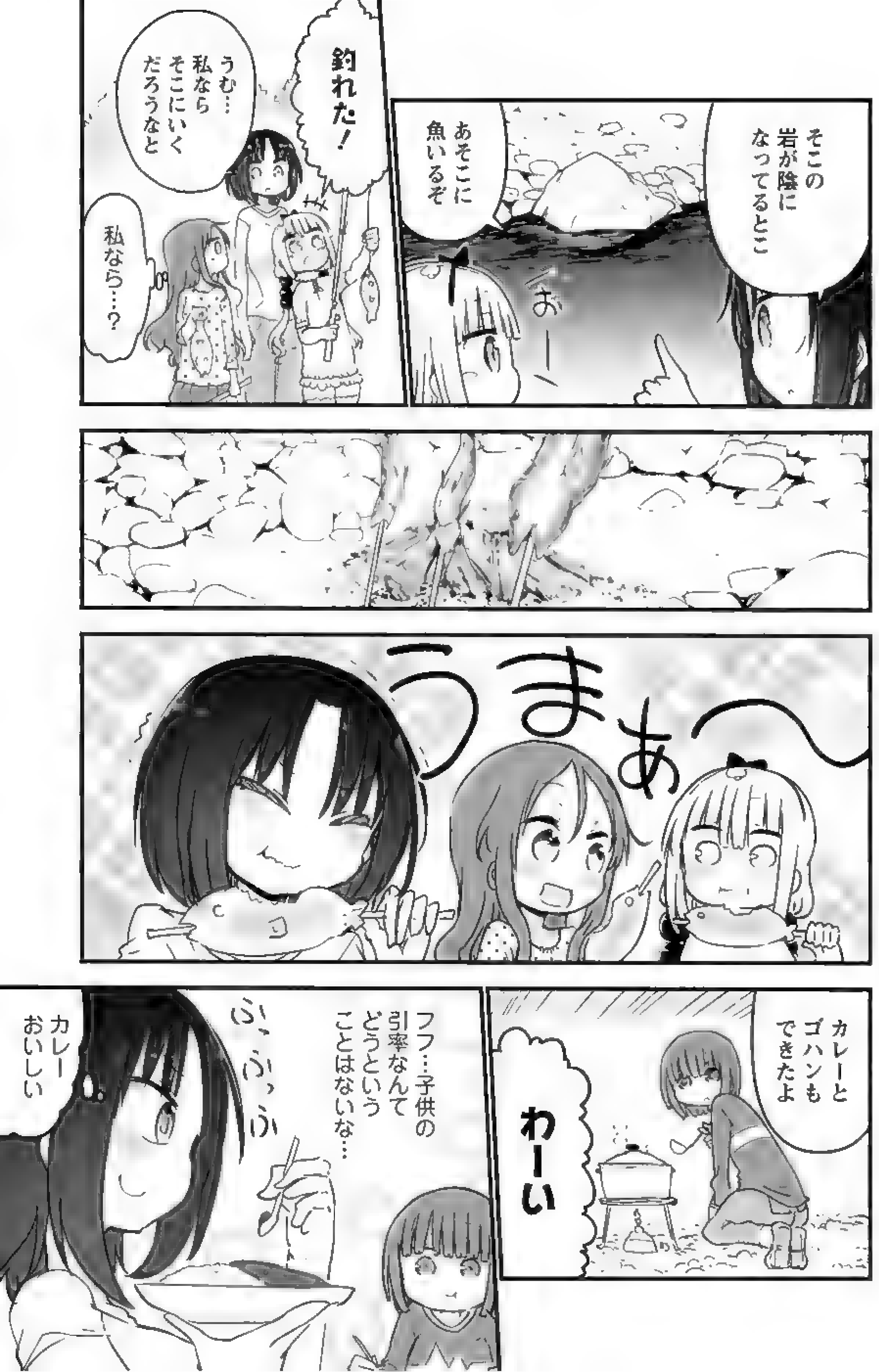


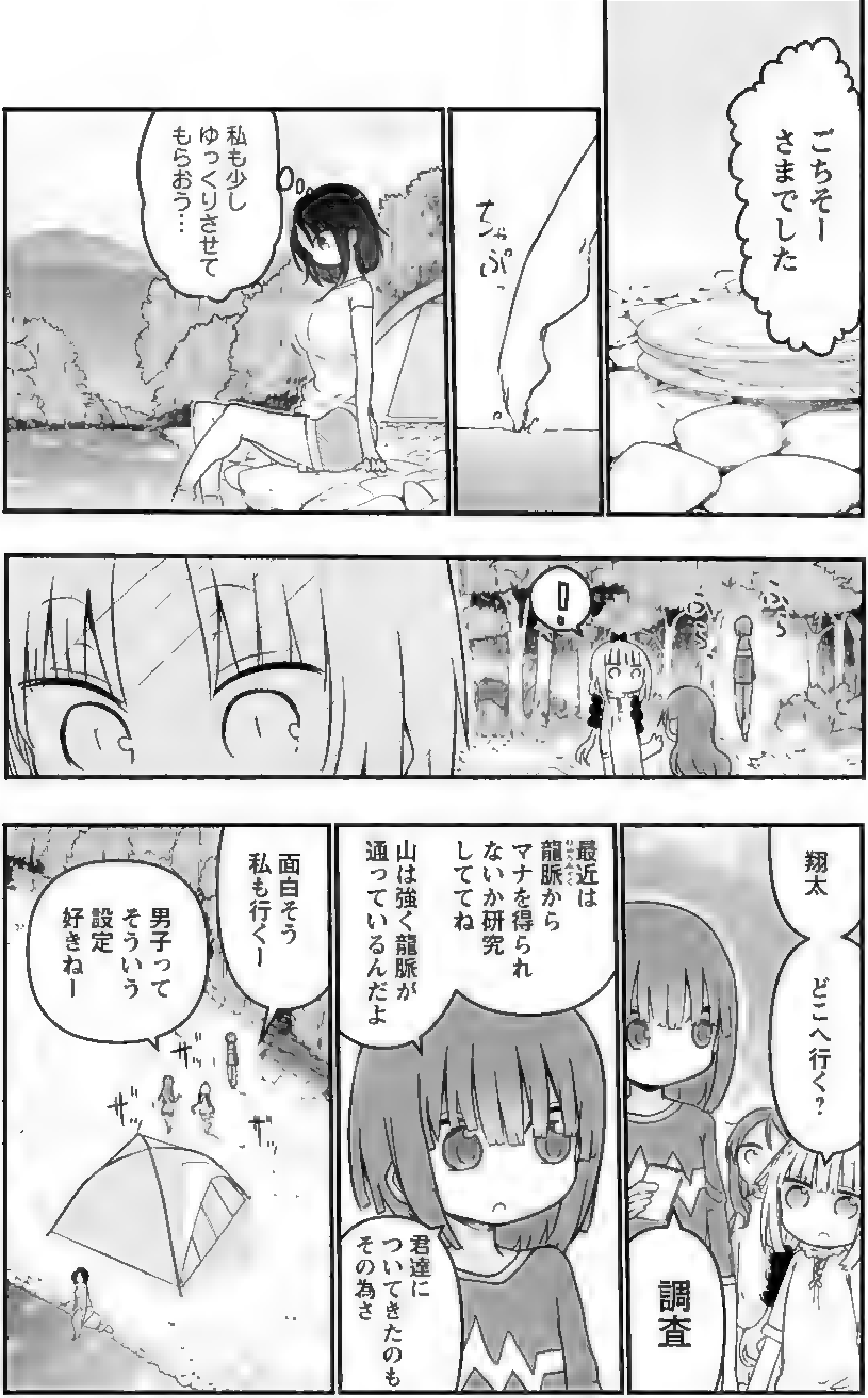

ピクニック？
大人と一緒じゃないと遠出 駄目だから
小林さんは…
あ 今日は休日返上で仕事するって言ってたな…
トールは？
手紙を預かってる
どれ
カンナがテレビ番組の影響で今日 急に山へ行きたくなったとか
私は今日はメイドカフェの手伝いがあり行けません
そこであなたにつきそいをお願いします
それなりに信じるので見事応えてみせろ
とーる
トール… 信じるって…
妙に上からなのは気になるが…

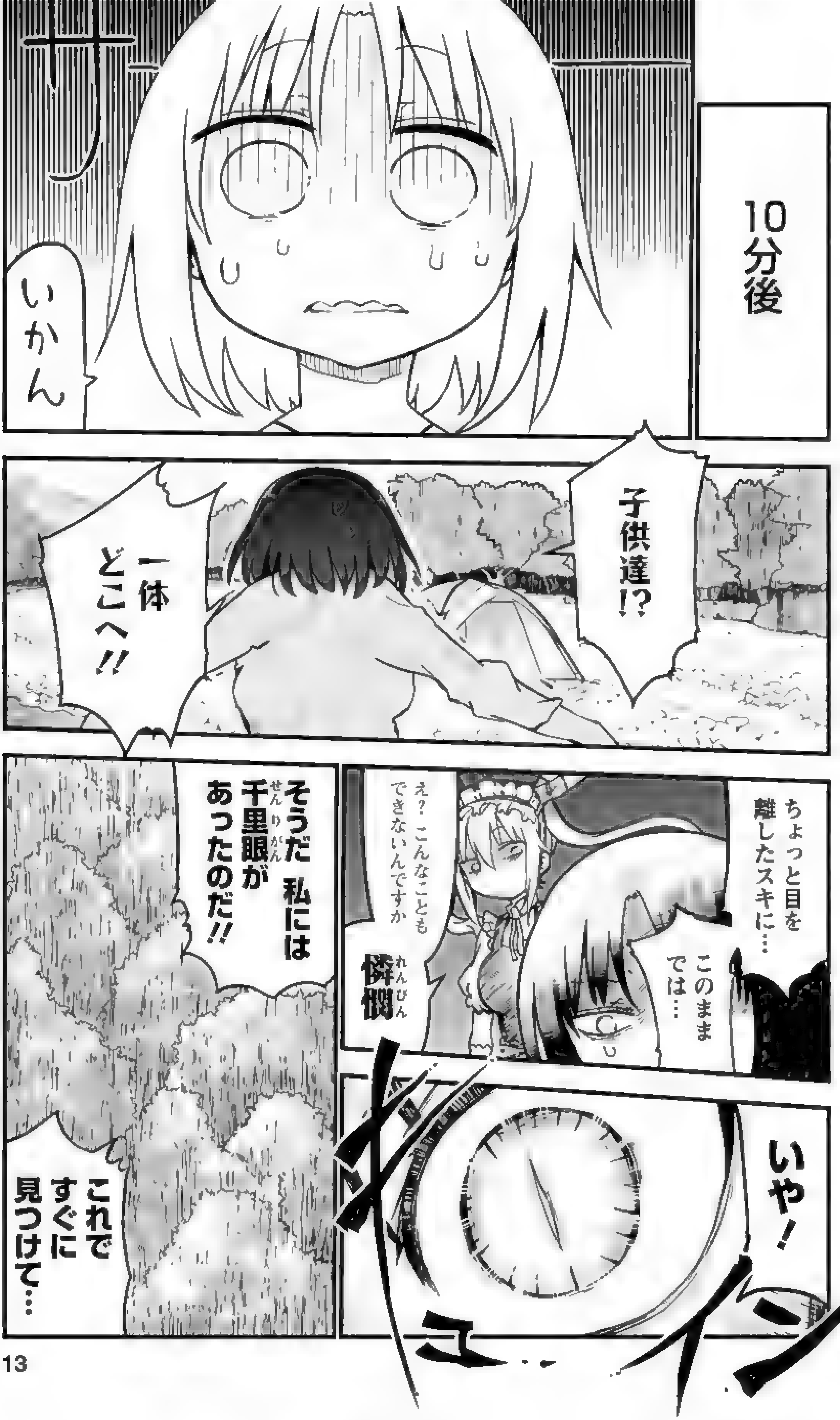

よし！いいだろう引率しよう!!
わーい
ザァ
おーー
ァァ

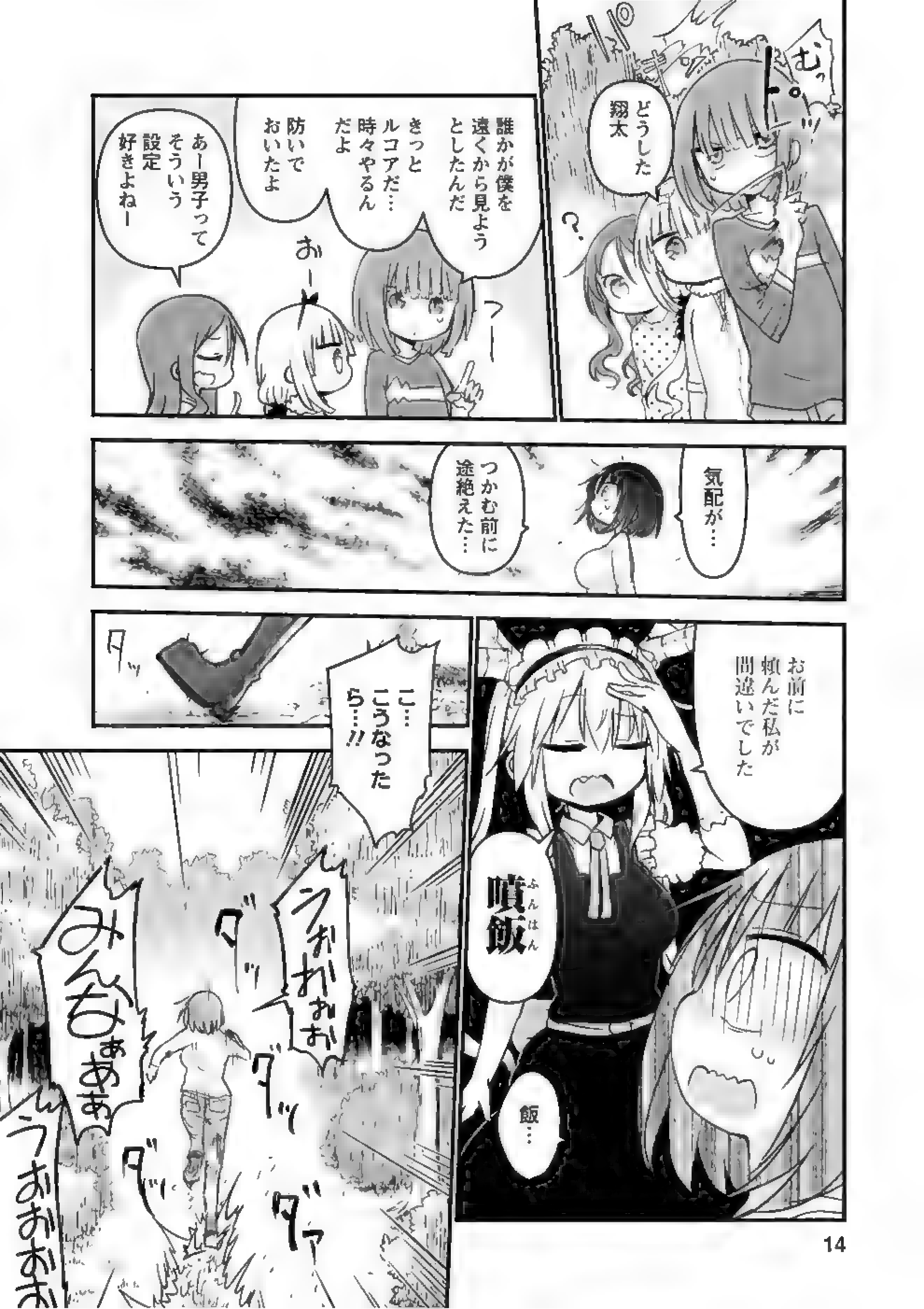

ここでテントを作ろう
てきぱき
翔太はエルマ様の家に行く途中バッタリ会って一緒に行くって
頼もしいな
それでここからどうする？
釣り！
レンタル
釣りか…
思い出すな…
昔…
釣られたことを…

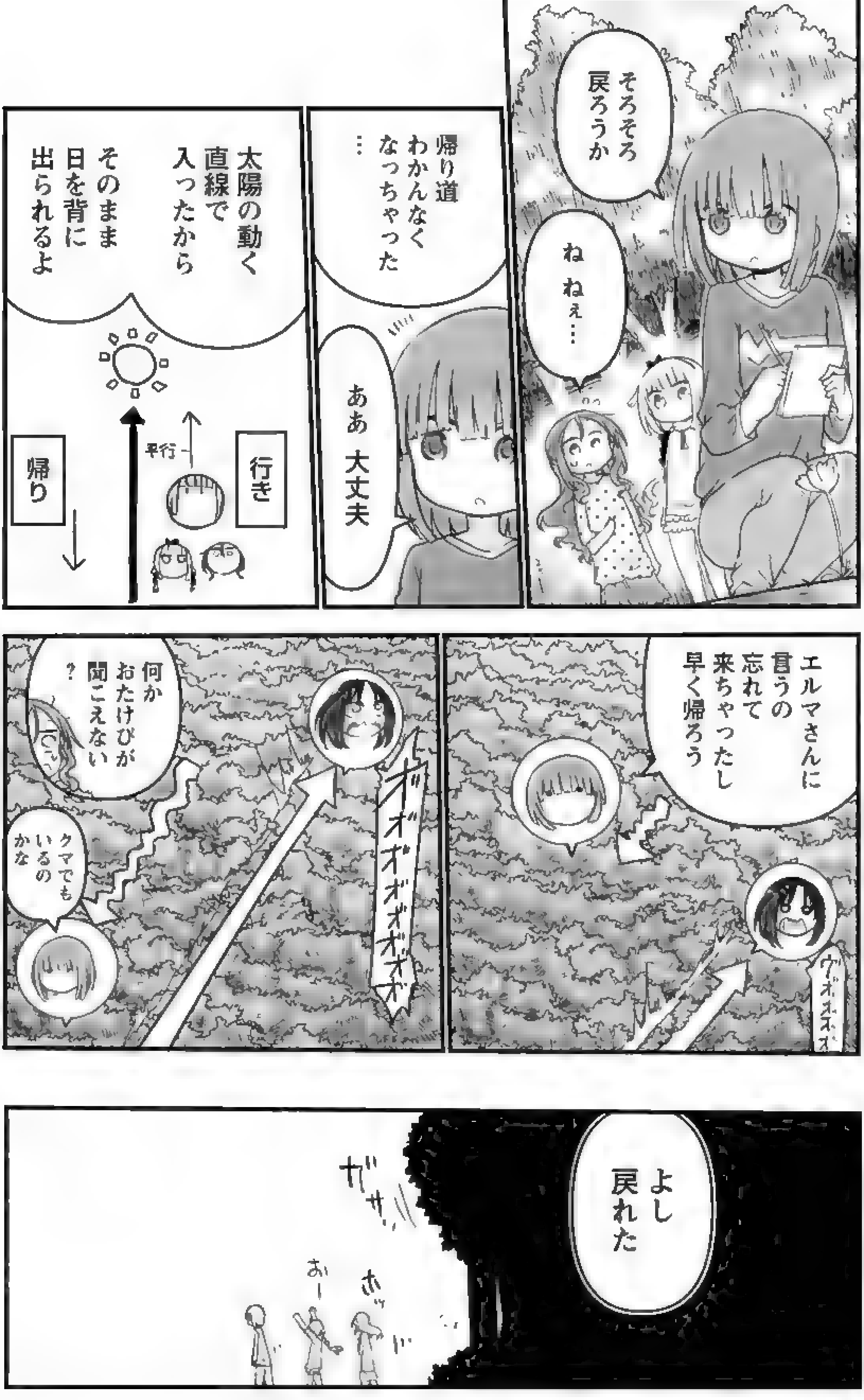

ひゅっ
………
…………
……
飽きたわ
才川（さいかわ）早い
もっと ささっと 釣れない かしら
手で つかむ？
それも いいかも…
……
もっと 右だな

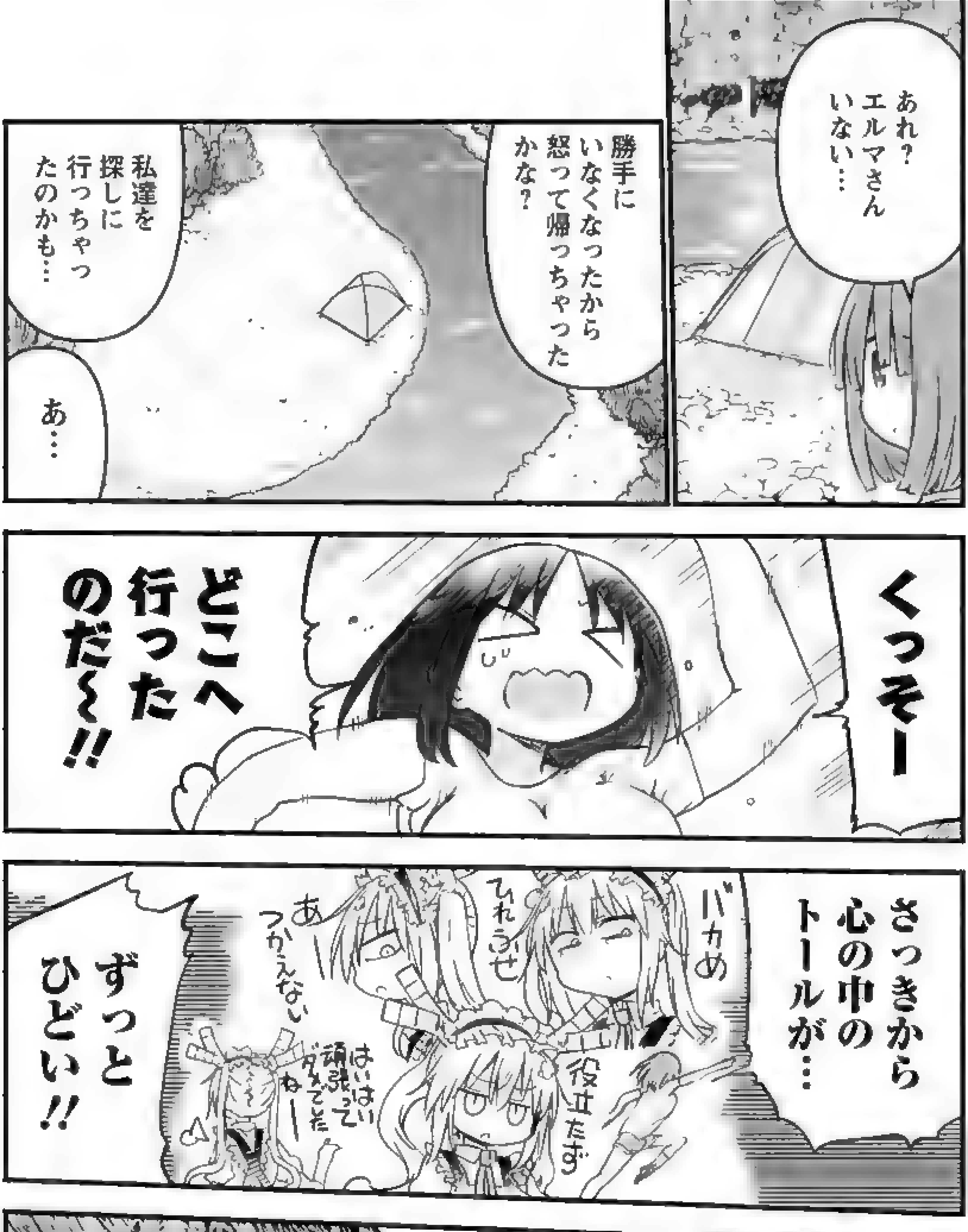

そこの岩が陰になってるとこ
あそこに魚いるぞ
おーー
釣れた！
うむ…私ならそこにいくだろうなと
私なら…？
うまあ〜
カレーとゴハンもできたよ
わーい
フフ…子供の引率なんてどうということはないな…
ふふふ
カレーおいしい

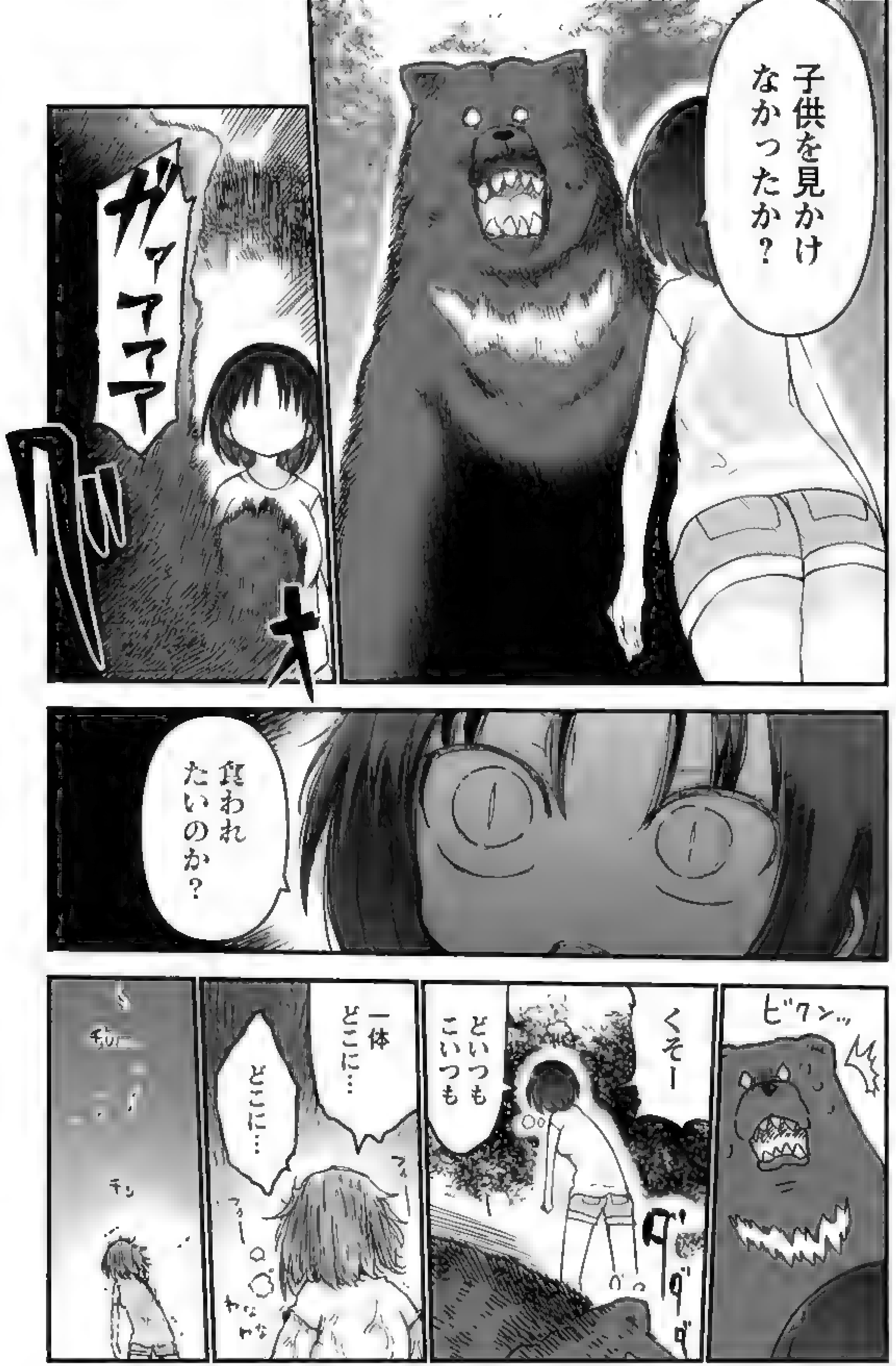

ごちそーさまでした
ちゃぷっ
私も少しゆっくりさせてもらおう…
!
ふら
ふら
翔太 どこへ行く？
調査
最近は龍脈（りゅうみゃく）からマナを得られないか研究しててね
山は強く龍脈が通っているんだよ
君達についてきたのもその為さ
面白そう 私も行くー
男子ってそういう設定好きねー
ザッ
ザッ
ザッ

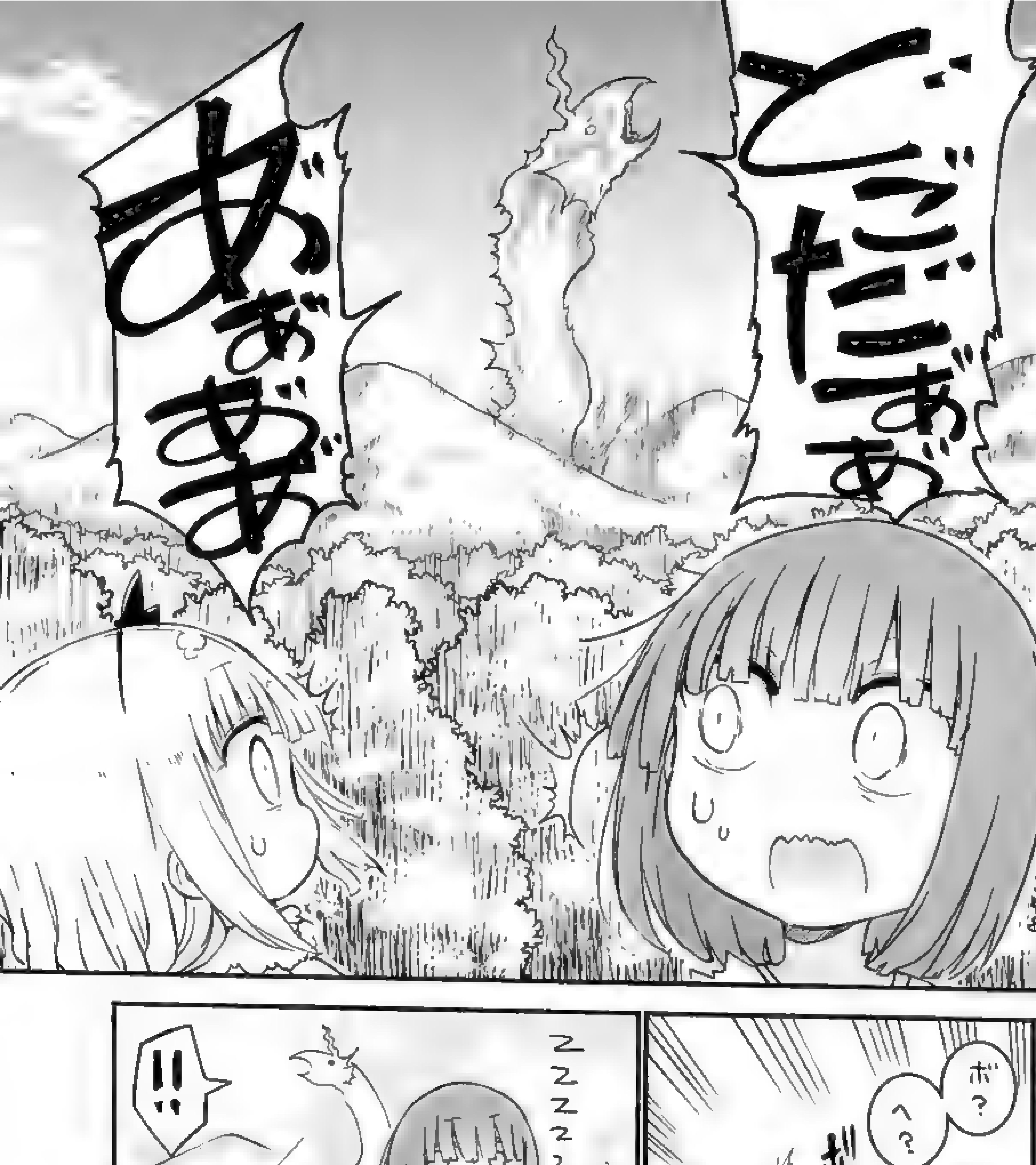

10分後
サー
いかん
子供達!?
一体どこへ!!
ちょっと目を離したスキに…
このままでは…
え？こんなこともできないんですか
憐憫（れんびん）
いや！
そうだ 私には千里眼（せんりがん）があったのだ!!
これですぐに見つけて…

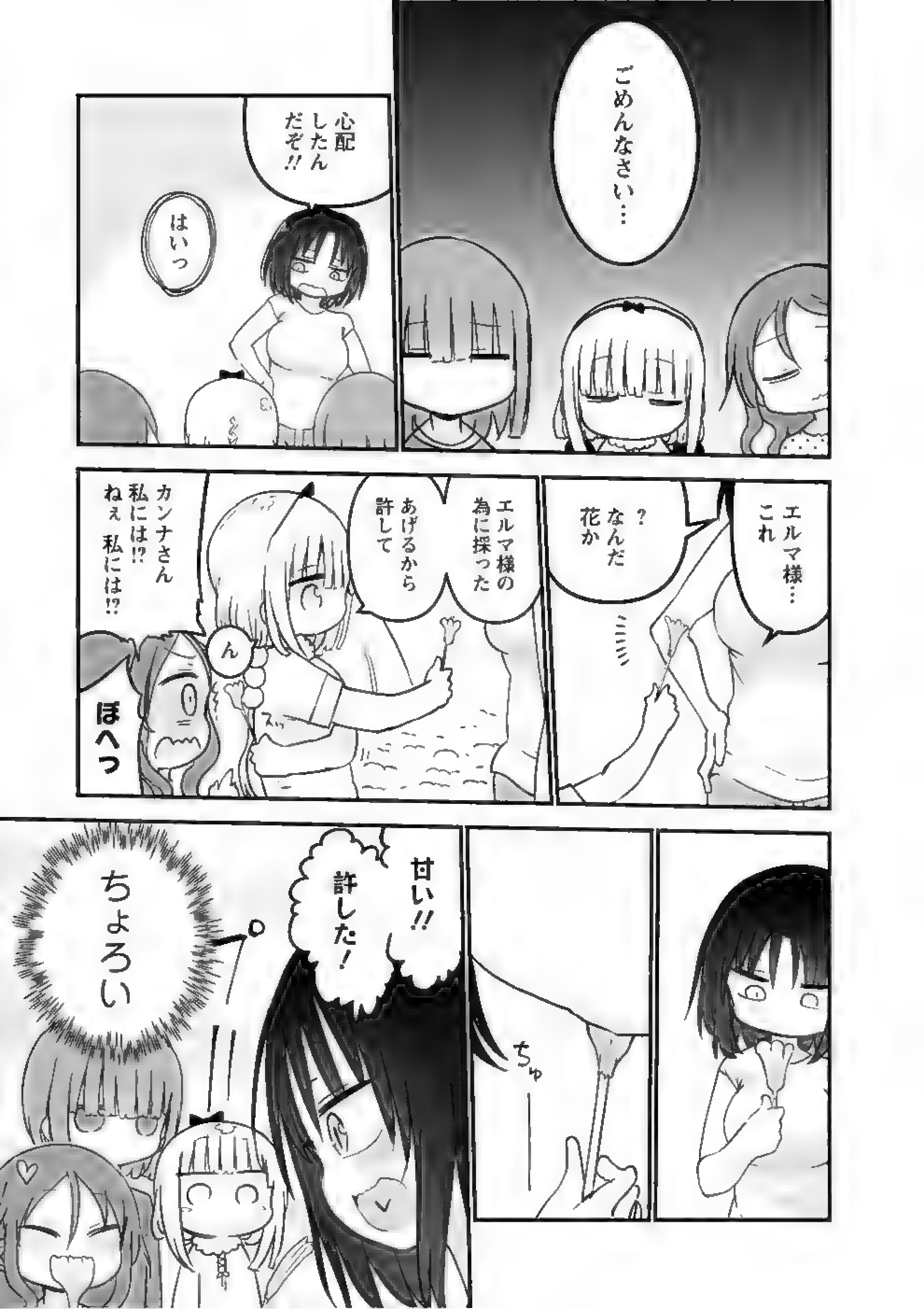

むっ
どうした翔太
?
誰かが僕を遠くから見ようとしたんだ
きっとルコアだ…時々やるんだよ
防いでおいたよ
ふー
おー
あー男子ってそういう設定好きよねー
気配が…
つかむ前に途絶えた…
お前に頼んだ私が間違いでした
噴飯（ふんはん）
飯…
タッ
こ…こうなったら…!!
うおおおお
ダッ
ダッ
タッ
ダッ
ダッ
ダァ
みんなぁああぁ
うおおお

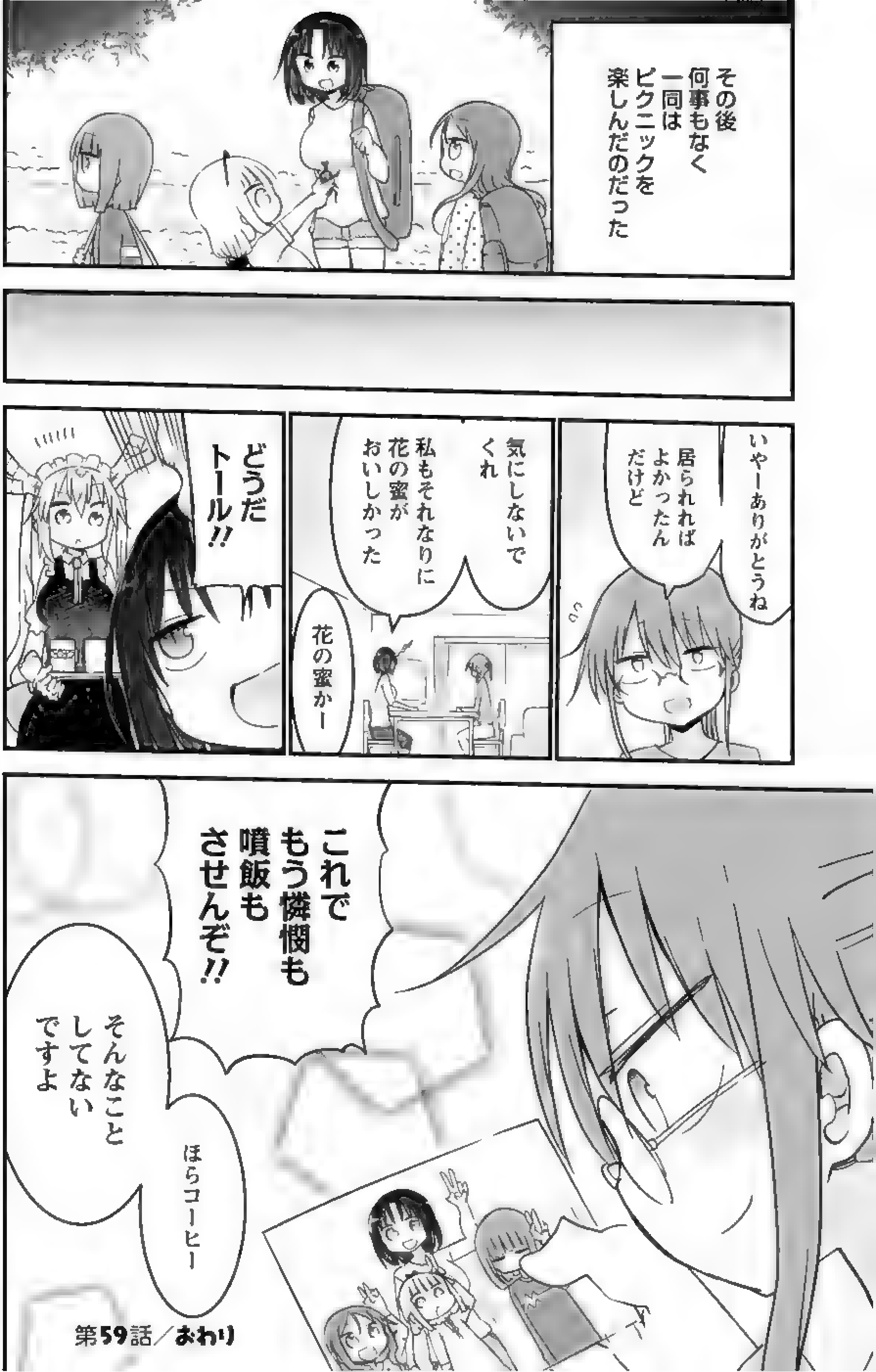

そろそろ戻ろうか
ねねぇ…
帰り道わかんなくなっちゃった…
ああ 大丈夫
太陽の動く直線で入ったからそのまま日を背に出られるよ
行き
平行
帰り
エルマさんに言うの忘れて来ちゃったし早く帰ろう
ヴォオオオオ
何かおたけびが聞こえない？
オオオオオオオ
クマでもいるのかな
よし戻れた
ガサ
ホッ
おー


あれ？エルマさんいない…
勝手にいなくなったから怒って帰っちゃったかな？
私達を探しに行っちゃったのかも…
あ…
くっそー
どこへ行ったのだ～!!
さっきから心の中のトールが…
バカめ
ひれふせ
あーつかえない
役立たず
はいはい頑張ってダメでしたねー
ずっとひどい!!
ヌッ
あ そこの君！
人を探しているんだが！

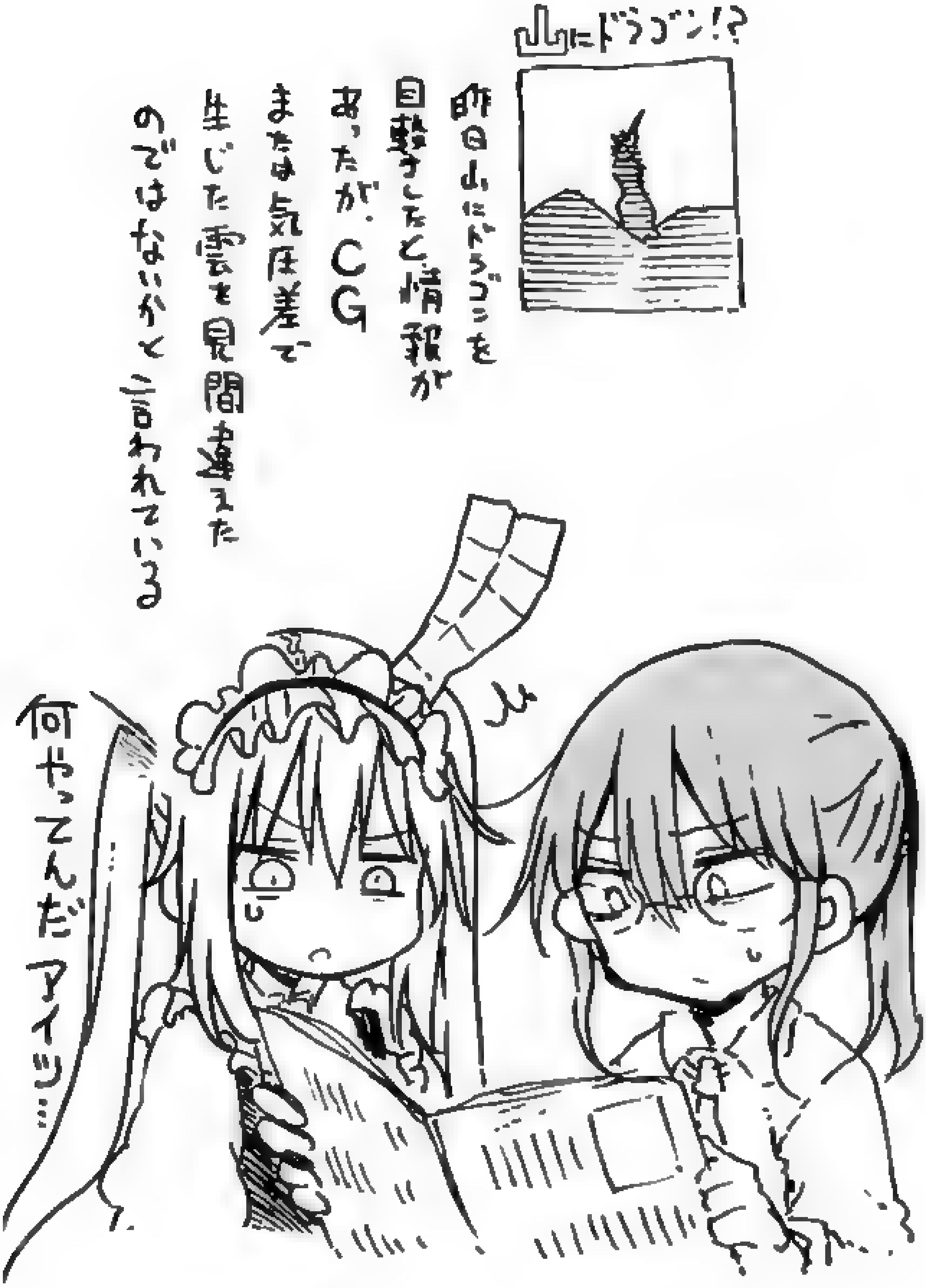

子供を見かけなかったか？
ガァァァァ
食われたいのか？
ビクンッ
くそー
どいつもこいつも
ダダダ
一体どこに…
どこに…
フォー
フォー
わなわな
チリー
チン

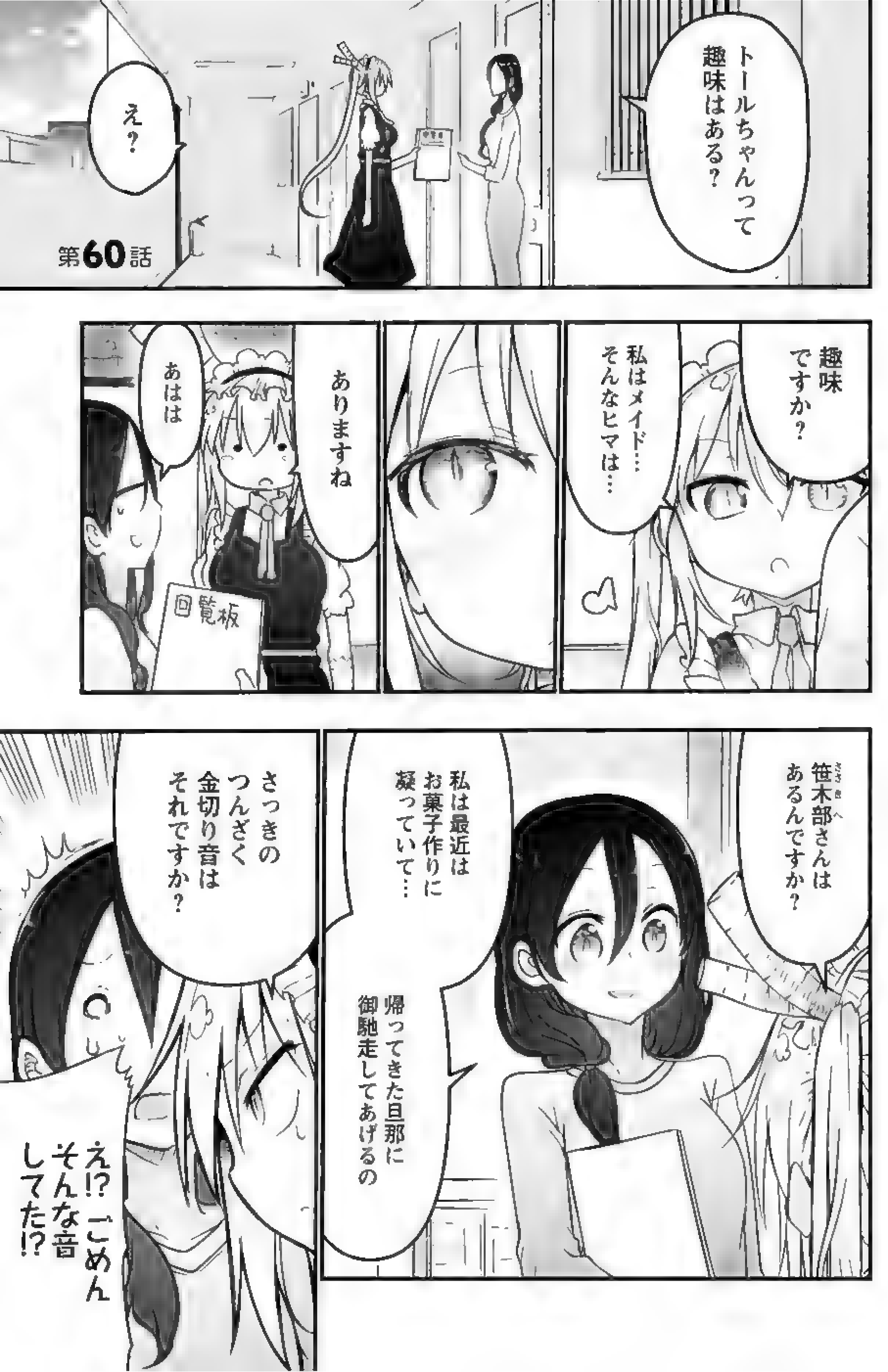

どごだあ゛あ゛
あ゛ぁ゛ま゛あ゛
ボ？
へ？
ガッ
睡ッ
!!
エルマ様ー
ZZZZZ


ごめんなさい…
心配したんだぞ!!
はいっ
エルマ様…これ
? なんだ花か
エルマ様の為に採ったあげるから許して
ん
スッ
カンナさん私には!? ねぇ 私には!?
ぽへっ
ちゅー
甘い!! 許した!
ちょろい

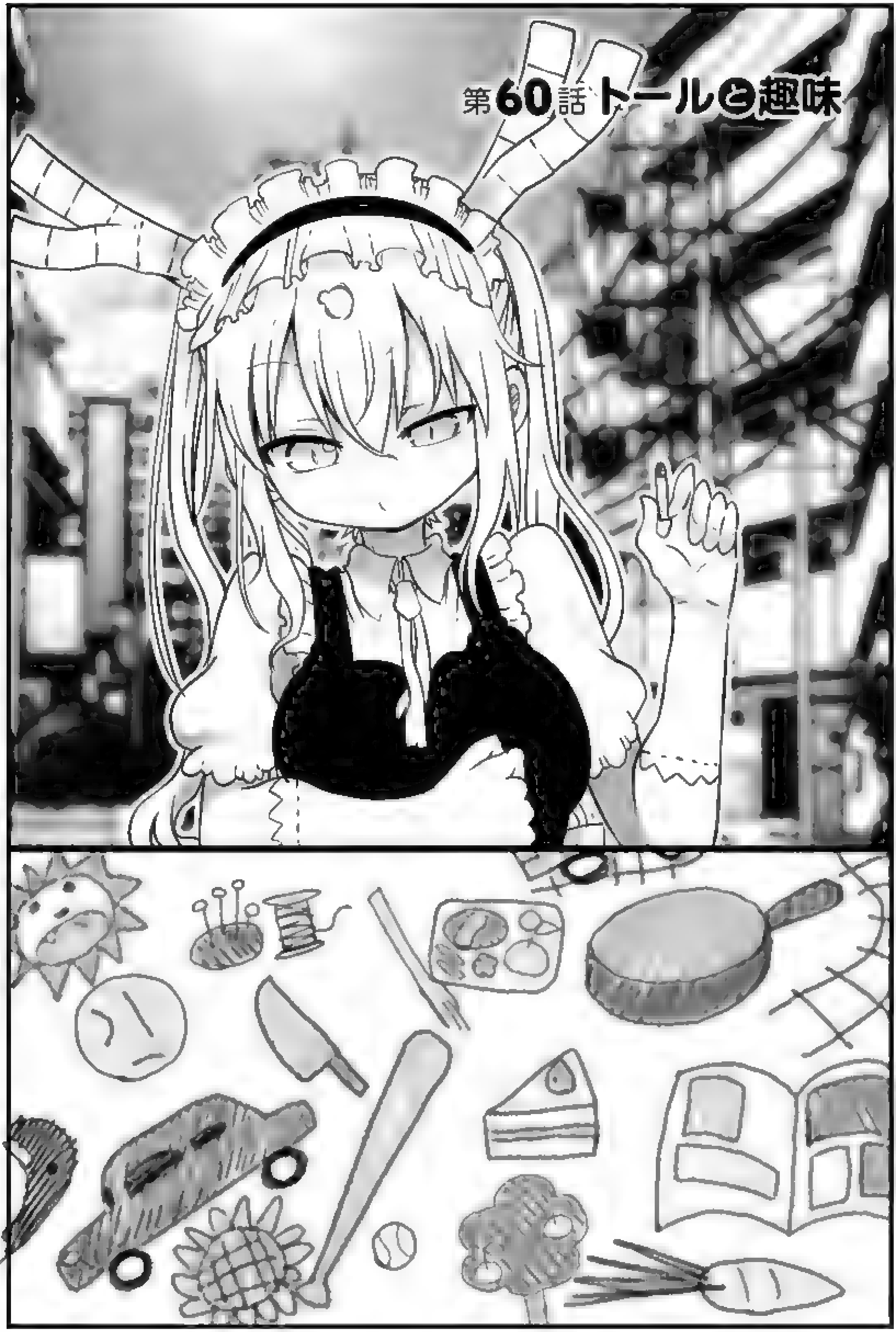

その後何事もなく一同はピクニックを楽しんだのだった
いやーありがとうね
居られればよかったんだけど
気にしないでくれ
私もそれなりに花の蜜がおいしかった
花の蜜かー
どうだトール!!
これでもう憐憫も噴飯もさせんぞ!!
そんなことしてないですよ
ほらコーヒー

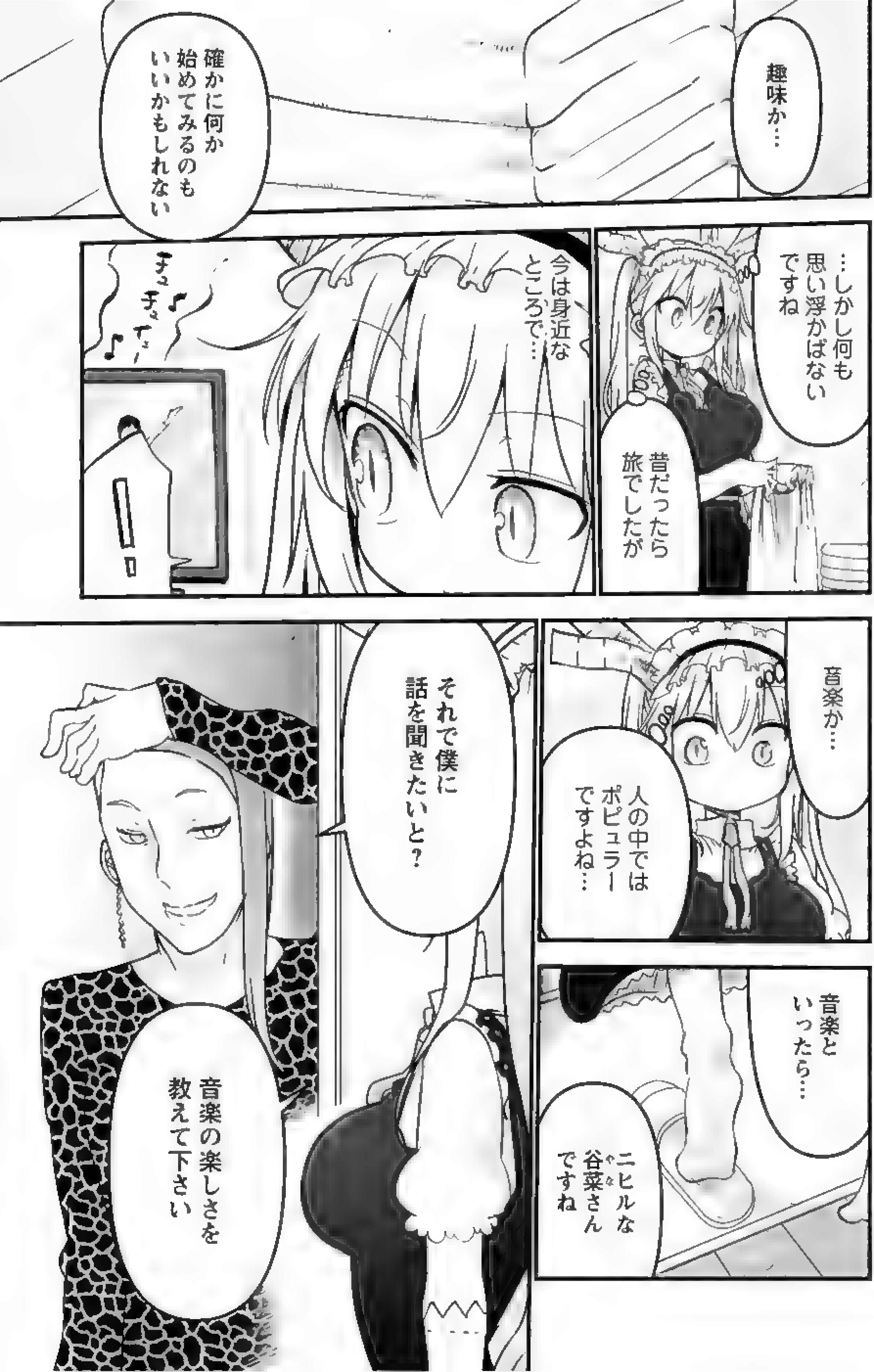
第59話／おわり

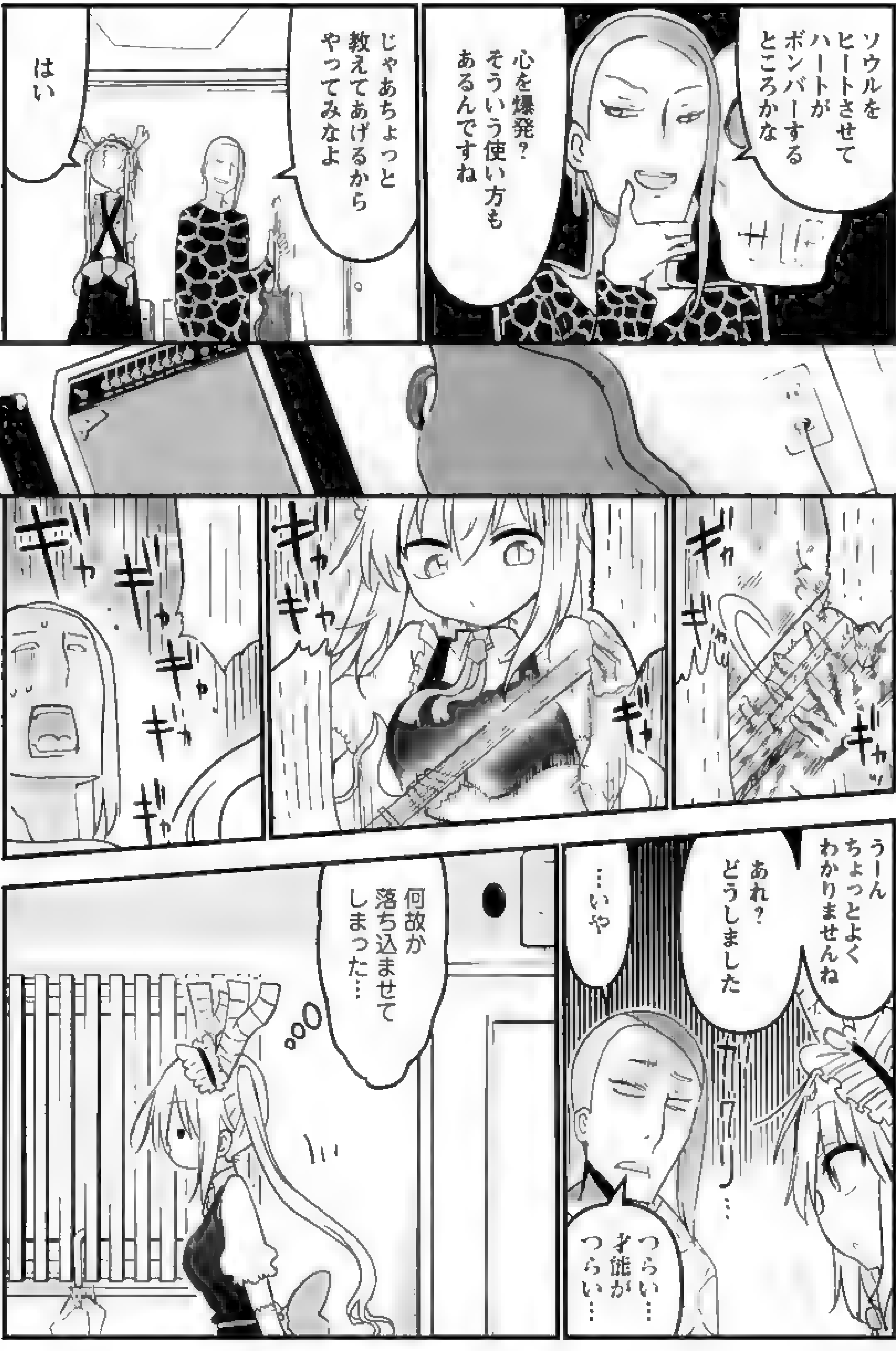

山にドラゴン!?
昨日山にドラゴンを目撃したと情報があったが、CGまたは気圧差で生じた雲を見間違えたのではないかと言われている
何やってんだアイツ…

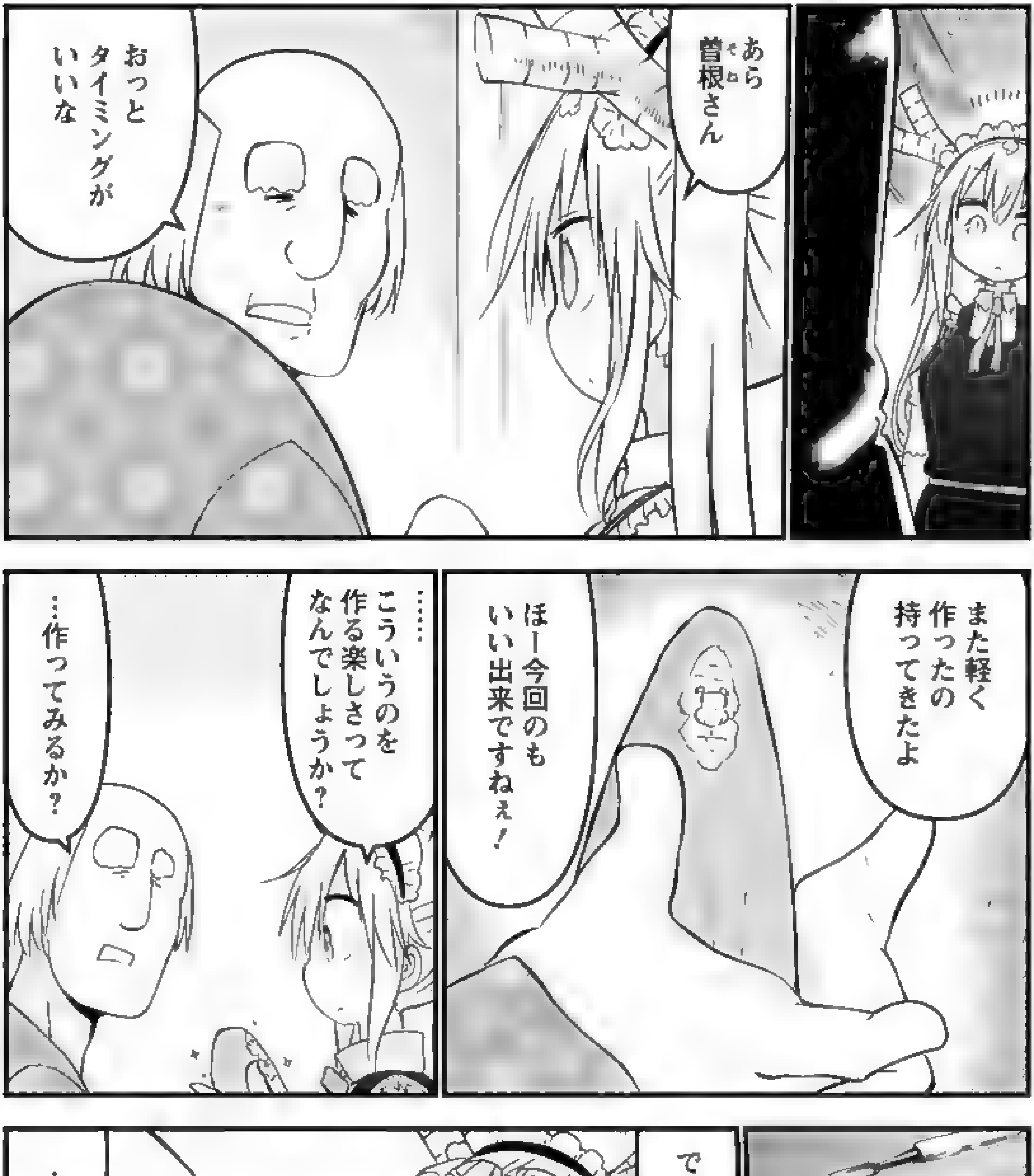

トールちゃんって趣味はある？
え？
第60話
趣味ですか？
私はメイド…そんなヒマは…
ありますね
あはは
回覧板
笹木部（ささきべ）さんはあるんですか？
私は最近はお菓子作りに凝っていて…
帰ってきた旦那に御馳走してあげるの
さっきのつんざく金切り音はそれですか？
え!? ごめんそんな音してた!?

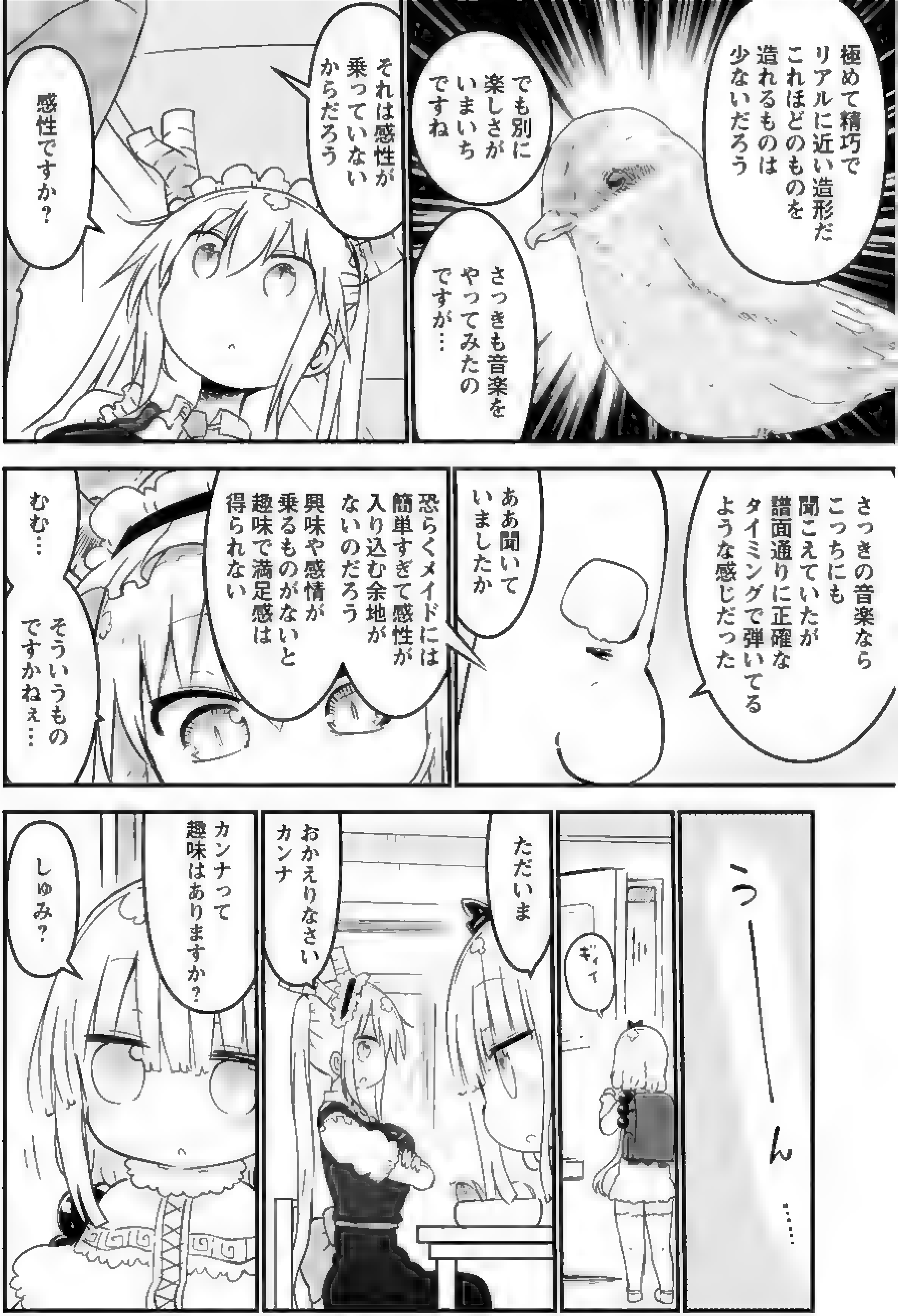
第60話 トールと趣味

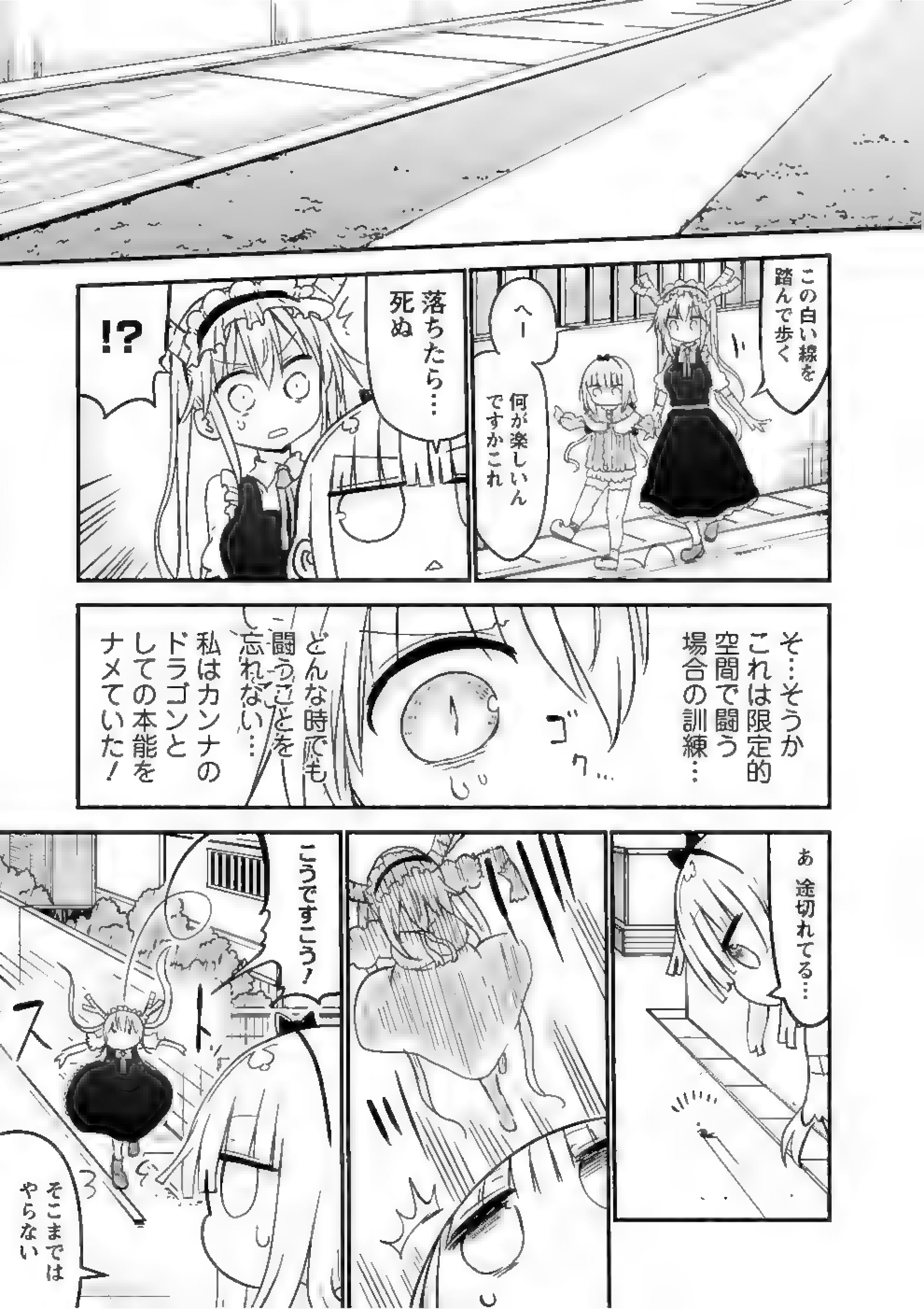


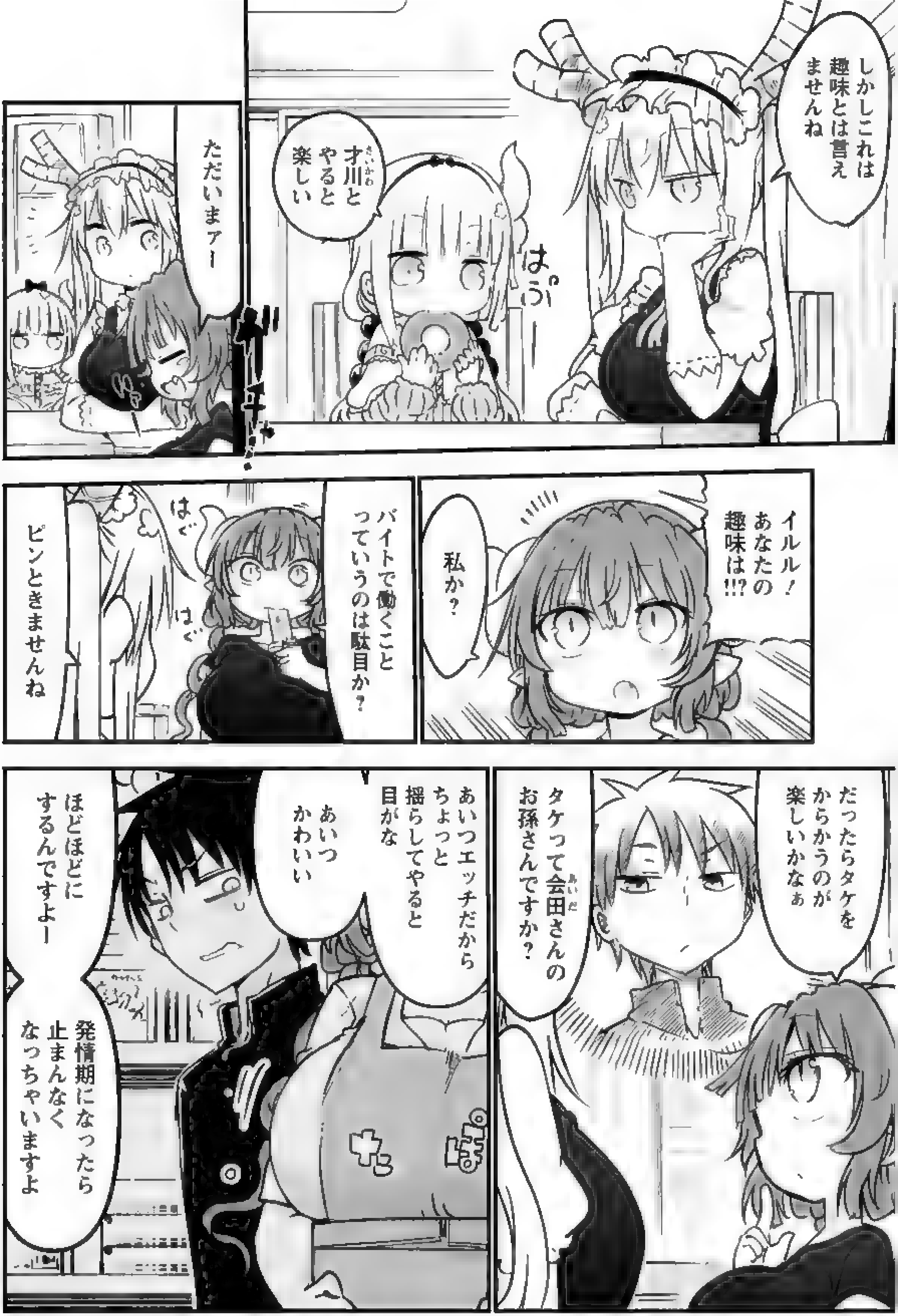

趣味か…
確かに何か始めてみるのもいいかもしれない
…しかし何も思い浮かばないですね
昔だったら旅でしたが
今は身近なところで…
音楽か…
人の中ではポピュラーですよね…
音楽といったら…
ニヒルな谷菜さんですね
それで僕に話を聞きたいと？
音楽の楽しさを教えて下さい

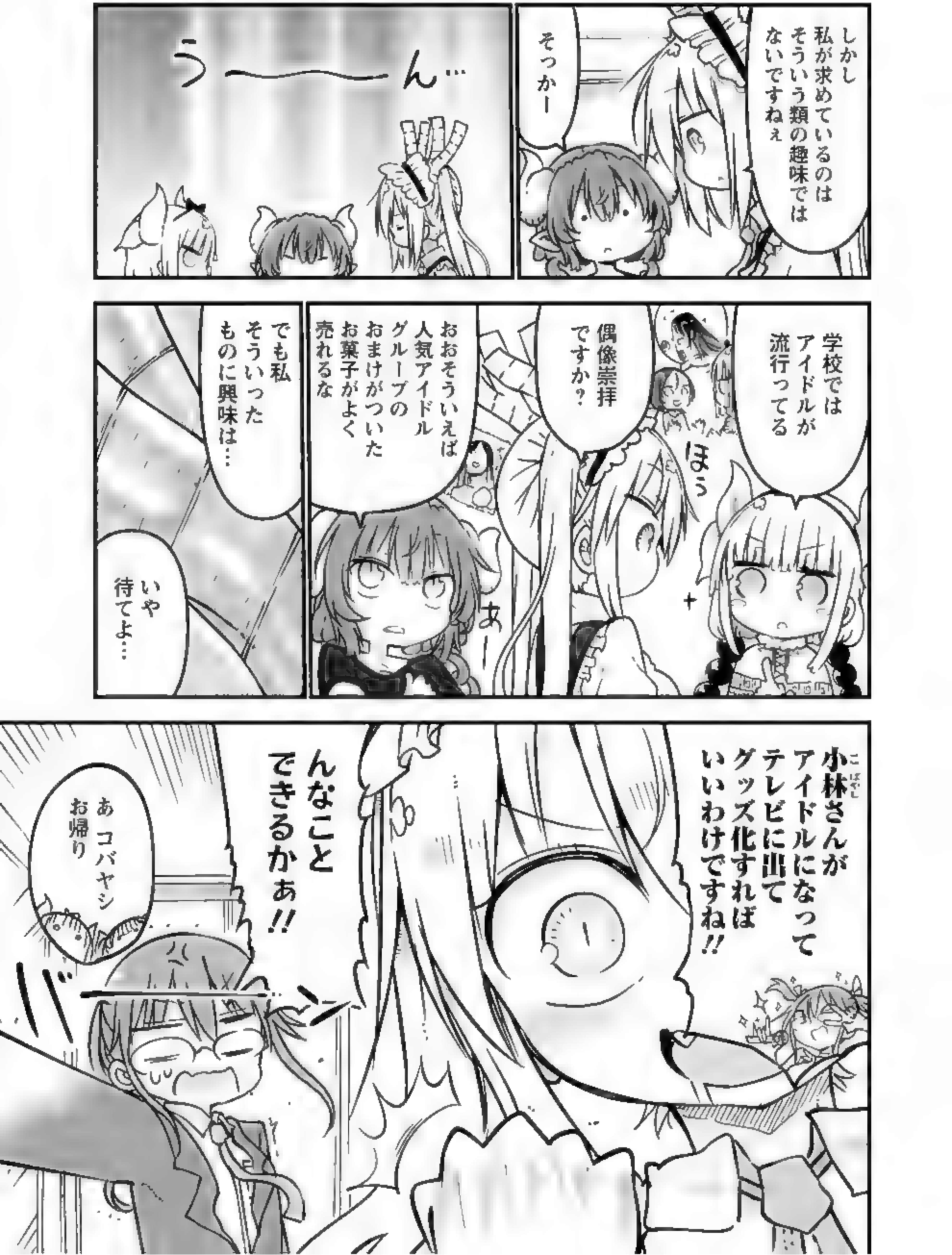

ソウルをヒートさせてハートがボンバーするところかな
心を爆発？そういう使い方もあるんですね
じゃあちょっと教えてあげるからやってみなよ
はい
ギャ ギャ ギャ
ギャ ギャ ギャ ギャ
ギャ ギャ ギャ ギャ ギャ ギャ
うーんちょっとよくわかりませんね
あれ？どうしました
…いや
ナヅリ…
つらい…才能がつらい…
何故か落ち込ませてしまった…

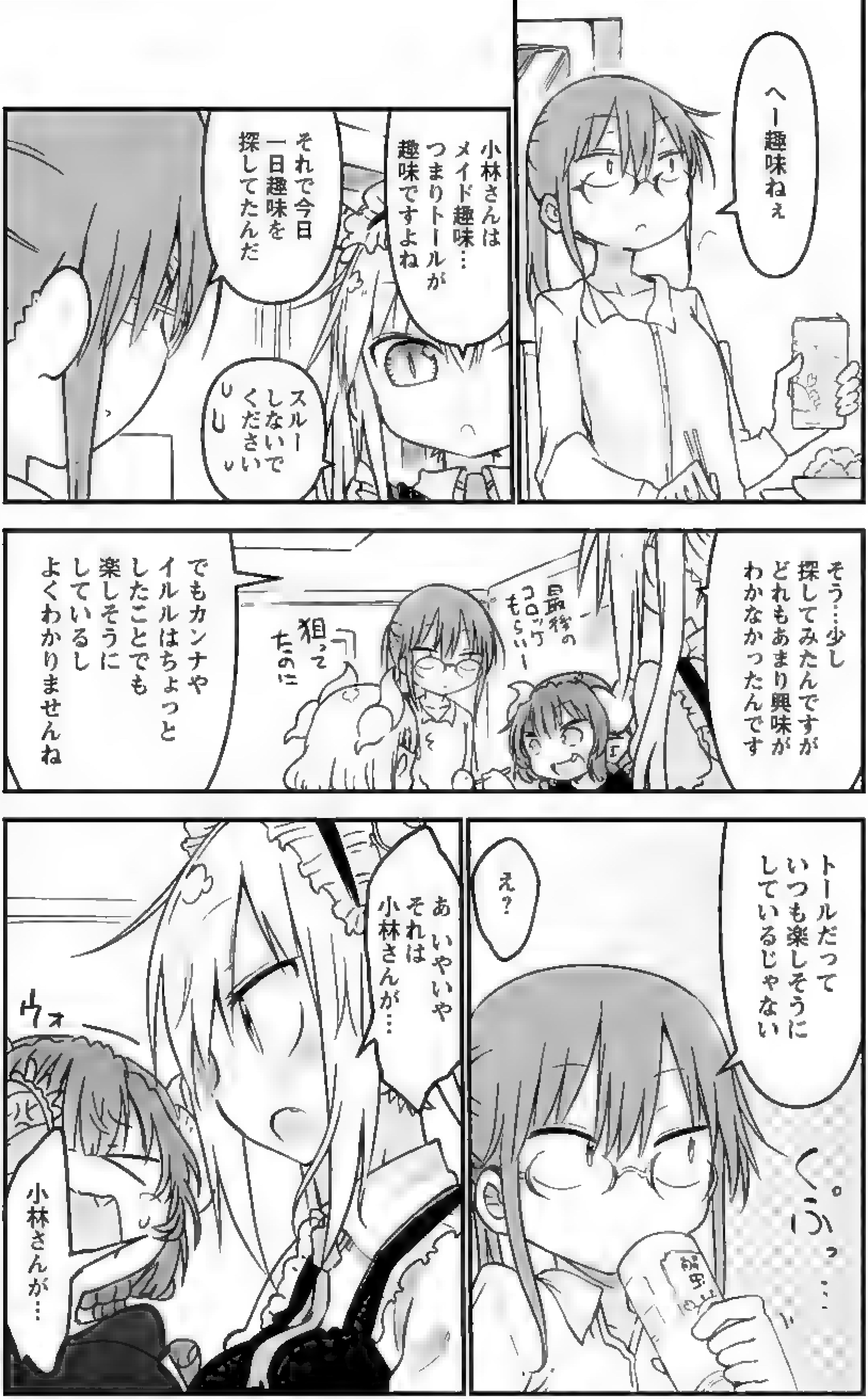

あら
曽根さん
おっと
タイミングが
いいな
また軽く
作ったの
持ってきたよ
ほー今回のも
いい出来ですねぇ！
……
こういうのを
作る楽しさって
なんでしょうか？
…作ってみるか？
できました！
…ふむ

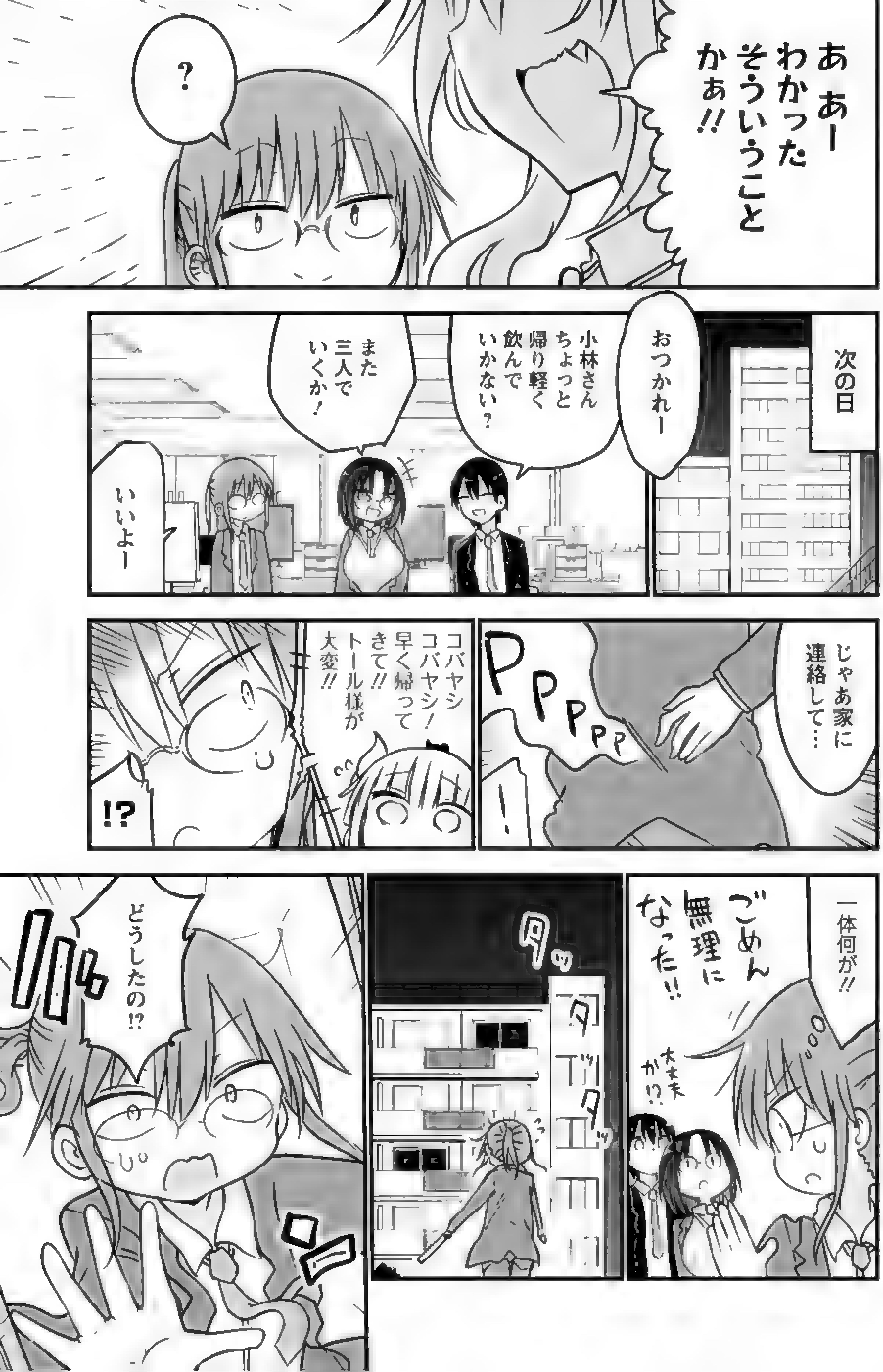

極めて精巧でリアルに近い造形だ
これほどのものを造れるものは少ないだろう
でも別に楽しさがいまいちですね
さっきも音楽をやってみたのですが…
それは感性が乗っていないからだろう
感性ですか？
さっきの音楽ならこっちにも聞こえていたが譜面通りに正確なタイミングで弾いてるような感じだった
ああ聞いていましたか
恐らくメイドには簡単すぎて感性が入り込む余地がないのだろう
興味や感情が乗るものがないと趣味で満足感は得られない
むむ…
そういうものですかねぇ…
うーーん……
ギィィ
ただいま
おかえりなさいカンナ
カンナって趣味はありますか？
しゅみ？

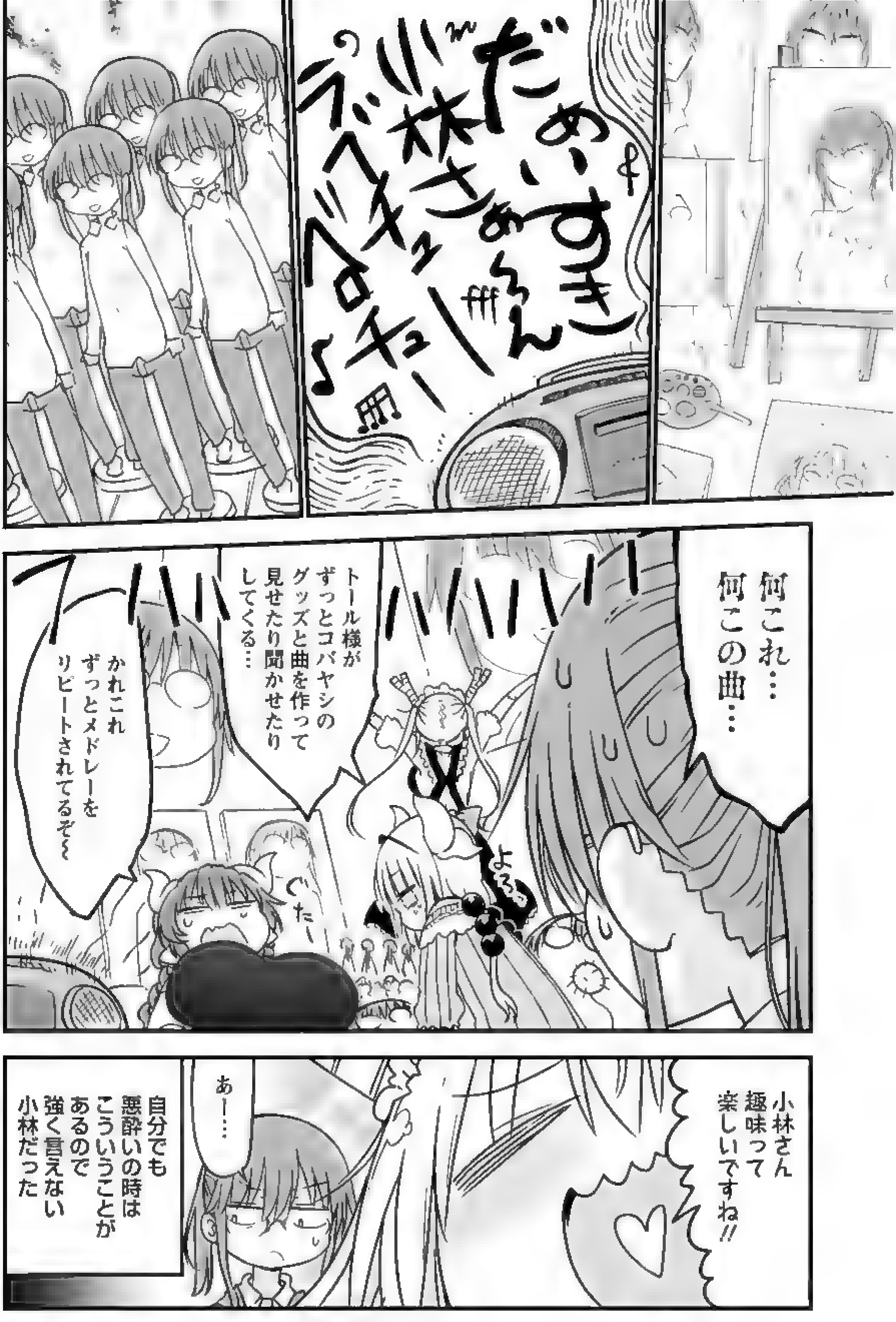

この白い線を踏んで歩く
ト
へー
何が楽しいんですかこれ
落ちたら…死ぬ
!?
そ…そうか これは限定的空間で闘う場合の訓練…
ゴク…
どんな時でも闘うことを忘れない…
私はカンナのドラゴンとしての本能をナメていた!
あ 途切れてる…
こうですこう!
ト
ス
そこまではやらない


しかしこれは趣味とは言えませんね
はぷ
才川（さいかわ）とやると楽しい
ギュッ…
ただいまァー
イルル！あなたの趣味は!!?
私か？
バイトで働くことっていうのは駄目か？
はぐ
はぐ
ピンときませんね
だったらタケをからかうのが楽しいかなぁ
タケって会田（あいだ）さんのお孫さんですか？
あいつエッチだからちょっと揺らしてやると目がな
あいつかわいい
たぽ
ほどほどにするんですよー
発情期になったら止まんなくなっちゃいますよ


しかし 私が求めているのは そういう類の趣味では ないですねぇ
そっかー
う――――ん…
学校では アイドルが 流行ってる
ほう
偶像崇拝 ですか？
おおそういえば 人気アイドル グループの おまけがついた お菓子がよく 売れるな
あー
でも私 そういった ものに興味は…
いや 待てよ…
小林さんが アイドルになって テレビに出て グッズ化すれば いいわけですね!!
んなこと できるかぁ!!
あ コバヤシ お帰り

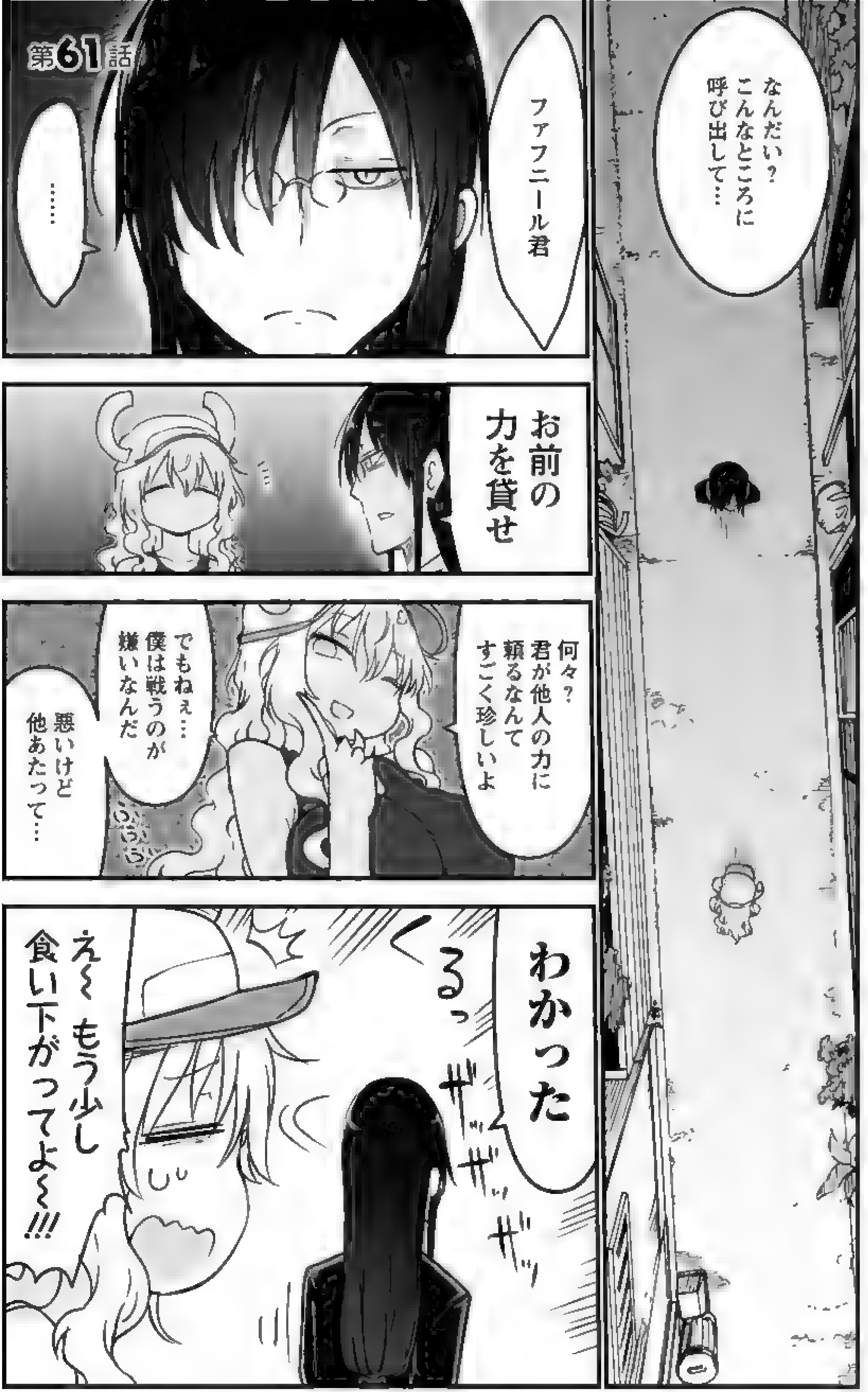

へー趣味ねぇ
小林さんはメイド趣味…つまりトールが趣味ですよね
それで今日一日趣味を探してたんだ
スルーしないでくださいぃぃぃ
そう…少し探してみたんですがどれもあまり興味がわかなかったんです
最後のコロッケもらいー
狙ってたのに
でもカンナやイルルはちょっとしたことでも楽しそうにしているしよくわかりませんね
トールだっていつも楽しそうにしているじゃない
え？
ぷふっ…
あいやいやそれは小林さんが…
ウォ
小林さんが…


あぁー
わかった
そういうこと
かぁ!!
？
次の日
おつかれー
小林さん
ちょっと
帰り軽く
飲んで
いかない？
また
三人で
いくか！
いいよー
じゃあ家に
連絡して…
PPPPP
！
コバヤシ
コバヤシ！
早く帰って
きて!!
トール様が
大変!!
!?
一体何が!!
ごめん
無理に
なった!!
大丈夫
か!?
タッ
タッ
タッ
どうしたの!?

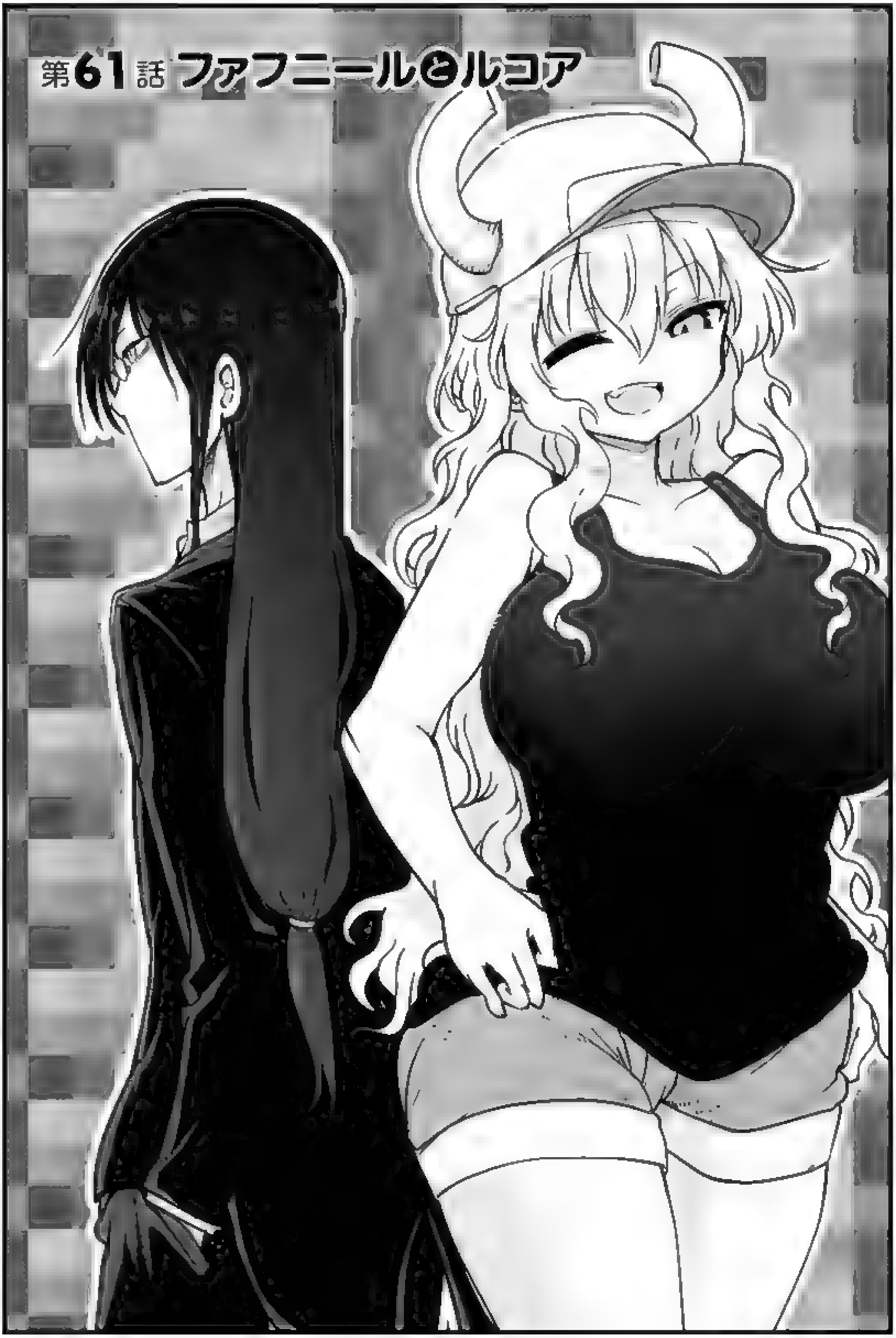

だぁ、すき〜
小林さぁ〜ん
ラブへギュ〜
ベロチュ〜
何これ…
何この曲…
アハハハハハハハ
トール様がずっとコバヤシのグッズと曲を作って見せたり聞かせたりしてくる…
かれこれずっとメドレーをリピートされてるぞ〜
ぐた〜
よろ〜
小林さん趣味って楽しいですね!!
あー…
自分でも悪酔いの時はこういうことがあるので強く言えない小林だった

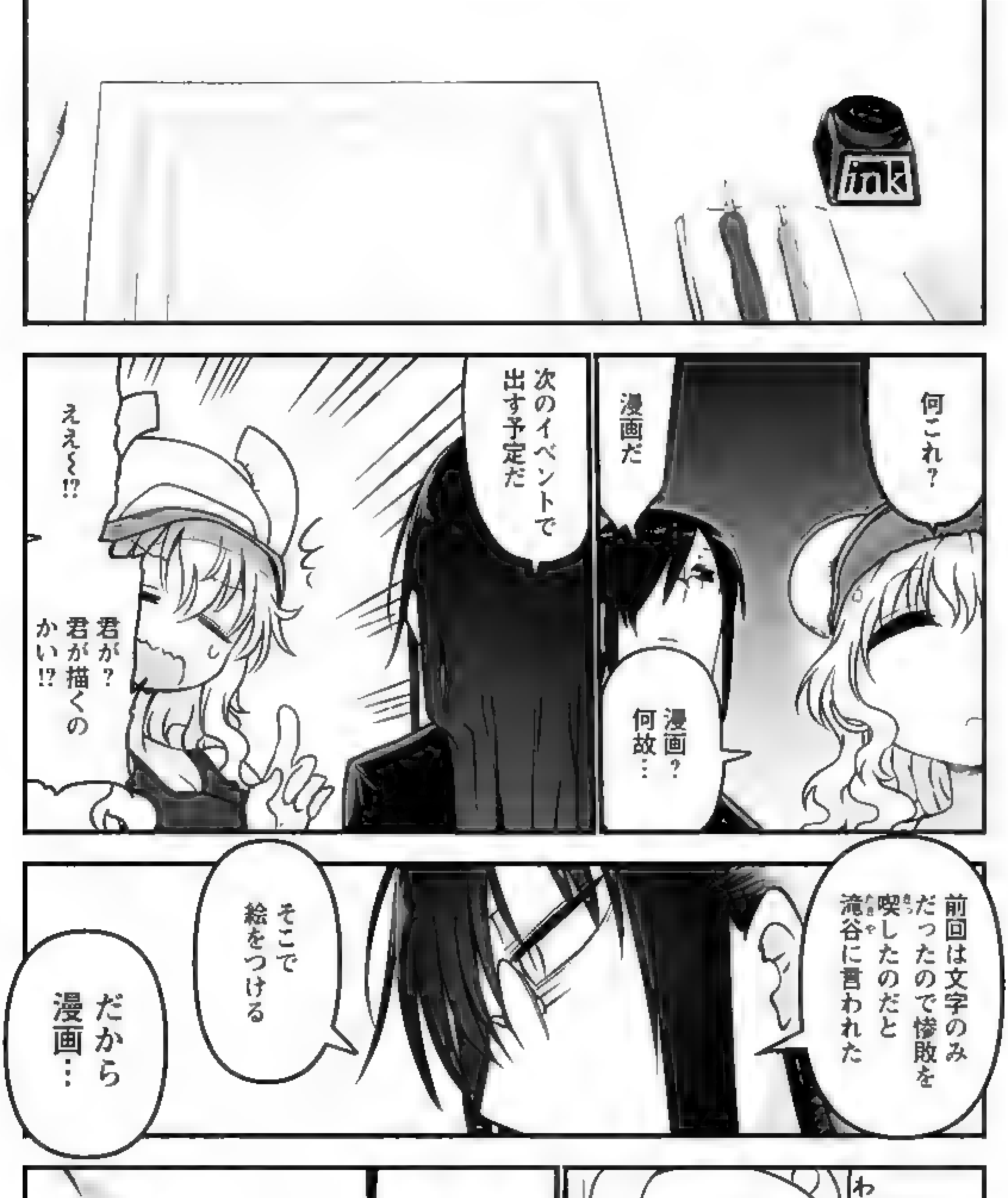
第60話／おわり

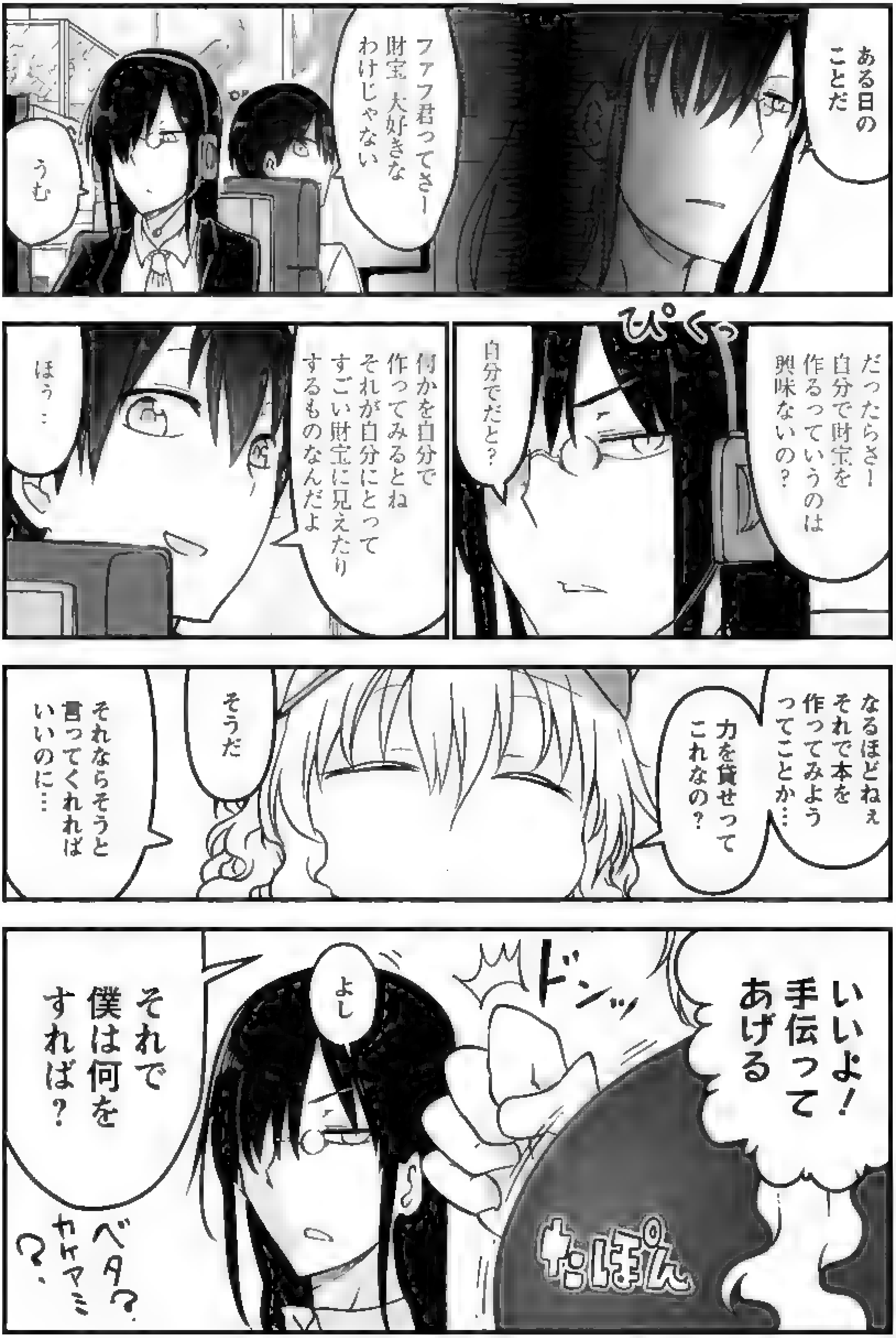
第61話

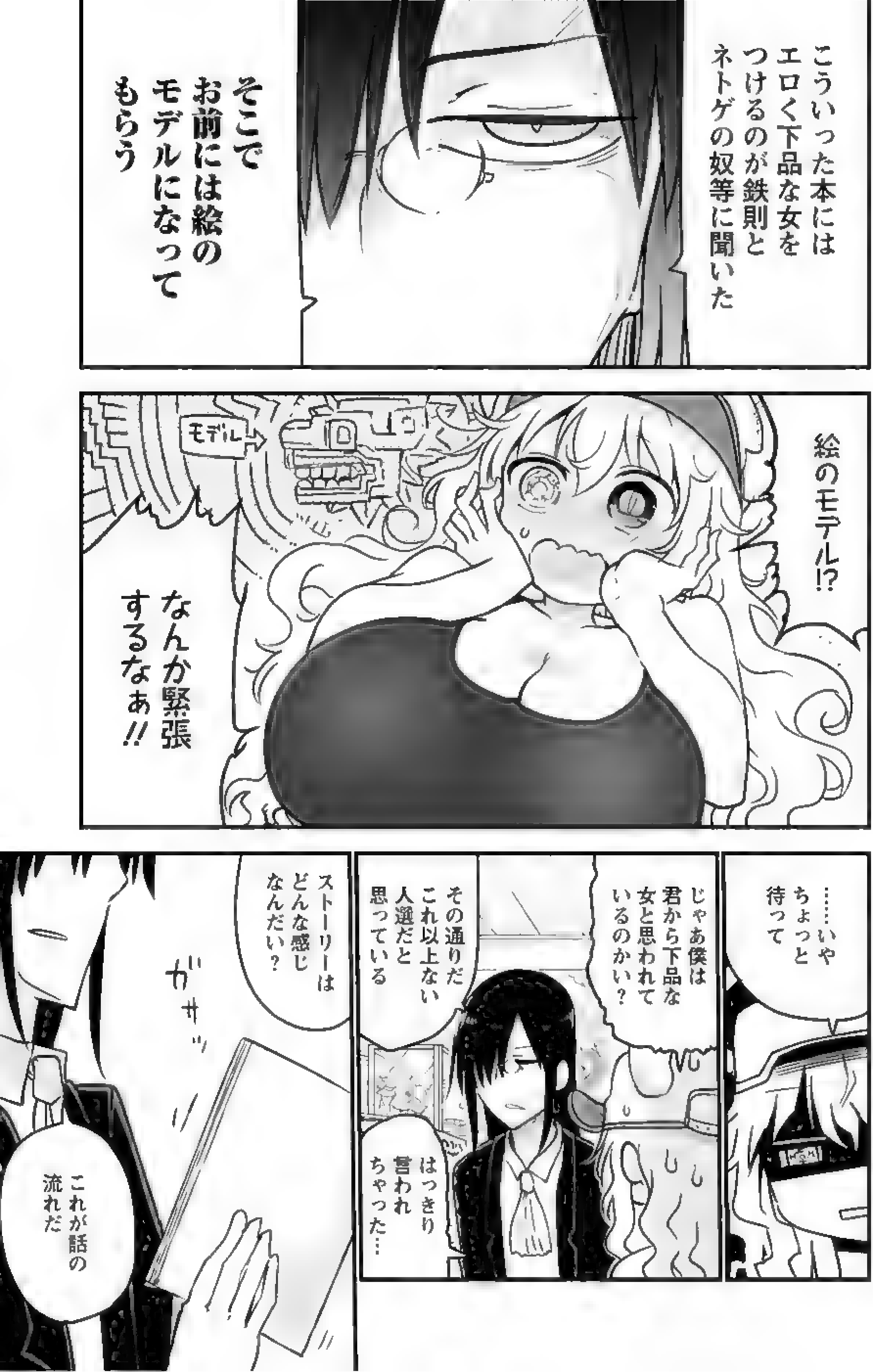

なんだい？
こんなところに
呼び出して…
ファフニール君
……
お前の
力を貸せ
…
何々？
君が他人の力に
頼るなんて
すごく珍しいよ
でもねぇ…
僕は戦うのが
嫌いなんだ
悪いけど
他あたって…
わかった
くるっ
ザッ
ザッ
ザッ
え～ もう少し
食い下がってよ～!!!

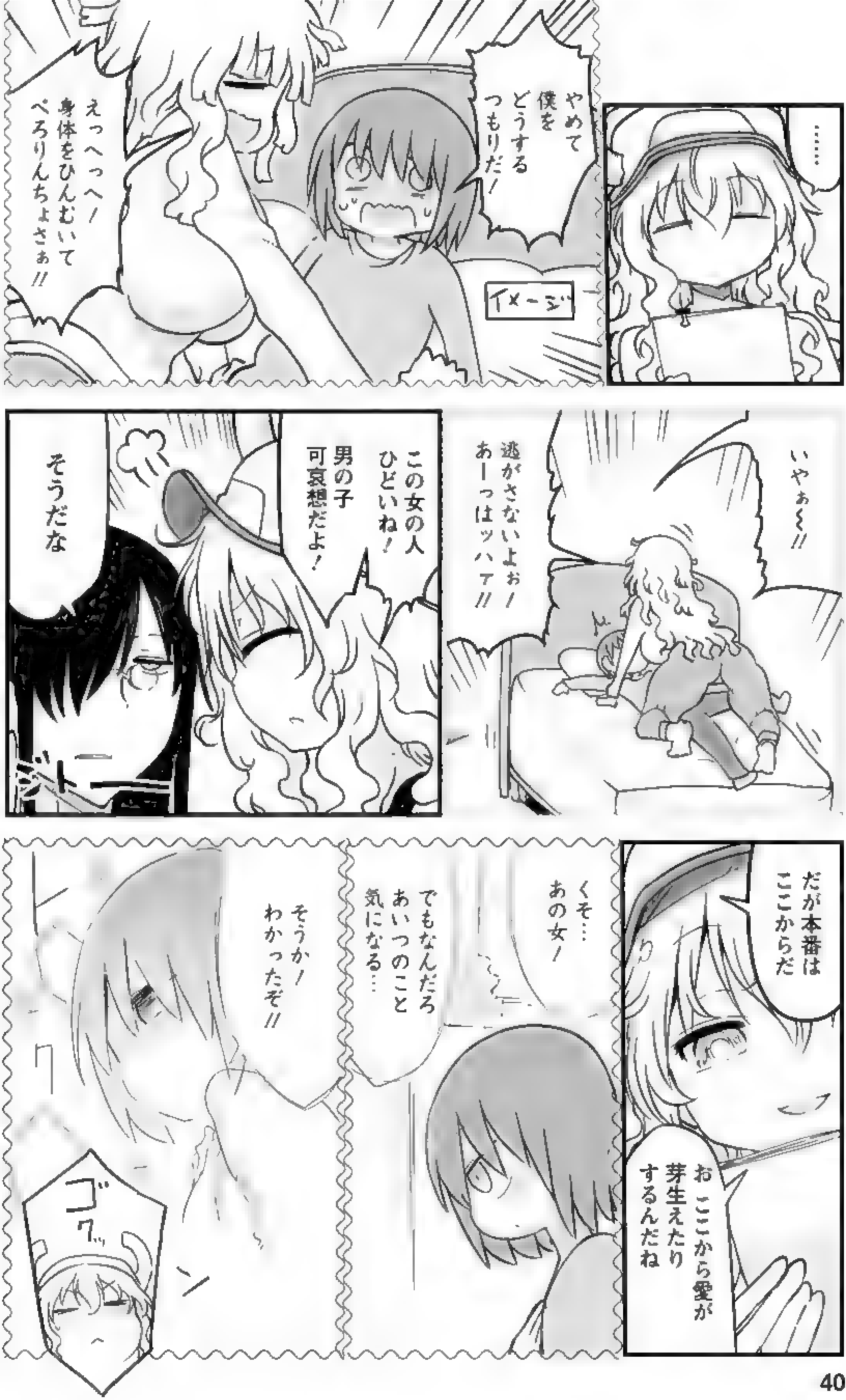
第61話 ファフニールとルコア

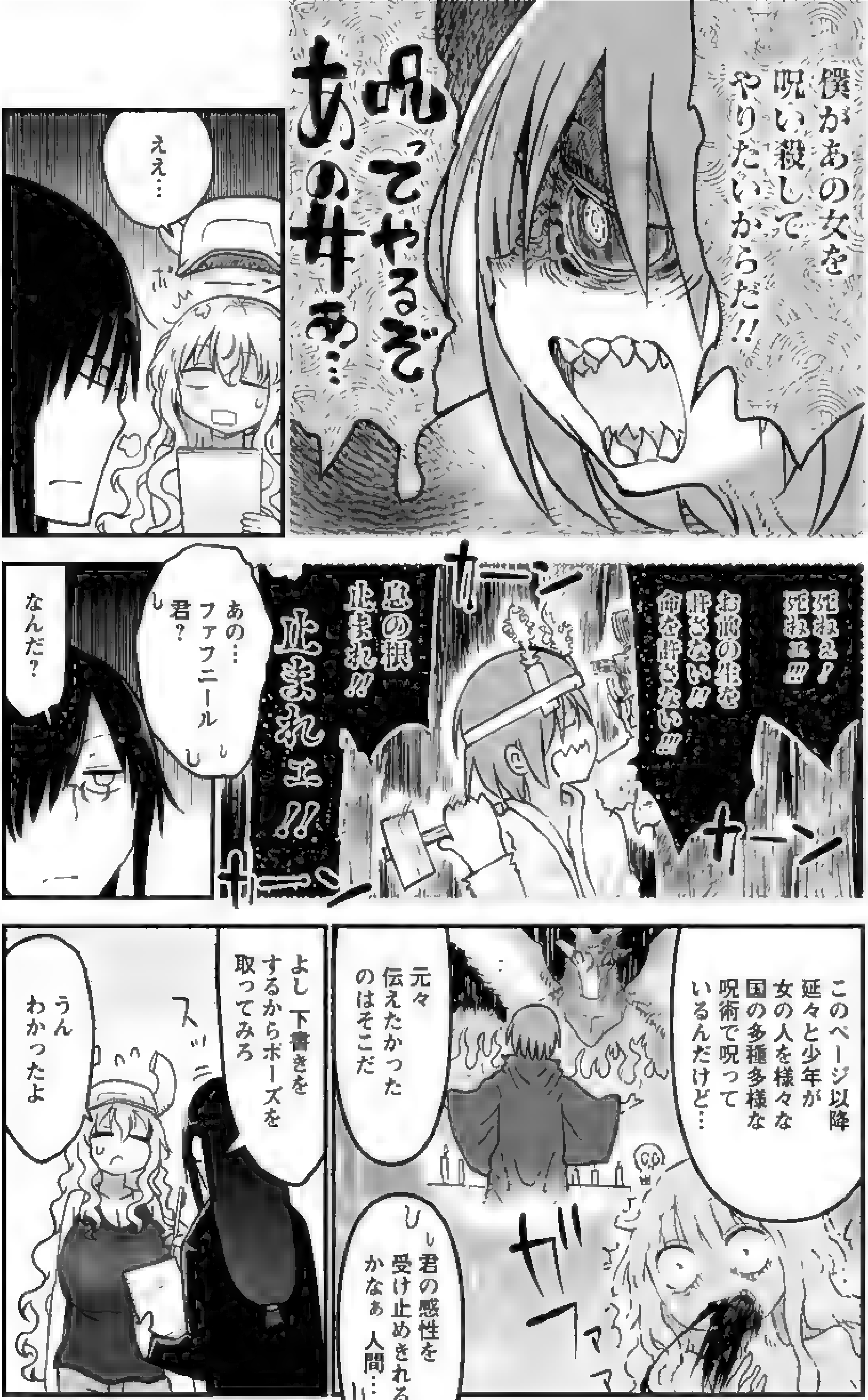


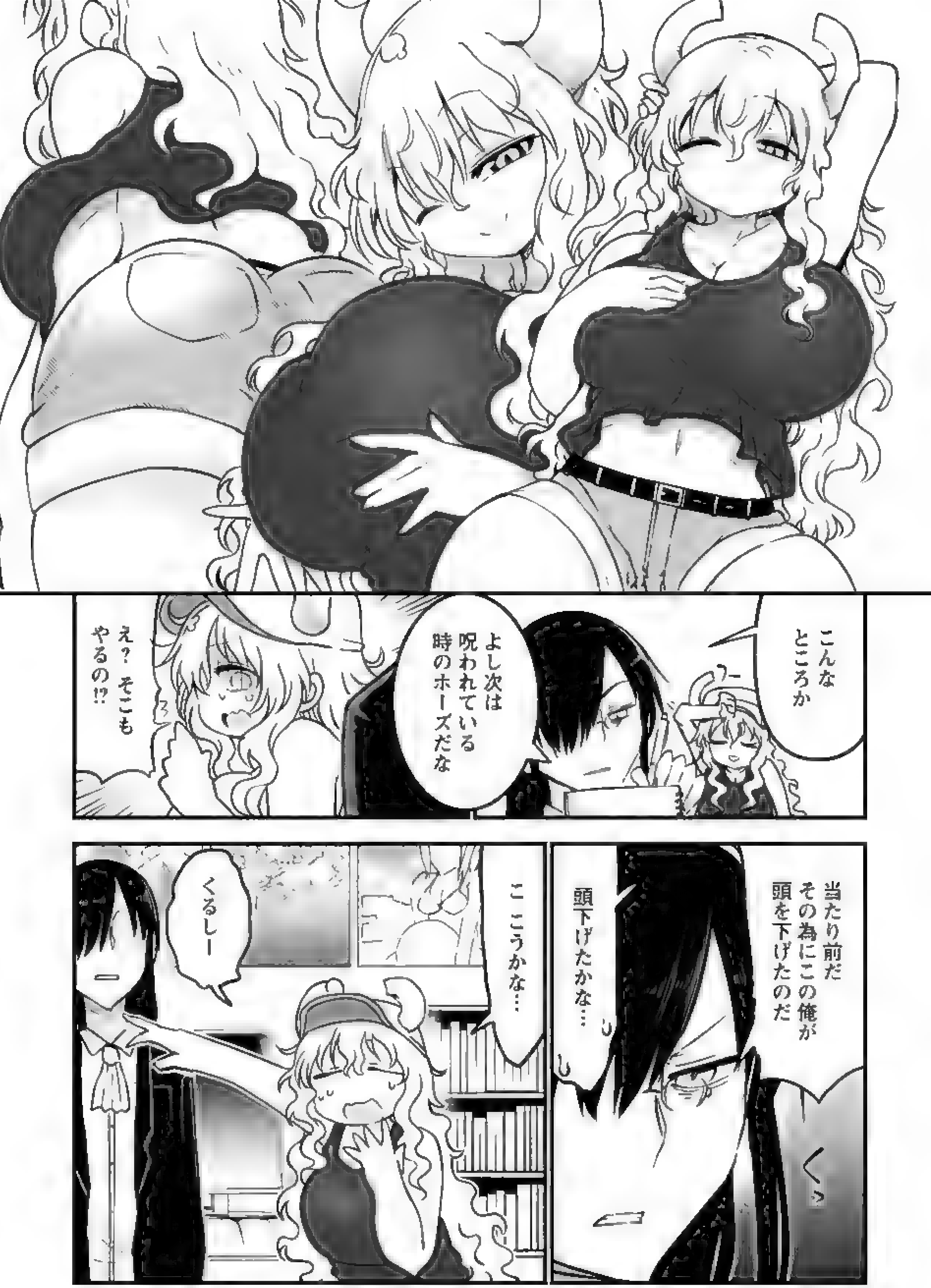

ink
何これ？
漫画だ
漫画？何故…
次のイベントで出す予定だ
えぇ〜!?
君が？君が描くのかい!?
前回は文字のみだったので惨敗を喫したのだと滝谷に言われた
そこで絵をつける
だから漫画…
そもそもなんで本を出そうなんて思ったのさ
わートーンだぁ
……財だ

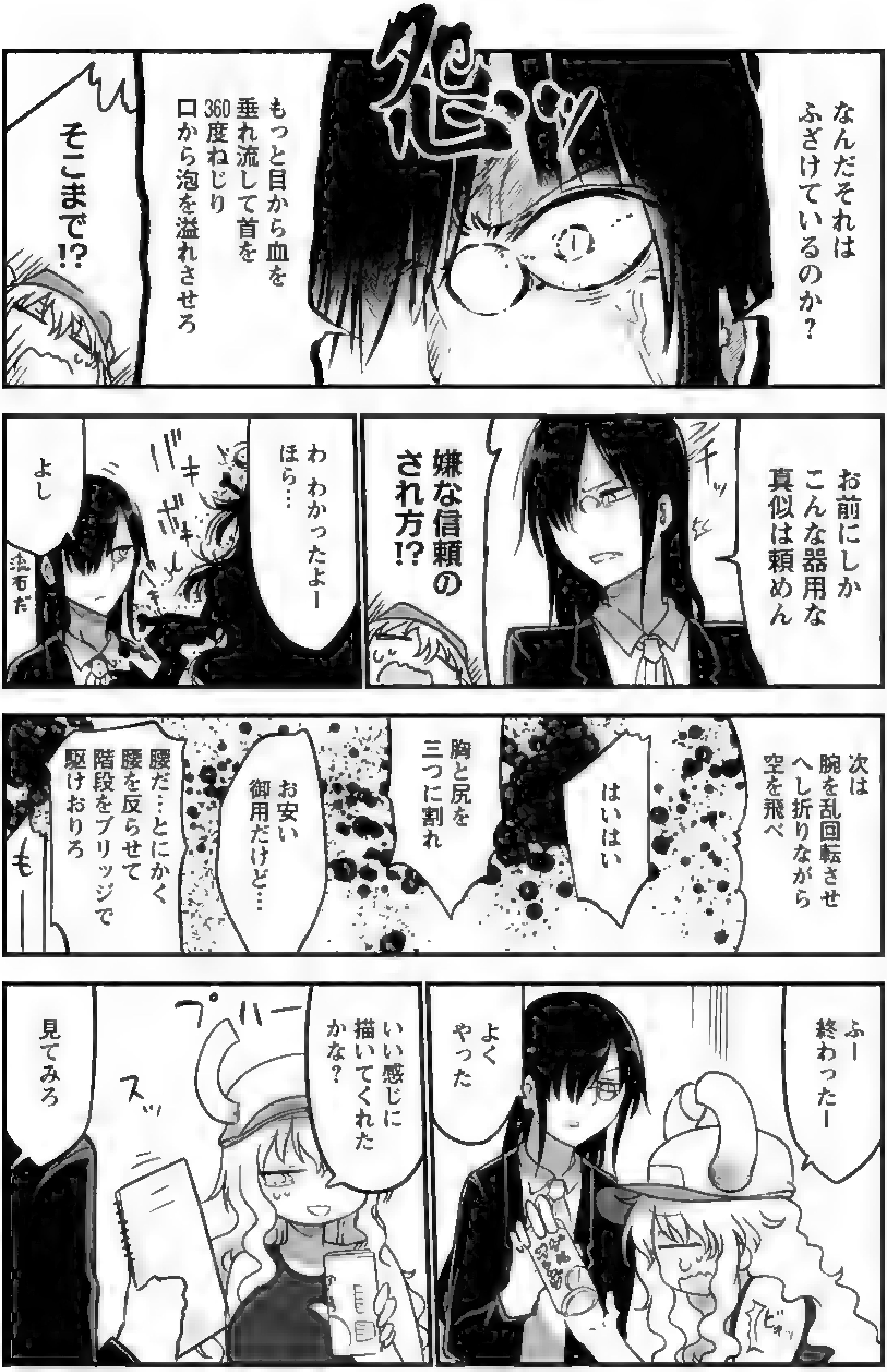

ある日のことだ
ファフ君ってさー 財宝 大好きなわけじゃない
うむ
ぴくっ
だったらさー 自分で財宝を作るっていうのは興味ないの？
自分でだと？
何かを自分で作ってみるとね それが自分にとってすごい財宝に見えたりするものなんだよ
ほう…
なるほどねぇ それで本を作ってみようってことか…
力を貸せってこれなの？
そうだ
それならそうと言ってくれればいいのに…
いいよ！手伝ってあげる
ドンッ
よし
それで僕は何をすれば？
ベタ？ カケアミ？
なぽん

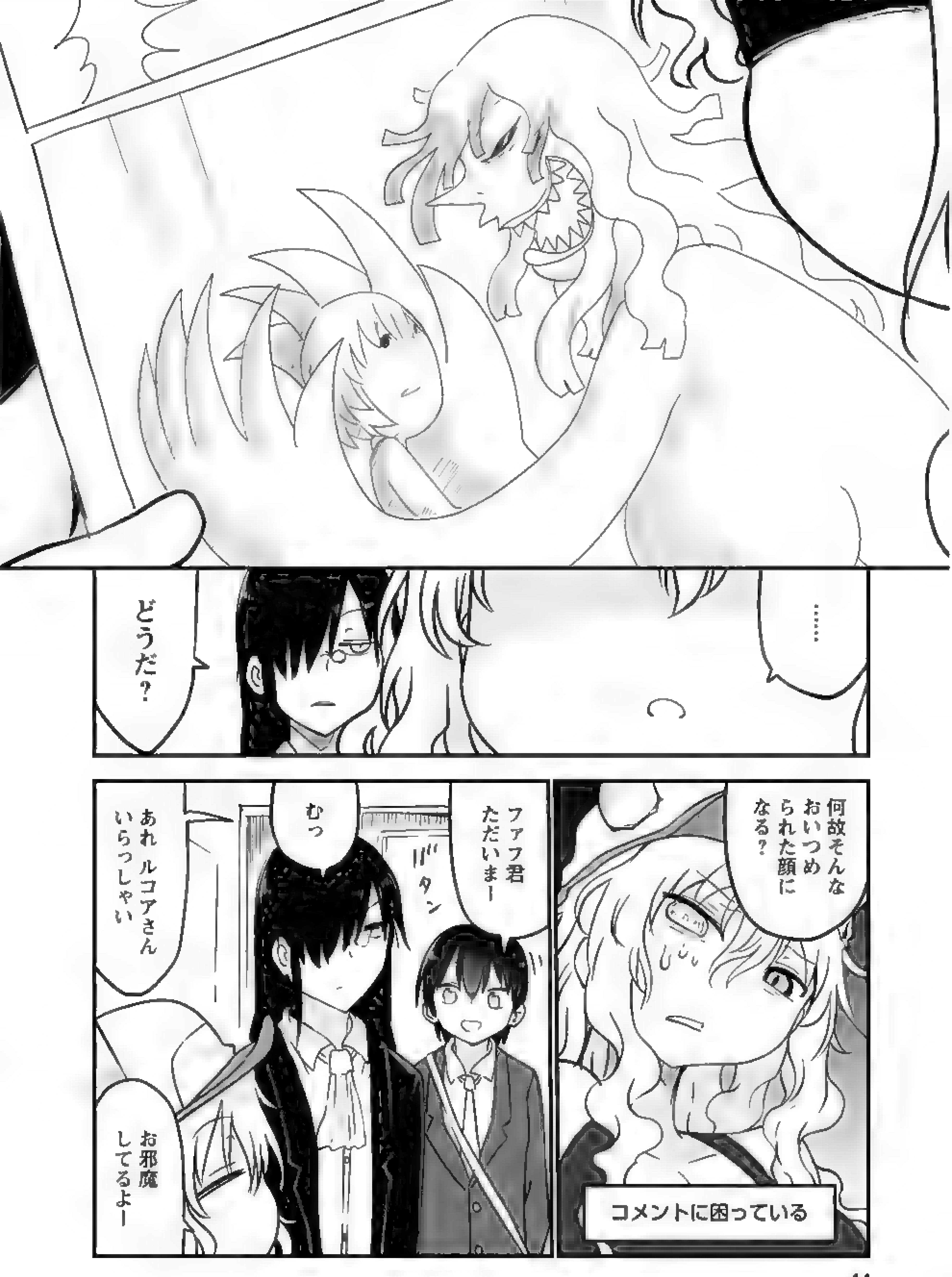

こういった本には
エロく下品な女を
つけるのが鉄則と
ネトゲの奴等に聞いた
そこで
お前には絵の
モデルになって
もらう
絵のモデル⁉
モデル
なんか緊張
するなぁ!!
……いや
ちょっと
待って
じゃあ僕は
君から下品な
女と思われて
いるのかい？
その通りだ
これ以上ない
人選だと
思っている
はっきり
言われ
ちゃった…
ストーリーは
どんな感じ
なんだい？
ガサッ
これが話の
流れだ

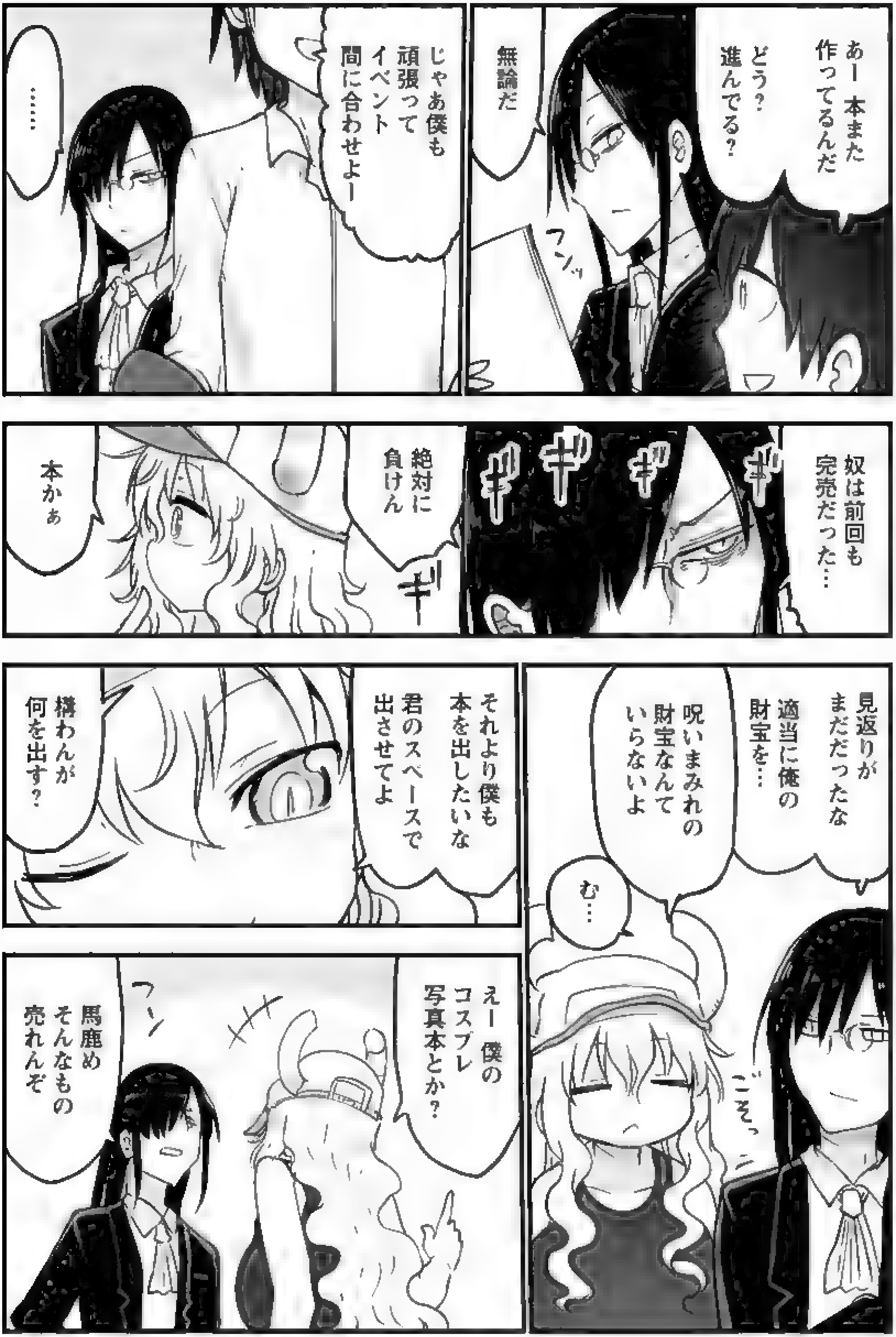

……
やめて僕をどうするつもりだ！
えっへっへ！身体をひんむいてぺろりんちょさぁ！！
イメージ
いやぁ～！！
逃がさないよぉ！あーっはッハァ！！
この女の人ひどいね！男の子可哀想だよ！
そうだな
だが本番はここからだ
お ここから愛が芽生えたりするんだね
くそ…あの女！
でもなんだろあいつのこと気になる…
そうか！わかったぞ！！
ゴワッ

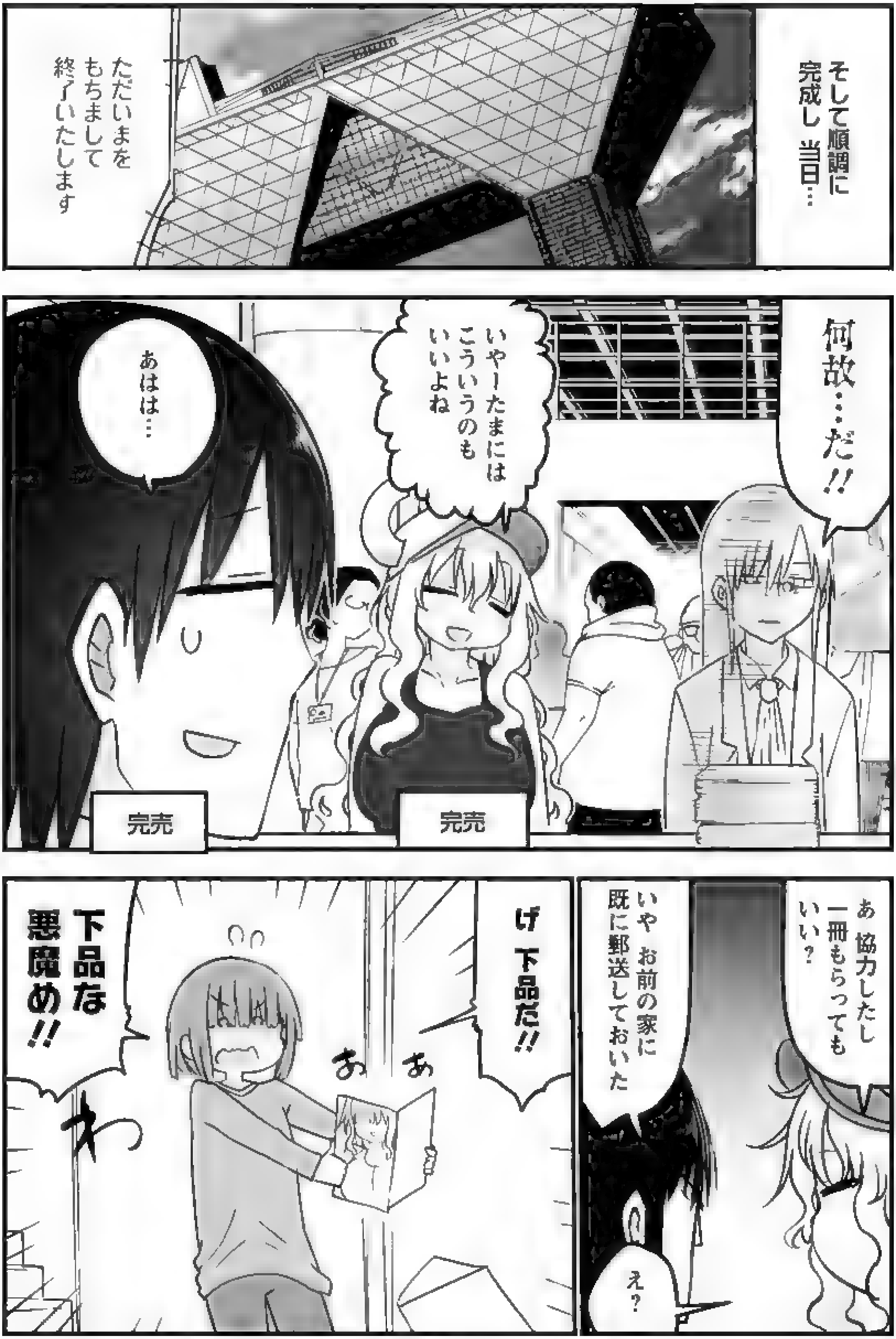

僕があの女を呪い殺してやりたいからだ!!
呪ってやるぞあの女ァ…
ええ…
ポーン
死ねえ!死ねェ!!!
お前の生を許さない!!命を許さない!!!
息の根止まれ!!
止まれェ!!
カーン
カーン
カーン
あの…ファフニール君?
なんだ?
このページ以降延々と少年が女の人を様々な国の多種多様な呪術で呪っているんだけど…
元々伝えたかったのはそこだ
ザファァ
君の感性を受け止めきれるかなぁ 人間…
よし 下書きをするからポーズを取ってみろ
スッ
うん わかったよ


こんなところか
よし次は呪われている時のホーズだな
え？ そこもやるの⁉
当たり前だ その為にこの俺が頭を下げたのだ
頭下げたかな…
くっ
こ こうかな…
くるしー

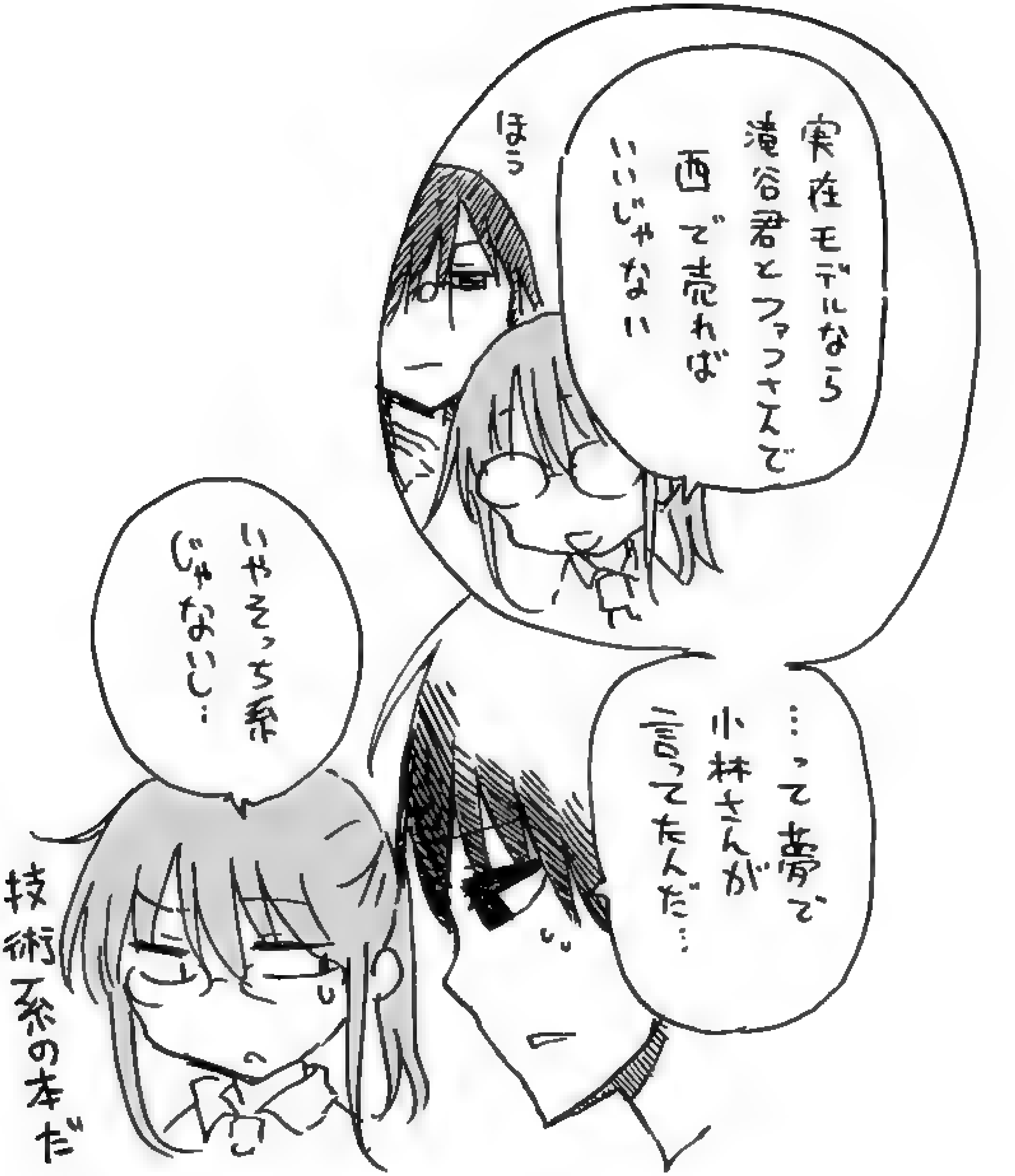

なんだそれは
ふざけているのか？
もっと目から血を
垂れ流して首を
360度ねじり
口から泡を溢れさせろ
そこまで!?
お前にしか
こんな器用な
真似は頼めん
チッ
嫌な信頼の
された方!?
わ わかったよー
ほら…
バキ
ボキ
よし
流石だ
次は
腕を乱回転させ
へし折りながら
空を飛べ
はいはい
胸と尻を
三つに割れ
お安い
御用だけど…
腰だ…とにかく
腰を反らせて
階段をブリッジで
駆けおりろ
もー
ふー
終わったー
よく
やった
ピォッ
いい感じに
描いてくれた
かな？
プハー
スッ
見てみろ


……
どうだ？
何故そんなおいつめられた顔になる？
コメントに困っている
ファフ君ただいまー
バタン
むっ
あれ ルコアさんいらっしゃい
お邪魔してるよー

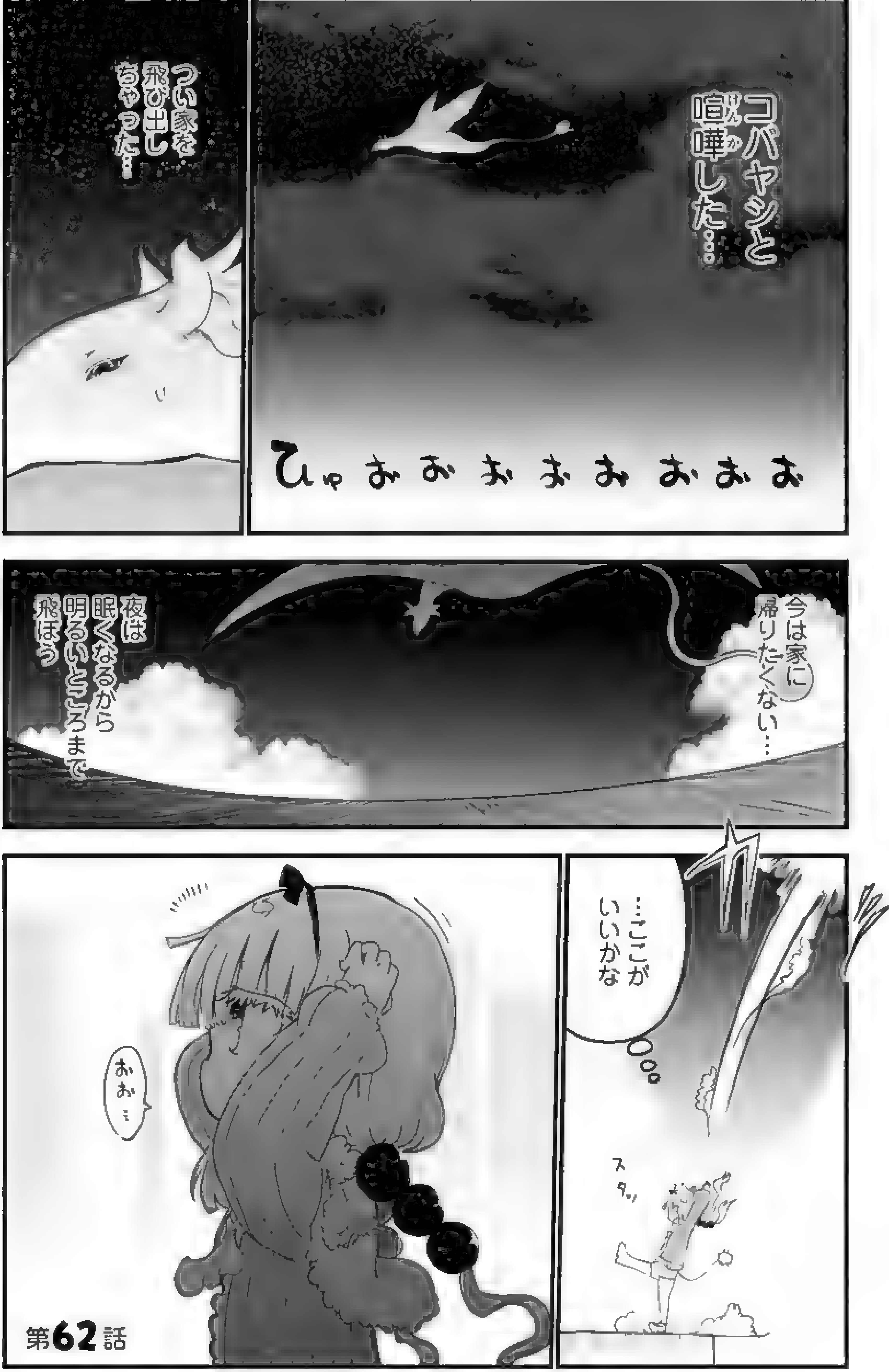

あー 本また作ってるんだ
どう？進んでる？
無論だ
フンッ
じゃあ僕も頑張ってイベント間に合わせよー
……
奴は前回も完売だった…
ギ ギ ギ ギ ギ
絶対に負けん
本かぁ
見返りがまだだったな適当に俺の財宝を…
呪いまみれの財宝なんていらないよ
む…
ごそっ
それより僕も本を出したいな君のスペースで出させてよ
構わんが何を出す？
えー 僕のコスプレ写真本とか？
馬鹿め そんなもの売れんぞ
フンッ


そして順調に
完成し 当日…
ただいまを
もちまして
終了いたします
何故…だ!!
いやーたまには
こういうのも
いいよね
あはは…
完売
完売
あ 協力したし
一冊もらっても
いい？
いや お前の家に
既に郵送しておいた
え？
げ 下品だ!!
あ
あ
下品な
悪魔め!!
わっ

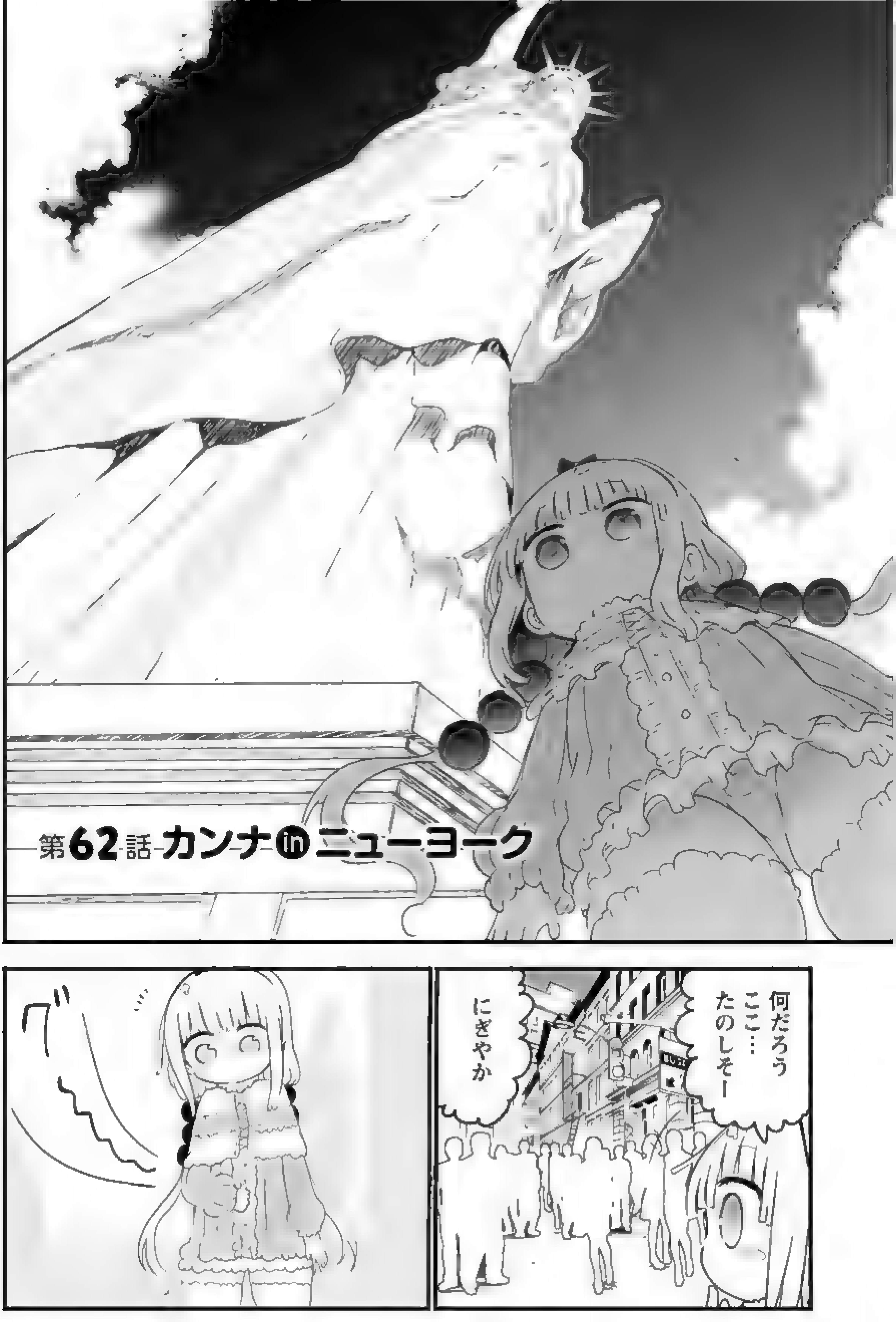
第61話／おわり

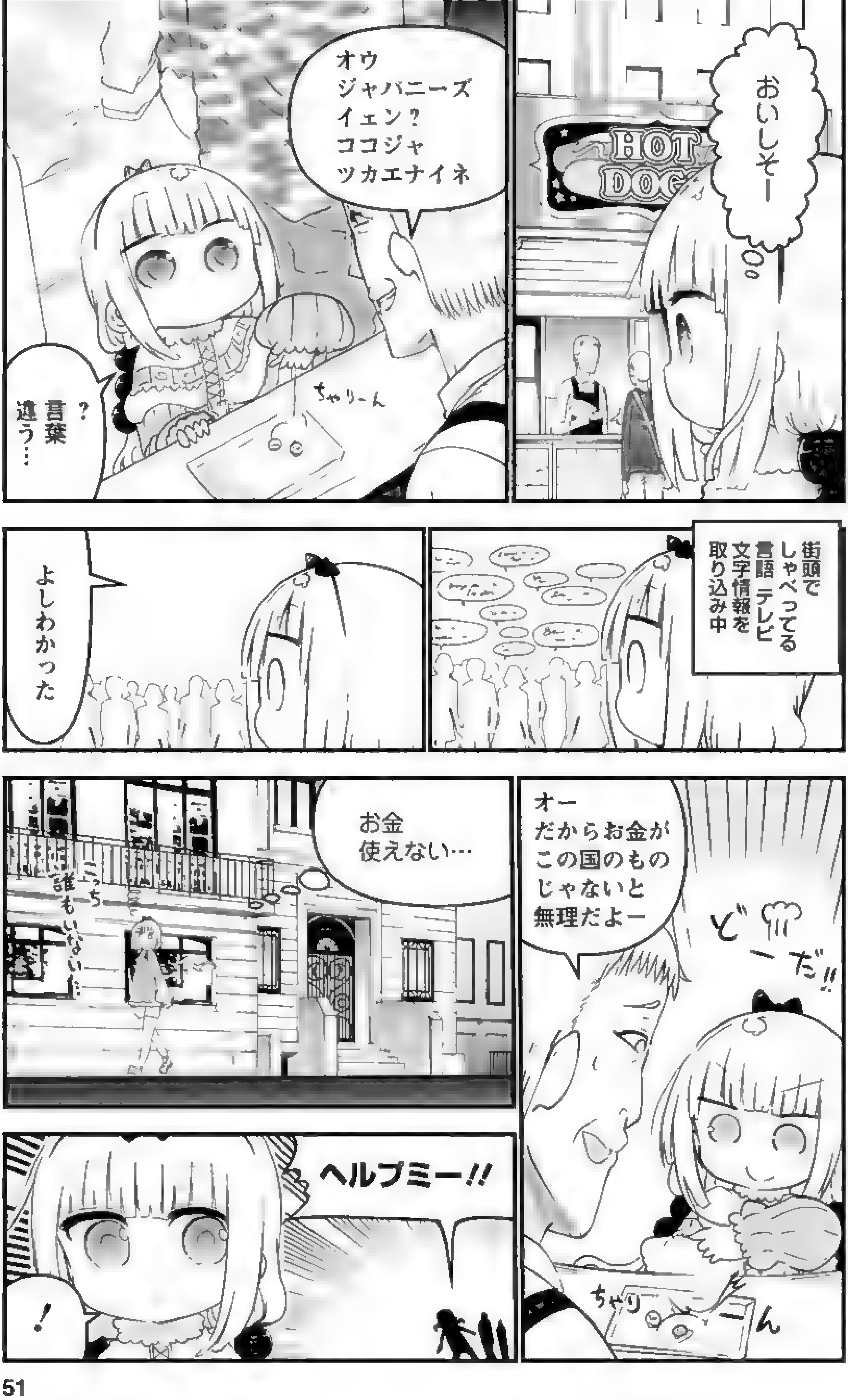

実在モデルなら
滝谷君とファフさんで
西で売れば
いいじゃない
ほう
…って夢で
小林さんが
言ってたんだ…
いやそっち系
じゃないし…
技術系の本だし

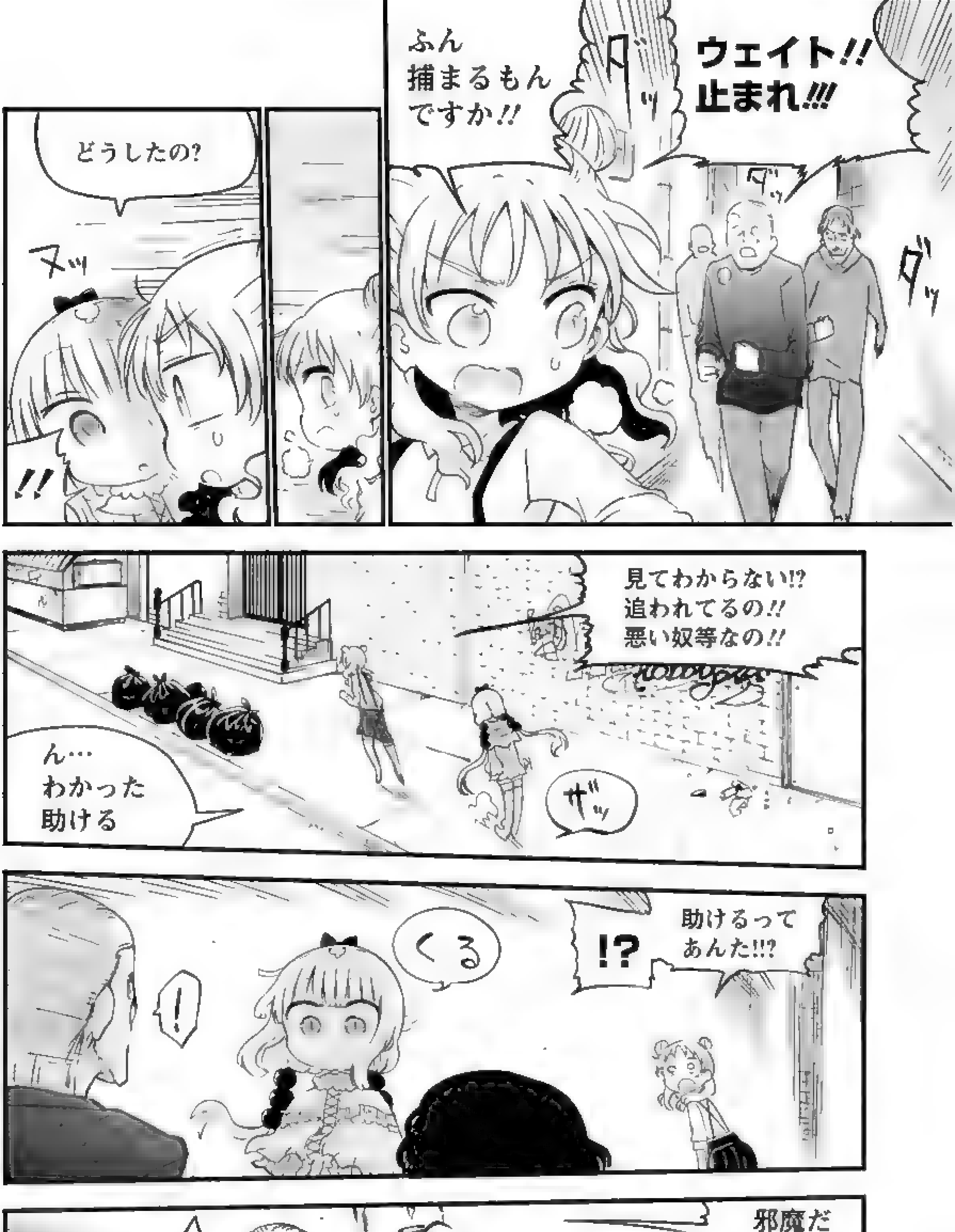
小林さんちの
メイドラゴン

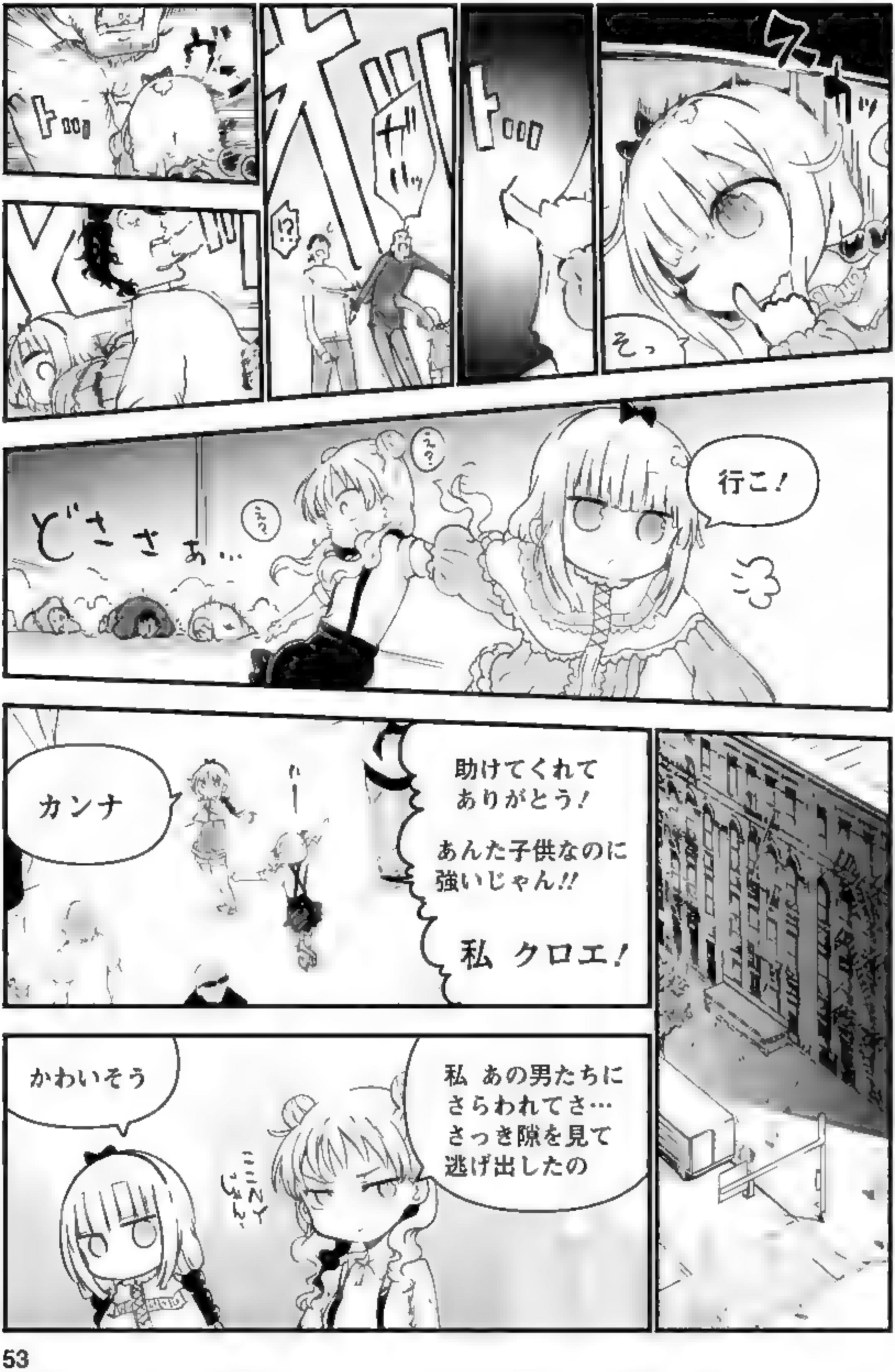

コバヤシと喧嘩した…
ひゅおおおおおおおお
つい家を飛び出しちゃった…
今は家に帰りたくないい…
夜は眠くなるから明るいところまで飛ぼう
…ここがいいかな
スタッ
おお…
第62話

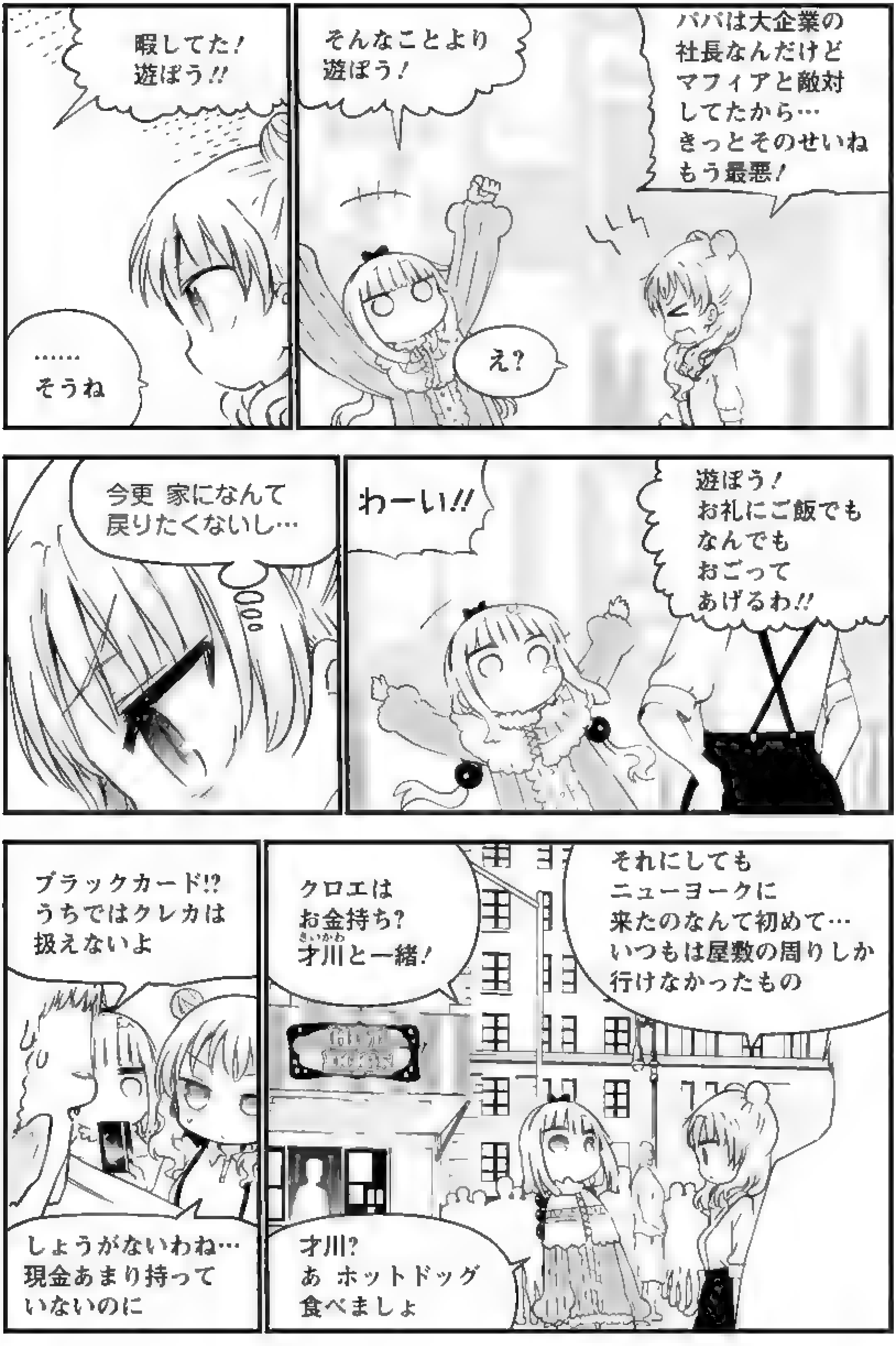
第62話 カンナinニューヨーク

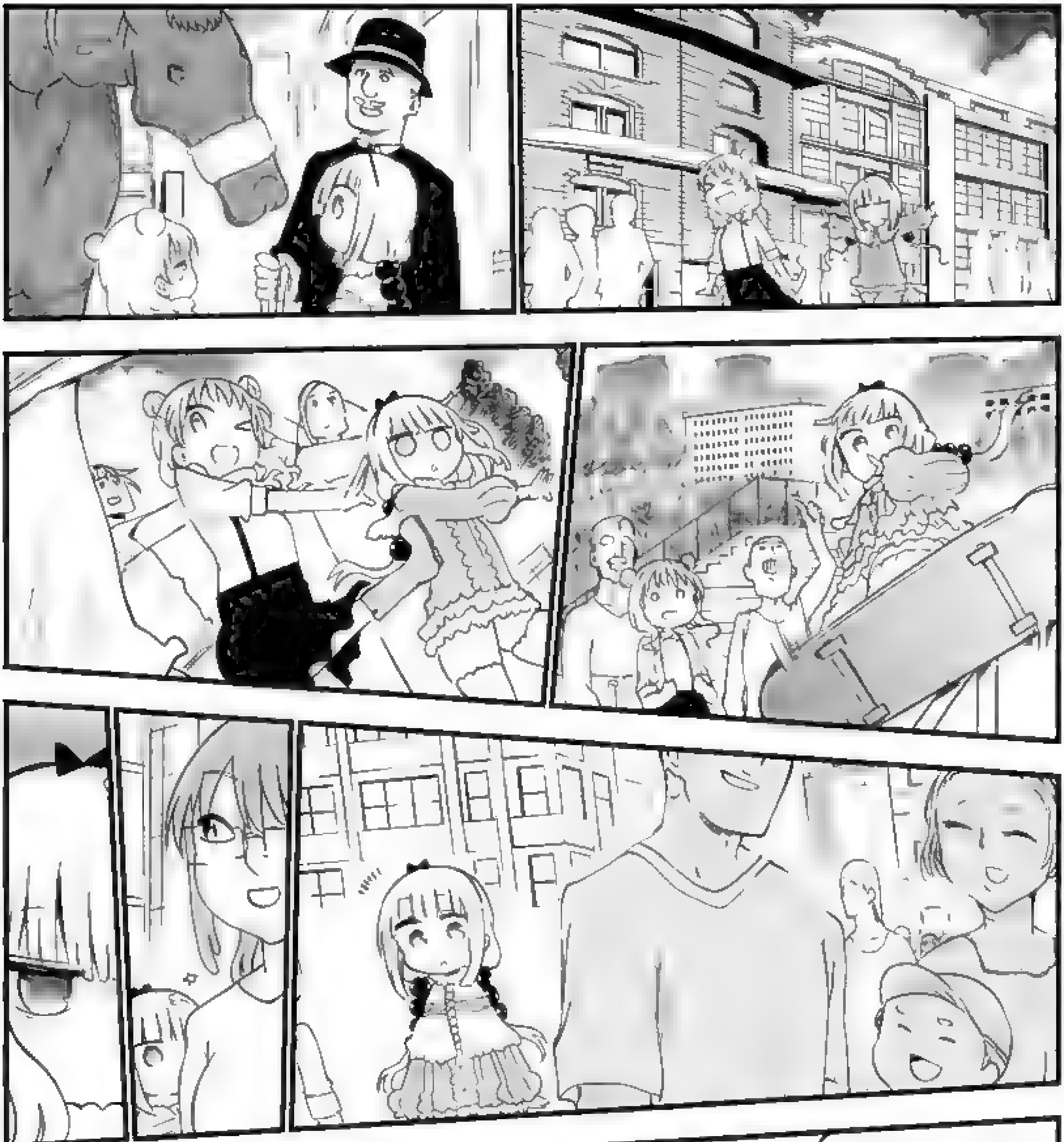

何だろう
ここ…
たのしそー
にぎやか
グ

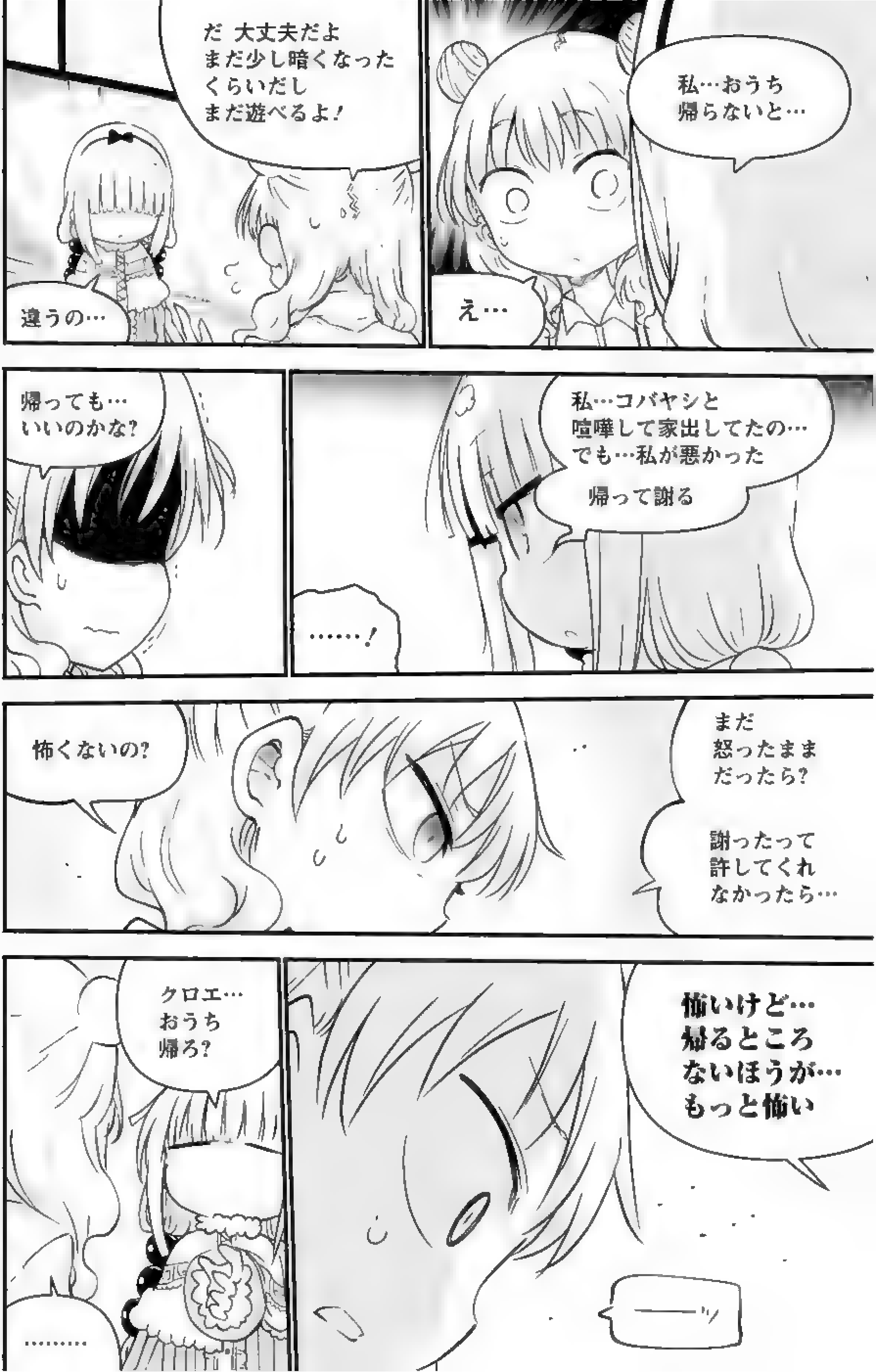

おいしそー
オウ ジャパニーズ イエン？ ココジャ ツカエナイネ
ちゃりーん
？ 言葉 違う…
街頭でしゃべってる言語 テレビ文字情報を取り込み中
よしわかった
オー だからお金がこの国のものじゃないと無理だよー
どーだ!!
ちゃりーん
お金 使えない…
こっち 誰もいない…
ヘルプミー!!
！

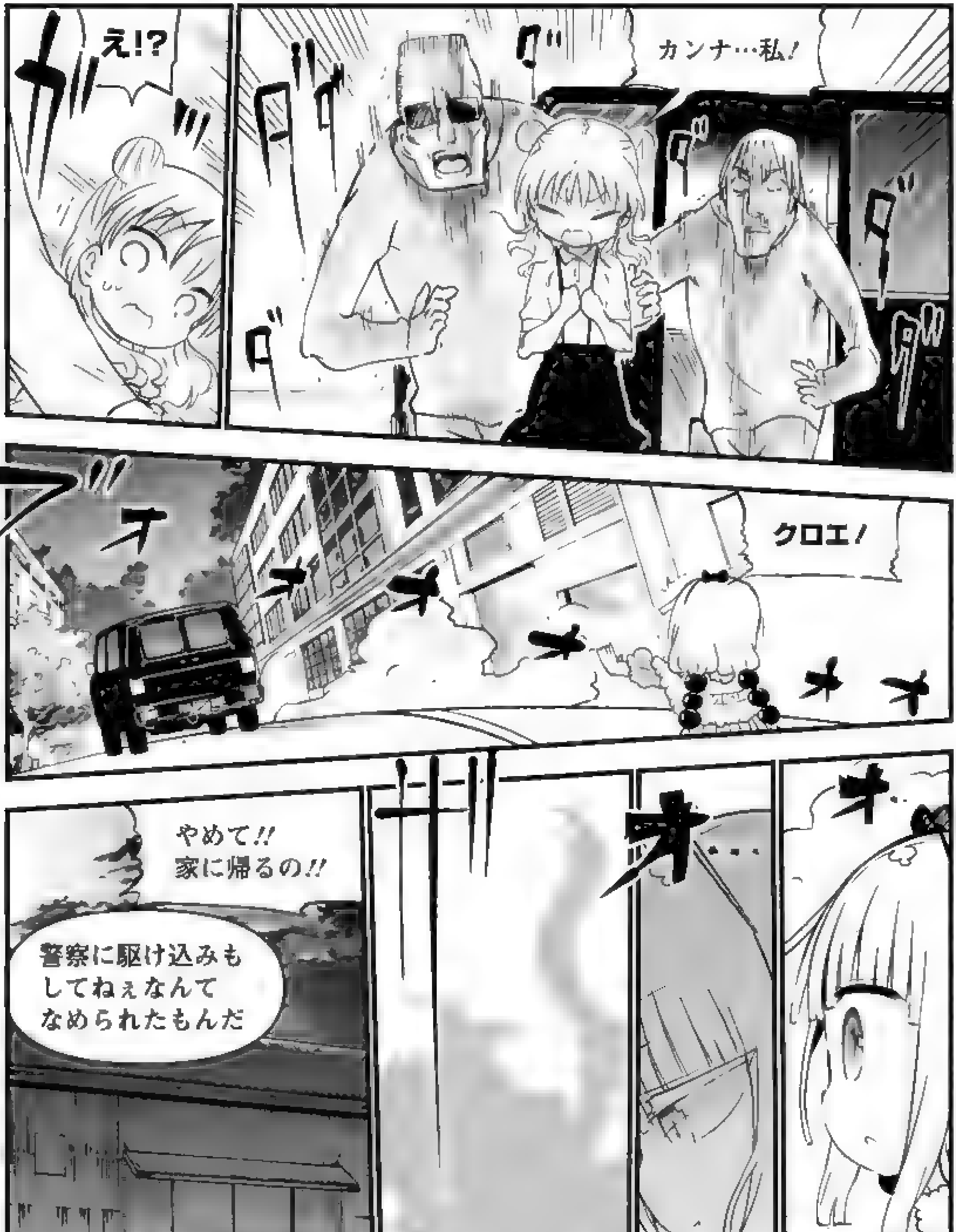

ウェイト!!
止まれ!!!
ダッ
ダッ
ダッ
ふん
捕まるもんですか!!
どうしたの?
ヌッ
!!
見てわからない!?
追われてるの!!
悪い奴等なの!!
ザッ
ん…
わかった
助ける
助けるって
あんた!!?
!?
くる
!
邪魔だ
どけ!!
シャッ

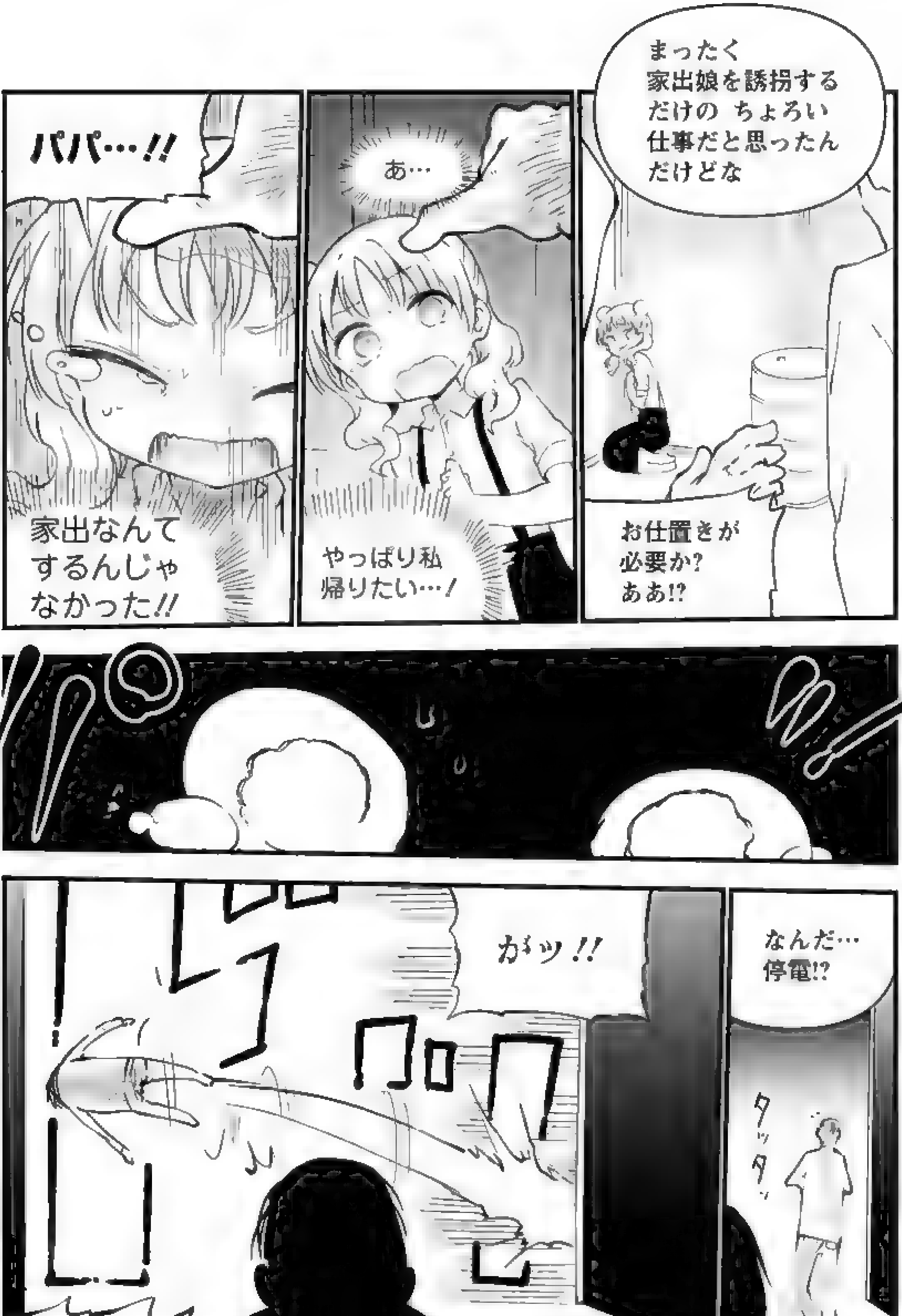

クァッ
そっ
ト…
ザバッ
!?
ト…
行こ！
え？
え？
どささぁ…
助けてくれて ありがとう！ あんた子供なのに 強いじゃん!! 私 クロエ！
カンナ
私 あの男たちに さらわれてさ… さっき隙を見て 逃げ出したの
ここNYじゃん
かわいそう

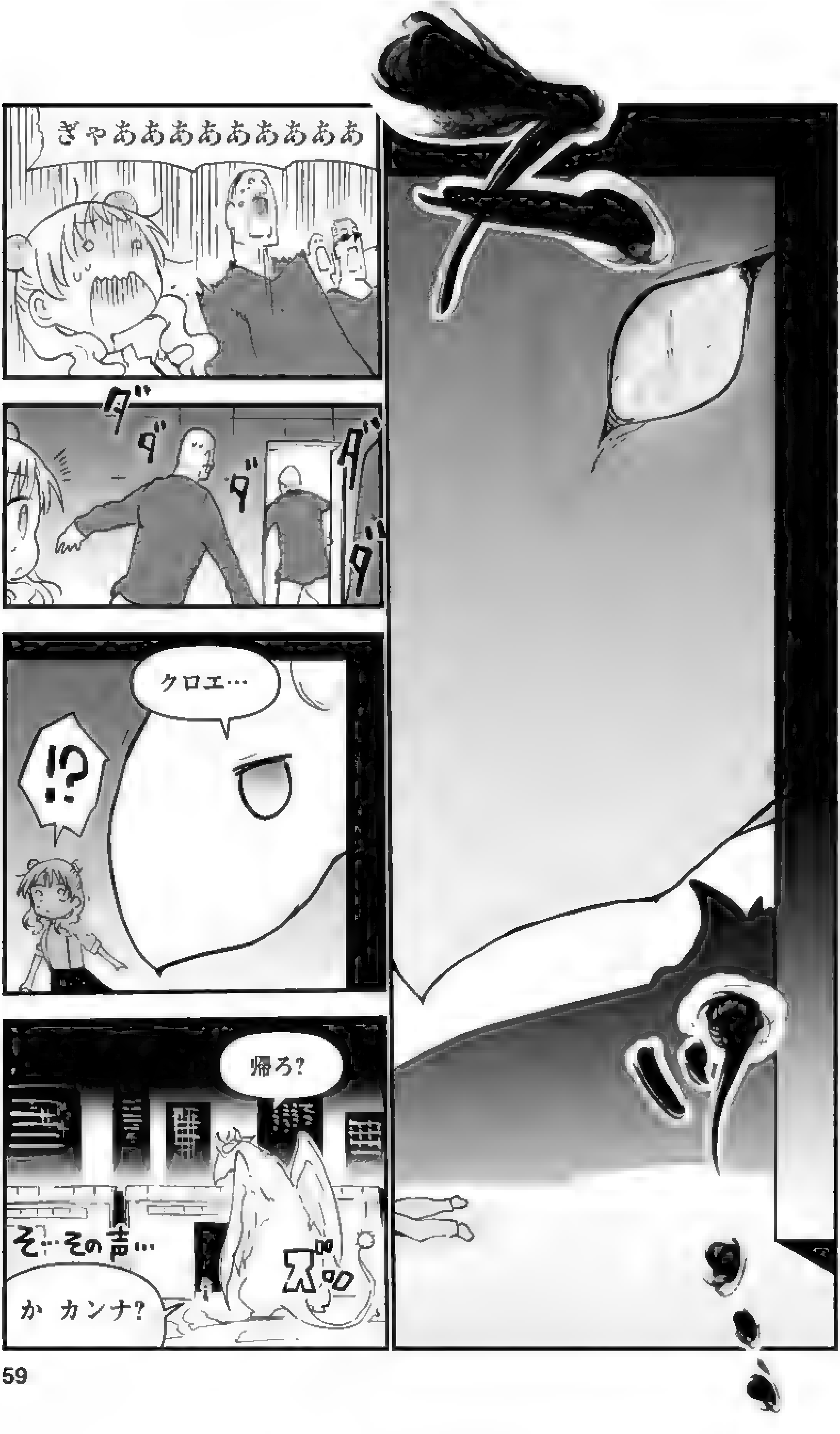

パパは大企業の
社長なんだけど
マフィアと敵対
してたから…
きっとそのせいね
もう最悪！
そんなことより
遊ぼう！
え？
暇してた！
遊ぼう!!
……
そうね
遊ぼう！
お礼にご飯でも
なんでも
おごって
あげるわ!!
わーい!!
今更 家になんて
戻りたくないし…
それにしても
ニューヨークに
来たのなんて初めて…
いつもは屋敷の周りしか
行けなかったもの
クロエは
お金持ち？
才川と一緒！
才川？
あ ホットドッグ
食べましょ
ブラックカード!?
うちではクレカは
扱えないよ
しょうがないわね…
現金あまり持って
いないのに

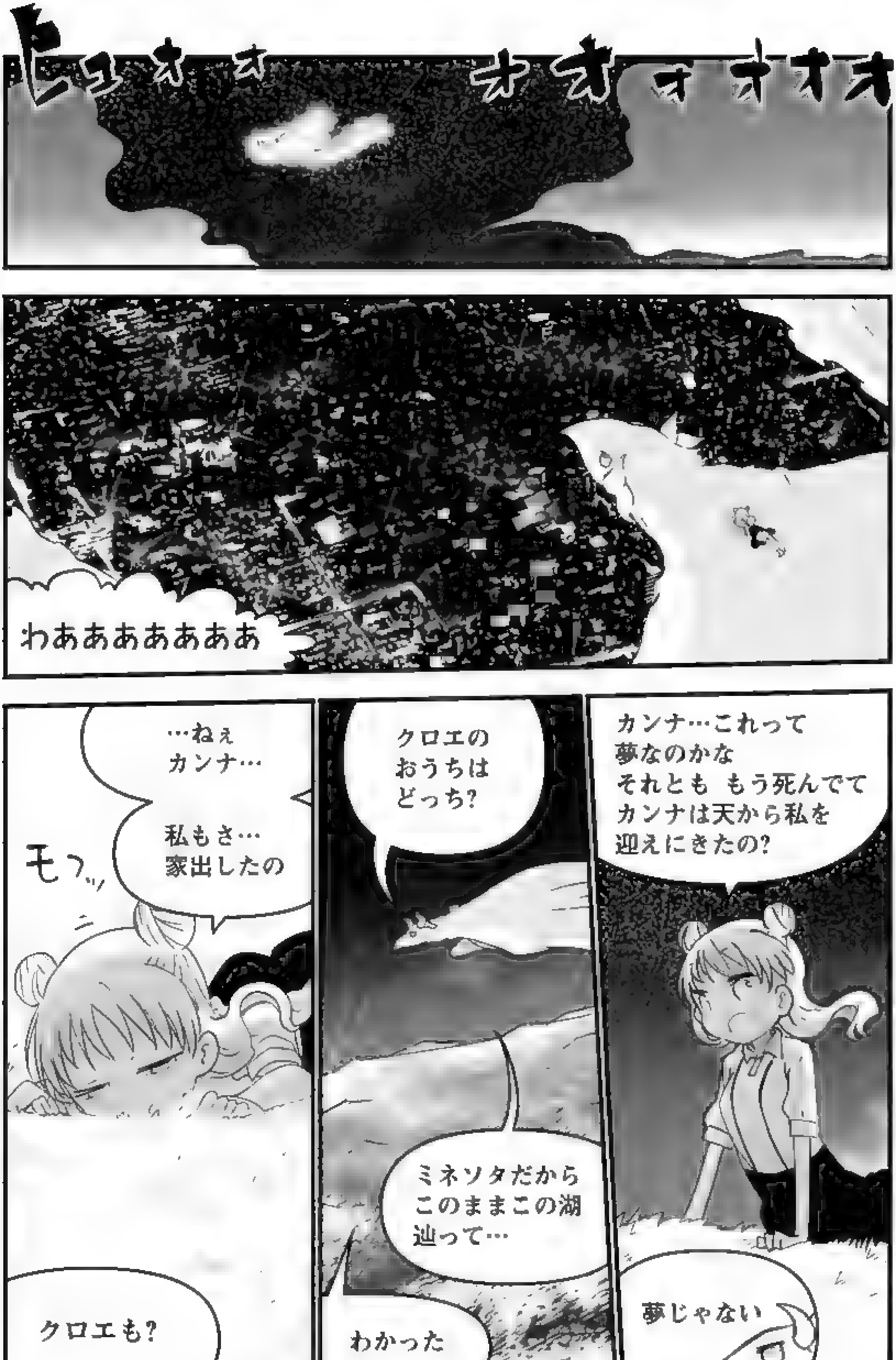

あー遊んだ
遊んだ！
カンナ！
私 友達と
こうやって
遊ぶのなんて
初めて！
……
どうしたの
カンナ?

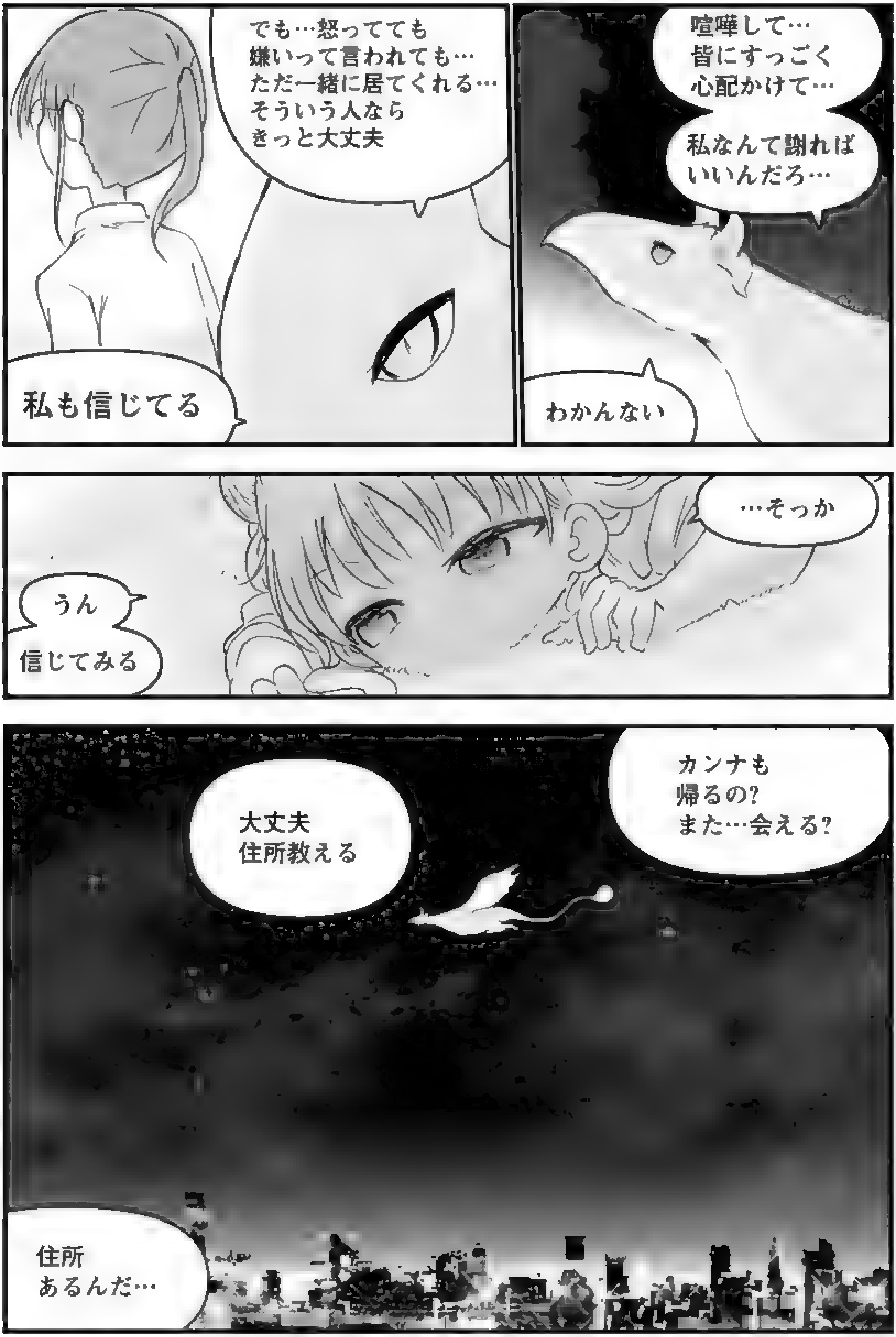

私…おうち
帰らないと…
え…
だ 大丈夫だよ
まだ少し暗くなった
くらいだし
まだ遊べるよ！
違うの…
私…コバヤシと
喧嘩して家出してたの…
でも…私が悪かった
帰って謝る
……！
帰っても…
いいのかな？
まだ
怒ったまま
だったら？
謝ったって
許してくれ
なかったら…
怖くないの？
怖いけど…
帰るところ
ないほうが…
もっと怖い
ーーッ
クロエ…
おうち
帰ろ？
………

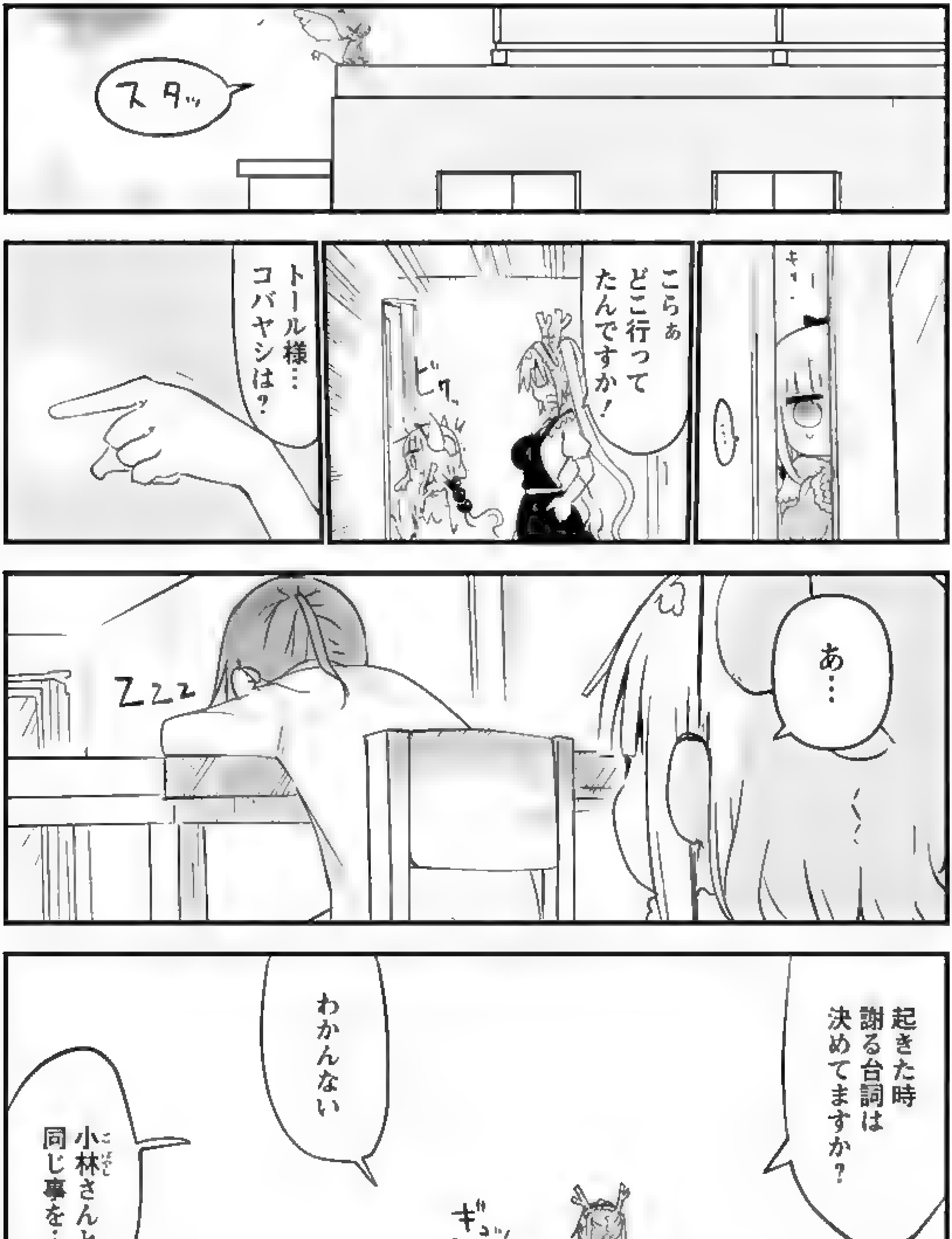

カンナ…私!
え!?
クロエ!
やめて!!
家に帰るの!!
警察に駆け込みもしてねぇなんてなめられたもんだ
お前の親は身代金たっぷり払ってくれるそうだぜ


まったく
家出娘を誘拐する
だけの ちょろい
仕事だと思ったん
だけどな
お仕置きが
必要か？
ああ!?
あ…
やっぱり私
帰りたい…！
パパ…!!
家出なんて
するんじゃ
なかった!!
なんだ…
停電!?
タッタッ
ブレーカー
見てこい!!
ガッ!!
うぉ！
どした!!

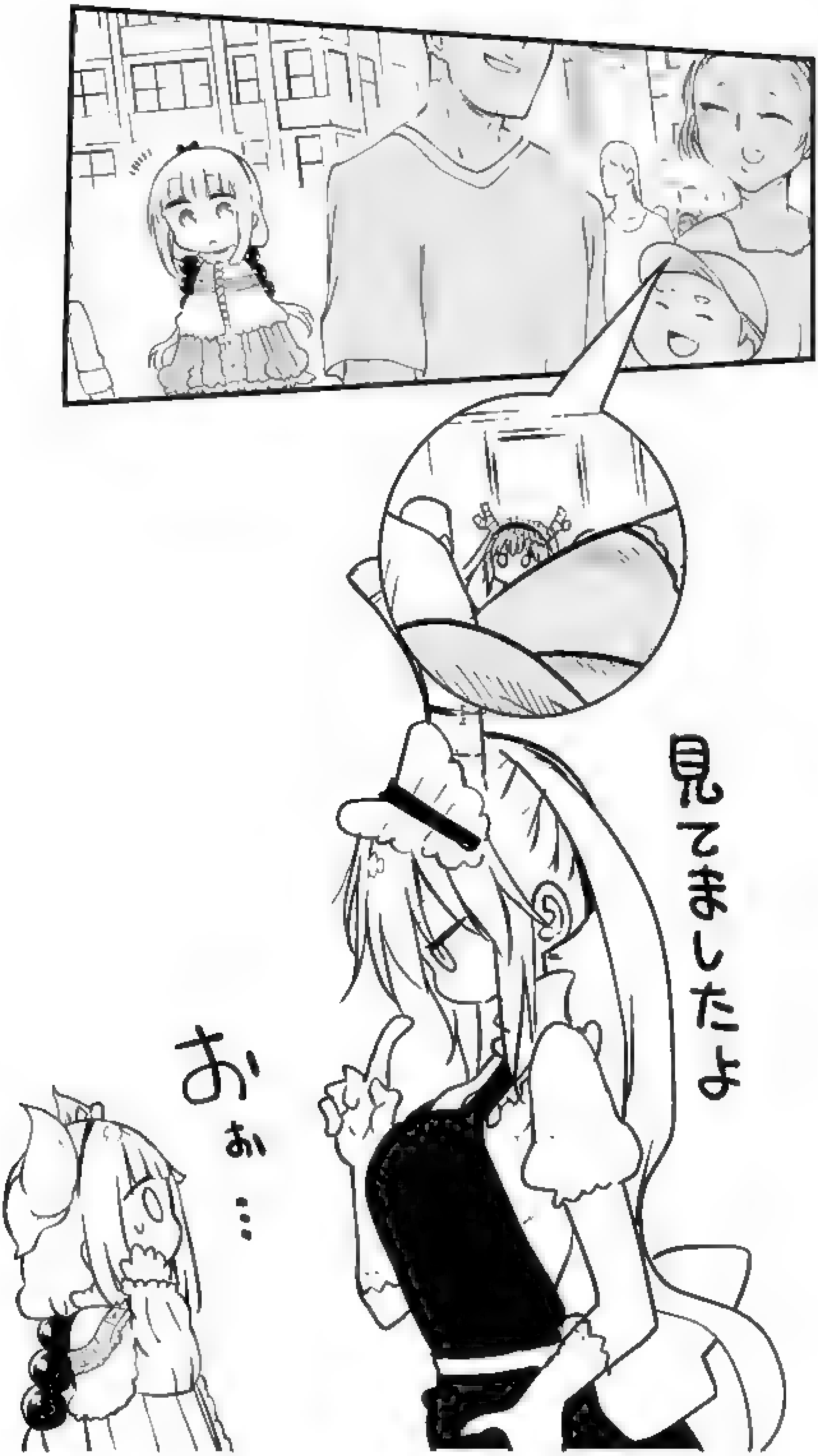

ア
ぎゃあああああああああ
ダ ダ ダ ダ ダ ダ
クロエ…
!?
帰ろ?
ズロ
そ…その声…
か カンナ?


ヒュオオ——オオォオオオ
わあああああああ
カンナ…これって夢なのかな それとも もう死んでて カンナは天から私を迎えにきたの?
夢じゃない
クロエのおうちはどっち?
ミネソタだから このままこの湖 辿って…
わかった
…ねぇ カンナ… 私もさ… 家出したの
モフッ
クロエも?


喧嘩して…皆にすっごく心配かけて…
私なんて謝ればいいんだろ…
わかんない
でも…怒ってても嫌いって言われても…ただ一緒に居てくれる…そういう人ならきっと大丈夫
私も信じてる
…そっか
うん
信じてみる
カンナも帰るの?また…会える?
大丈夫 住所教える
住所あるんだ…

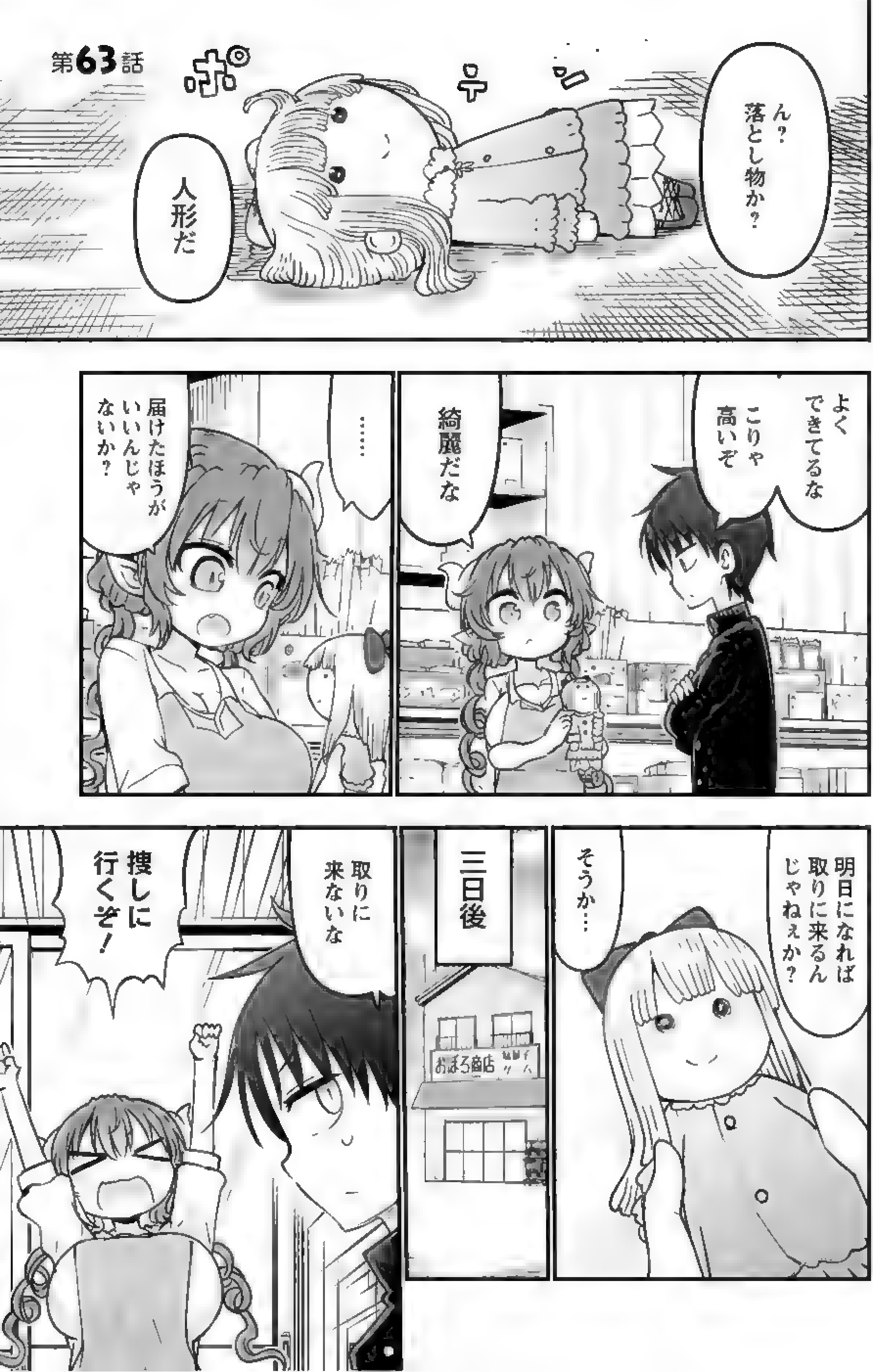

スタッ
キィ…
…
こらぁ
どこ行って
たんですか！
ビクッ
トール様…
コバヤシは？
Zzz
あ…
起きた時
謝る台詞は
決めてますか？
わかんない
ギュッ
小林さんと
同じ事を…

第62話／おわり

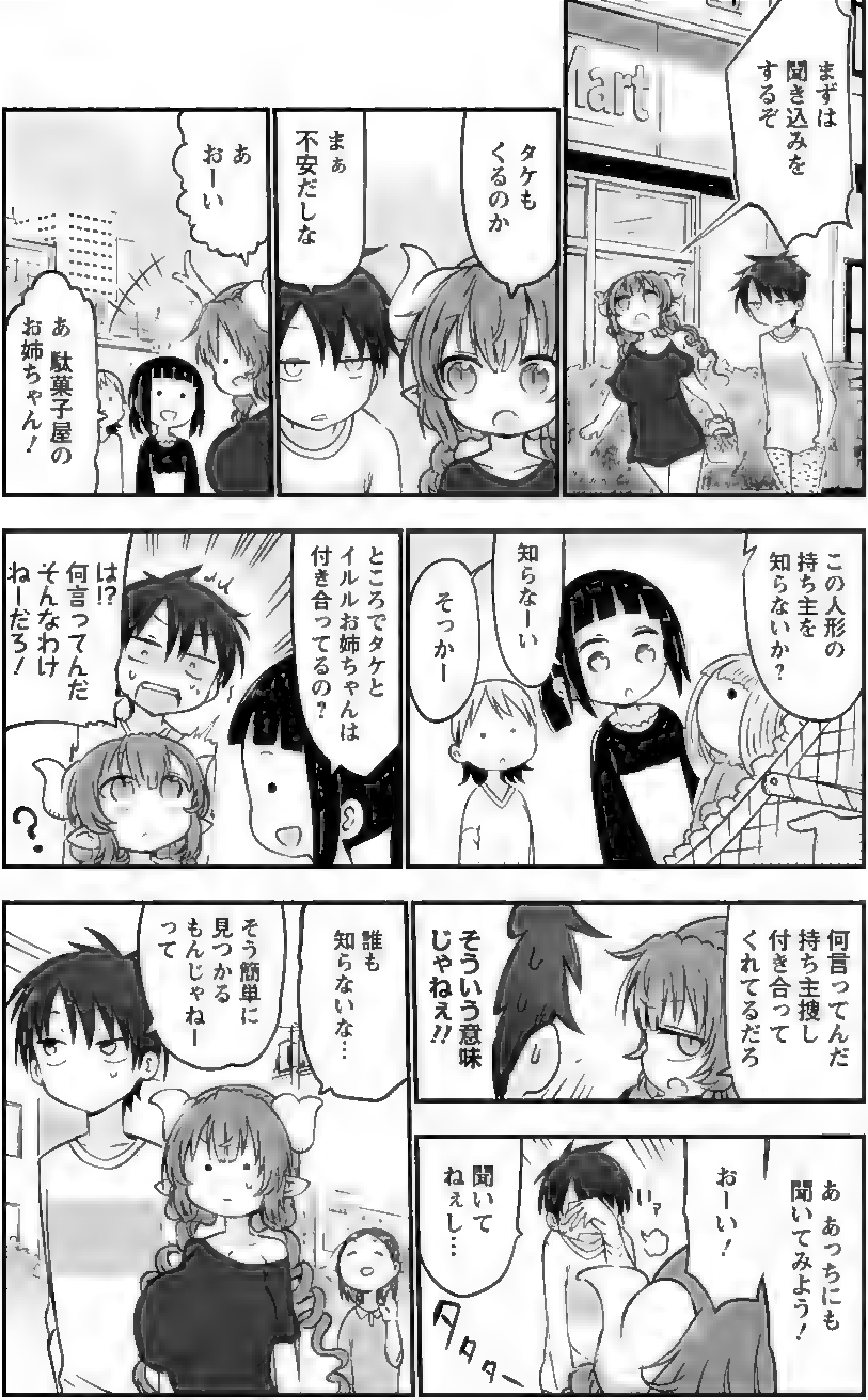

見てましたよ
おぉ…

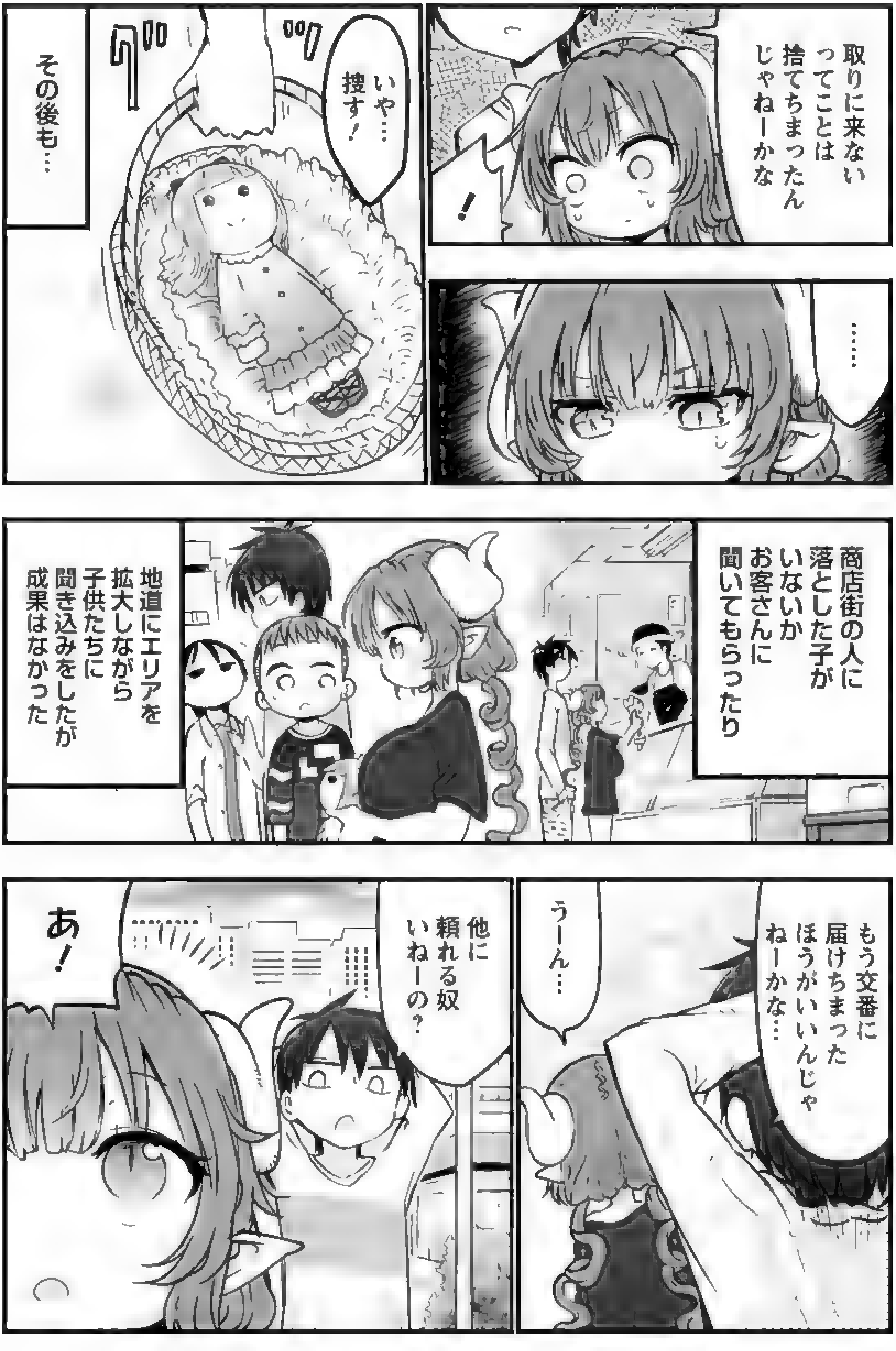
小林さんちのメイドラゴン

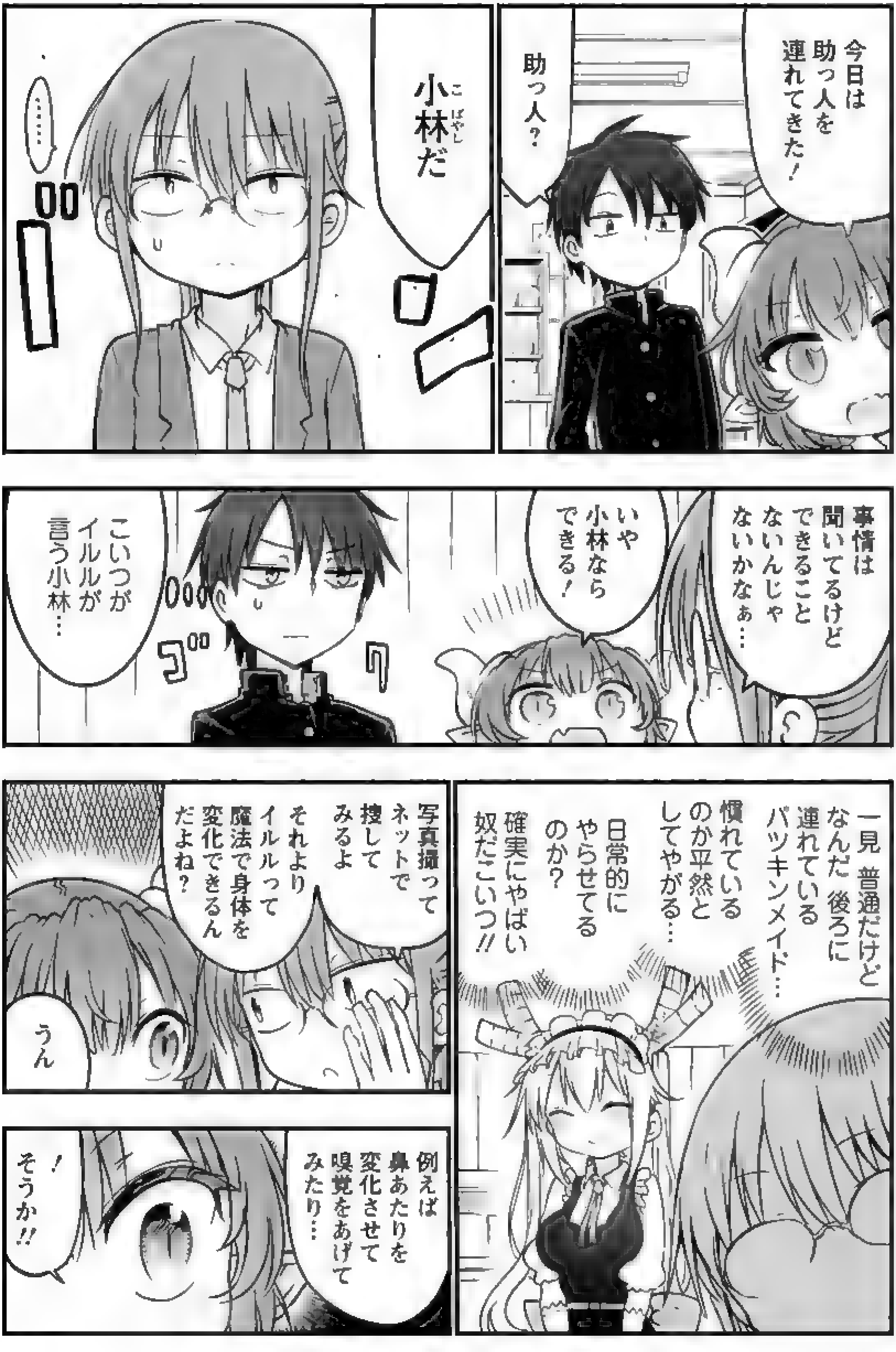
第63話

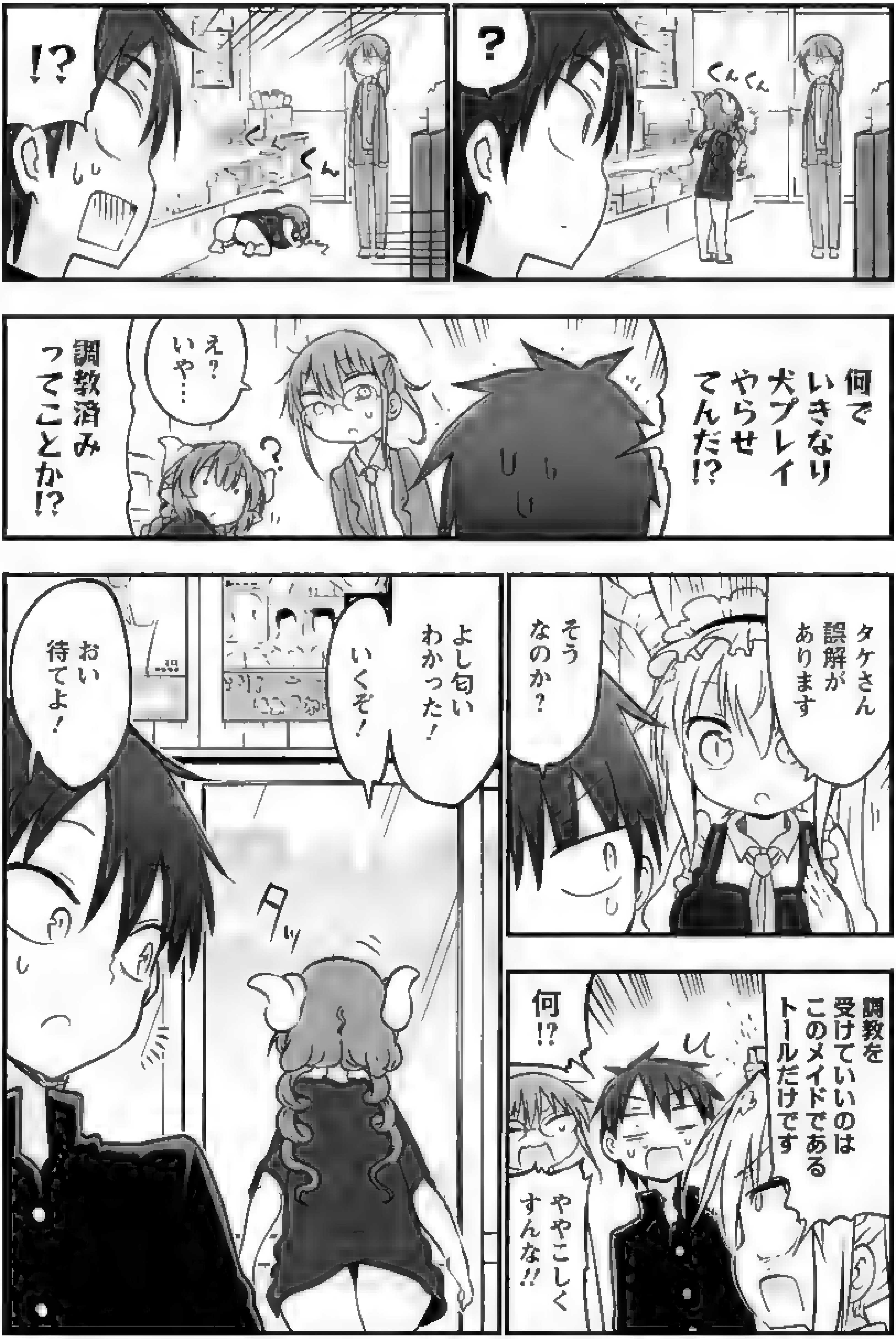

ポ
テ
ン
ん？
落とし物か？
人形だ
よく
できてるな
こりゃ
高いぞ
綺麗だな
……
届けたほうが
いいんじゃ
ないか？
明日になれば
取りに来るん
じゃねぇか？
そうか…
三日後
おぼろ商店
取りに
来ないな
捜しに
行くぞ！

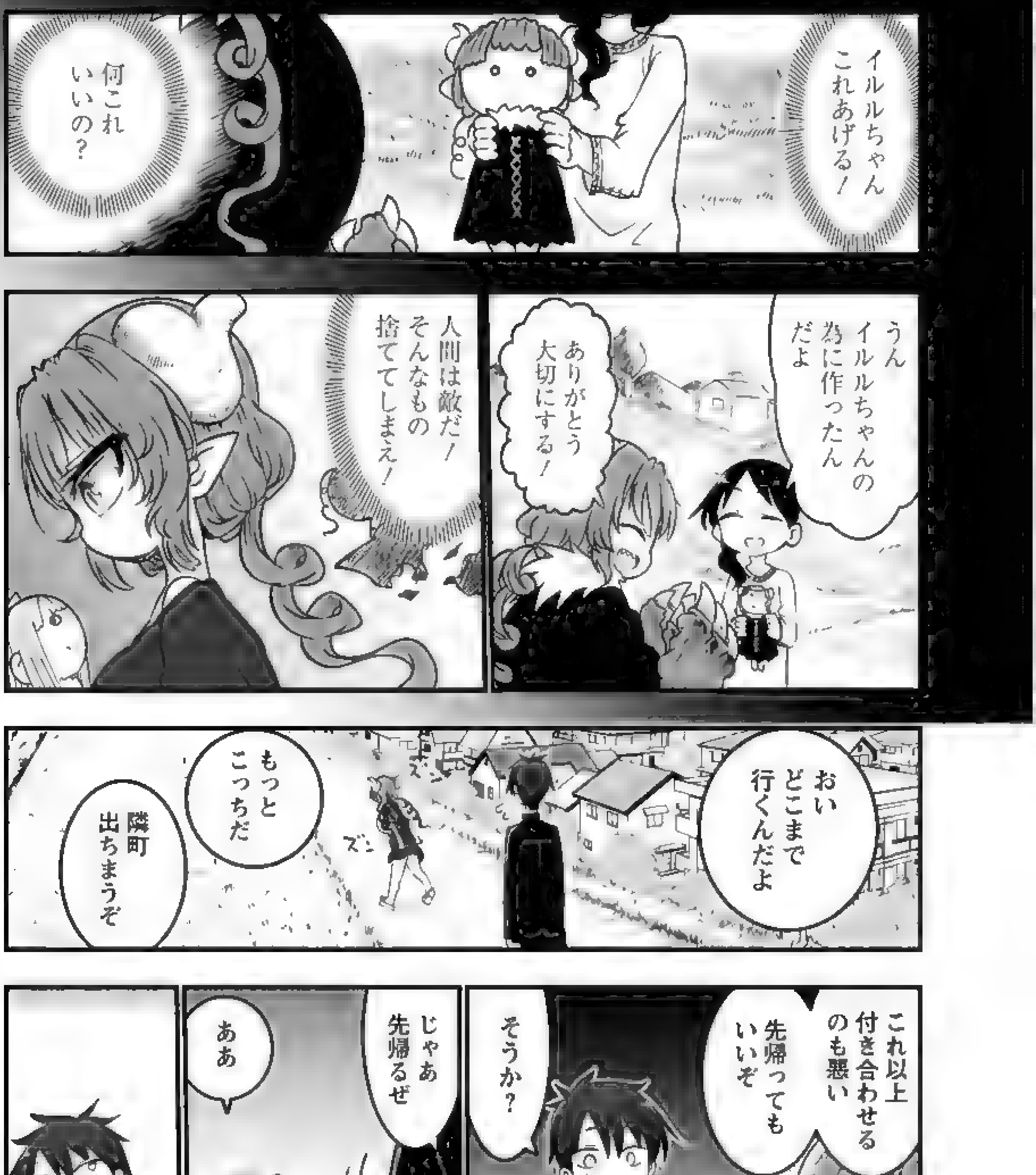
第63話 イルルと人形

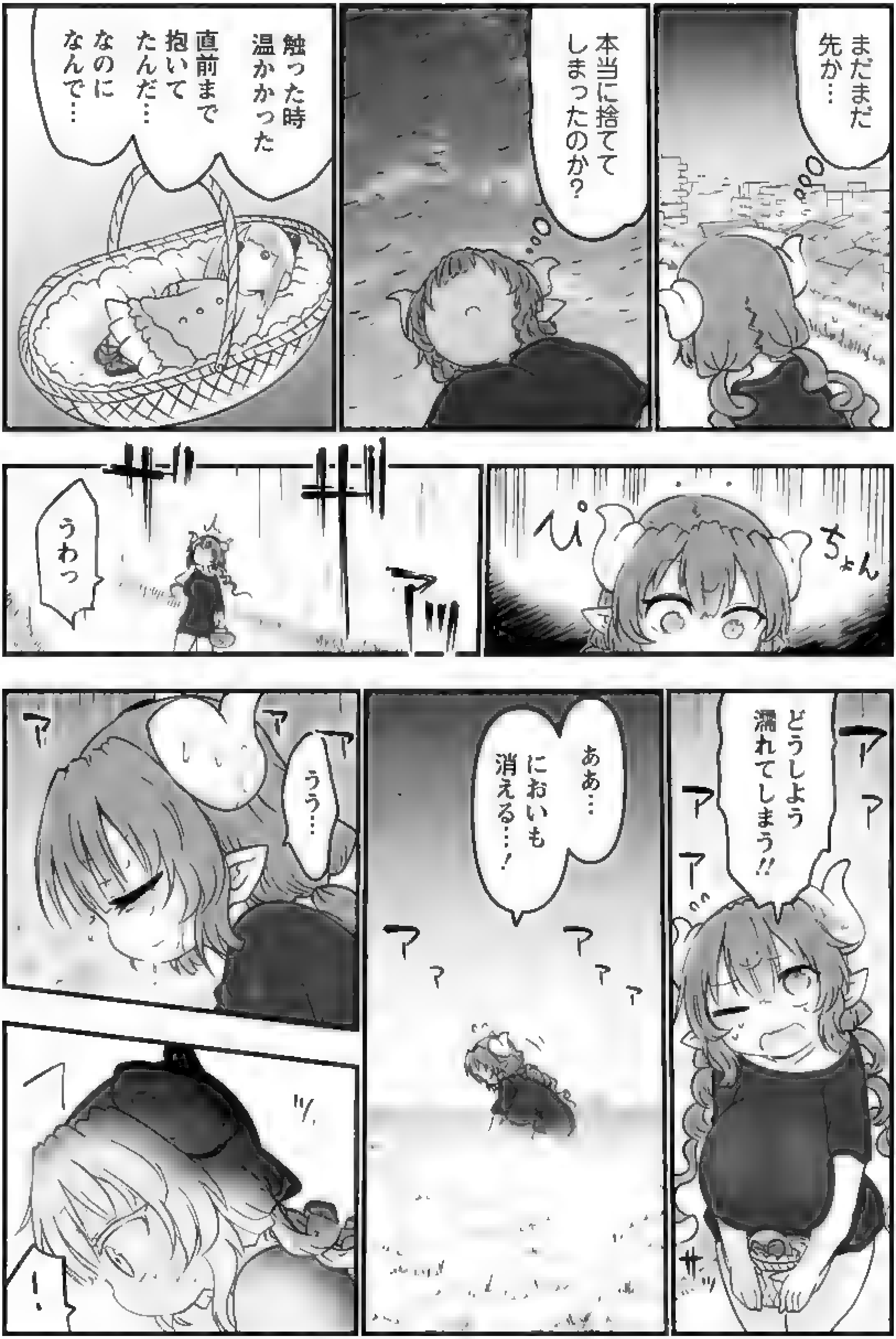

mart
まずは聞き込みをするぞ
タケもくるのか
まぁ不安だしな
あおーい
あ駄菓子屋のお姉ちゃん！
この人形の持ち主を知らないか？
知らなーい
そっかー
ところでタケとイルルお姉ちゃんは付き合ってるの？
は⁉ 何言ってんだそんなわけねーだろ！
？
何言ってんだ持ち主捜し付き合ってくれてるだろ
そういう意味じゃねえ‼
誰も知らないな…
そう簡単に見つかるもんじゃねーって
あぁあっちにも聞いてみよう！
おーい！
聞いてねぇし…
タタタ—

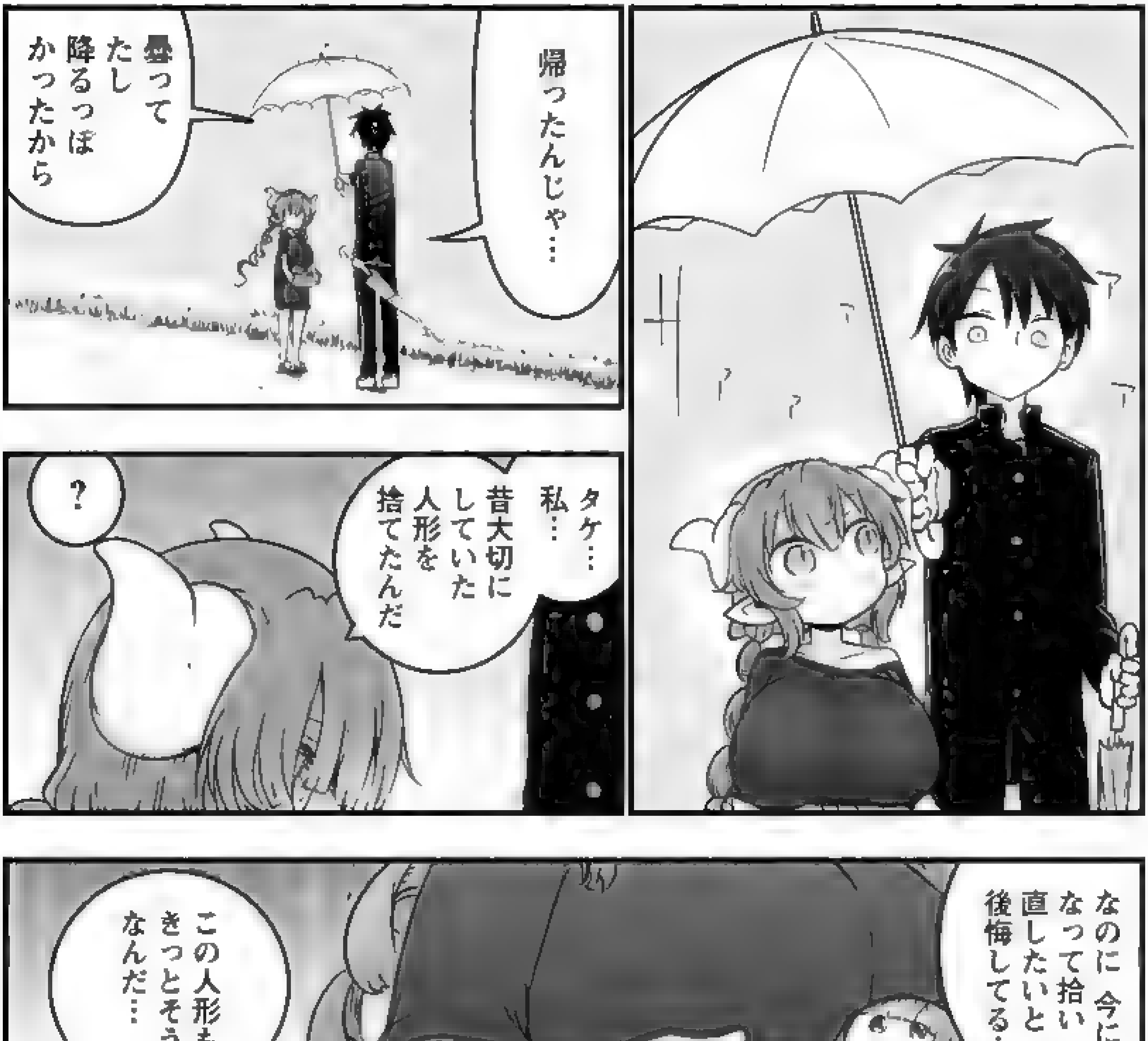

取りに来ないってことは捨てちまったんじゃねーかな
!
……
いや…捜す！
その後も…
商店街の人に落とした子がいないかお客さんに聞いてもらったり
地道にエリアを拡大しながら子供たちに聞き込みをしたが成果はなかった
もう交番に届けちまったほうがいいんじゃねーかな…
うーん…
他に頼れる奴いねーの？
あ！

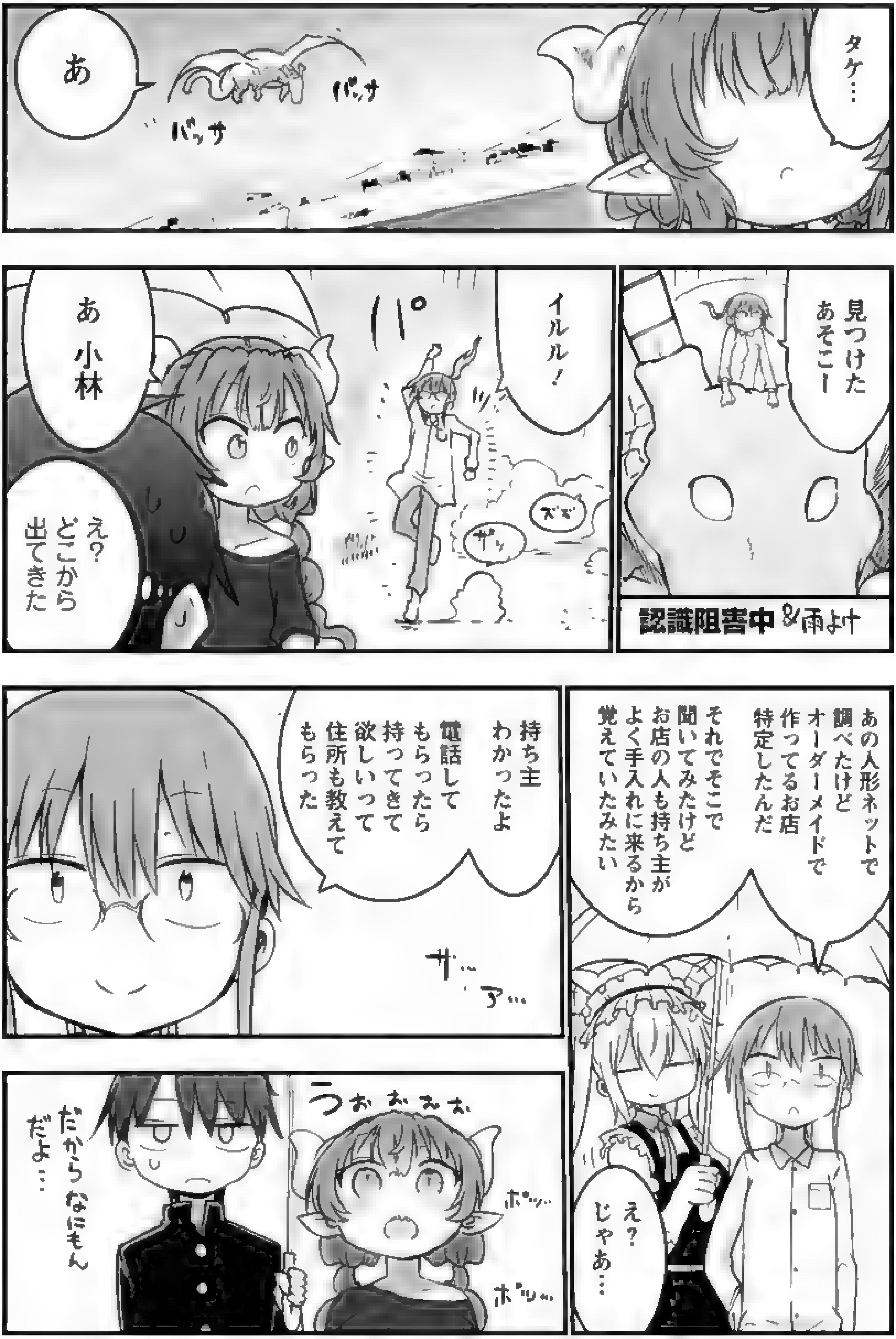

今日は助っ人を連れてきた！
助っ人？
小林（こばやし）だ
……
ゴ
ゴ
事情は聞いてるけどできることないんじゃないかなぁ…
いや小林ならできる！
こいつがイルルが言う小林…
ゴ
ゴ
一見普通だけど なんだ後ろに連れているパツキンメイド…
慣れているのか平然としてやがる…
日常的にやらせてるのか？
確実にやばい奴だこいつ!!
写真撮ってネットで捜してみるよ
それよりイルルって魔法で身体を変化できるんだよね？
うん
例えば鼻あたりを変化させて嗅覚をあげてみたり…
！そうか!!

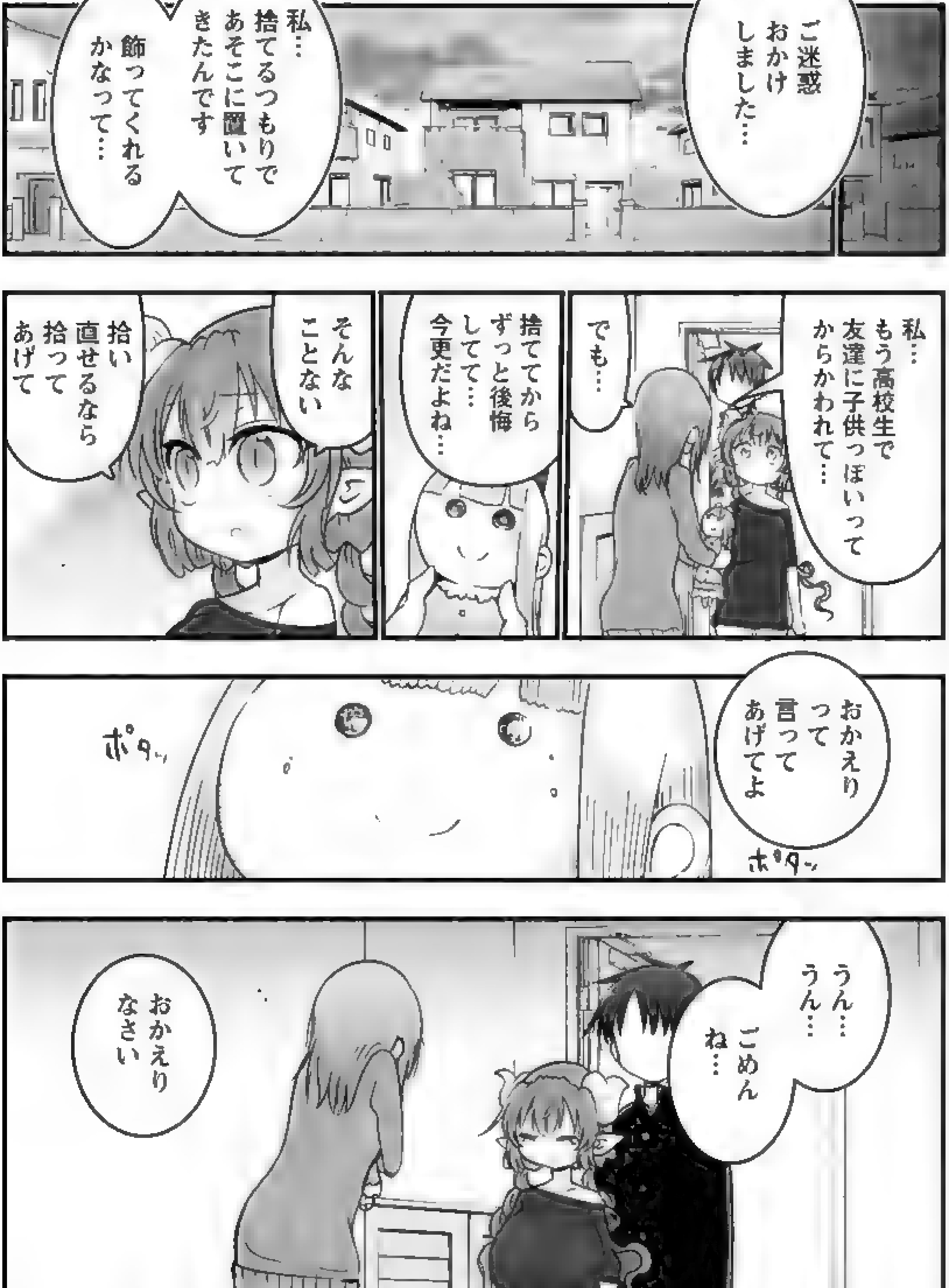

?
くんくん
!?
くんくん
何でいきなり犬プレイやらせてんだ!?
え？いや…
?
調教済みってことか!?
タケさん誤解があります
そうなのか？
調教を受けていいのはこのメイドであるトールだけです
何!?
ややこしくすんな!!
よし匂いわかった！
いくぞ！
タッ
おい待てよ！

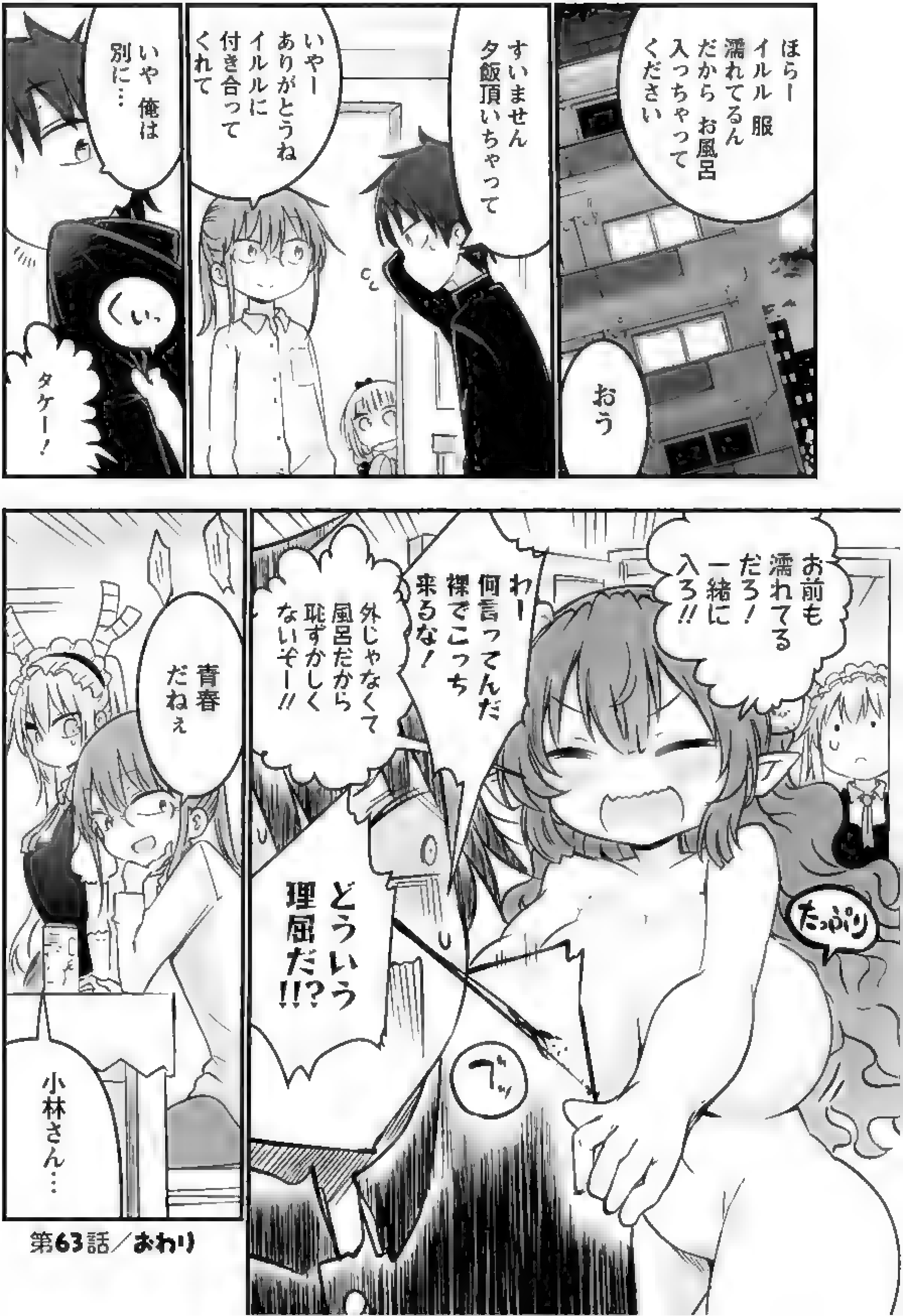

イルルちゃん
これあげる！
何これ
いいの？
うん
イルルちゃんの
為に作ったんだよ
ありがとう
大切にする！
人間は敵だ！
そんなもの
捨ててしまえ！
おい
どこまで
行くんだよ
ズン
もっと
こっちだ
隣町
出ちまうぞ
これ以上
付き合わせるのも悪い
先帰っても
いいぞ
そうか？
じゃあ
先帰るぜ
ザッ
ああ


まだまだ先か…
本当に捨ててしまったのか？
触った時温かかった直前まで抱いてたんだ…なのになんで…
ぴ
ちょん
ザーッ
ザーッ
アッ
うわっ
ア
ア
ア
どうしよう濡れてしまう!!
ア
ア
ア
ああ…においも消える…！
ア
ア
ア
うう…
!


帰ったんじゃ…
曇ってたし降るっぽかったから
タケ…私…昔大切にしていた人形を捨てたんだ
？
なのに今になって拾い直したいと後悔してる…
この人形もきっとそうなんだ…
ポ
なら…ちゃんと捜してやんねぇとな


タケ…
バッサ
バッサ
あ
見つけた
あそこー
認識阻害中&雨よけ
イルル！
パ
ズズ
ザッ
あ
小林
え？
どこから
出てきた
あの人形ネットで
調べたけど
オーダーメイドで
作ってるお店
特定したんだ
それでそこで
聞いてみたけど
お店の人も持ち主が
よく手入れに来るから
覚えていたみたい
え？
じゃあ…
持ち主
わかったよ
電話して
もらったら
持ってきて
欲しいって
住所も教えて
もらった
ザー…
ア…
うおおおお
ボッ…
ボッ…
だからなにもん
だよ…

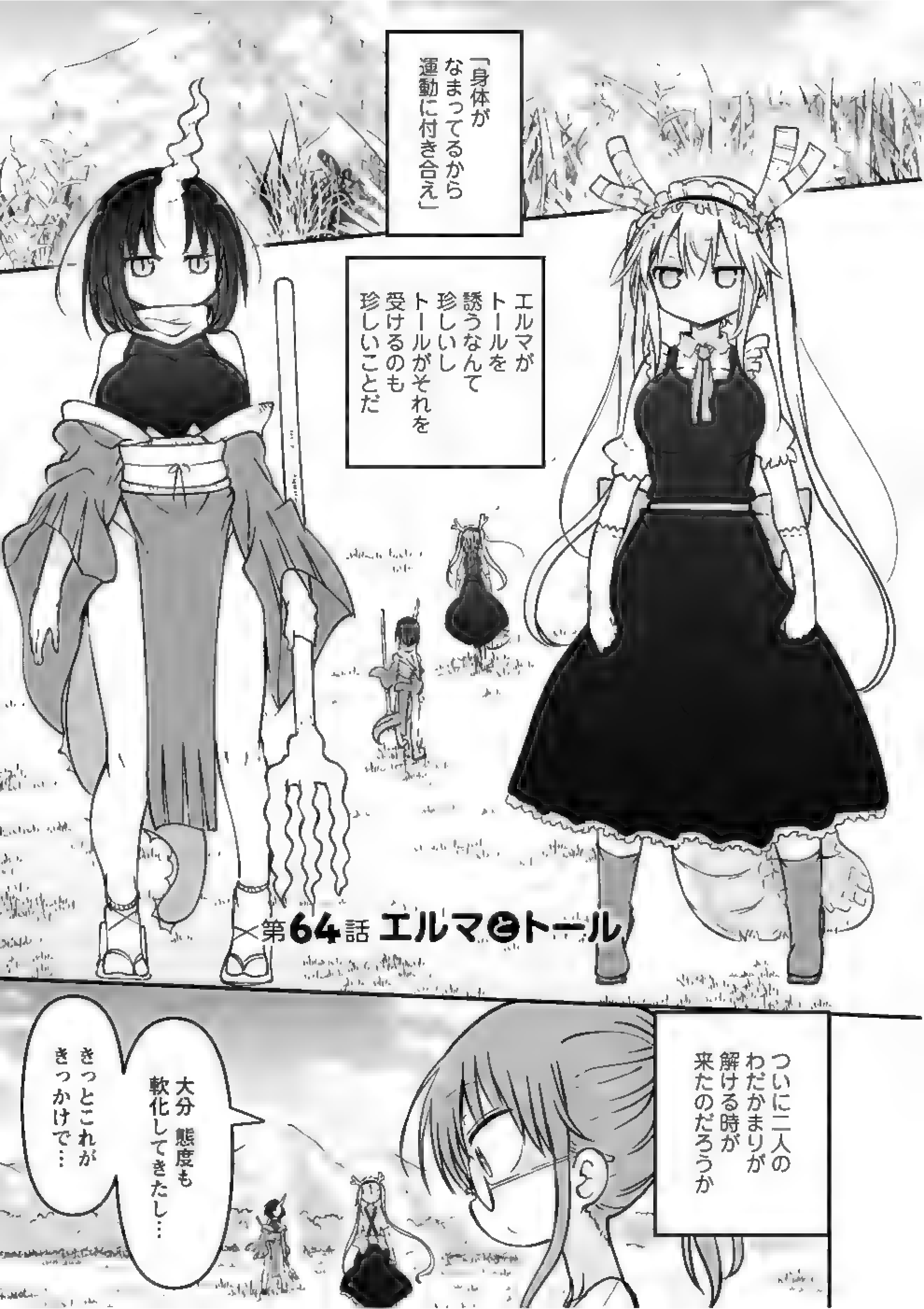

ご迷惑おかけしました…
私…捨てるつもりであそこに置いてきたんです
飾ってくれるかなって…
私…もう高校生で友達に子供っぽいってからかわれて…
でも…
捨ててからずっと後悔してて…今更だよね…
そんなことない
拾い直せるなら拾ってあげて
おかえりって言ってあげてよ
ポタッ
ポタッ
うん…うん…
ごめんね…
おかえりなさい

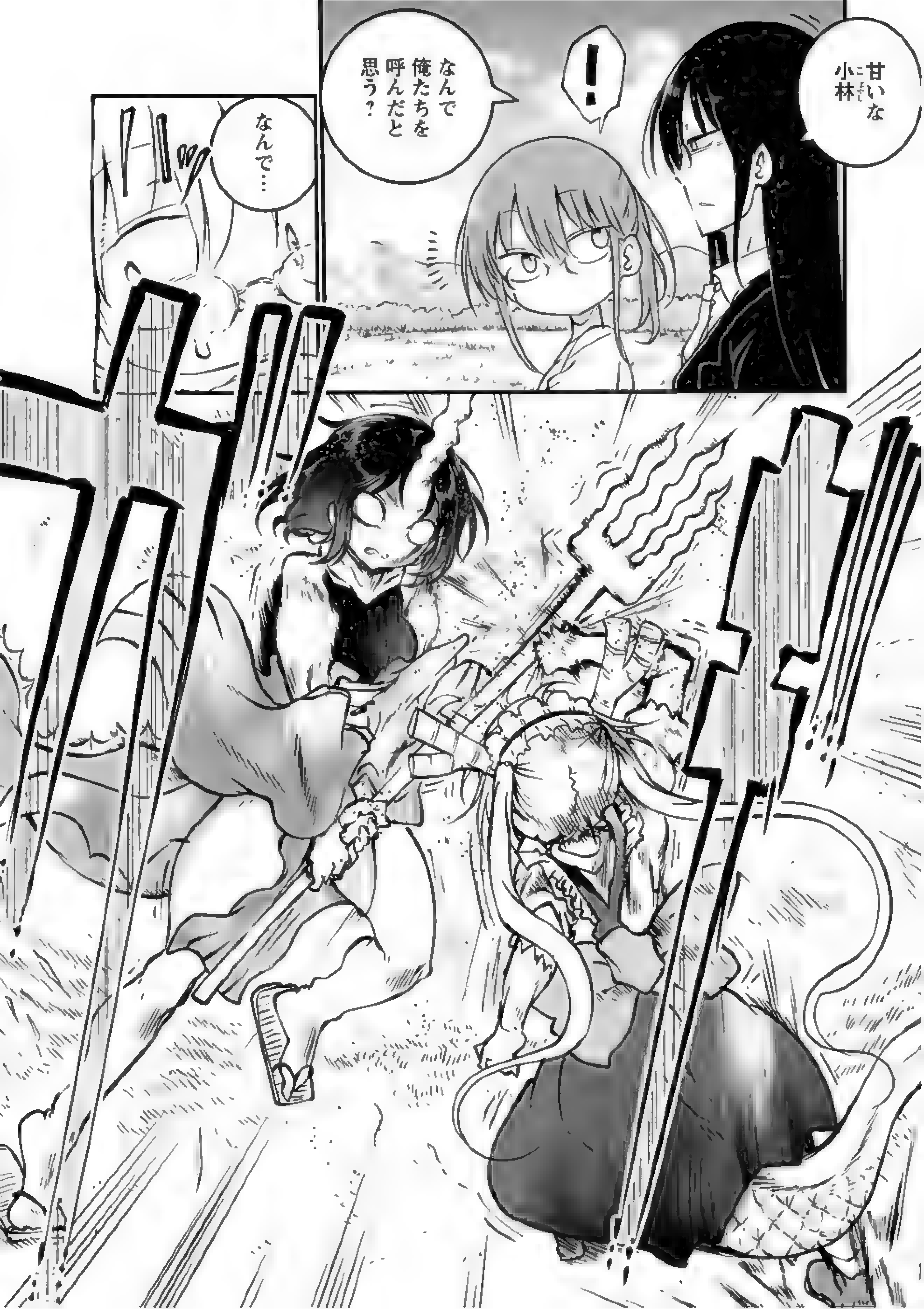

ほらー イルル 服 濡れてるん だから お風呂 入っちゃって ください
おう
すいません 夕飯頂いちゃって
いやー ありがとうね イルルに 付き合って くれて
いや 俺は 別に…
くいっ
タケー！
お前も 濡れてる だろ！ 一緒に 入ろ!!
わー 何言ってんだ 裸でこっち 来るな！
外じゃなくて 風呂だから 恥ずかしく ないぞー!!
どういう 理屈だ!!?
たっぷり
ブッ
青春 だねぇ
小林さん…

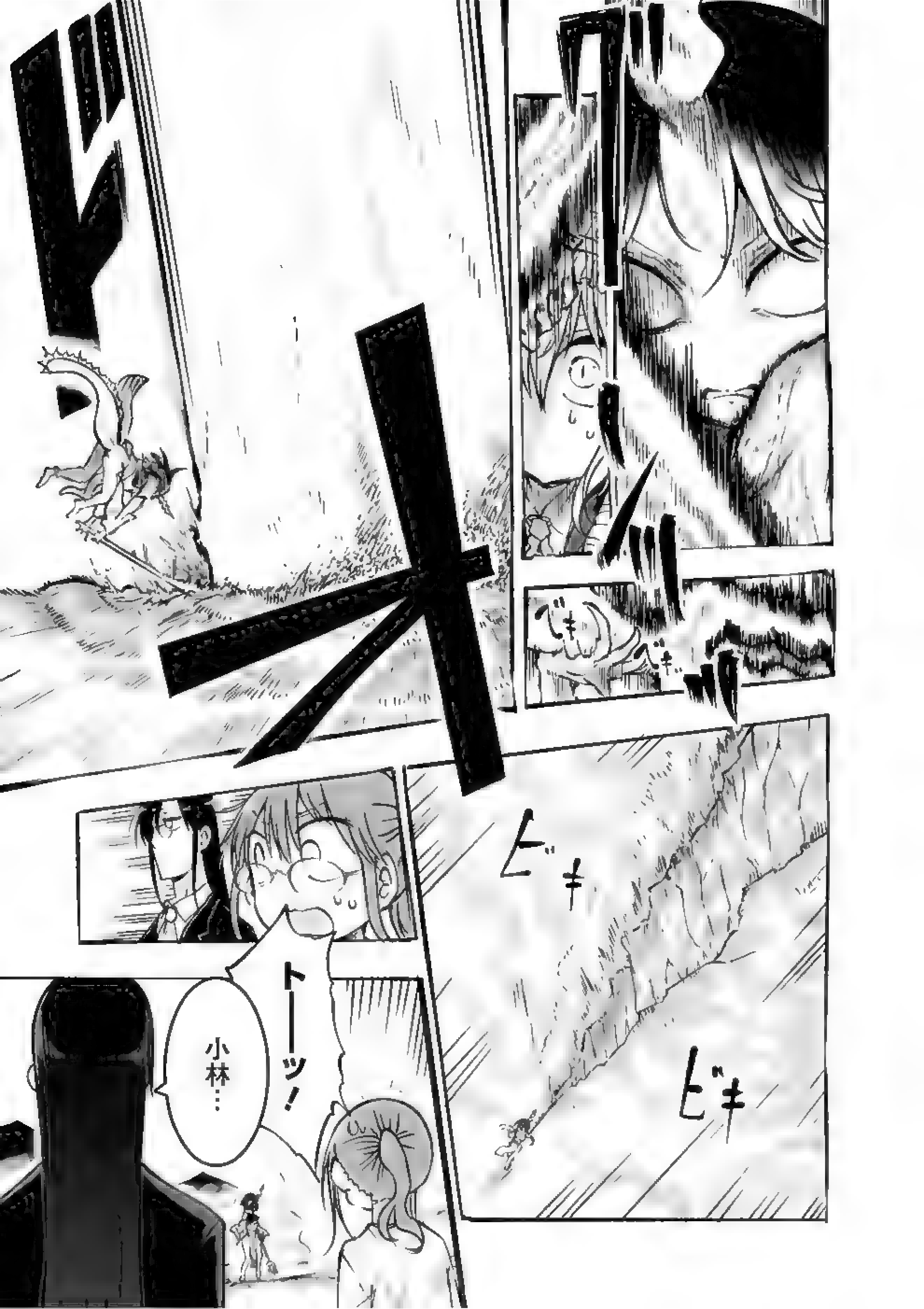
第63話／おわり

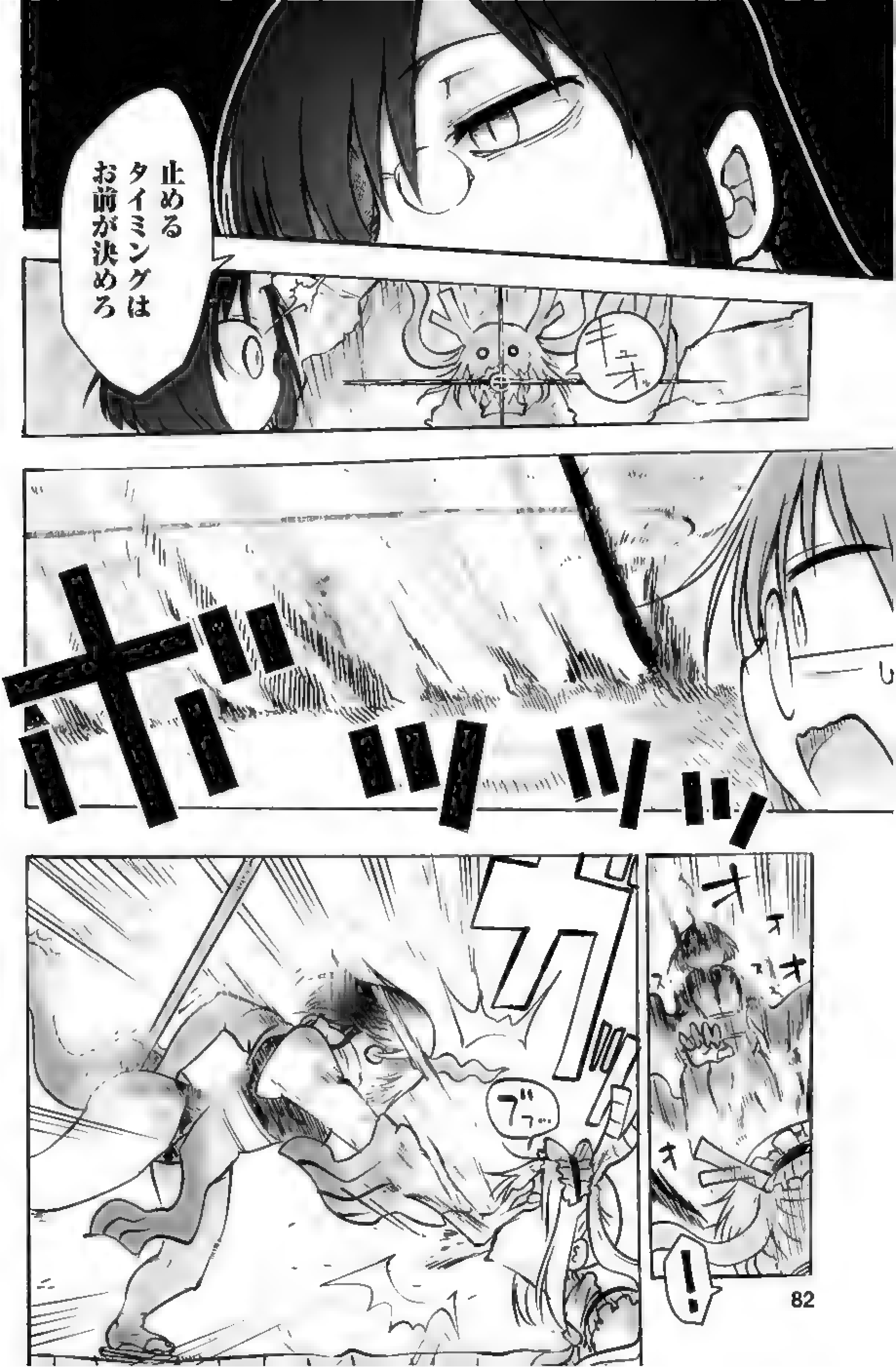
♪
カポ
ーン
たぽっ

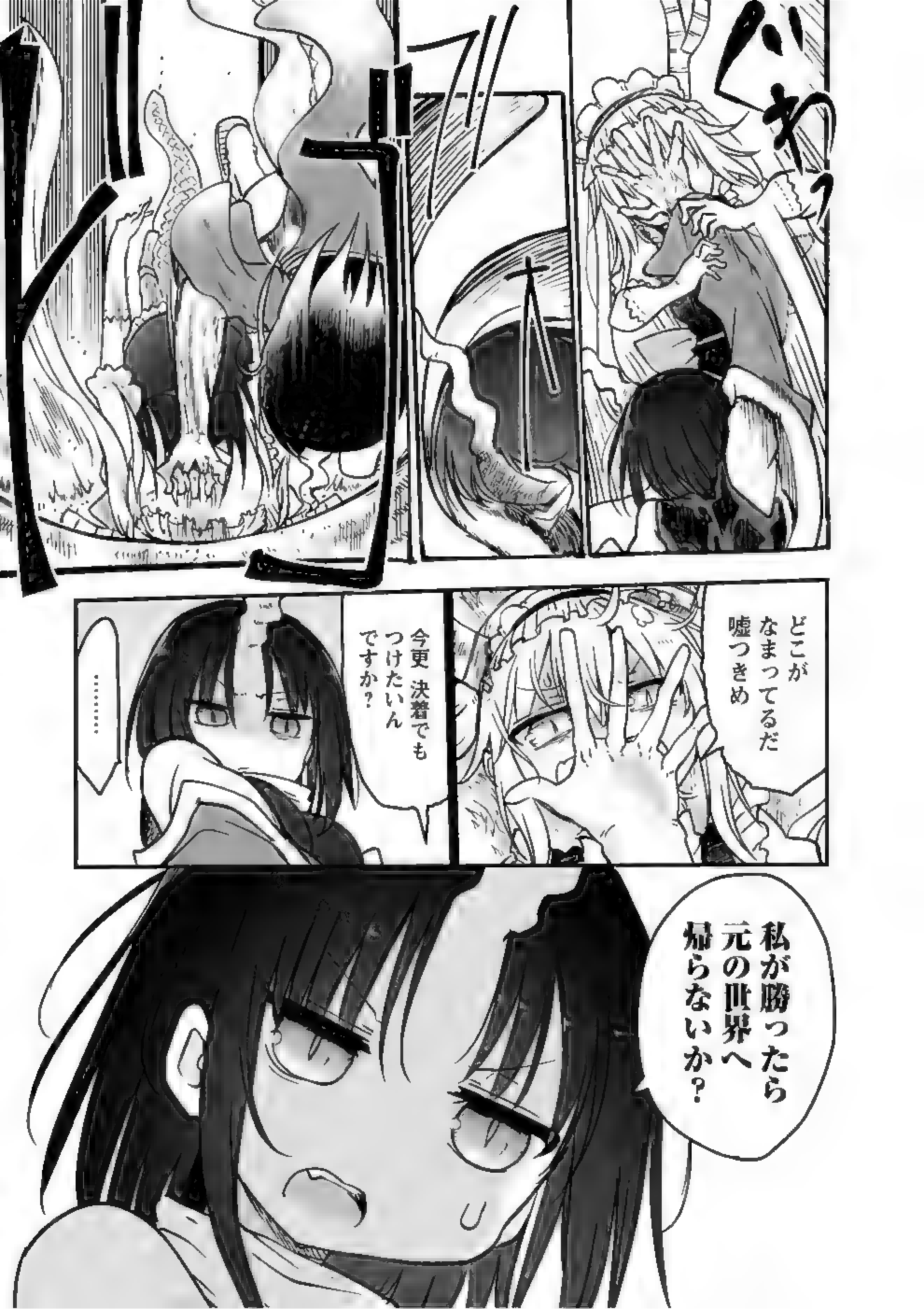
第64話 エルマとトール

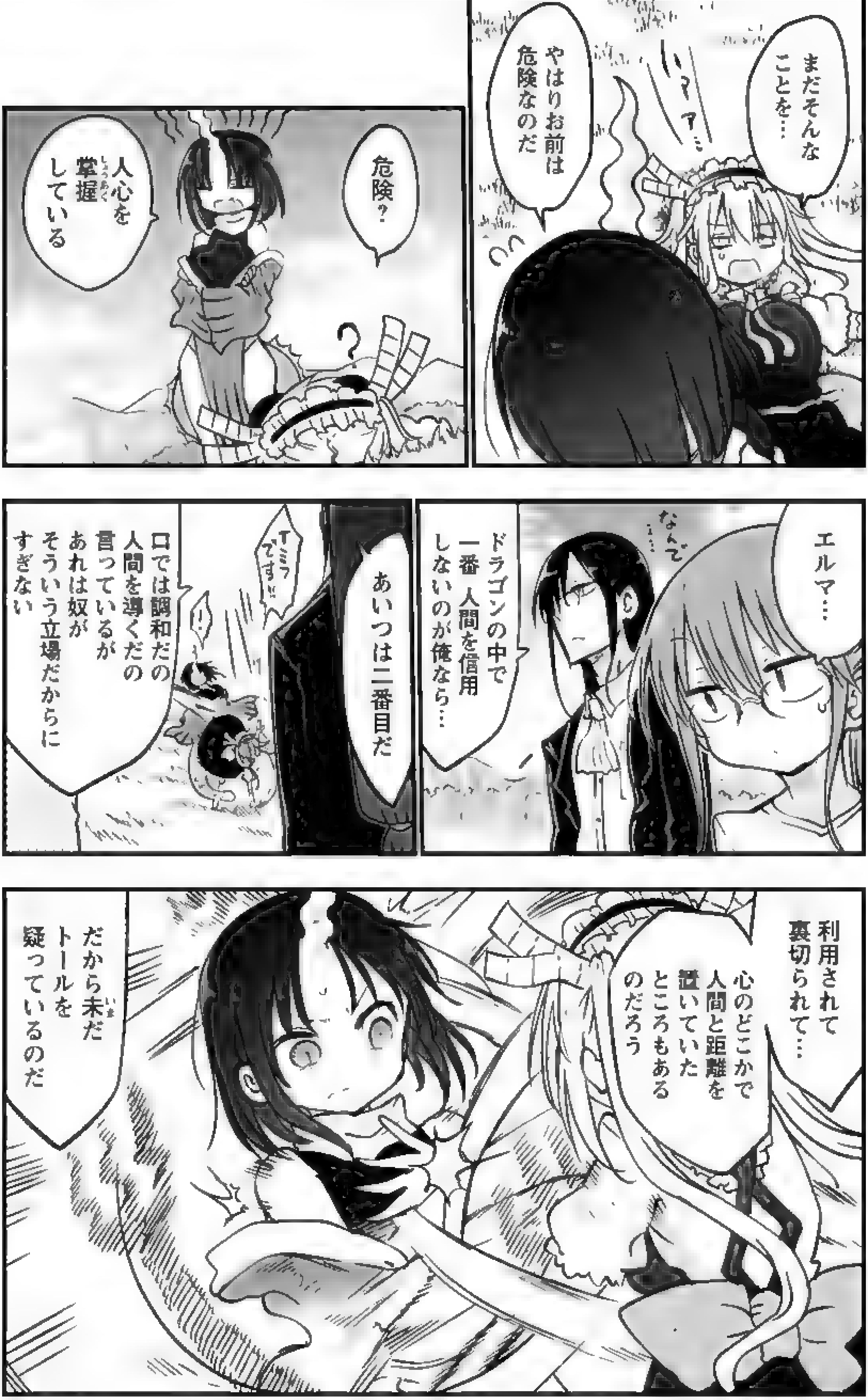

「身体が
なまってるから
運動に付き合え」
エルマが
トールを
誘うなんて
珍しいし
トールがそれを
受けるのも
珍しいことだ
ついに二人の
わだかまりが
解ける時が
来たのだろうか
大分 態度も
軟化してきたし…
きっとこれが
きっかけで…

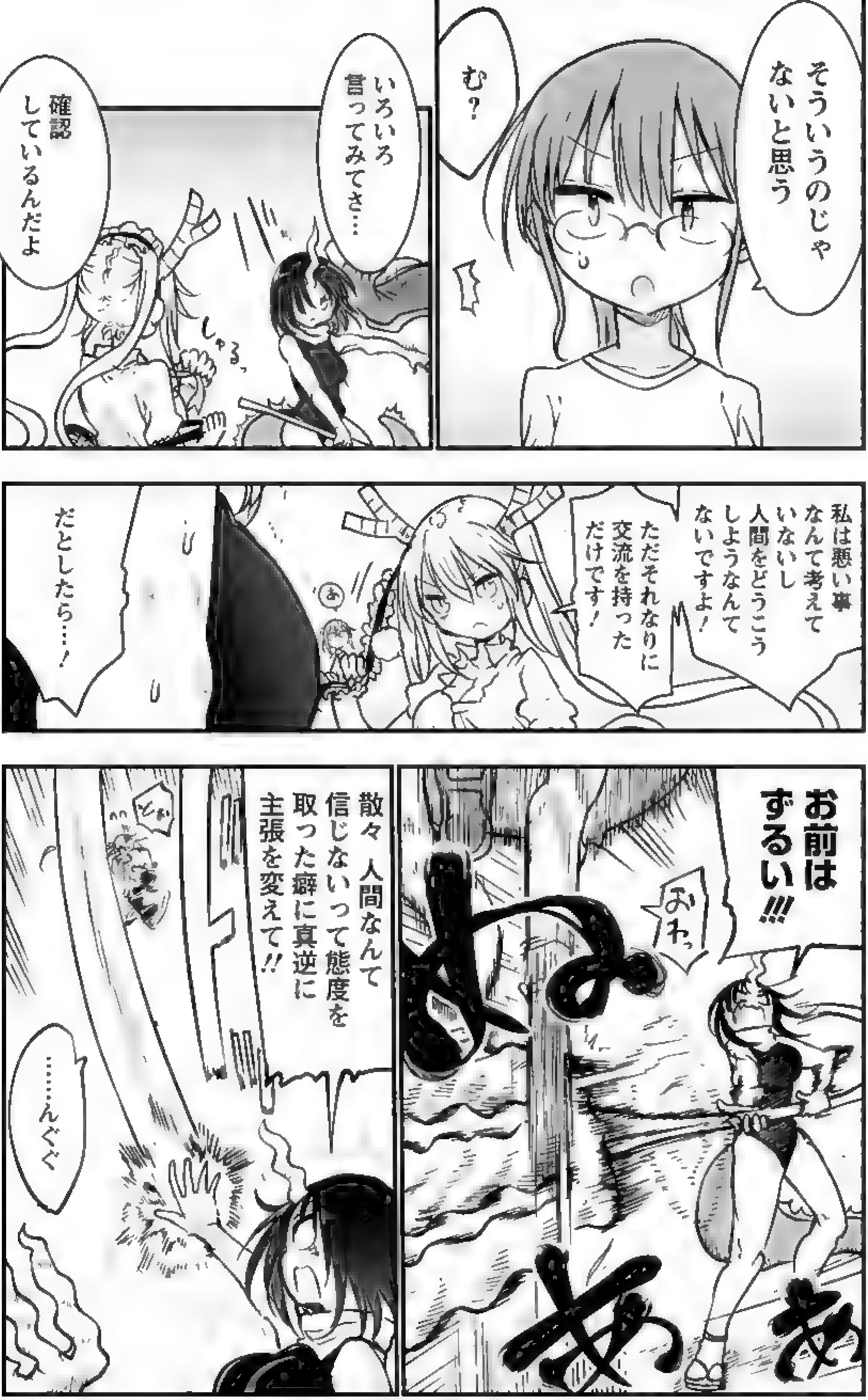

甘いな
小林
！
なんで
俺たちを
呼んだと
思う？
なんで…

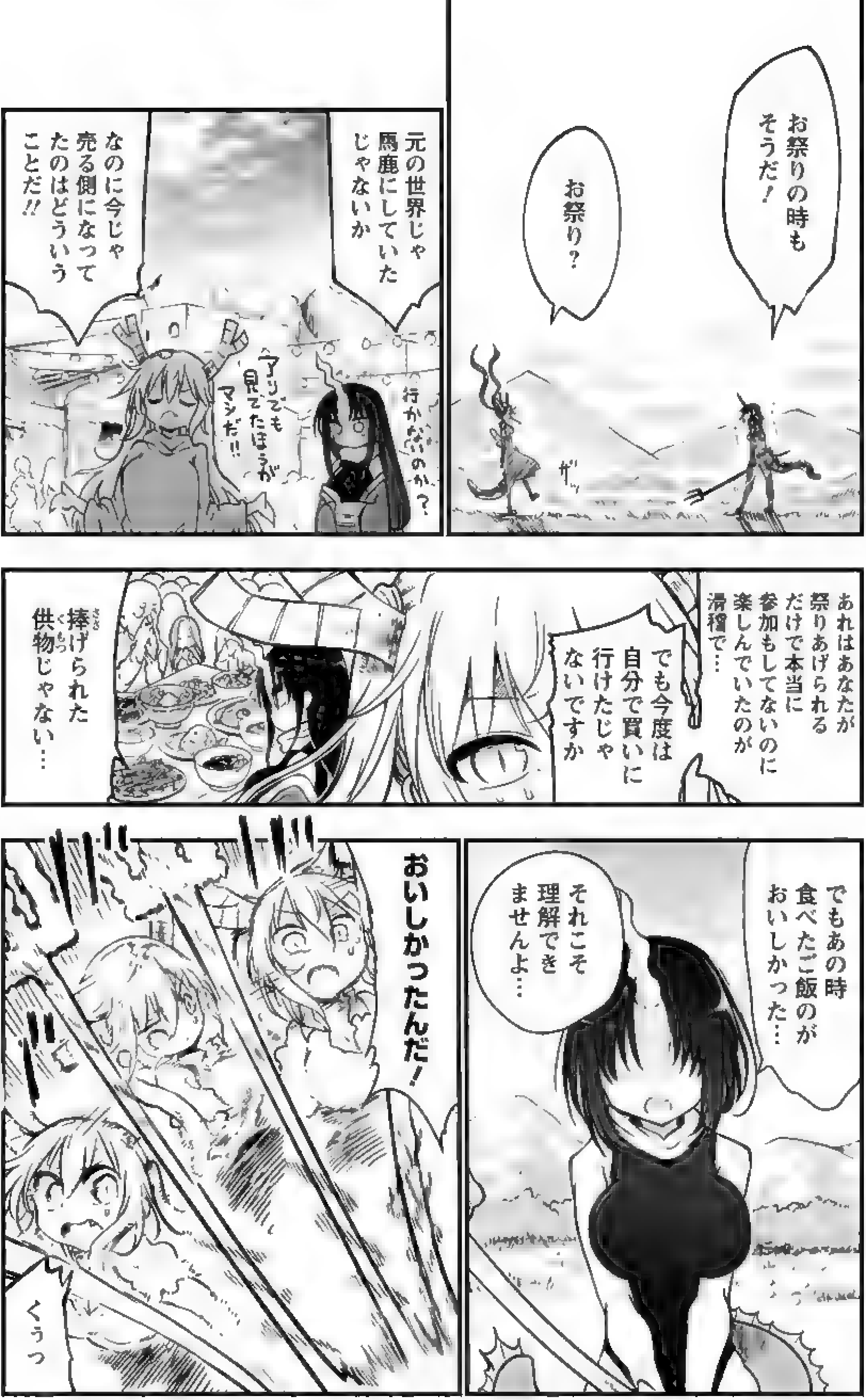

ブツッ
ビキ
ビキ…
ドオ
ビキ
ビキ
トーッ!
小林…

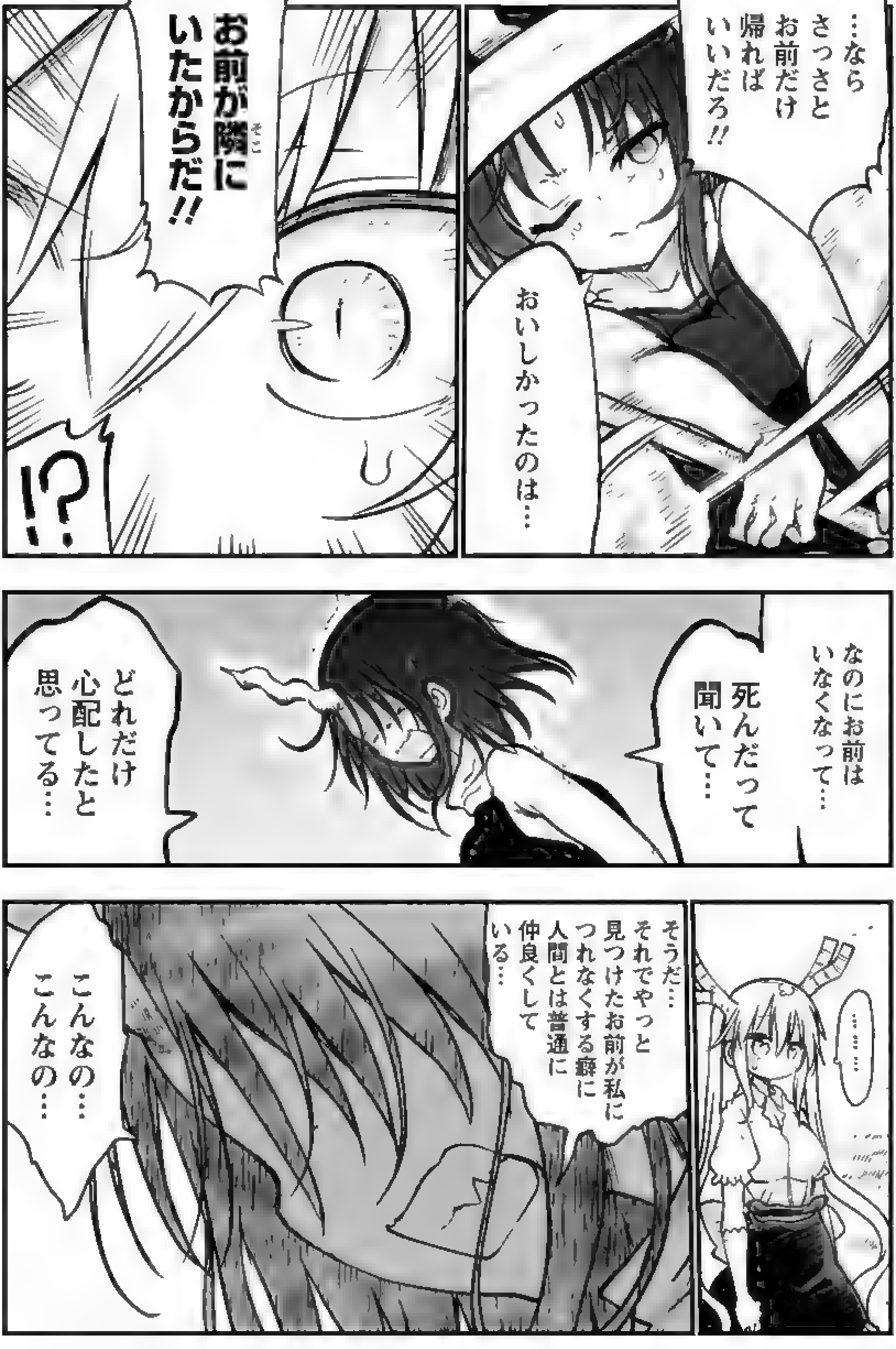

止める
タイミングは
お前が決めろ
キュオ
ボッッッッ
ガッ
オ
ォ
ズズ
オ
オ
ブフ…
！

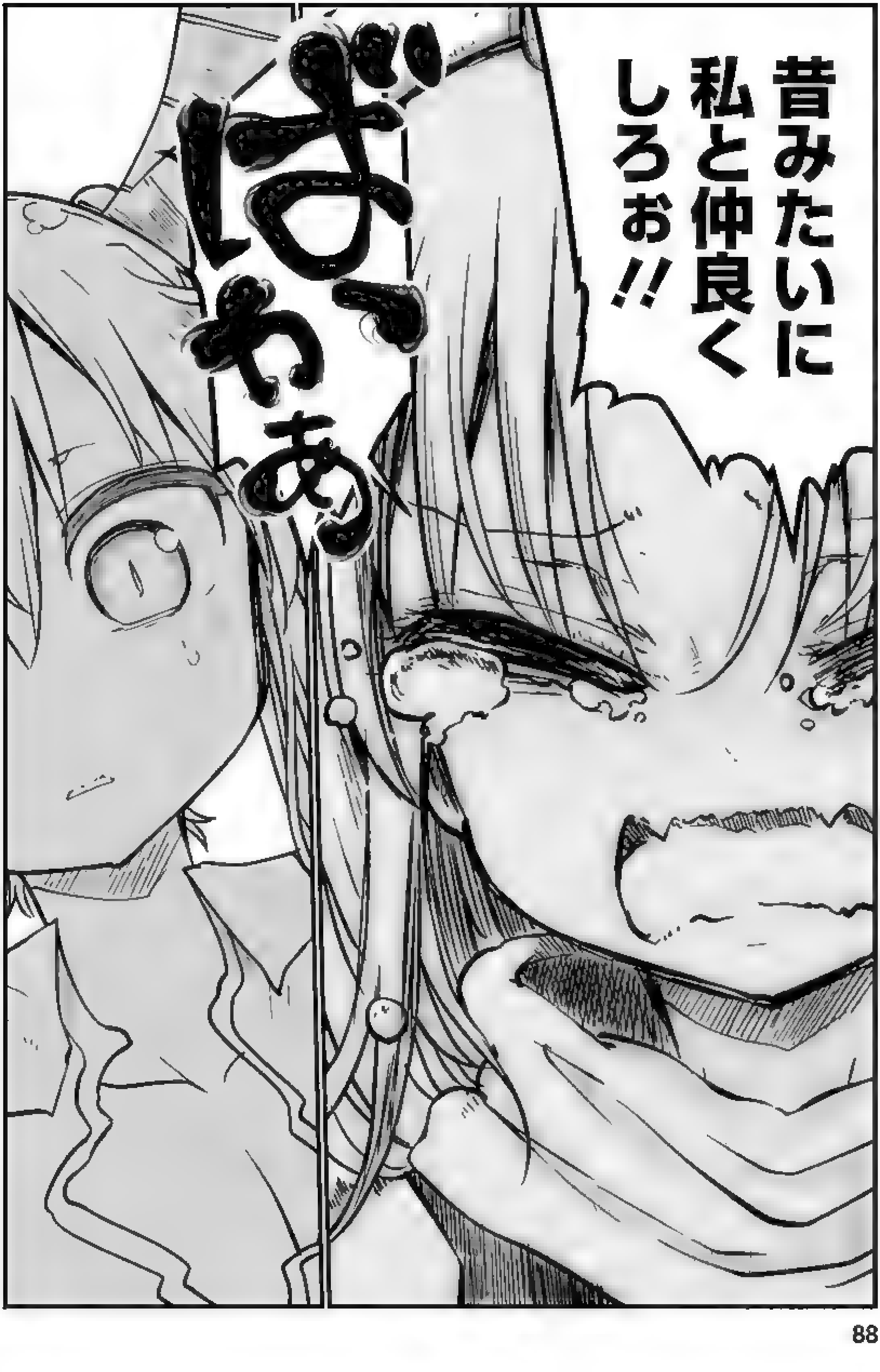

ぐわっ
ゴッ
どこが
なまってるだ
嘘つきめ
今更 決着でも
つけたいん
ですか？
……
私が勝ったら
元の世界へ
帰らないか？

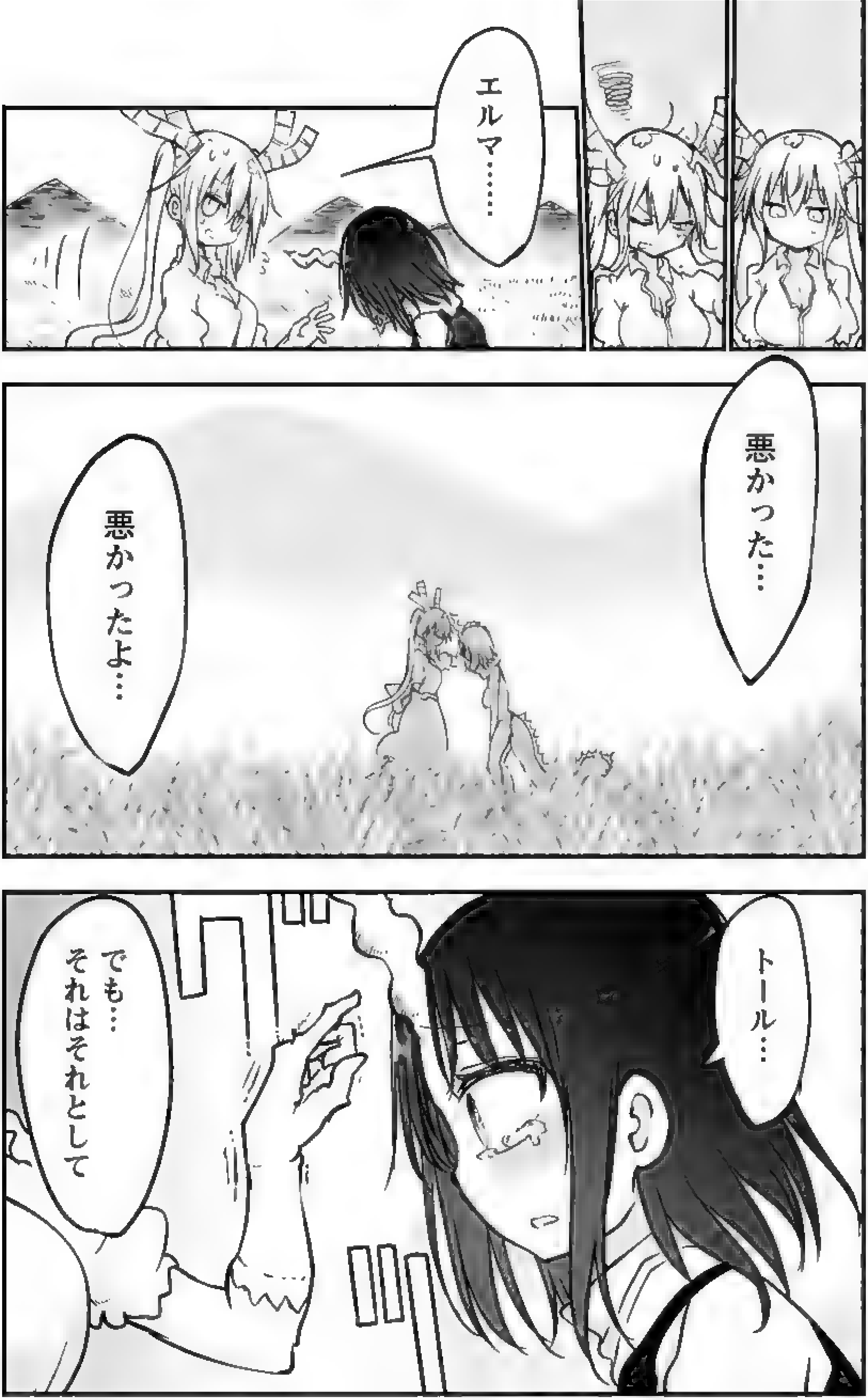

まだそんなことを…
いアア…
やはりお前は危険なのだ
危険？
人心を掌握（しょうあく）している
?
エルマ…
なんで…
ドラゴンの中で一番 人間を信用しないのが俺なら…
あいつは二番目だ
イミフです!!
!
口では調和だの人間を導くだの言っているがあれは奴がそういう立場だからにすぎない
利用されて裏切られて…
心のどこかで人間と距離を置いていたところもあるのだろう
だから未（いま）だトールを疑っているのだ

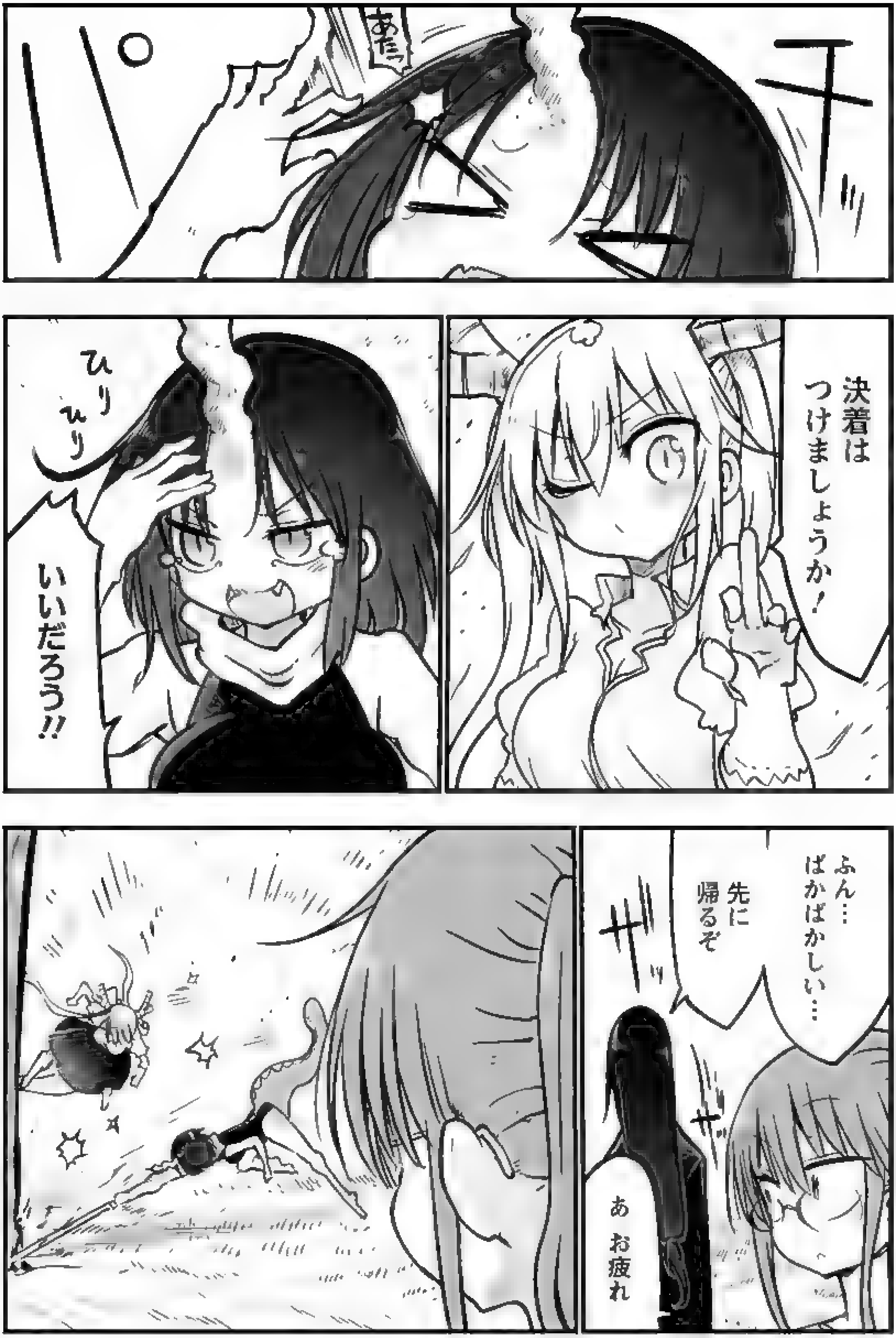

そういうのじゃ ないと思う
む？
いろいろ 言ってみてさ…
確認 しているんだよ
しゃるっ
私は悪い事 なんて考えて いないし 人間をどうこう しようなんて ないですよ！
ただそれなりに 交流を持った だけです！
あ
だとしたら…！
お前は ずるい!!!
おわっ
散々 人間なんて 信じないって態度を 取った癖に真逆に 主張を変えて!!
……んぐぐ

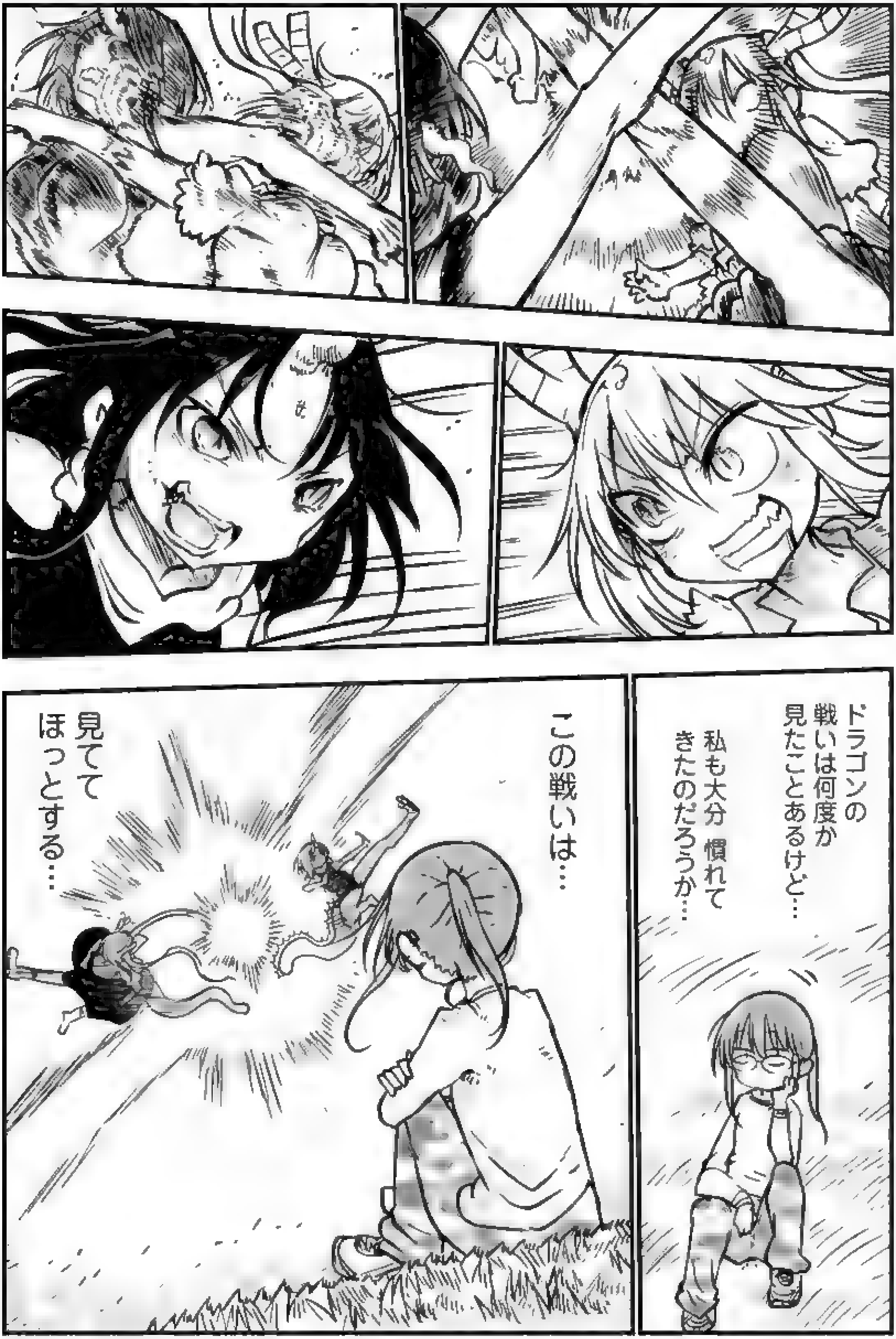

お祭りの時もそうだ！
お祭り？
ザッ
元の世界じゃ馬鹿にしていたじゃないか
なのに今じゃ売る側になってたのはどういうことだ!!
行かないのか？
アリでも見てたほうがマシだ!!
あれはあなたが祭りあげられるだけで本当に参加もしてないのに楽しんでいたのが滑稽で…
でも今度は自分で買いに行けたじゃないですか
捧げられた供物じゃない…
でもあの時食べたご飯のがおいしかった…
それこそ理解できませんよ…
おいしかったんだ！
くうっ

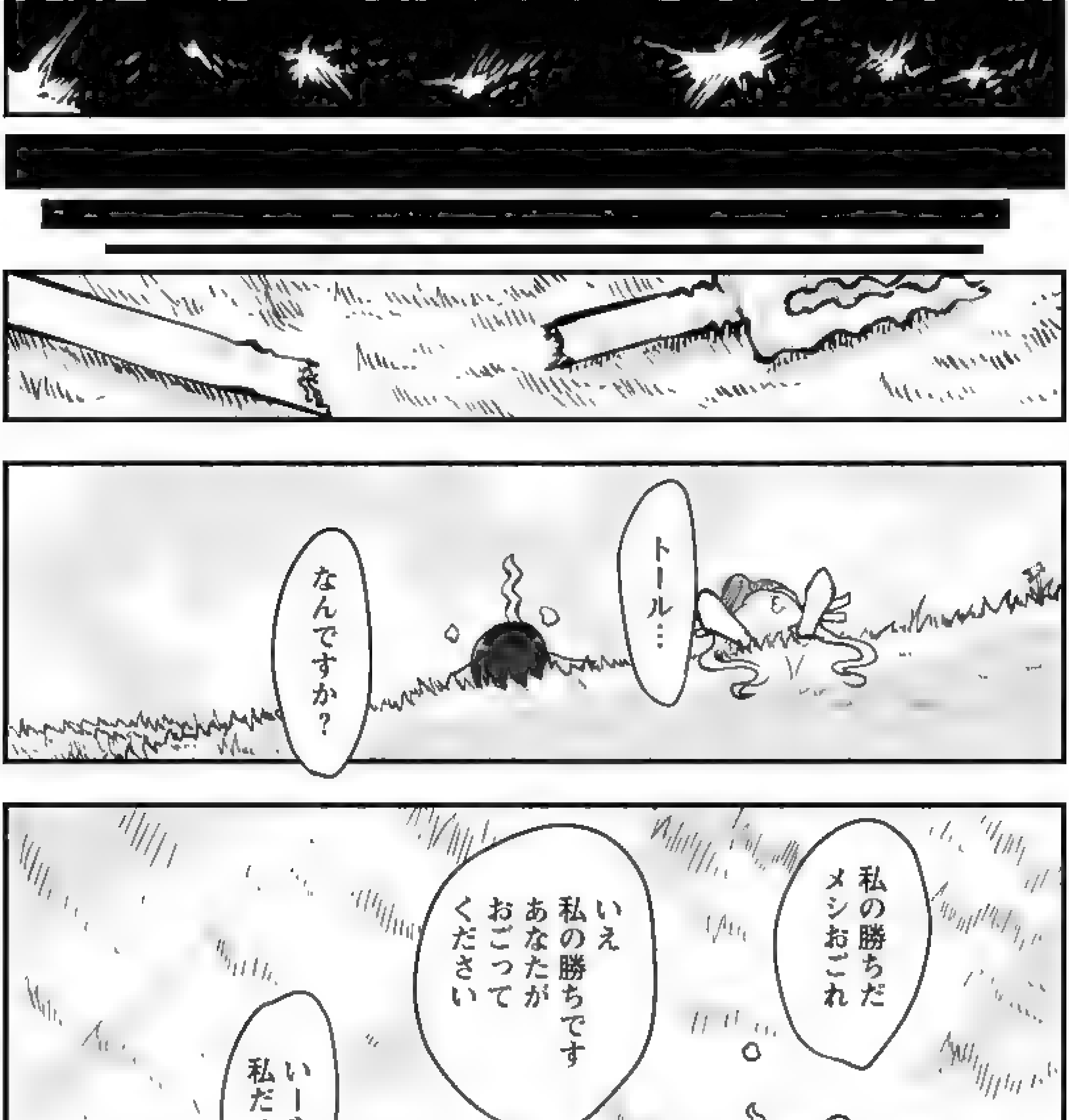

…なら さっさと お前だけ 帰れば いいだろ!!
おいしかったのは…
お前が隣に（そこ）いたからだ!!
!?
なのにお前は いなくなって… 死んだって 聞いて…
どれだけ 心配したと 思ってる…
……
そうだ… それでやっと 見つけたお前が私に つれなくする癖に 人間とは普通に 仲良くして いる…
こんなの… こんなの…


昔みたいに
私と仲良く
しろぉ!!
ぶゎぁ


エルマ……
悪かった…
悪かったよ…
トール…
でも…
それはそれとして


キ
あたっ
パ
決着はつけましょうか！
ひりひり
いいだろう!!
ふん…
ばかばかしい…
先に帰るぞ
ザ
ザ
あ お疲れ

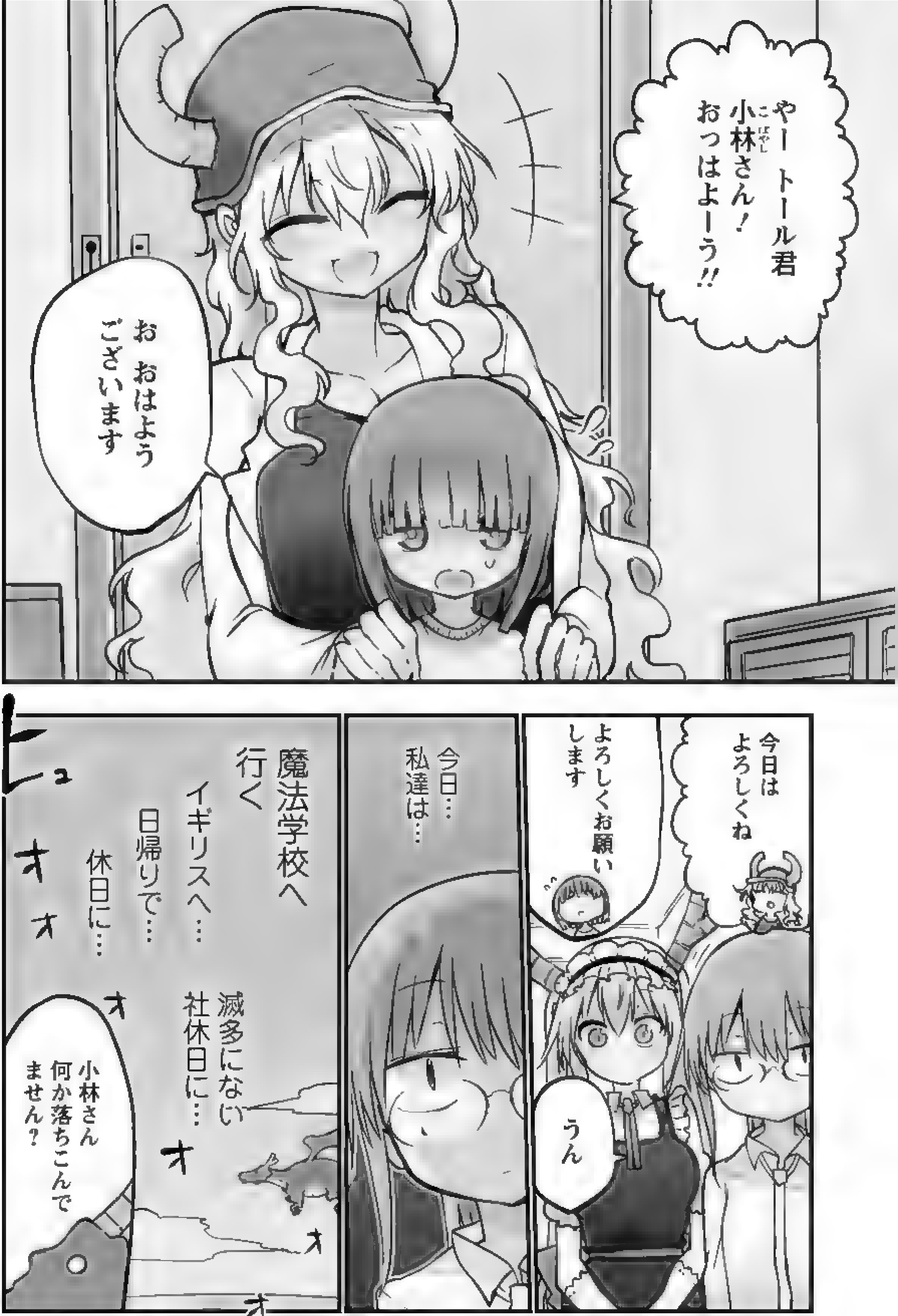

ドラゴンの戦いは何度か見たことあるけど…
私も大分 慣れてきたのだろうか…
この戦いは…
見ててほっとする…

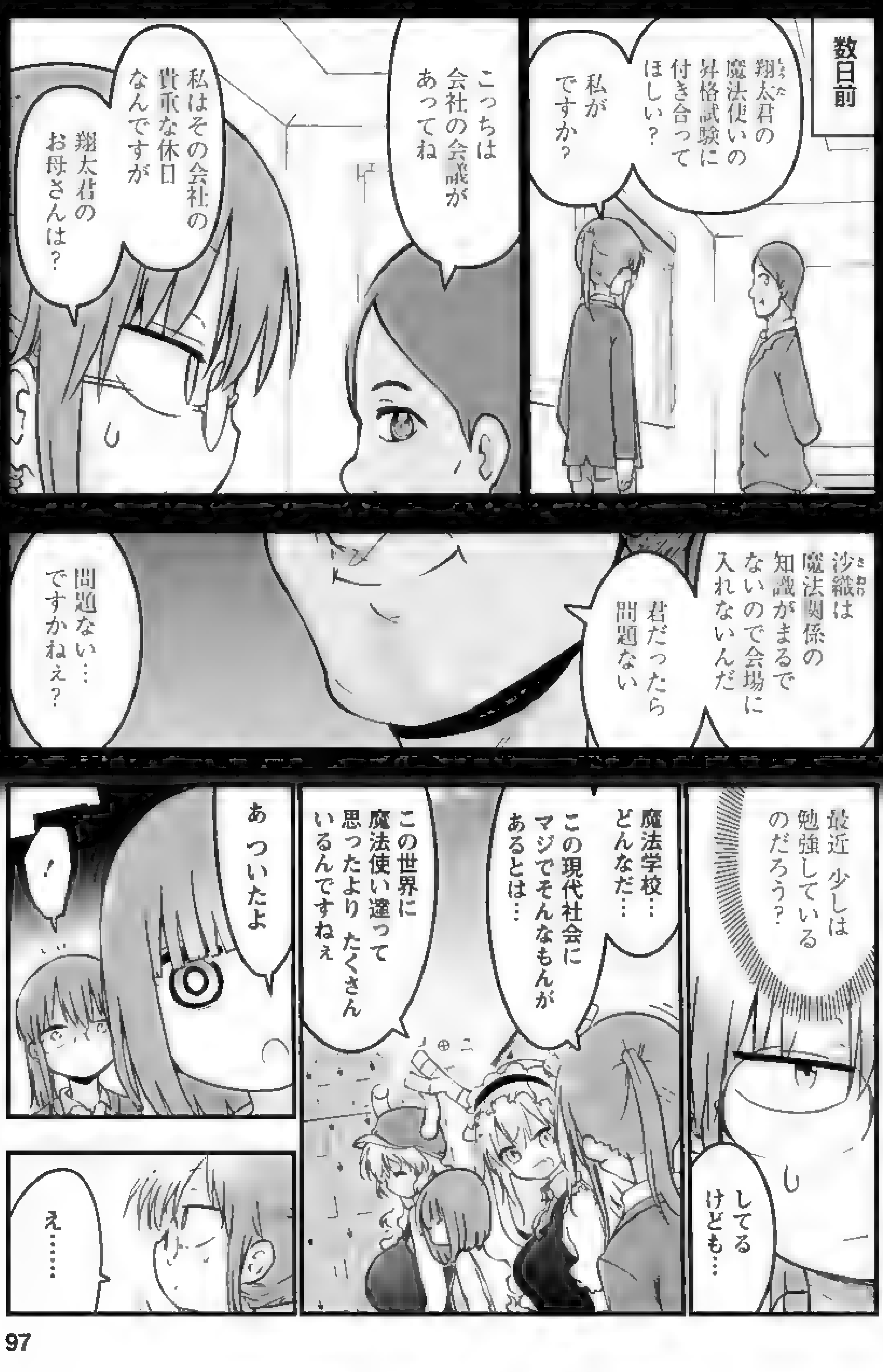

トール…
なんですか？
私の勝ちだ メシおごれ
いえ 私の勝ちです あなたがおごってください
いーや 私だ！
私！
私が おごるよ
やったー!!

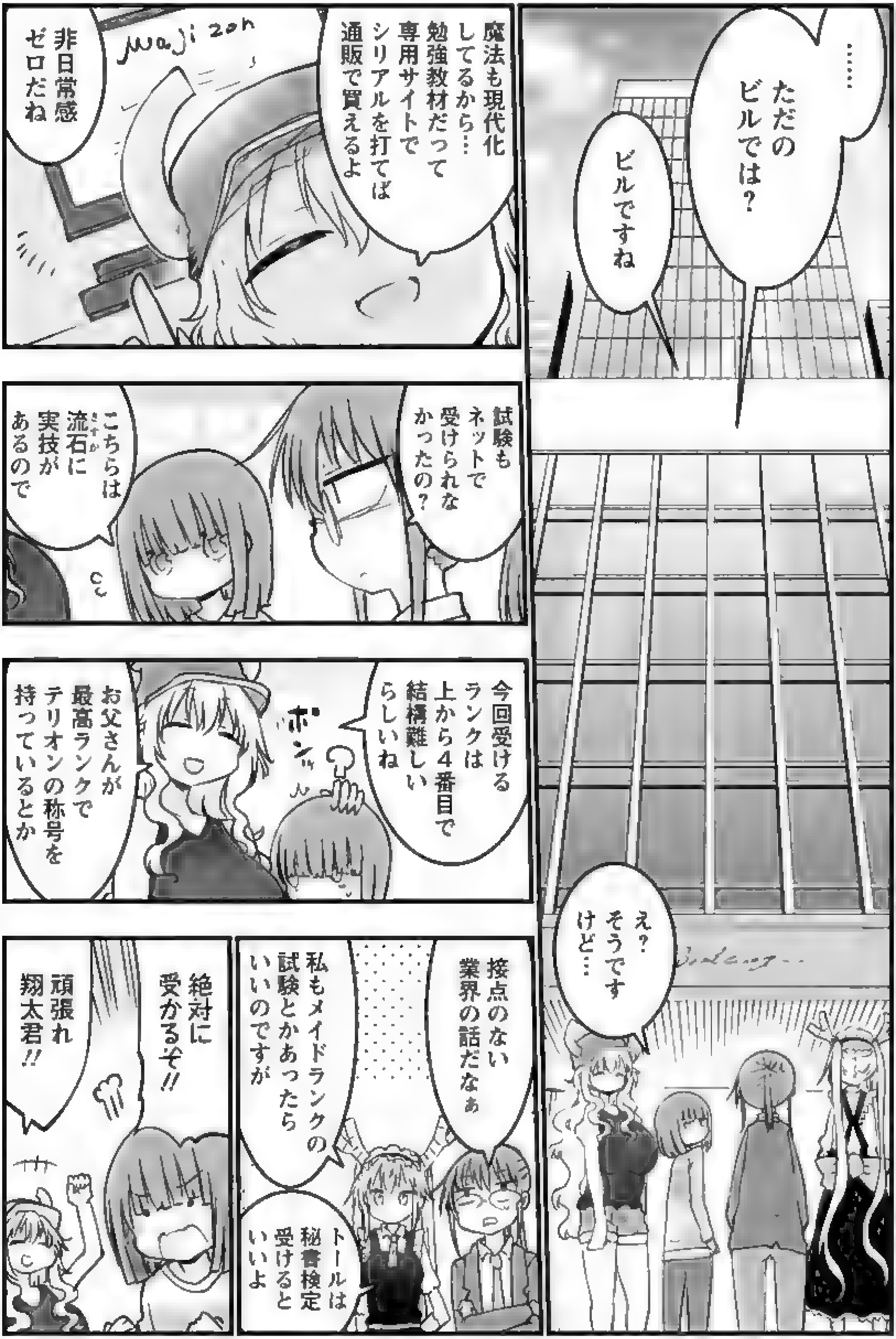
第64話／おわり

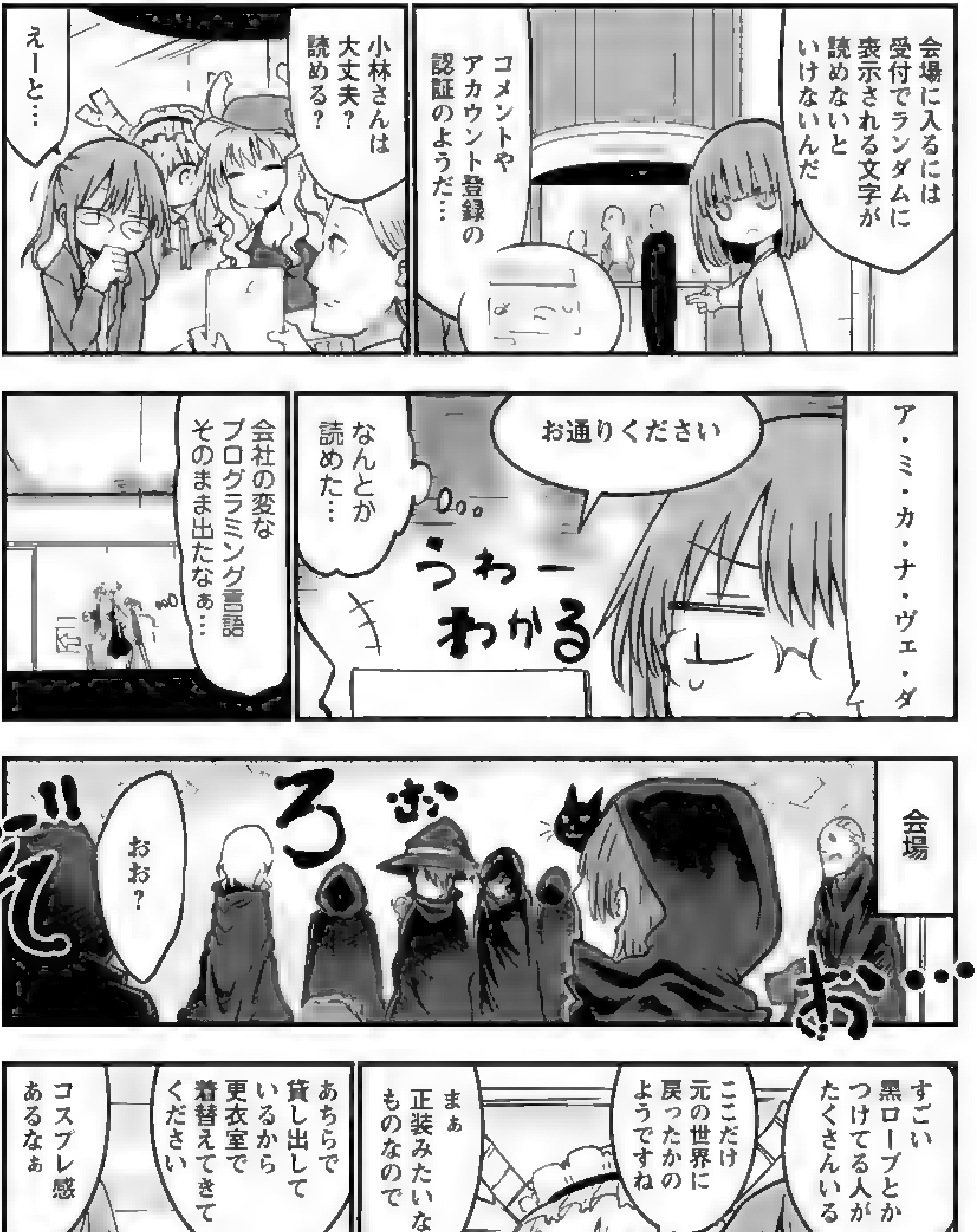
小説
ナイトドラゴン

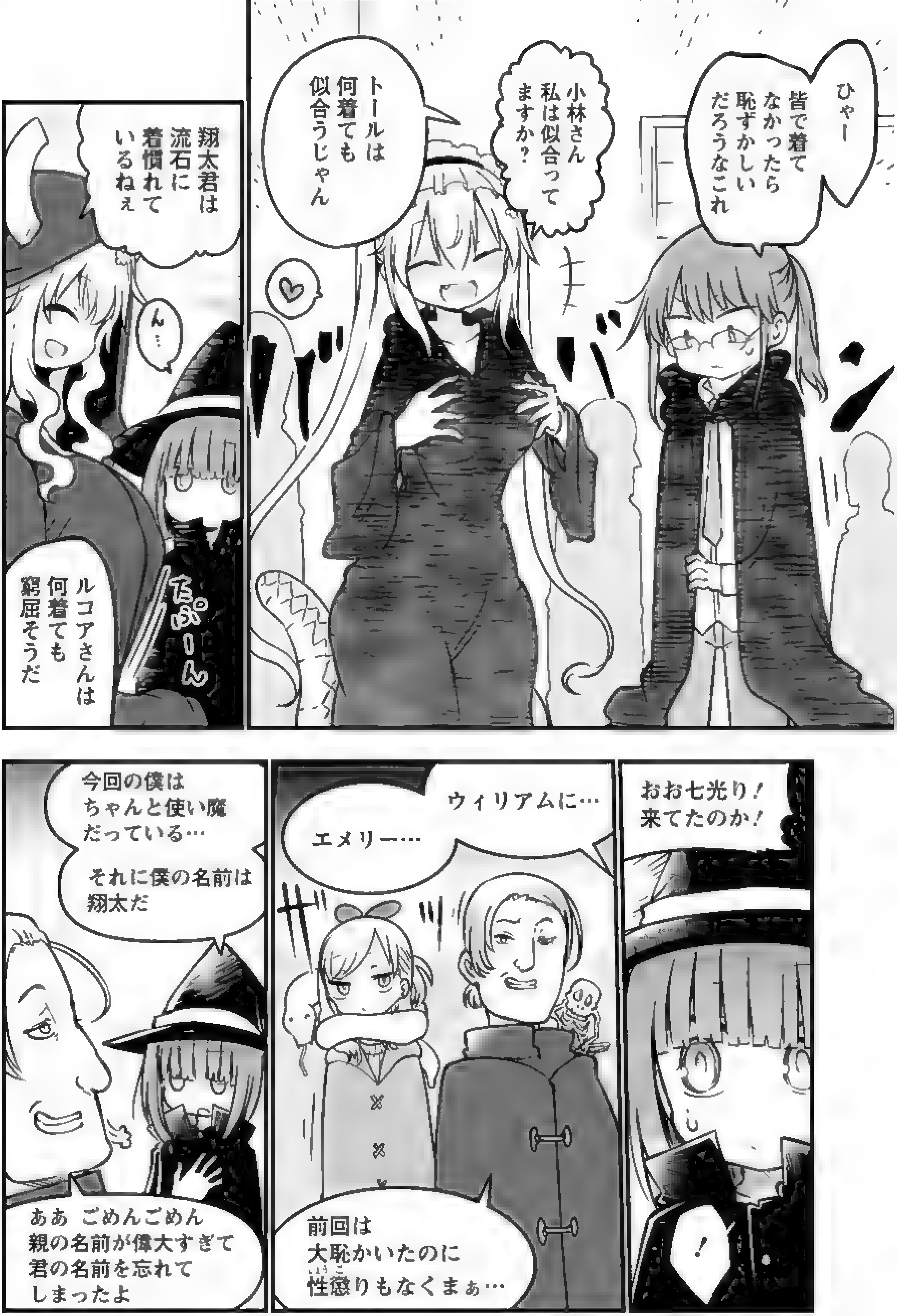
第65話 翔太と魔法学校（上）

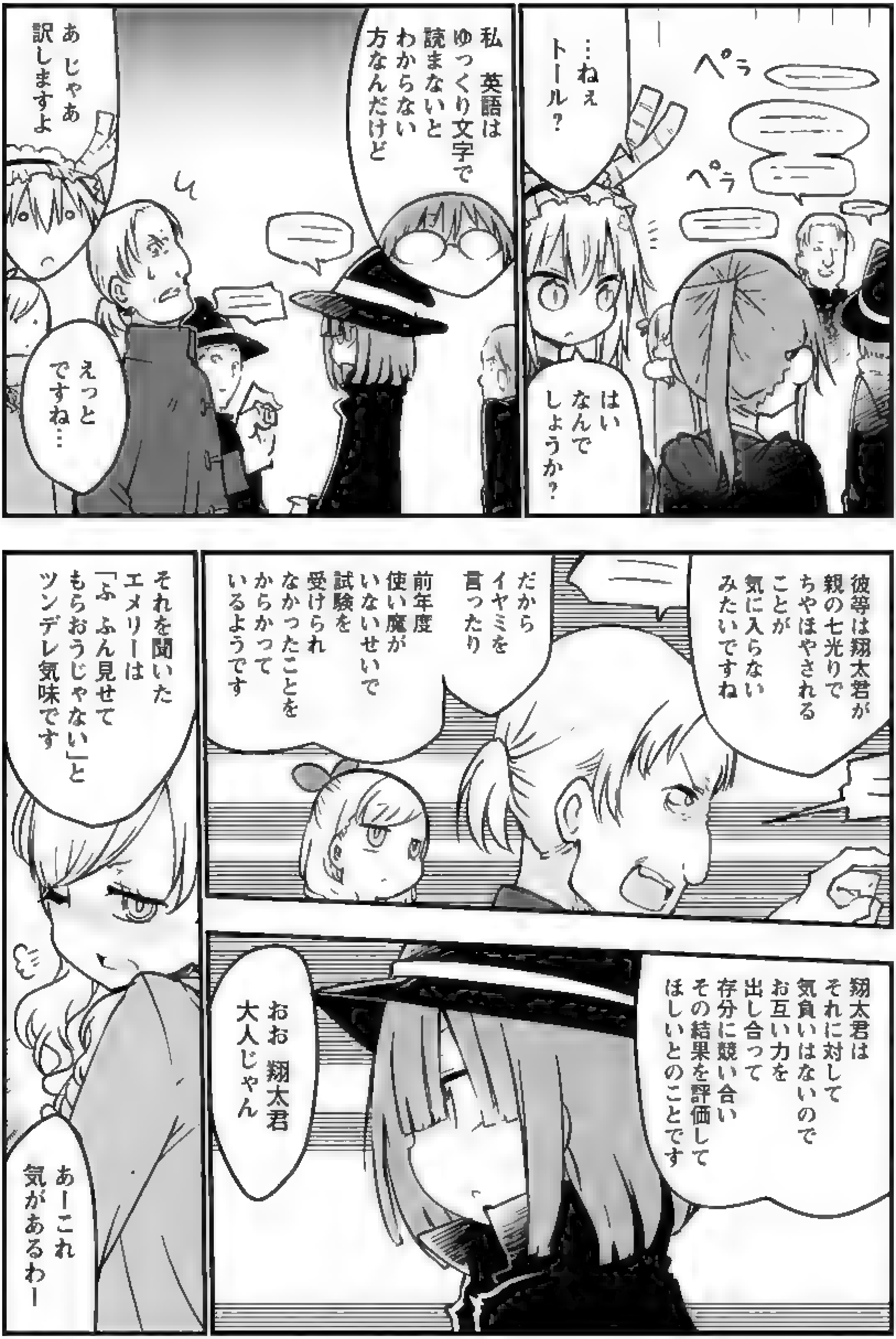

やー トール君
小林（こばやし）さん！
おっはよーう!!
お おはよう
ございます
今日は
よろしくね
よろしくお願い
します
うん
今日…
私達は…
魔法学校へ
行く
イギリスへ…
日帰りで…
休日に…
滅多にない
社休日に…
ヒュ
オ
オ
オ
オ
オ
オ
オ
小林さん
何か落ちこんで
ません？

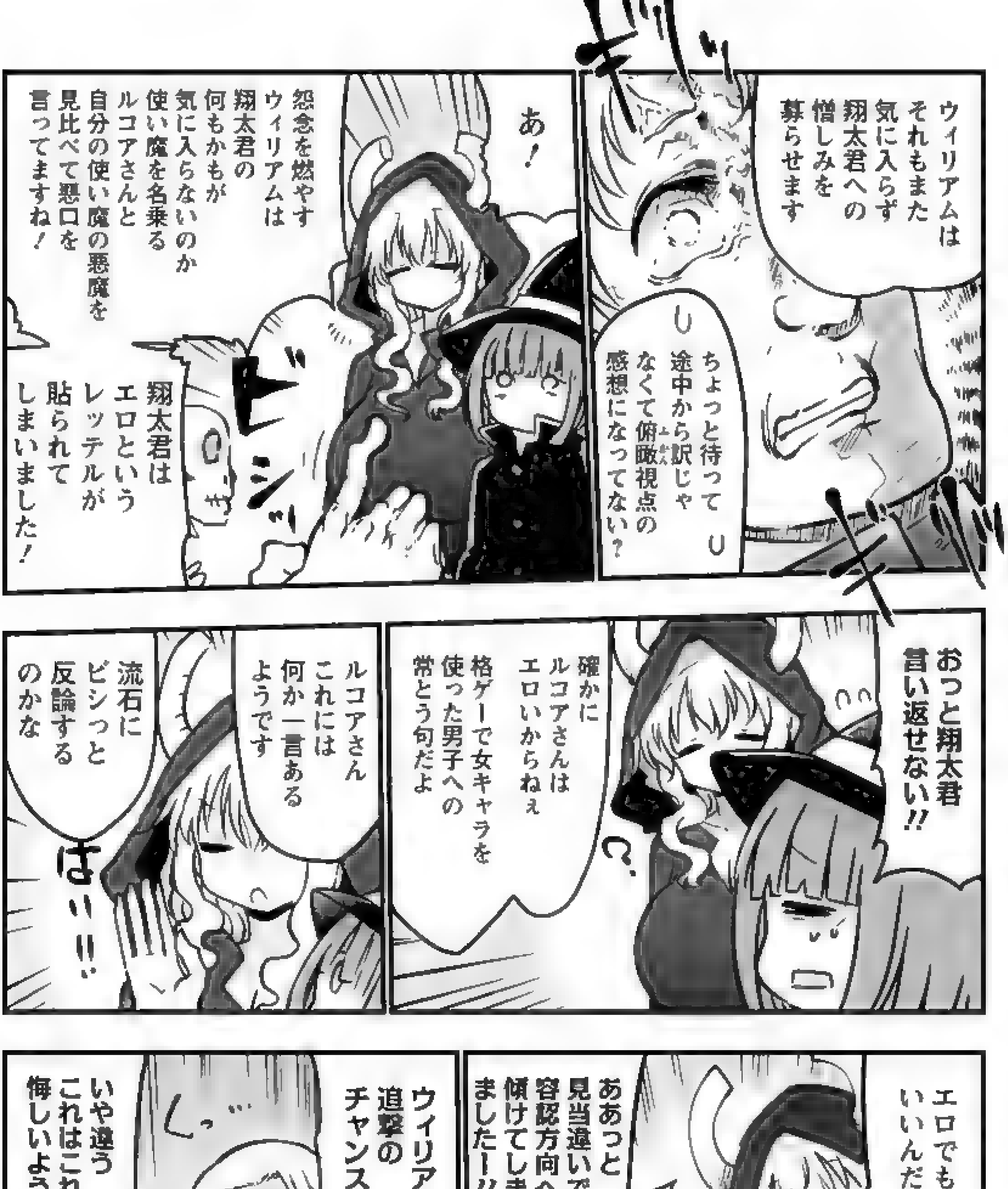

数日前
翔太君の魔法使いの昇格試験に付き合ってほしい？
私がですか？
こっちは会社の会議があってね
私はその会社の貴重な休日なんですが翔太君のお母さんは？
沙織は魔法関係の知識がまるでないので会場に入れないんだ
君だったら問題ない
問題ない…ですかねぇ？
最近 少しは勉強しているのだろう？
し
してるけども…
魔法学校…どんなだ…
この現代社会にマジでそんなもんがあるとは…
この世界に魔法使い達って思ったより たくさんいるんですねぇ
！
あ ついたよ
え……

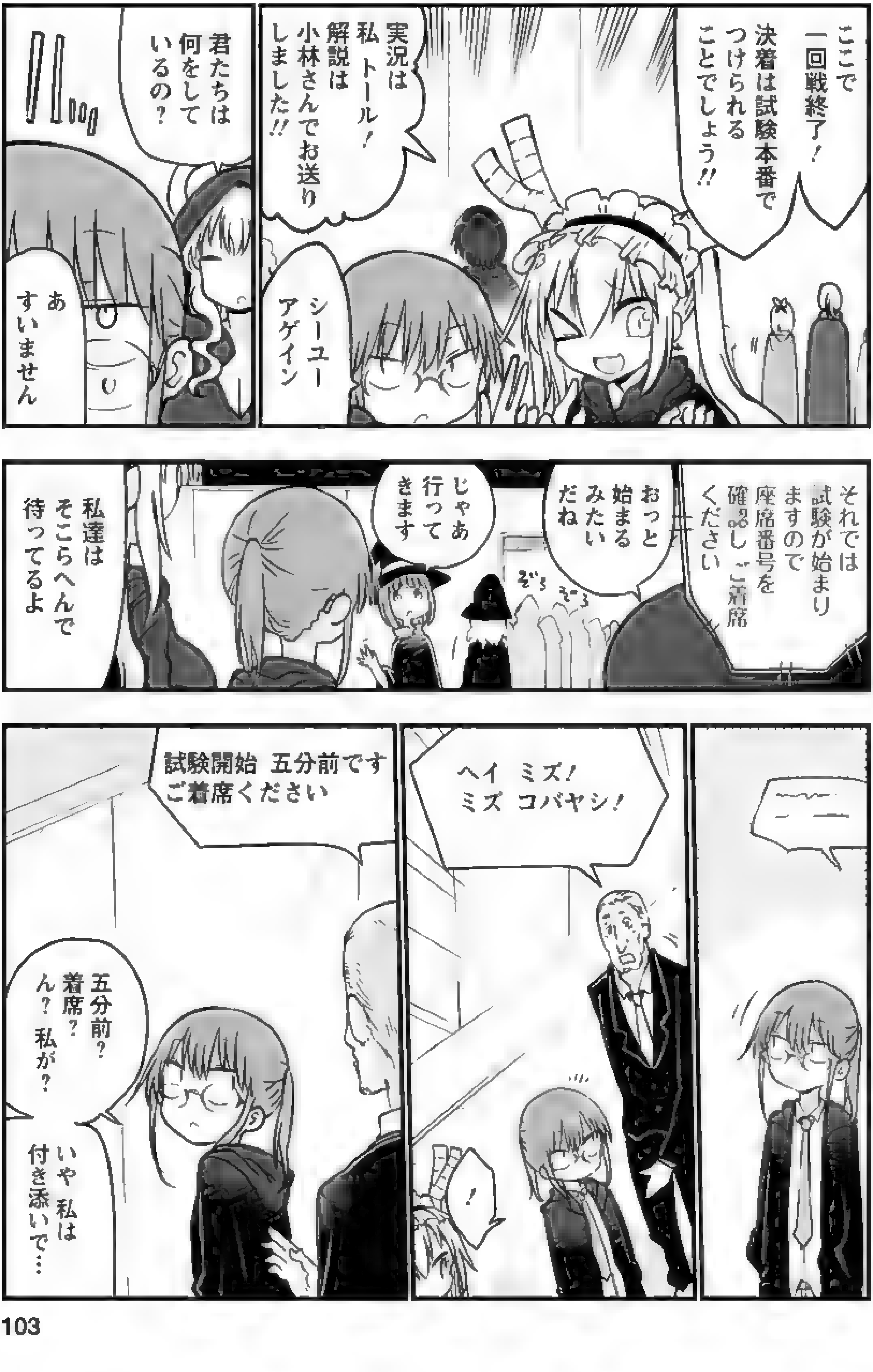

……
ただのビルでは?
ビルですね
魔法も現代化してるから…勉強教材だって専用サイトでシリアルを打てば通販で買えるよ
majizon
非日常感ゼロだね
試験もネットで受けられなかったの?
こちらは流石に実技があるので
今回受けるランクは上から4番目で結構難しいらしいね
ポンッ
お父さんが最高ランクでテリオンの称号を持っているとか
え?そうですけど…
接点のない業界の話だなぁ
私もメイドランクの試験とかあったらいいのですが
トールは秘書検定受けるといいよ
絶対に受かるぞ!!
頑張れ翔太君!!

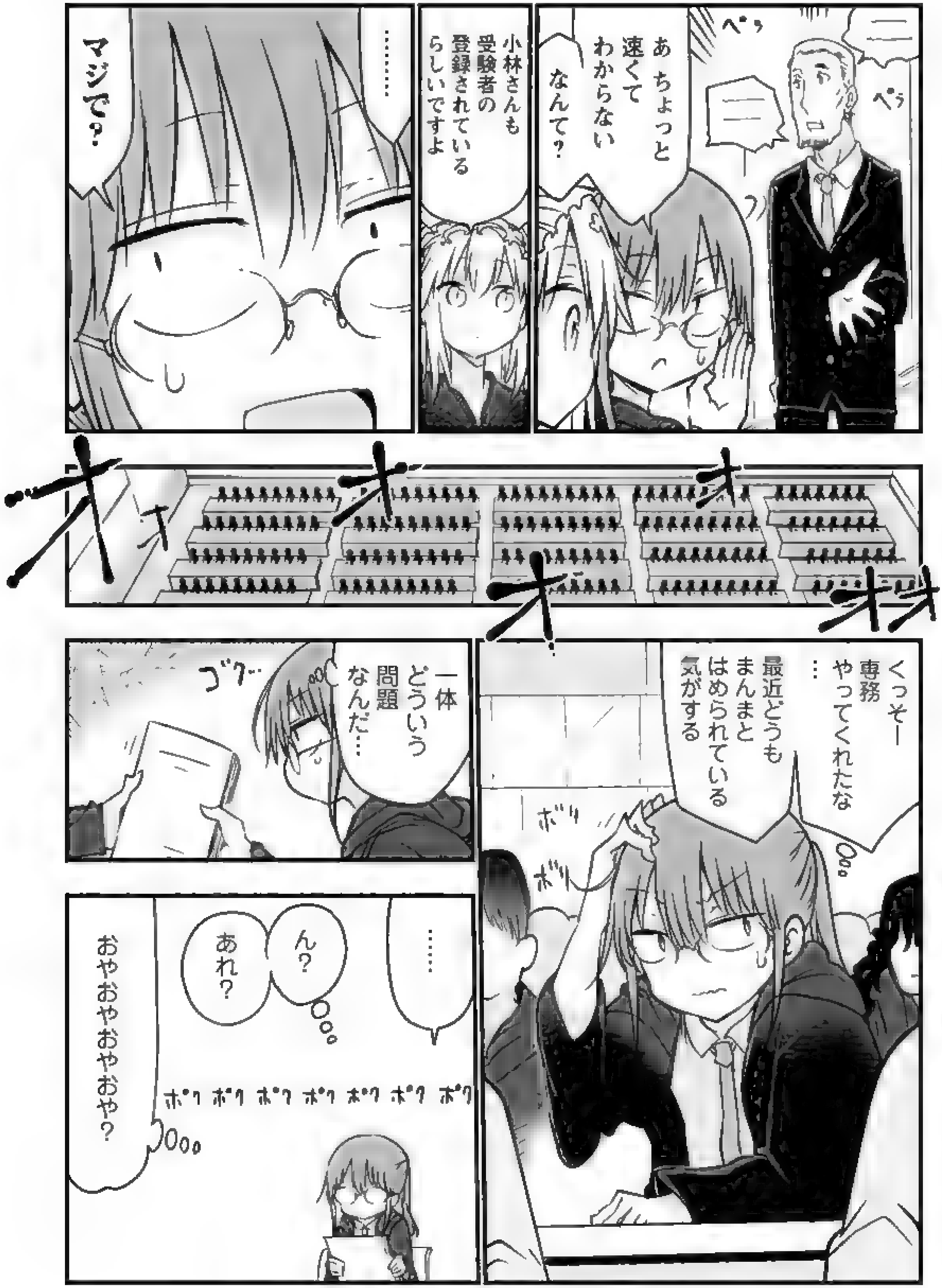

会場に入るには受付でランダムに表示される文字が読めないといけないんだ
コメントやアカウント登録の認証のようだ…
小林さんは大丈夫？読める？
えーと…
ア・ミ・カ・ナ・ヴェ・ダ
お通りください
なんとか読めた…
うわーわかる
会社の変なプログラミング言語そのまま出たなぁ…
会場
お…
ぞろ
おお？
すごい黒ローブとかつけてる人がたくさんいる
ここだけ元の世界に戻ったかのようですね
まぁ正装みたいなものなので
あちらで貸し出しているから更衣室で着替えてきてください
コスプレ感あるなぁ

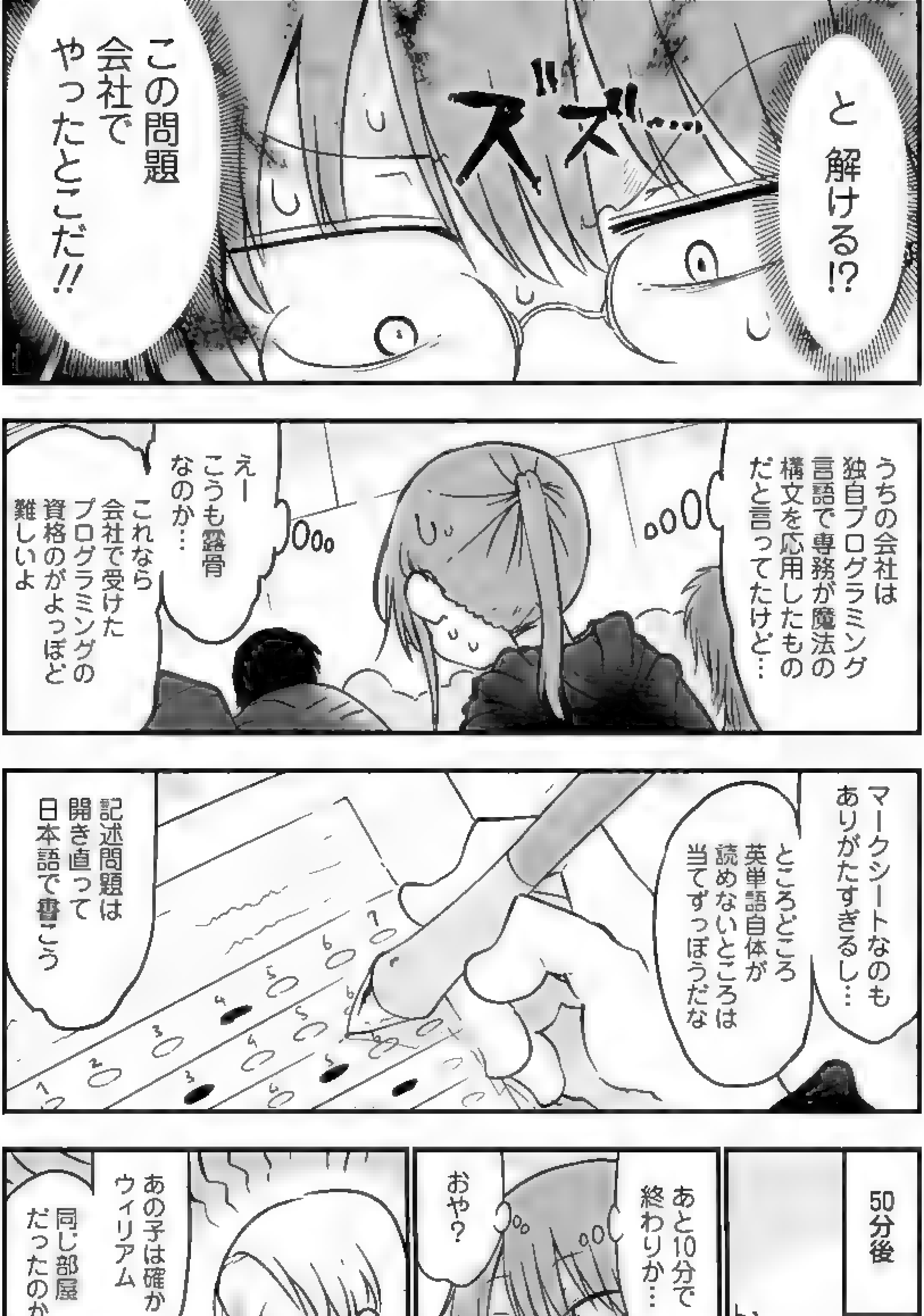

ひゃー
皆で着てなかったら恥ずかしいだろうなこれ
小林さん私は似合ってますか？
トールは何着ても似合うじゃん
バ
バ
翔太君は流石に着慣れているねぇ
ん…
ルコアさんは何着ても窮屈そうだ
たぷーん
おお七光り！来てたのか！
！
ウィリアムに…
エメリー…
前回は大恥かいたのに性懲りもなくまぁ…
今回の僕はちゃんと使い魔だっている…
それに僕の名前は翔太だ
ああ ごめんごめん 親の名前が偉大すぎて君の名前を忘れてしまったよ

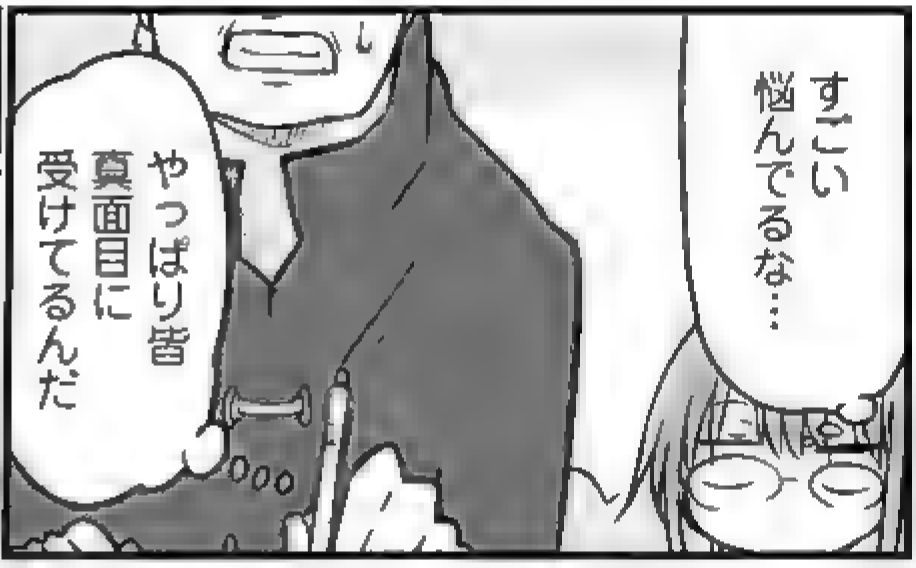

ペラ
ペラ
…ねぇ トール？
はい なんでしょうか？
私 英語はゆっくり文字で読まないとわからない方なんだけど
あ じゃあ 訳しますよ
えっとですね…
彼等は翔太君が親の七光りでちやほやされることが気に入らないみたいですね
だからイヤミを言ったり前年度使い魔がいないせいで試験を受けられなかったことをからかっているようです
翔太君はそれに対して気負いはないのでお互い力を出し合って存分に競い合いその結果を評価してほしいとのことです
おお 翔太君 大人じゃん
それを聞いたエメリーは「ふ ふん見せてもらおうじゃない」とツンデレ気味です
あーこれ 気があるわー

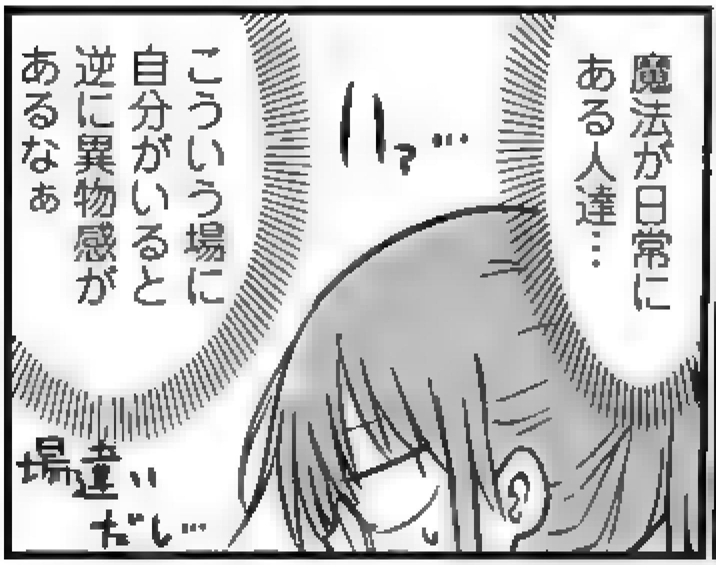

ウィリアムはそれもまた気に入らず翔太君への憎しみを募らせます
ギリッ
ちょっと待って途中から訳じゃなくて俯瞰（ふかん）視点の感想になってない？
ギリッ
怨念を燃やすウィリアムは翔太君の何もかもが気に入らないのか使い魔を名乗るルコアさんと自分の使い魔の悪魔を見比べて悪口を言ってますね！
あ！
ビシッ
翔太君はエロというレッテルが貼られてしまいました！
おっと翔太君言い返せない!!
確かにルコアさんはエロいからねぇ 格ゲーで女キャラを使った男子への常とう句だよ
?
ルコアさんこれには何か一言あるようです
流石にビシっと反論するのかな
はい!!
エロでもいいんだよ
ああっと見当違いです!! 容認方向へと傾けてしまいました!!
……ッ
ざわ ざわ
会場騒然!!
ウィリアム追撃のチャンスか？
くっ
いや違うこれはこれで悔しいようです!!
エロいお姉さんにエロいいよって大抵の男子は言われたいでしょうからね

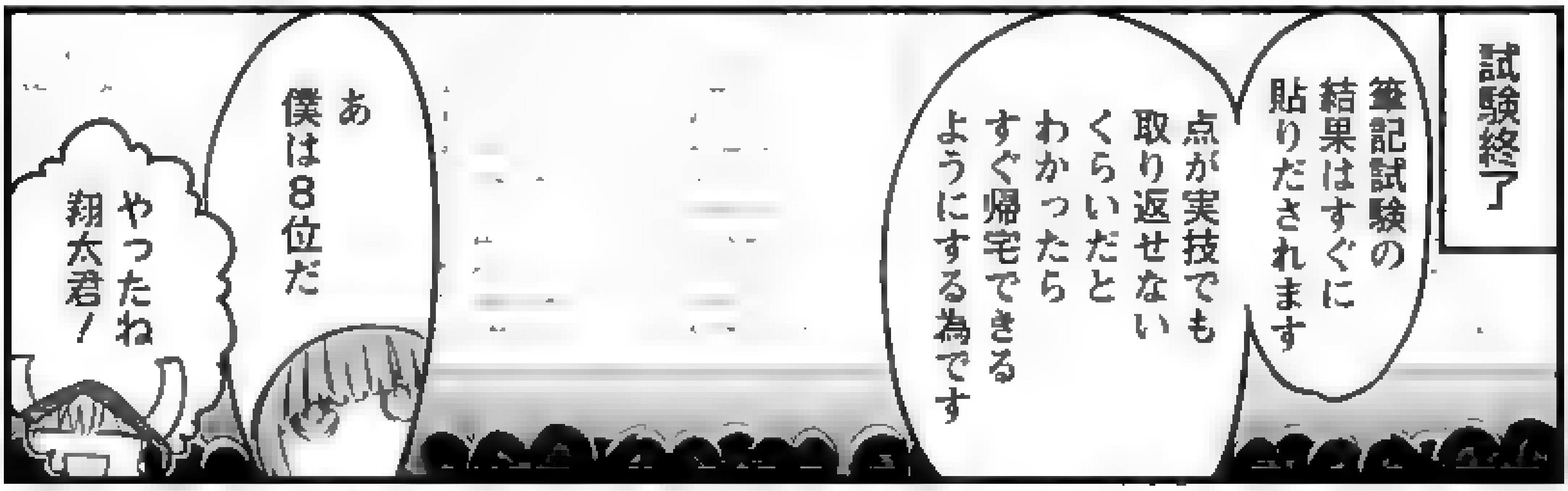

ここで一回戦終了！
決着は試験本番でつけられることでしょう!!
実況は私 トール！解説は小林さんでお送りしました!!
シーユーアゲイン
君たちは何をしているの？
あ すいません
それでは試験が始まりますので座席番号を確認しご着席ください
おっと始まるみたいだね
じゃあ行ってきます
ぞろぞろ
私達はそこらへんで待ってるよ
ヘイ ミズ！ミズ コバヤシ！
！
試験開始 五分前です ご着席ください
五分前？着席？ん？私が？
いや 私は付き添いで…

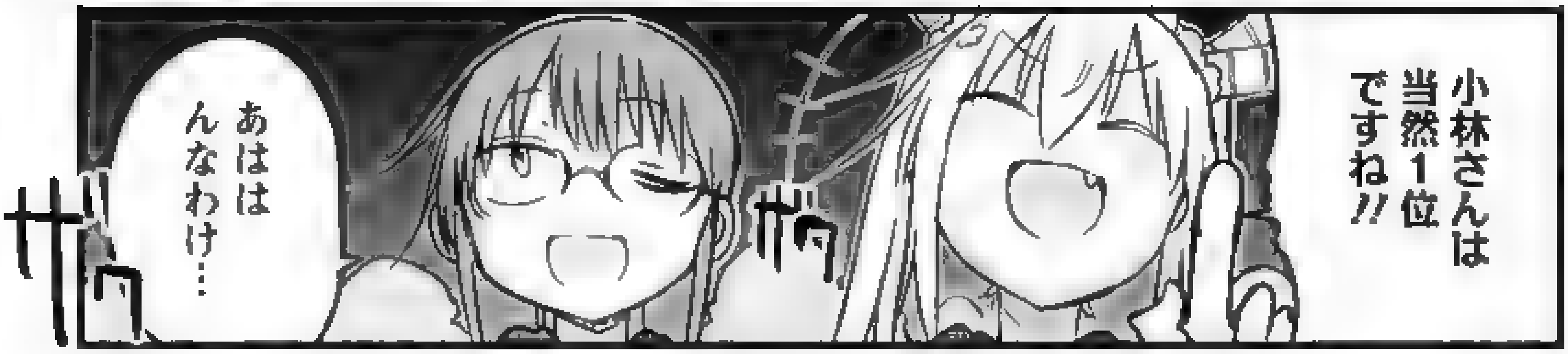

ペラ
ペラ
あ ちょっと速くてわからない なんて？
……
小林さんも受験者の登録されているらしいですよ
マジで？
オオオオオオオ
くっそー専務やってくれたな……
最近どうもまんまとはめられている気がする
ポリ
ポリ
一体どういう問題なんだ……
ゴクー
……
ん？
あれ？
ポク ポク ポク ポク ポク ポク ポク
おやおやおやおやおや？

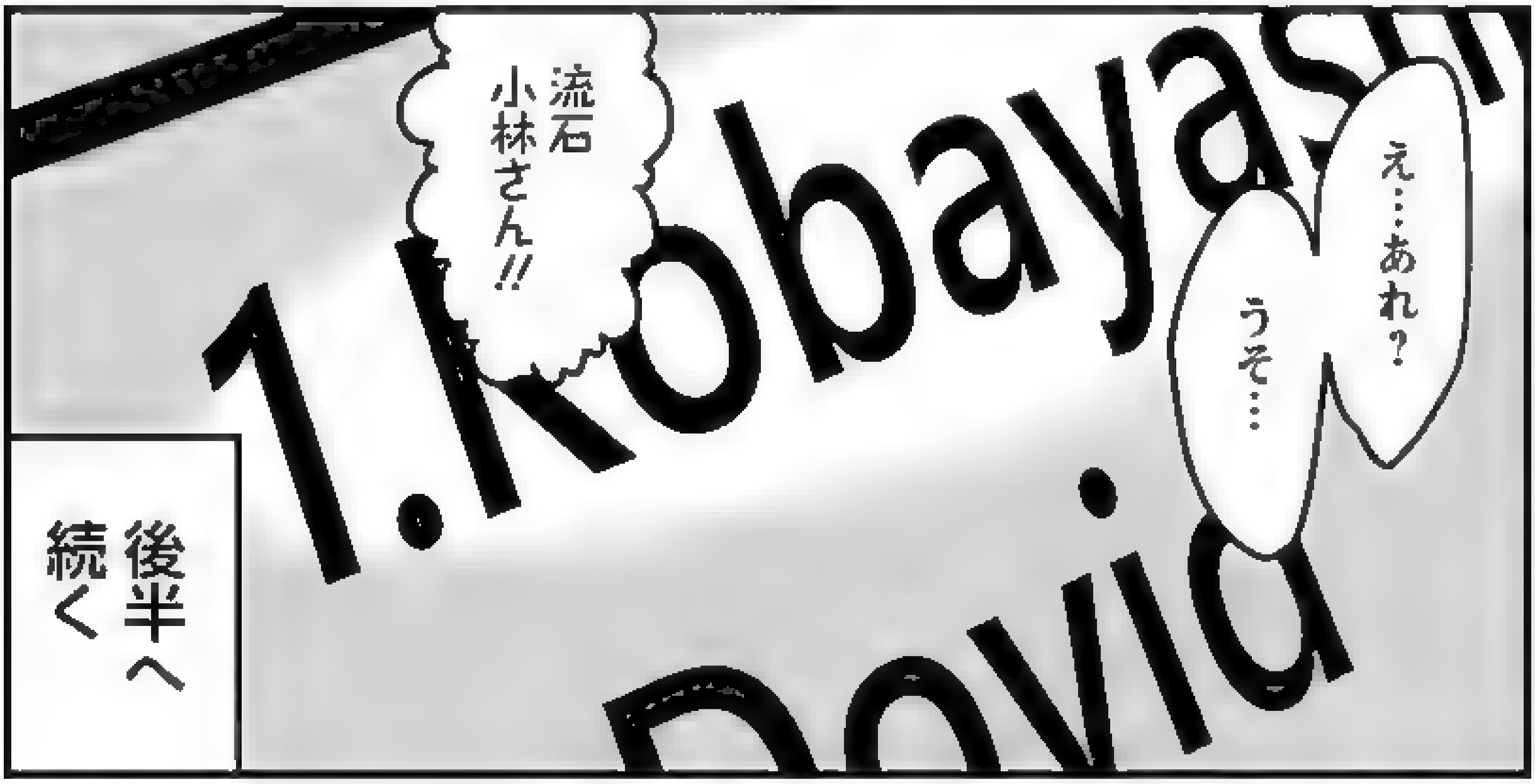

と 解ける!?
ズ!!ズ!!…
この問題 会社で やったとこだ!!
うちの会社は 独自プログラミング 言語で専務が魔法の 構文を応用したもの だと言ってたけど…
えー こうも露骨 なのか…
これなら 会社で受けた プログラミングの 資格のがよっぽど 難しいよ
マークシートなのも ありがたすぎるし…
ところどころ 英単語自体が 読めないところは 当てずっぽうだな
記述問題は 開き直って 日本語で書こう
50分後
トン
トン
あと10分で 終わりか…
おや?
あの子は確か ウィリアム
同じ部屋 だったのか
ぬ〜ん


すごい悩んでるな…
やっぱり皆真面目に受けてるんだ


魔法が日常にある人達…
ハァ…
こういう場に自分がいると逆に異物感があるなぁ
場違いだし…

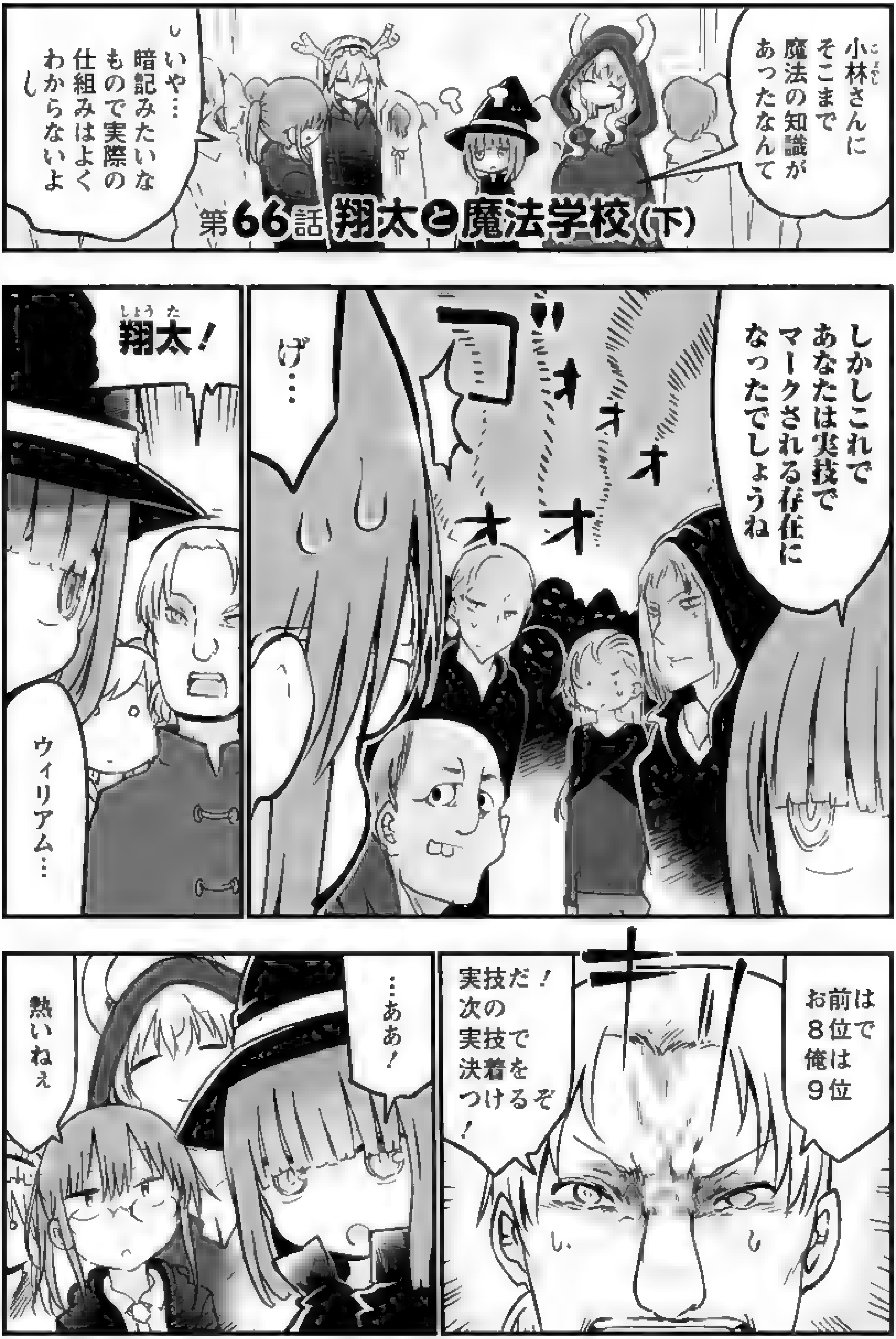

試験終了
筆記試験の結果はすぐに貼りだされます
点が実技でも取り返せないくらいだとわかったらすぐ帰宅できるようにする為です
あ 僕は8位だ
やったね翔太君！

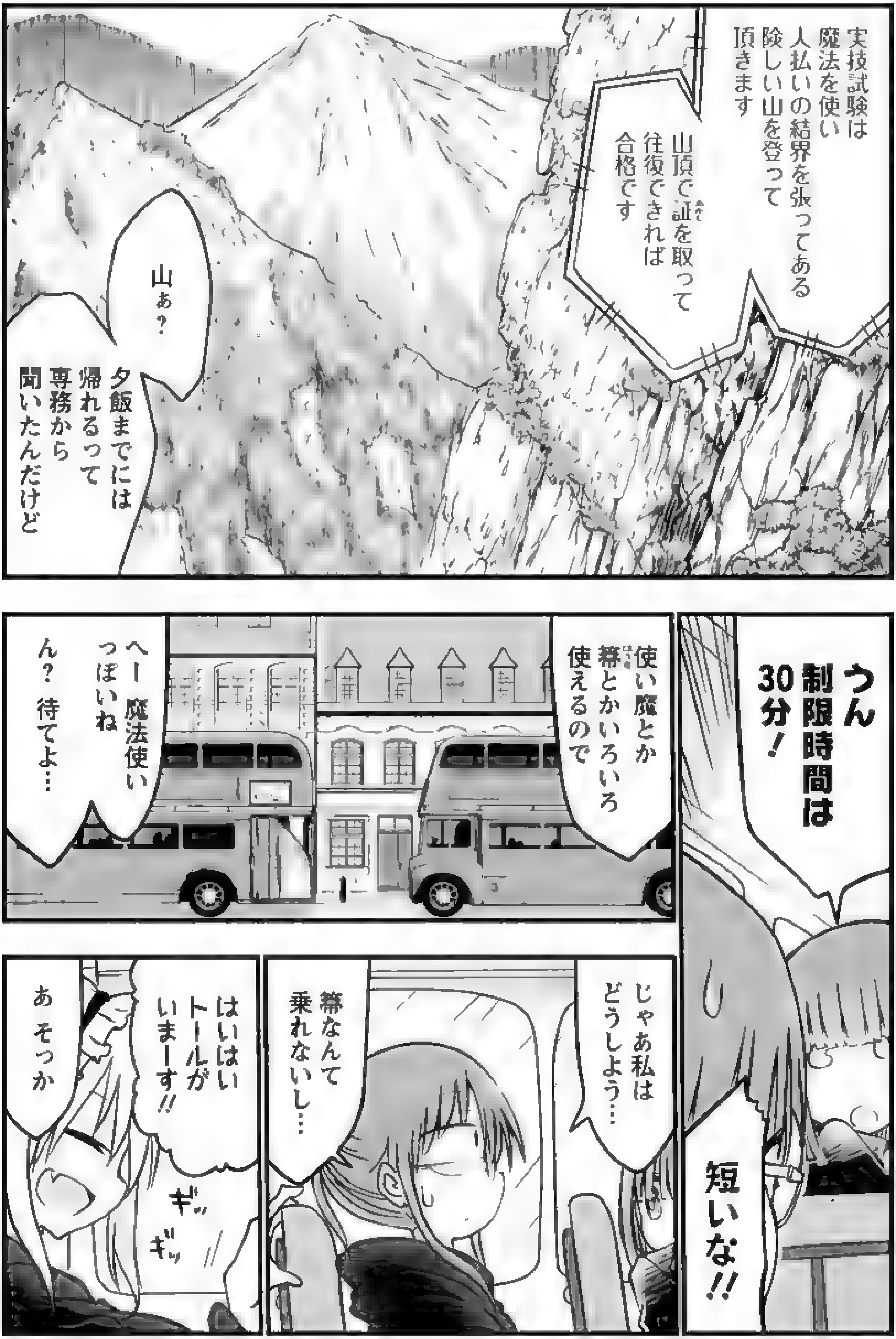

小林さんは当然1位ですね!!
ザワ
あははんなわけ…
ザワ

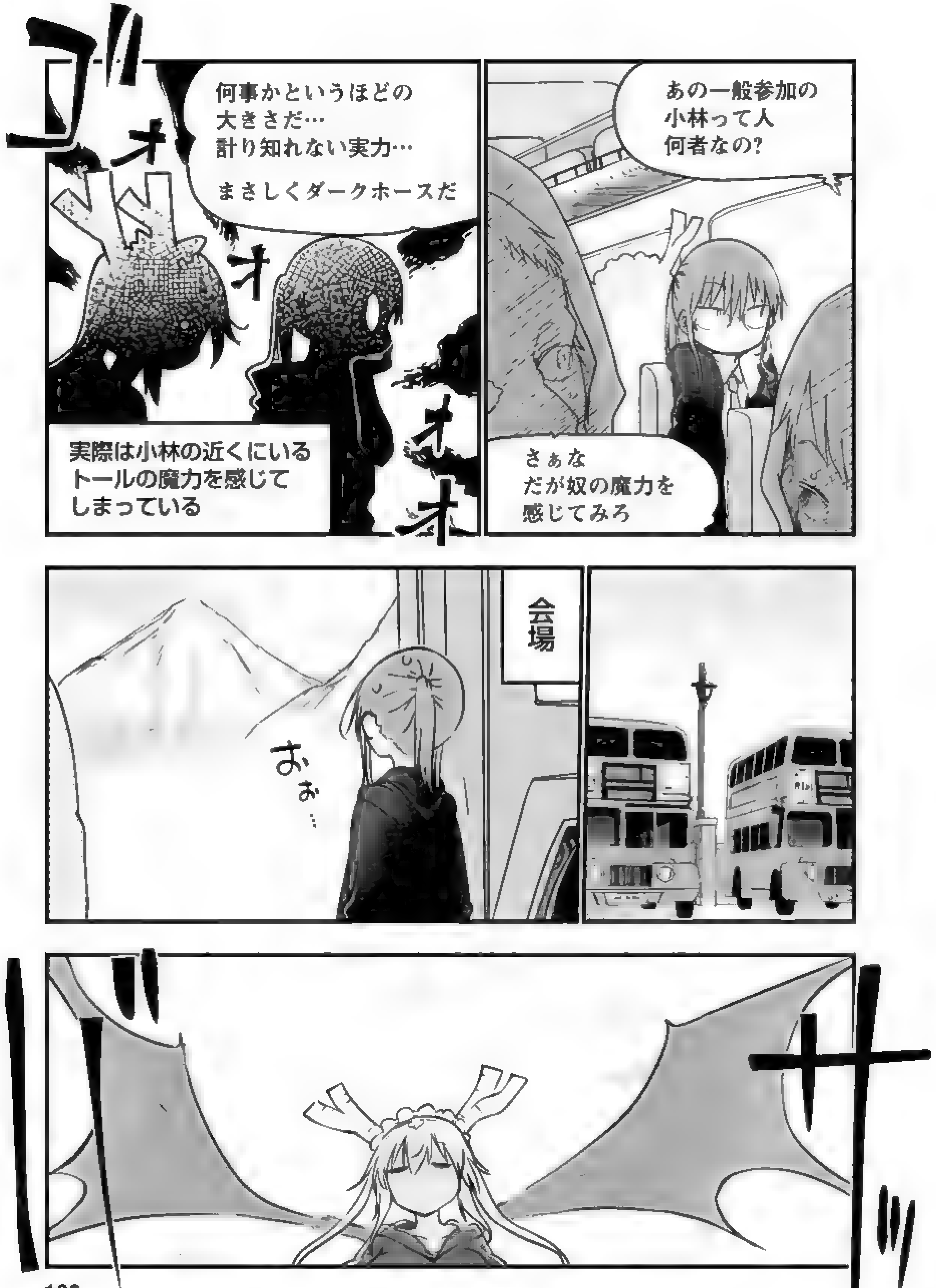

え…あれ？
うそ…
流石小林さん!!
1.Kobayash
David
後半へ続く

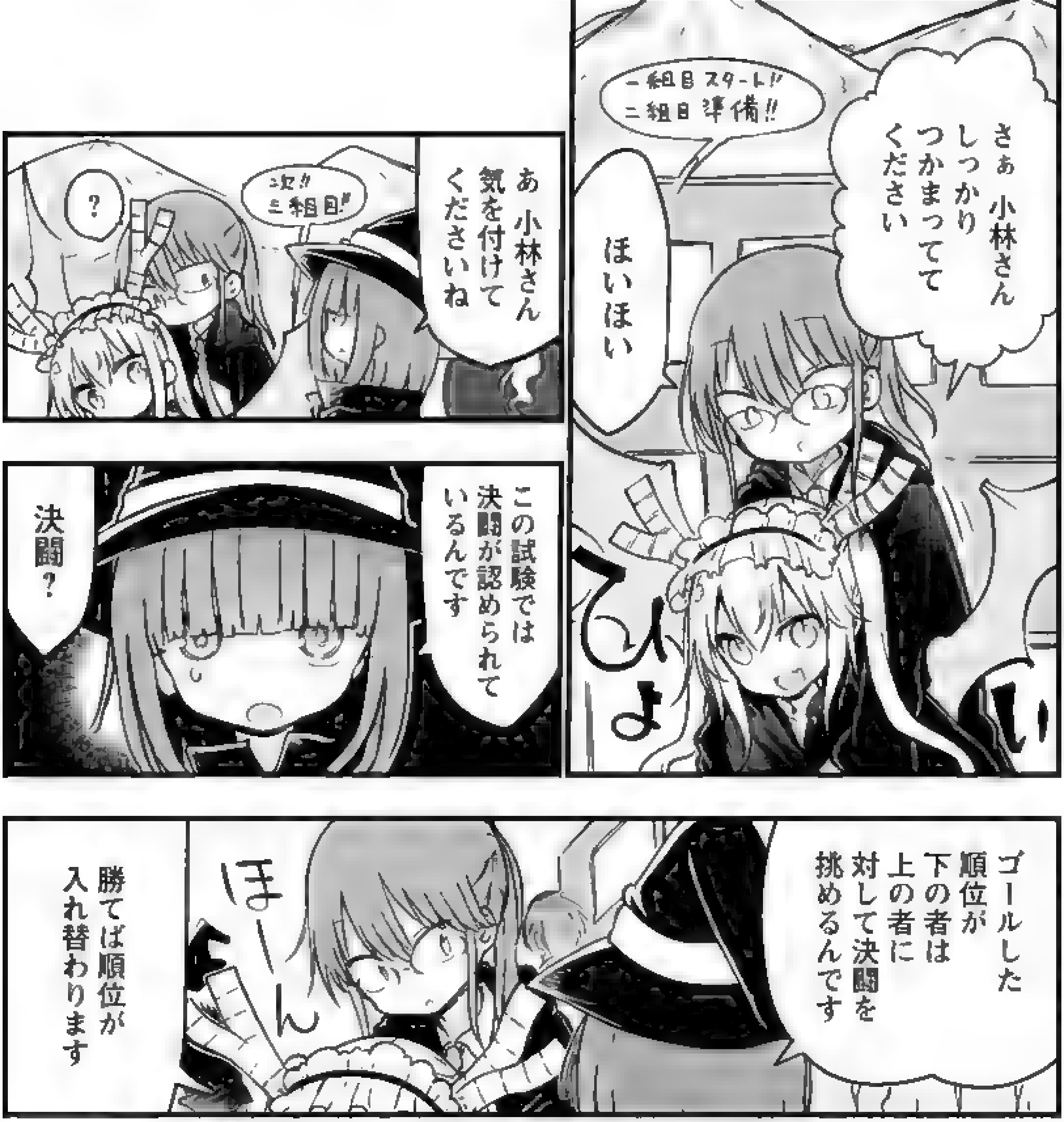
第65話／おわり

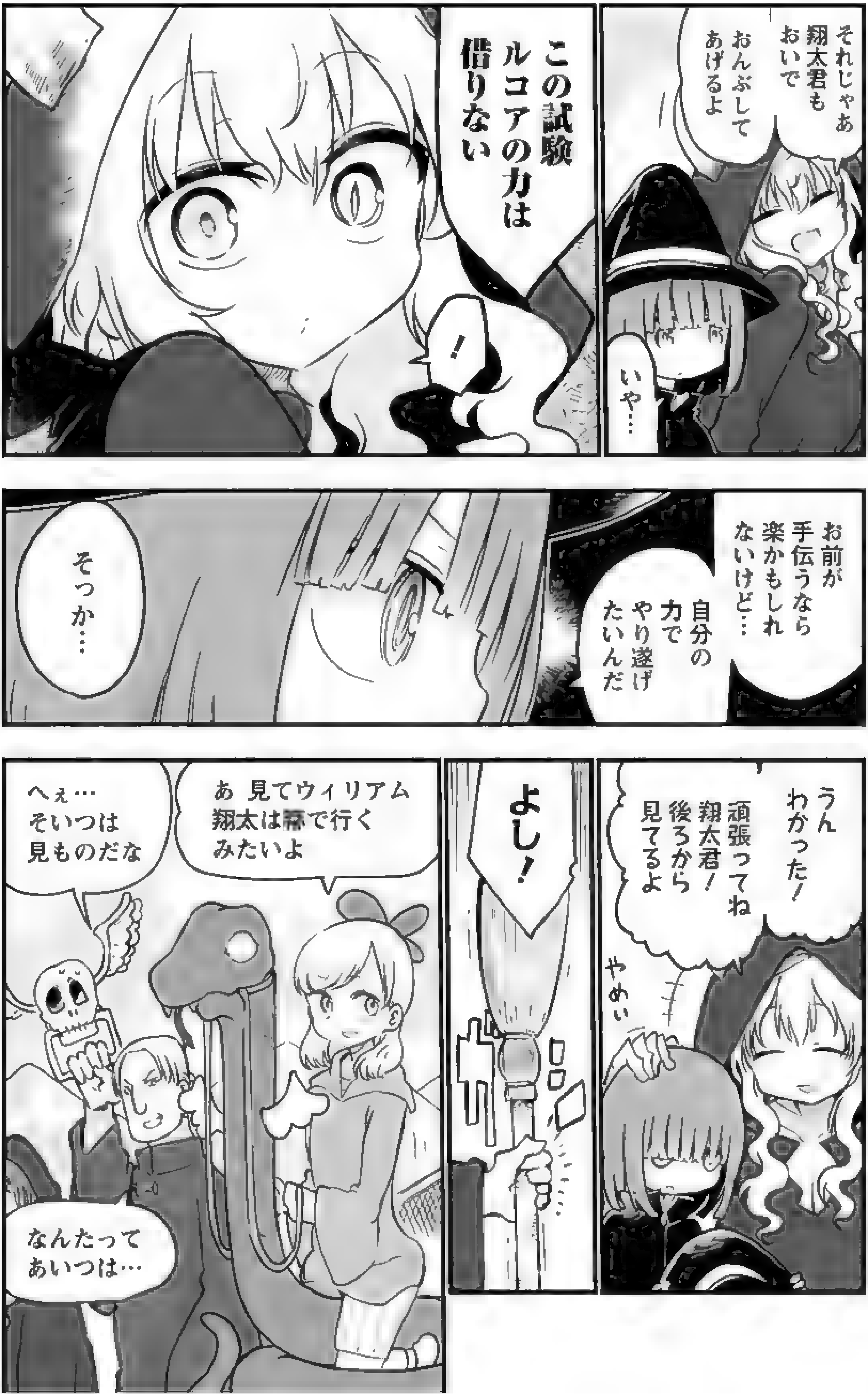
第66話 翔太と魔法学校（下）

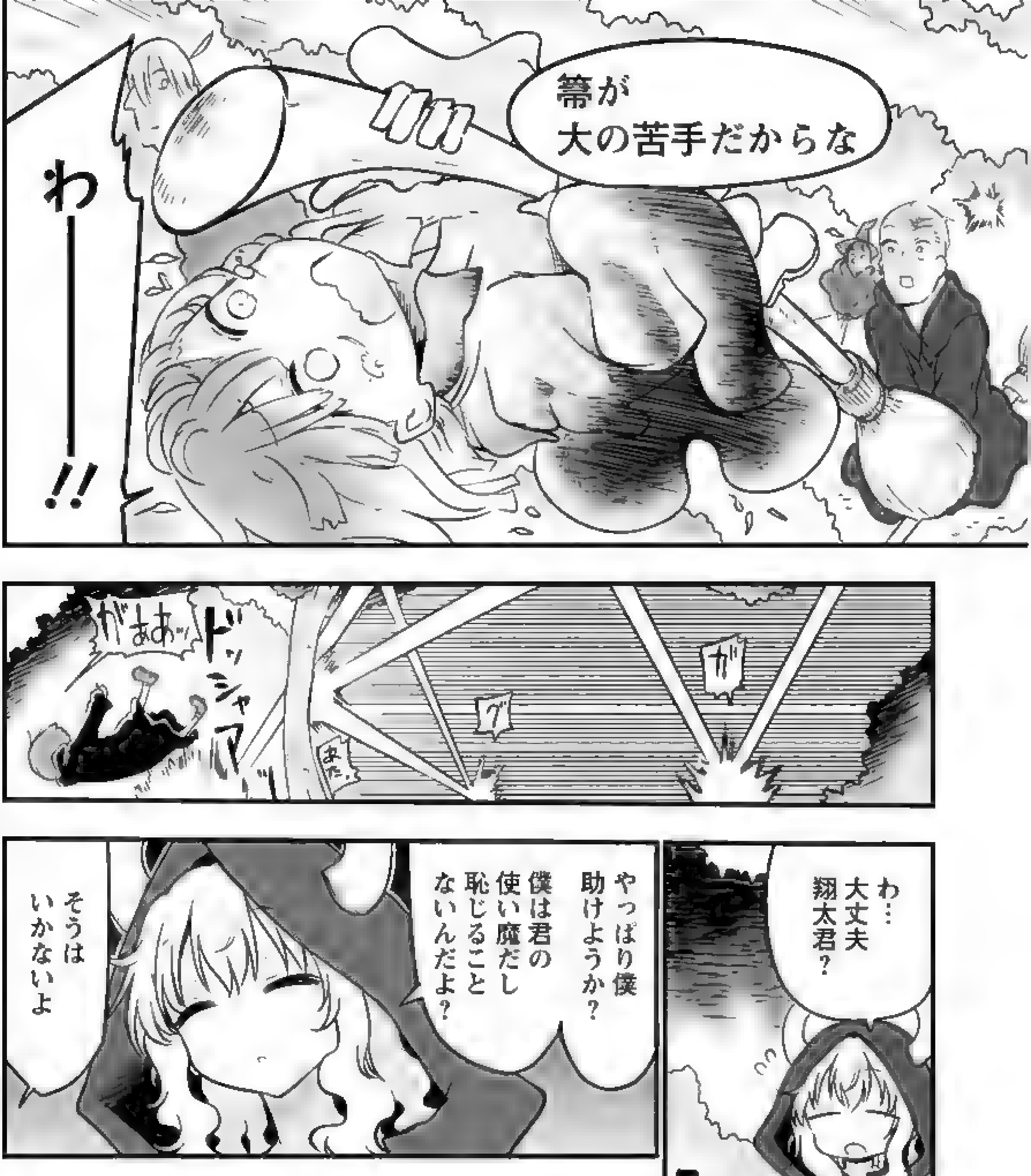

小林（こばやし）さんに そこまで 魔法の知識が あったなんて
し
いや… 暗記みたいな もので実際の 仕組みはよく わからないよ
し
しかしこれで あなたは実技で マークされる存在に なったでしょうね
ゴォォォォ
げ…
翔太（しょうた）！
ウィリアム…
お前は8位で 俺は9位
キッ
実技だ！ 次の 実技で 決着を つけるぞ！
…ああ！
熱いねぇ

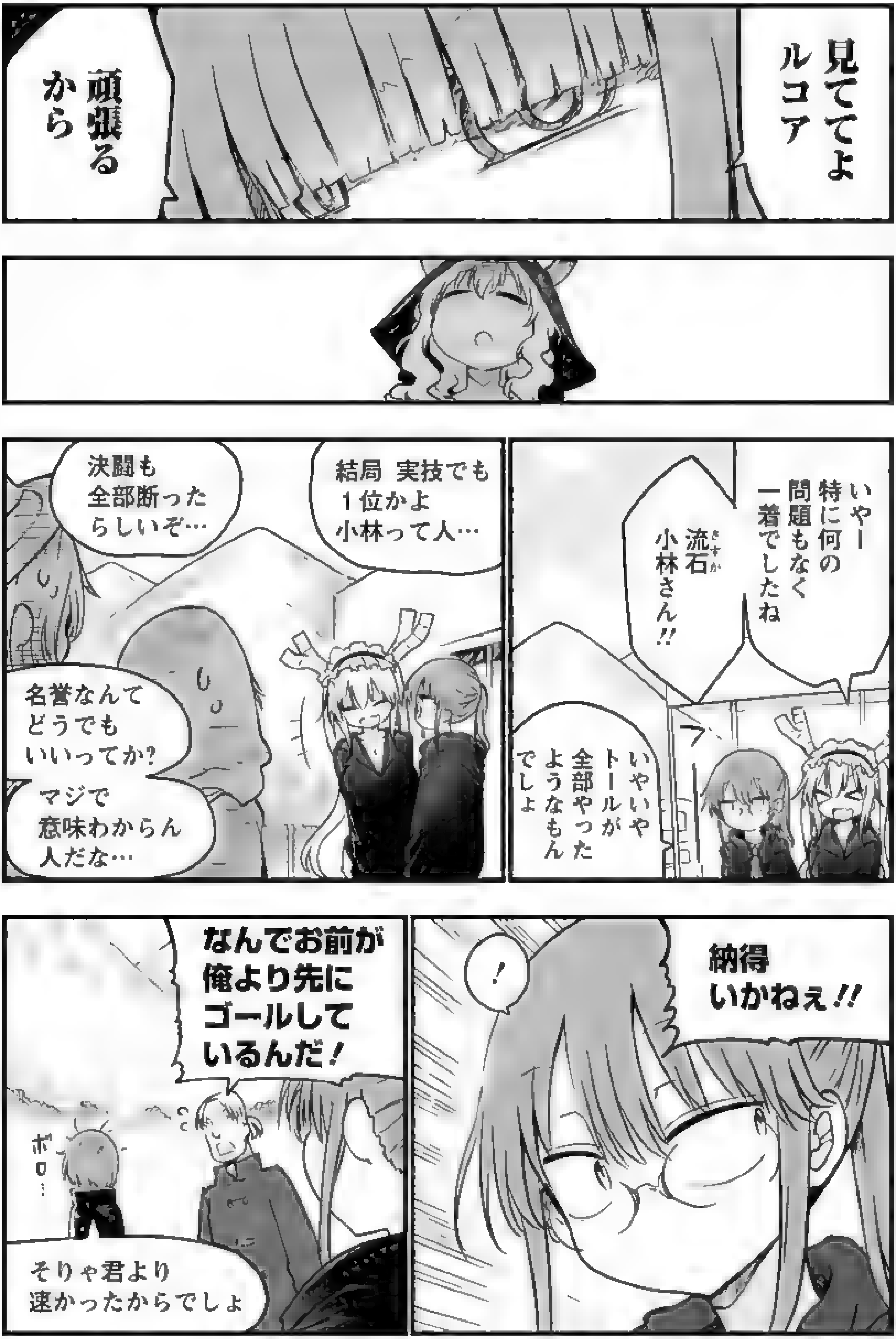

実技試験は魔法を使い人払いの結界を張ってある険しい山を登って頂きます
山頂で証を取って往復できれば合格です
山ぁ？
夕飯までには帰れるって専務から聞いたんだけど
うん制限時間は30分！
短いな!!
使い魔とか箒とかいろいろ使えるので
へー魔法使いっぽいね
ん？待てよ…
じゃあ私はどうしよう…
箒なんて乗れないし…
はいはいトールがいまーす!!
あそっか
ギッ
ギッ

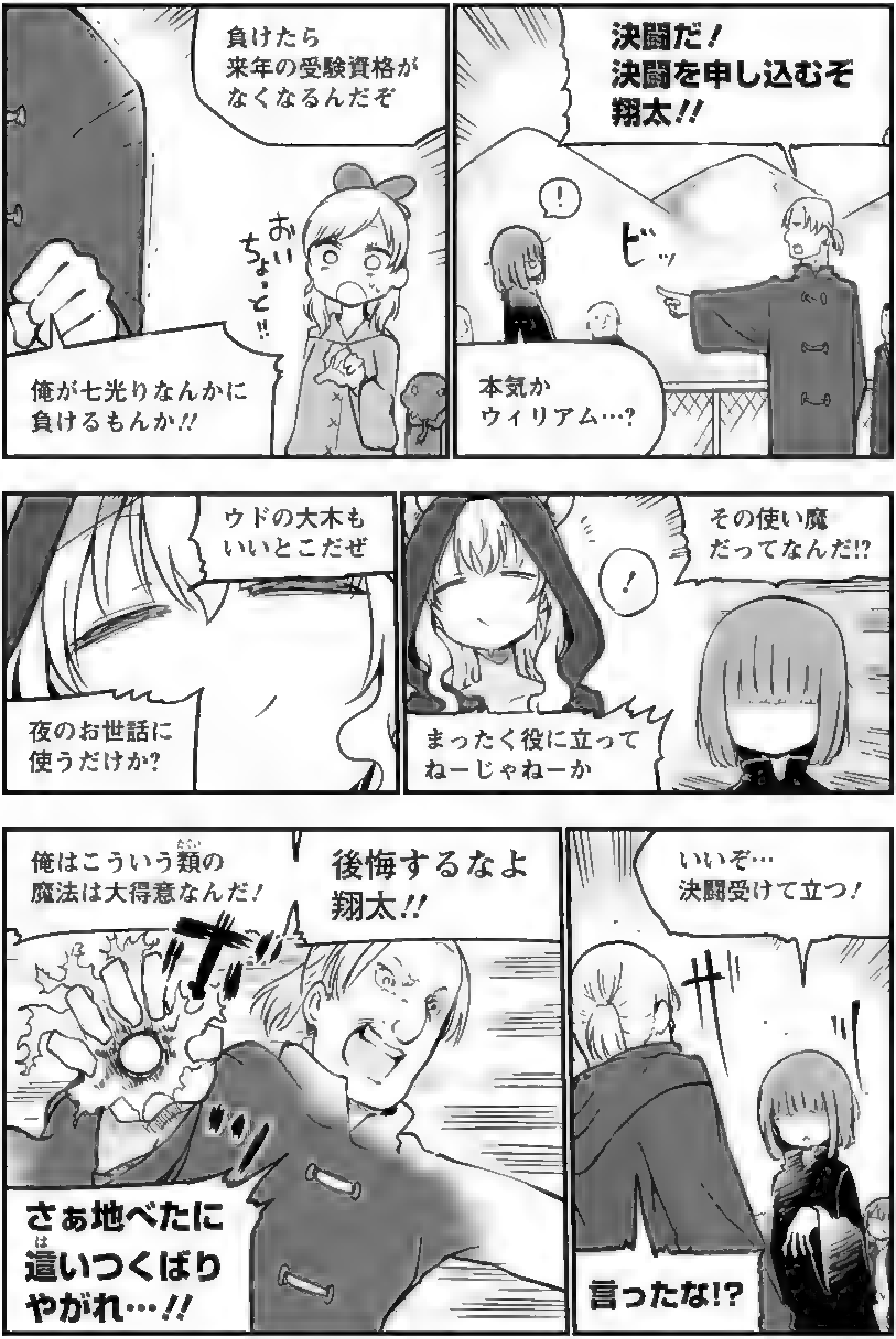

あの一般参加の
小林って人
何者なの?
さぁな
だが奴の魔力を
感じてみろ
ゴォォォォォ
何事かというほどの
大きさだ…
計り知れない実力…
まさしくダークホースだ
実際は小林の近くにいる
トールの魔力を感じて
しまっている
会場
おぉ…
バサッ

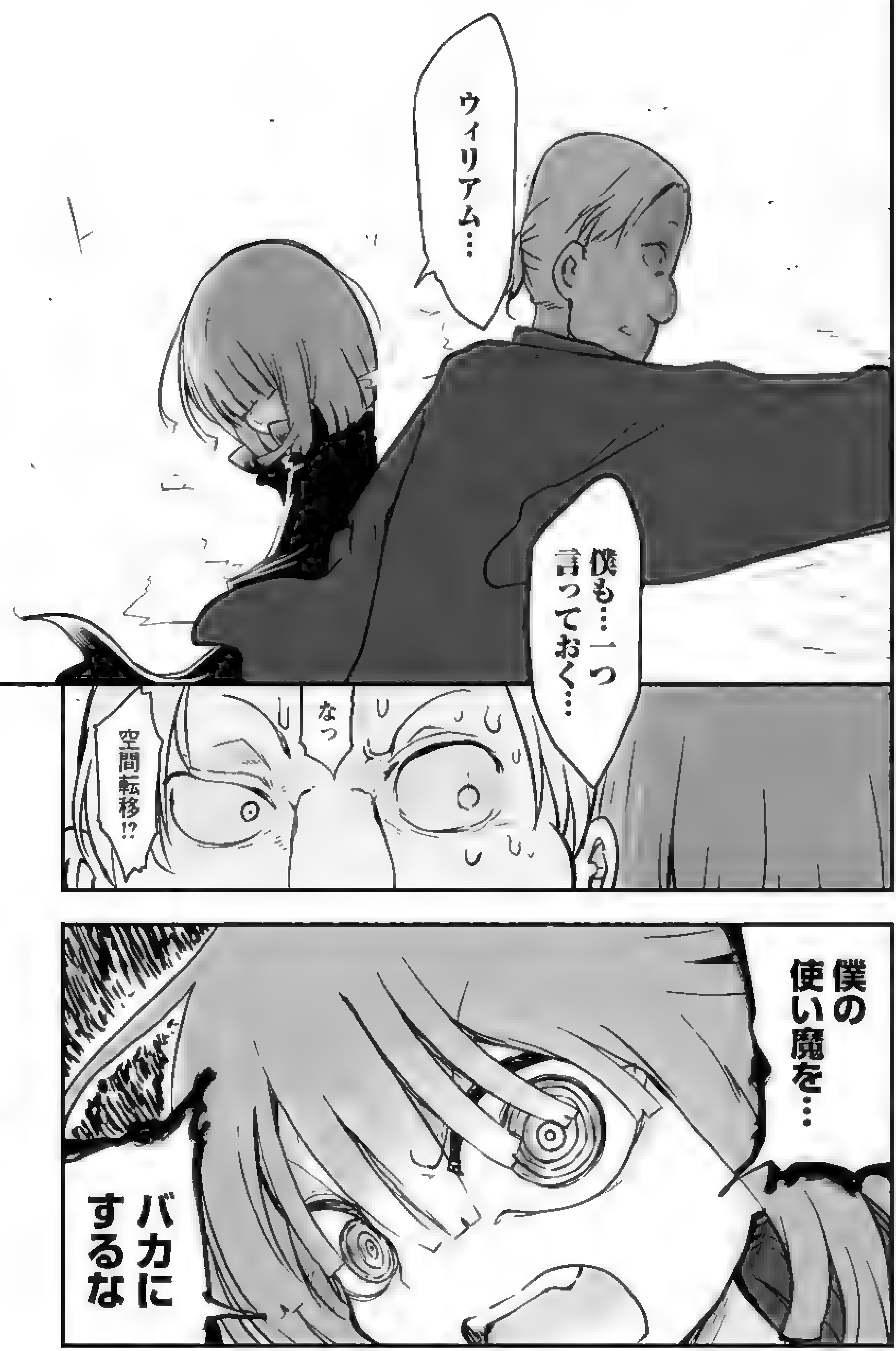

さぁ 小林さん しっかり つかまってて ください
一組目スタート!! 二組目準備!!
ほいほい
ひょい
あ 小林さん 気を付けて くださいね
次!! 三組目!!
?
この試験では 決闘が認められて いるんです
決闘？
ゴールした 順位が 下の者は 上の者に 対して決闘を 挑めるんです
ほーーん
勝てば順位が 入れ替わります
この決闘は 断れるの ですが… 断れば 名誉に傷が つくので 断る者は いません
小林さん 次ですよ
なるほど
じゃあ きても 全部 断るね
いくよ トール
はい はーい!
バサッ
四組目 スタート!!
バッサ
すごい メンタルだ…

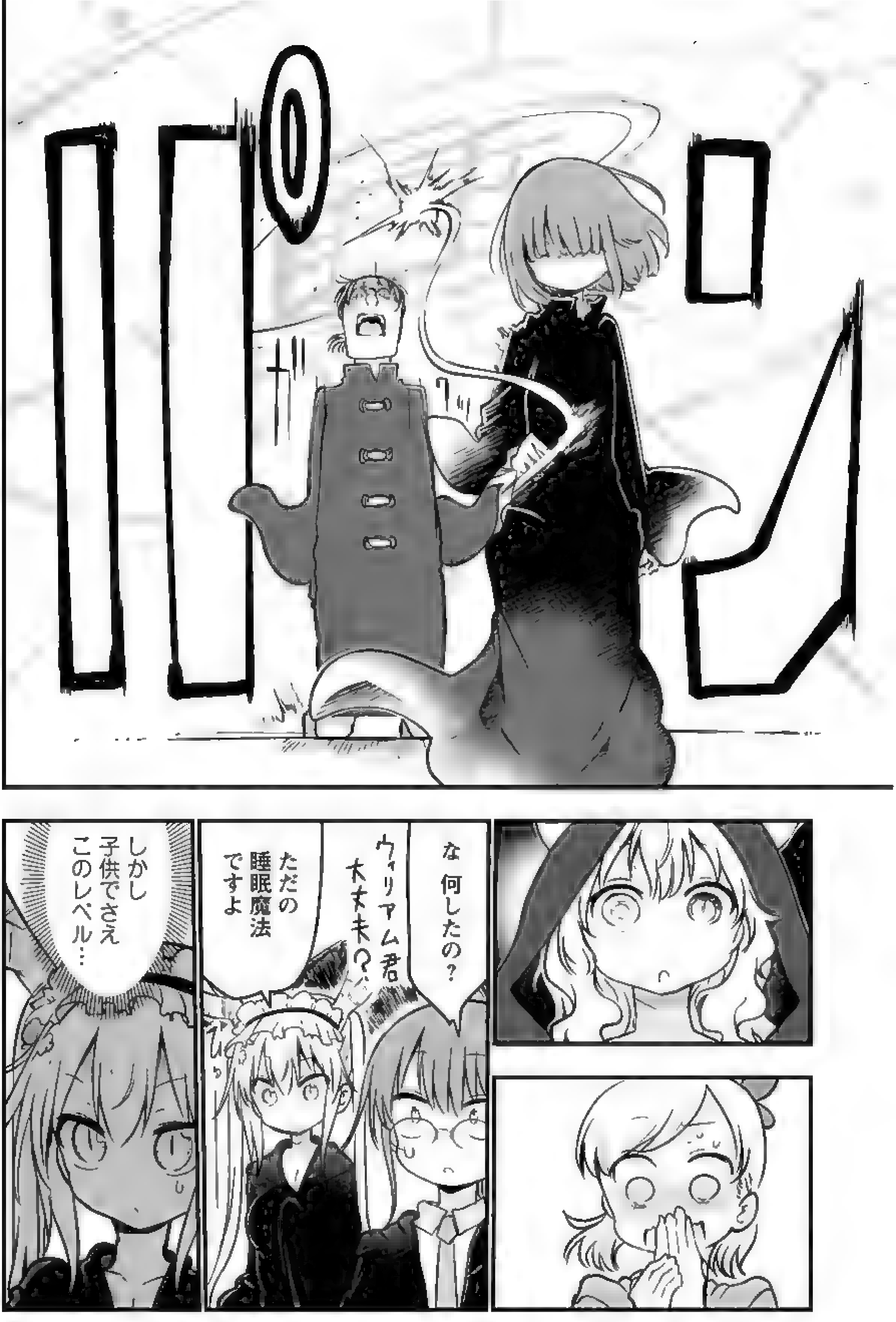

それじゃぁ翔太君もおいで おんぶしてあげるよ
いや…
この試験 ルコアの力は借りない
!
お前が手伝うなら楽かもしれないけど…
自分の力でやり遂げたいんだ
そっか…
うん わかった! 頑張ってね翔太君! 後ろから見てるよ
やめい
よし!
あ 見てウィリアム 翔太は箒で行くみたいよ
へぇ… そいつは見ものだな
なんたってあいつは…

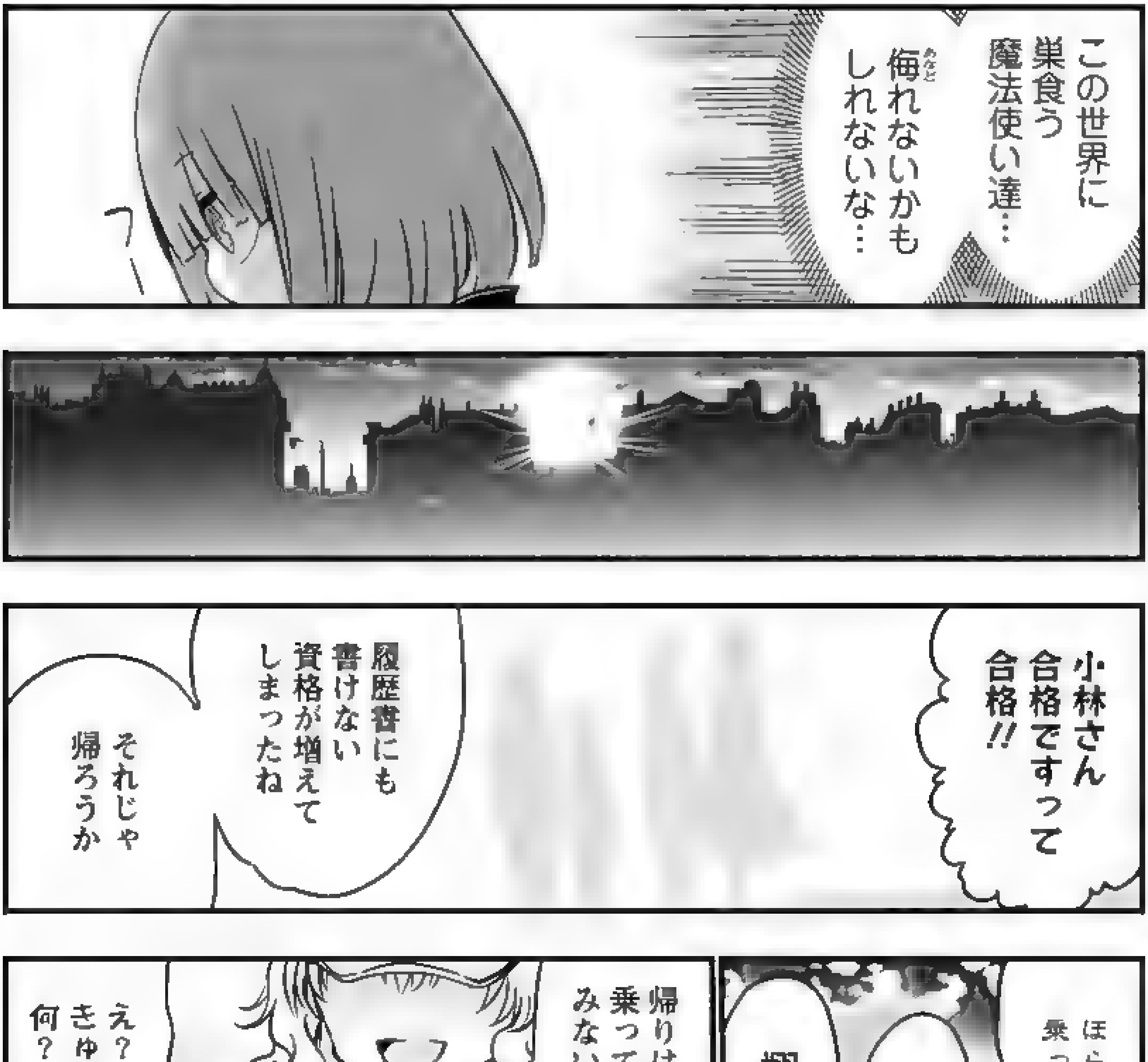

箒が
大の苦手だからな
わーー!!
がぁあッ
ドッシャア
ガ
グ
わ…
大丈夫
翔太君？
ヨロ…
へ 平気さ
やっぱり僕
助けようか？
僕は君の
使い魔だし
恥じること
ないんだよ？
そうは
いかないよ
ここで
安易に頼る
ようなら
それこそ
お前の主人
失格じゃ
ないか
キッ
翔太君…

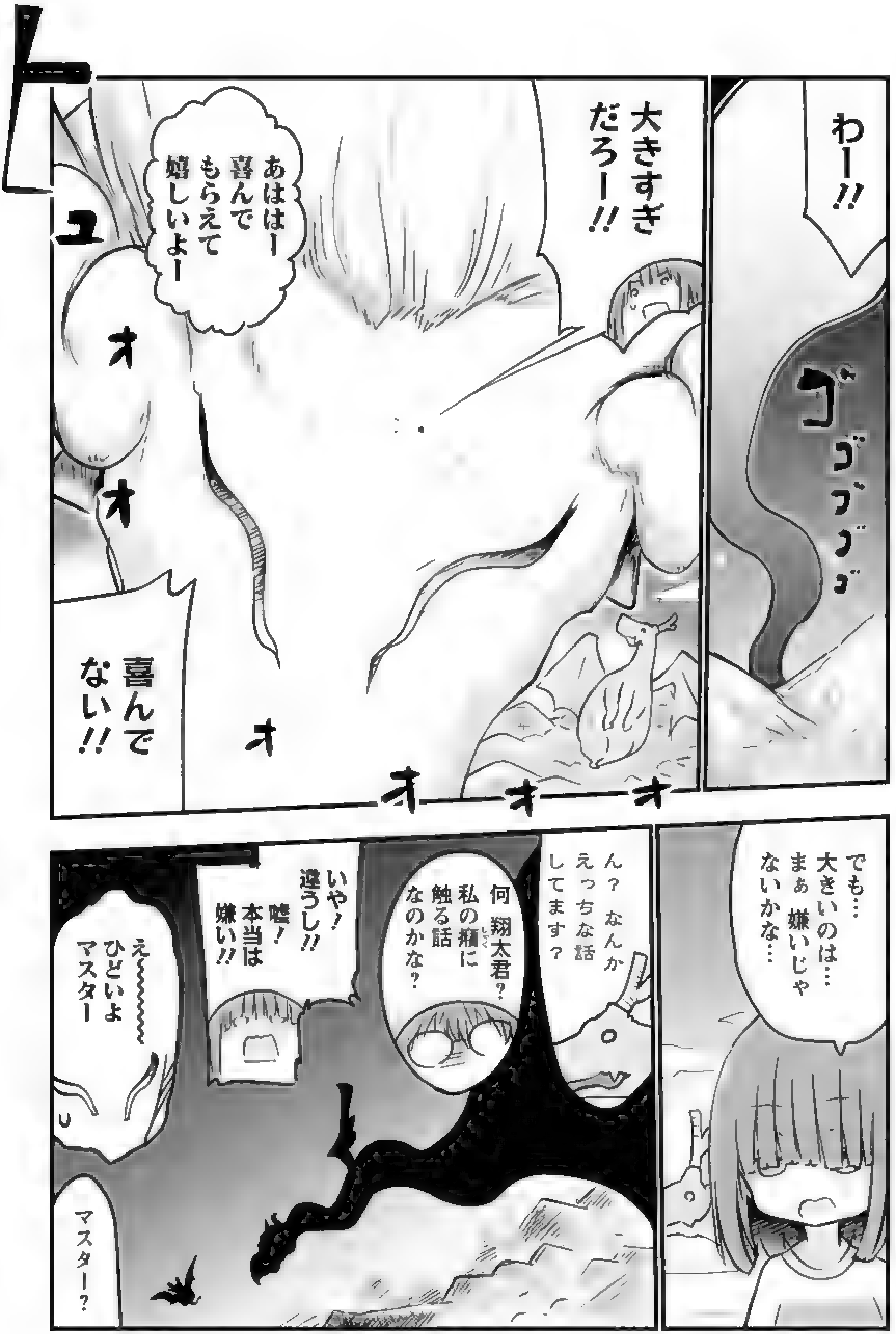

見ててよ
ルコア
頑張る
から
いやー
特に何の
問題もなく
一着でしたね
流石
小林さん!!
いやいや
トールが
全部やった
ようなもん
でしょ
結局 実技でも
１位かよ
小林って人…
決闘も
全部断った
らしいぞ…
名誉なんて
どうでも
いいってか?
マジで
意味わからん
人だな…
!
納得
いかねぇ!!
なんでお前が
俺より先に
ゴールして
いるんだ!
ボロ…
そりゃ君より
速かったからでしょ


決闘だ！
決闘を申し込むぞ
翔太！！
!
ビッ
本気か
ウィリアム…？
負けたら
来年の受験資格が
なくなるんだぞ
おい
ちょ・と!!
俺が七光りなんかに
負けるもんか!!
その使い魔
だってなんだ!?
!
まったく役に立って
ねーじゃねーか
ウドの大木も
いいとこだぜ
夜のお世話に
使うだけか?
いいぞ…
決闘受けて立つ！
言ったな!?
後悔するなよ
翔太!!
俺はこういう類の
魔法は大得意なんだ！
さぁ地べたに
這いつくばり
やがれ…!!

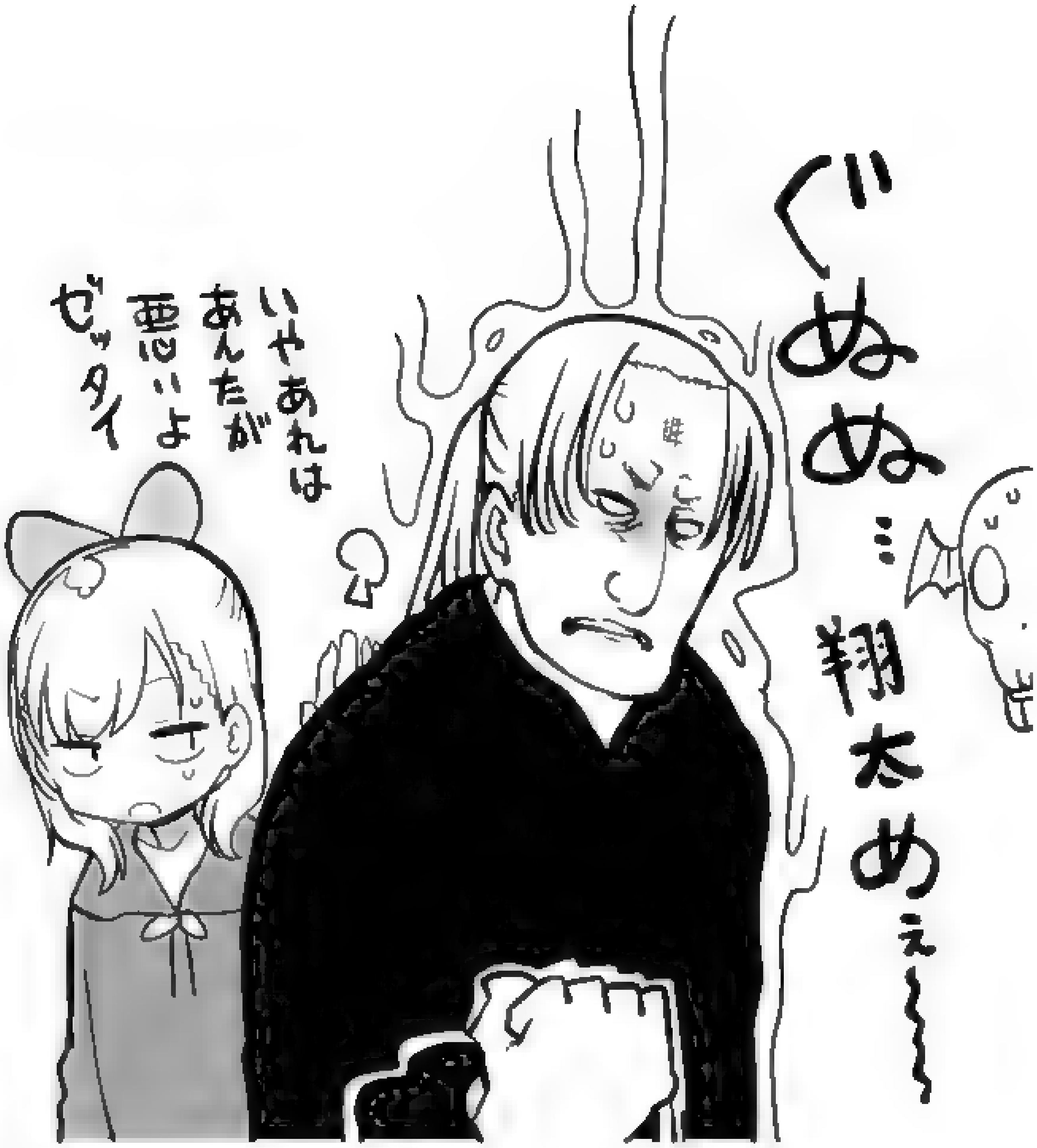

ウィリアム…
僕も…一つ言っておく…
なっ
空間転移!?
僕の使い魔を…
バカにするな

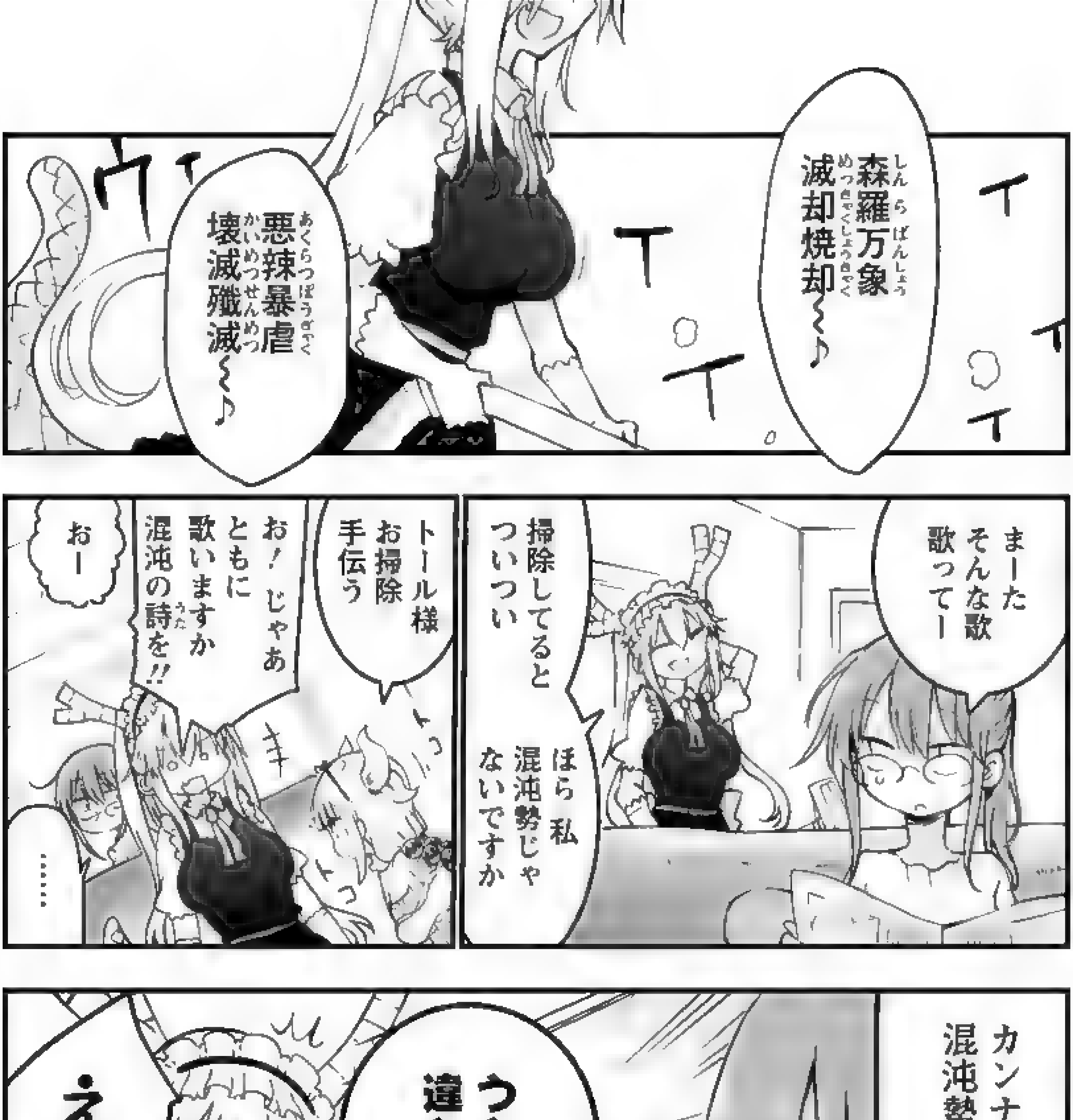

パロン
な 何したの？ ウィリアム君大丈夫？
ただの睡眠魔法ですよ
しかし子供でさえこのレベル…


この世界に巣食う魔法使い達…
侮（あなど）れないかもしれないな…
小林さん合格ですって合格!!
履歴書にも書けない資格が増えてしまったね
それじゃ帰ろうか
ほらほらー乗ってください
うーい
翔太君
よじよじ
帰りは僕に乗って帰ってみない？
え？きゅ急に何？
ふふふ…乗せてあげたいの
……

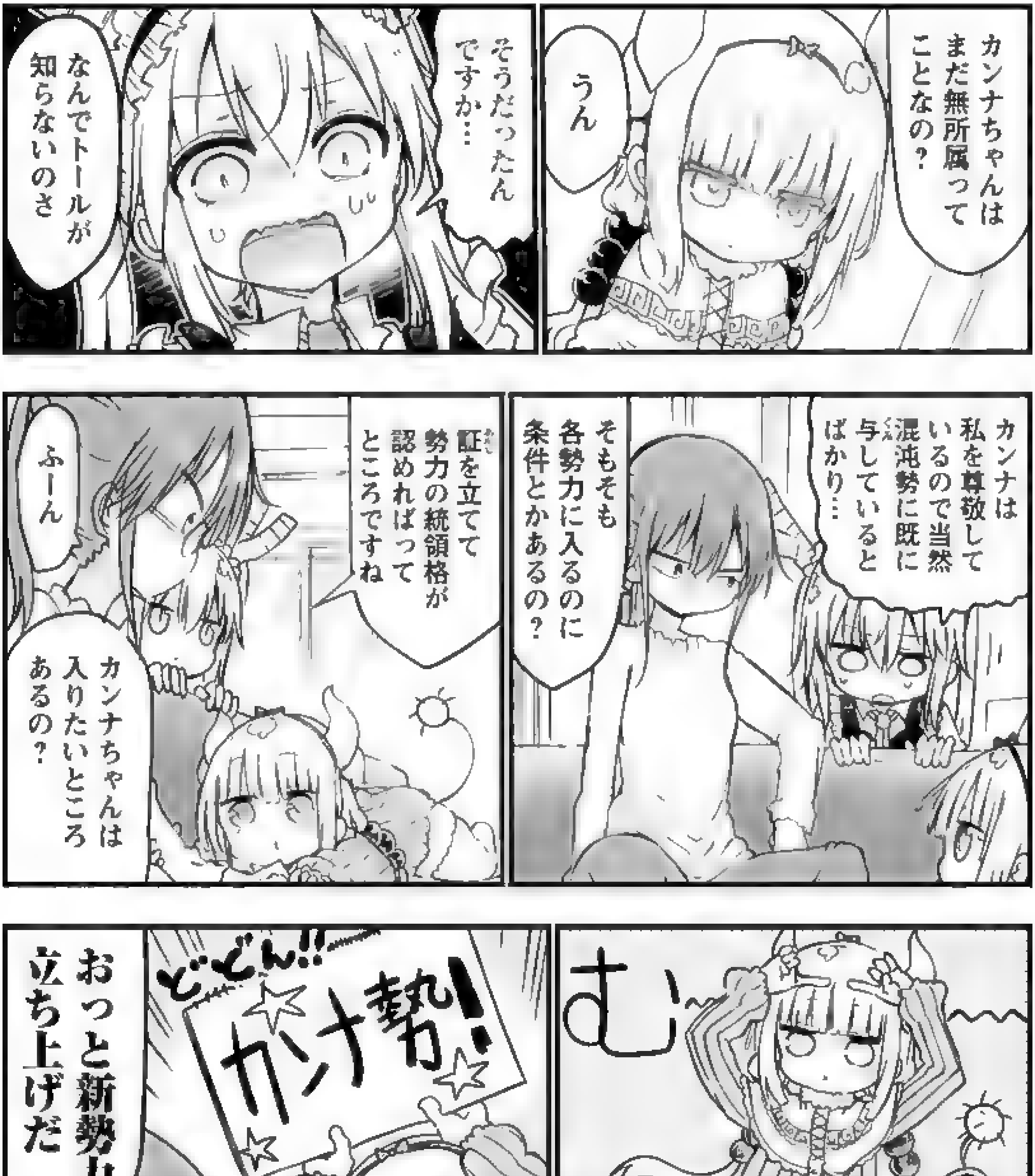

わー!!
ゴゴゴゴゴゴ
大きすぎだろー!!
あはは一喜んでもらえて嬉しいよー
ユオオ
喜んでない!!
オ—オ—オ—オ
でも…大きいのは…まぁ嫌いじゃないかな…
ん？なんかえっちな話してます？
何翔太君？私の角に触る話なのかな？
いや！違うし!! 嘘！本当は嫌い!!
え～～～ひどいよマスター
マスター？

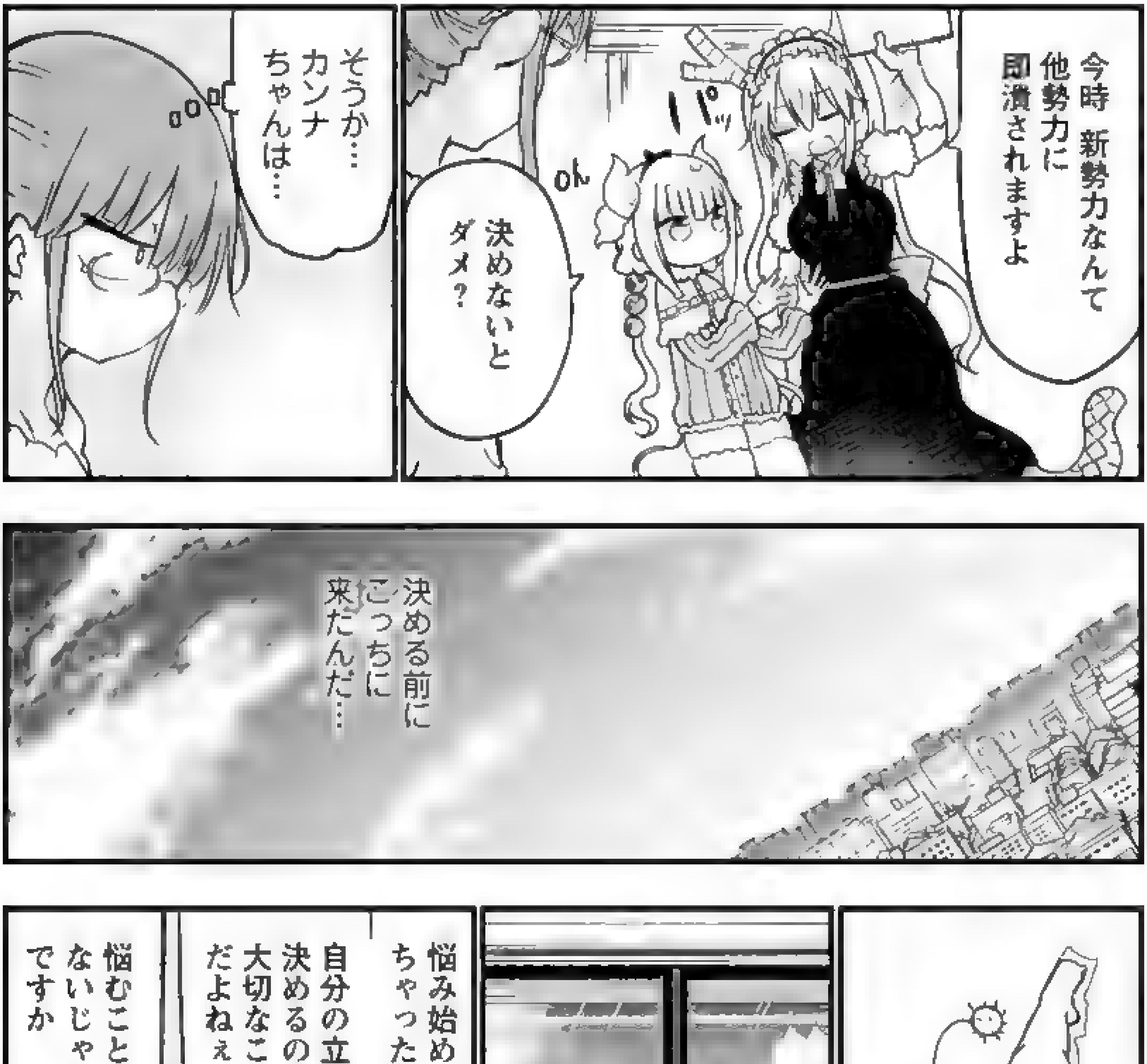
第66話／おわり

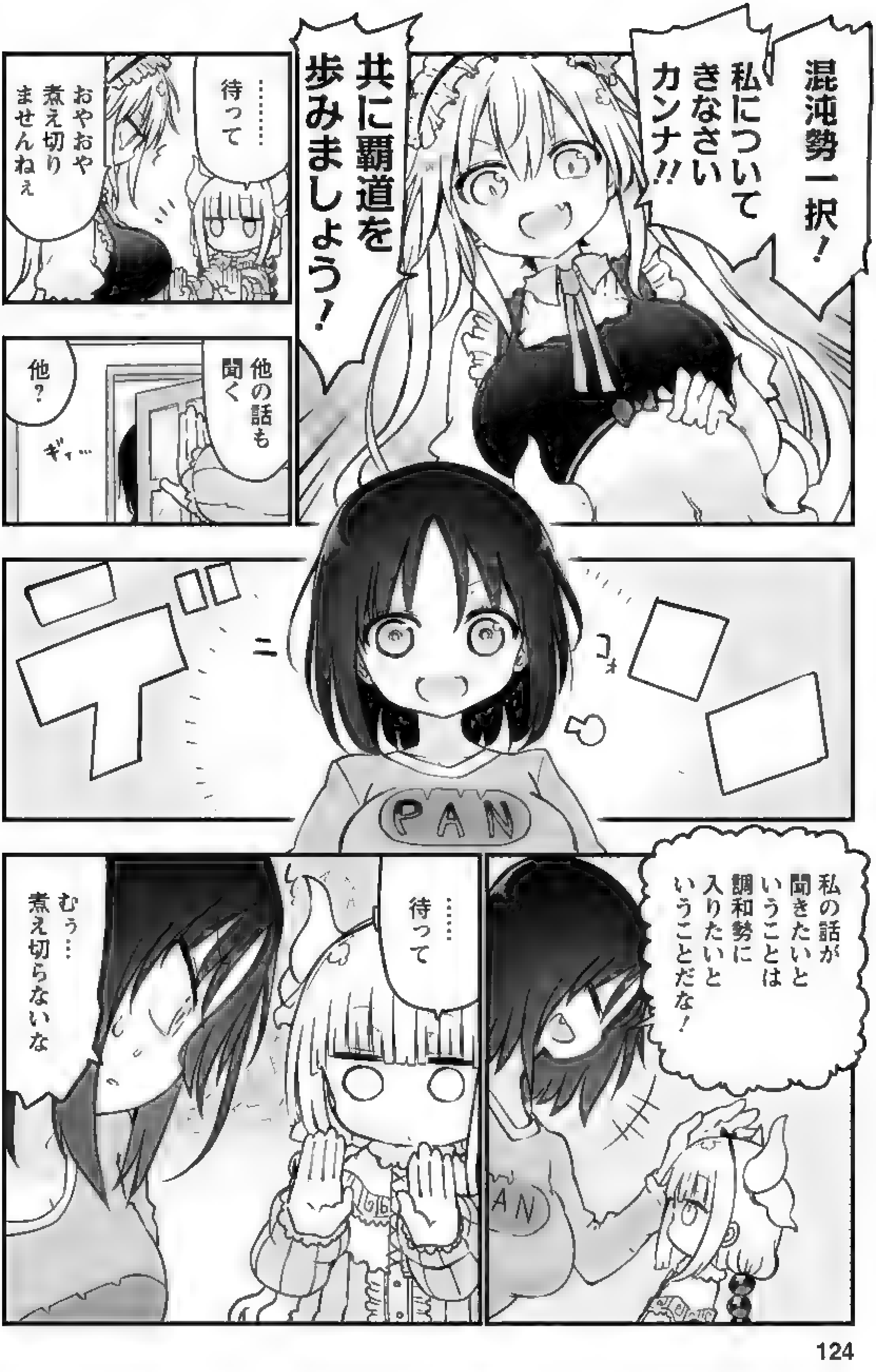

ぐぬぬ…翔太めぇ～～～
いやあれは
あんたが
悪いよ
ゼッタイ

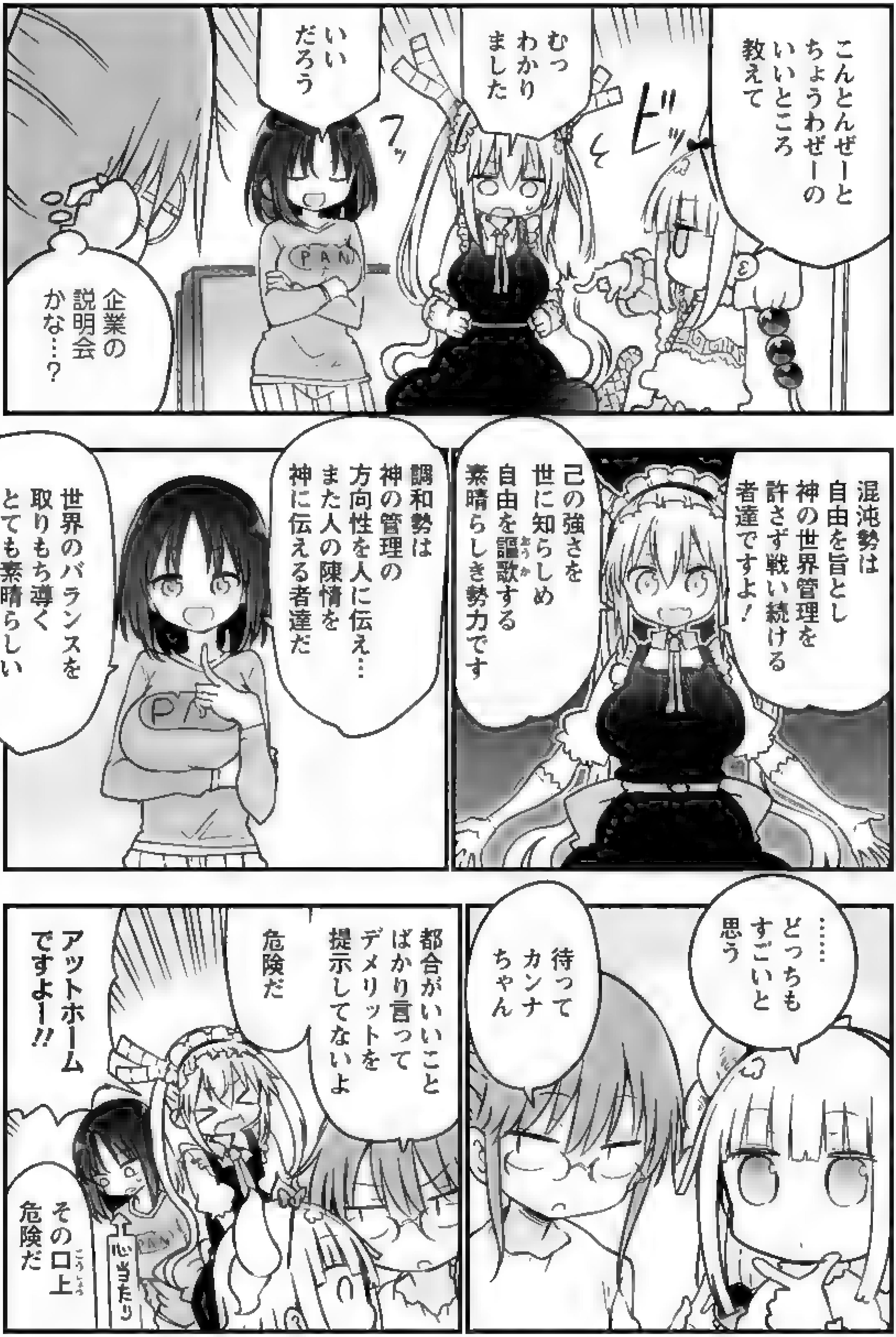

森羅万象（しんらばんしょう）滅却焼却（めっきゃくしょうきゃく）～♪
悪辣暴虐（あくらつぼうぎゃく）壊滅殲滅（かいめつせんめつ）～♪
まーた そんな歌 歌ってー
掃除してると ついつい
ほら 私 混沌勢じゃ ないですか
トール様 お掃除 手伝う
お！じゃあ ともに 歌いますか 混沌の詩（うた）を!!
おー
……
カンナちゃんって 混沌勢なの？
ううん 違う
え!?
シレッ

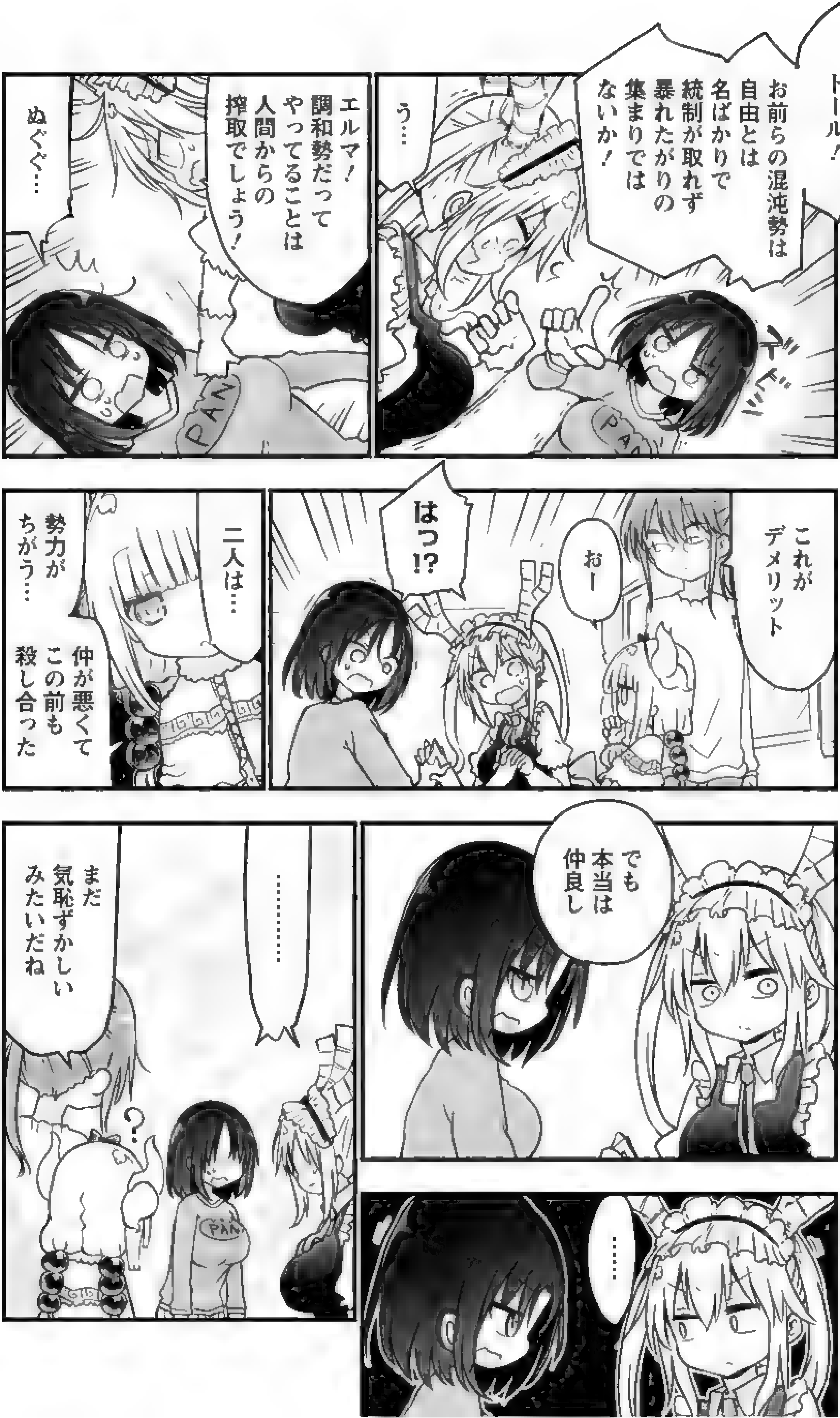
第67話 カンナとグループ

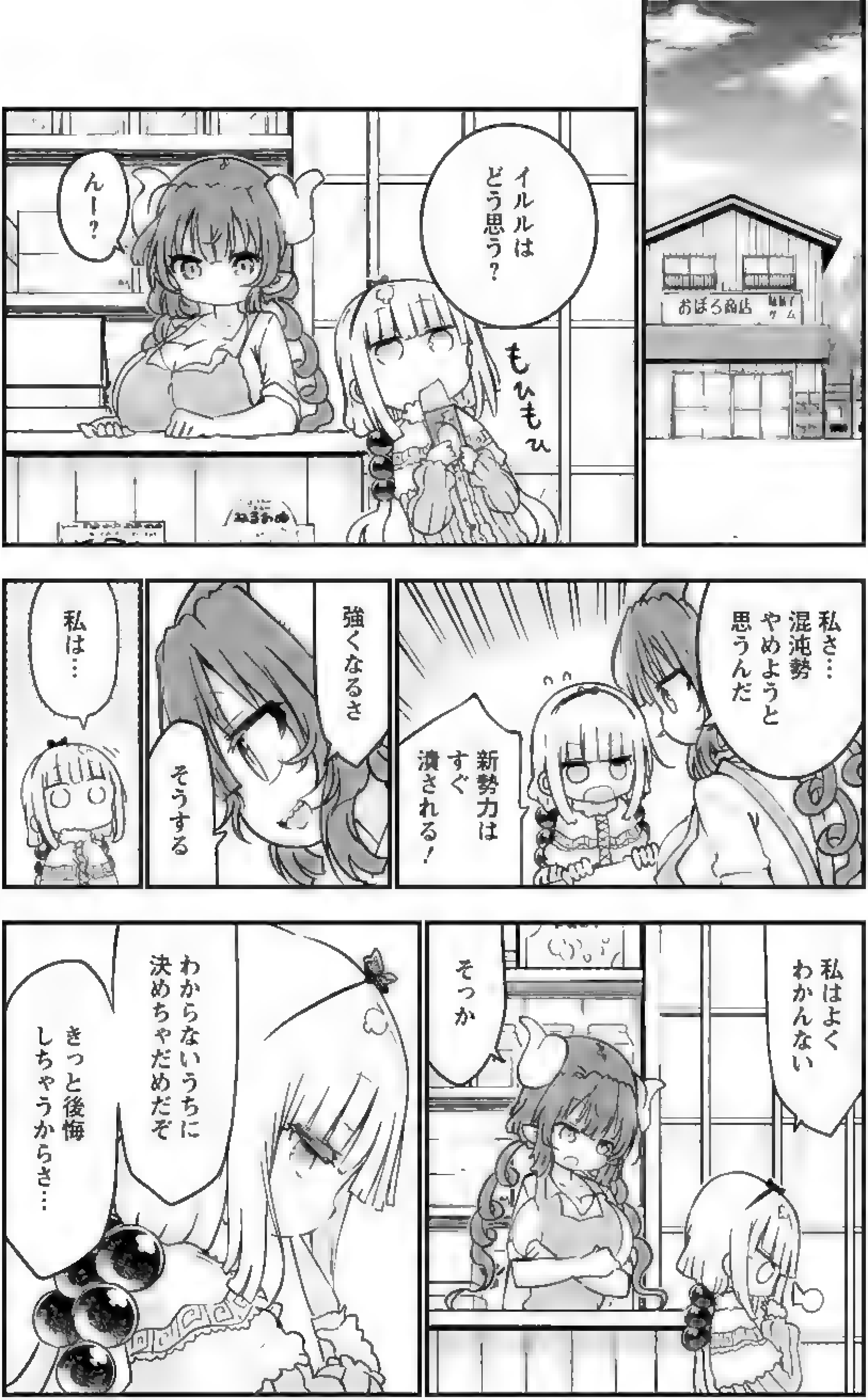

カンナちゃんはまだ無所属ってことなの？
うん
そうだったんですか…
なんでトールが知らないのさ
カンナは私を尊敬しているので当然混沌勢に既に与していると ばかり…
そもそも各勢力に入るのに条件とかあるの？
証を立てて勢力の統領格が認めればってところですね
ふーん
カンナちゃんは入りたいところあるの？
む～
ピキーン
どどん!!
カンナ勢!
おっと新勢力立ち上げだ

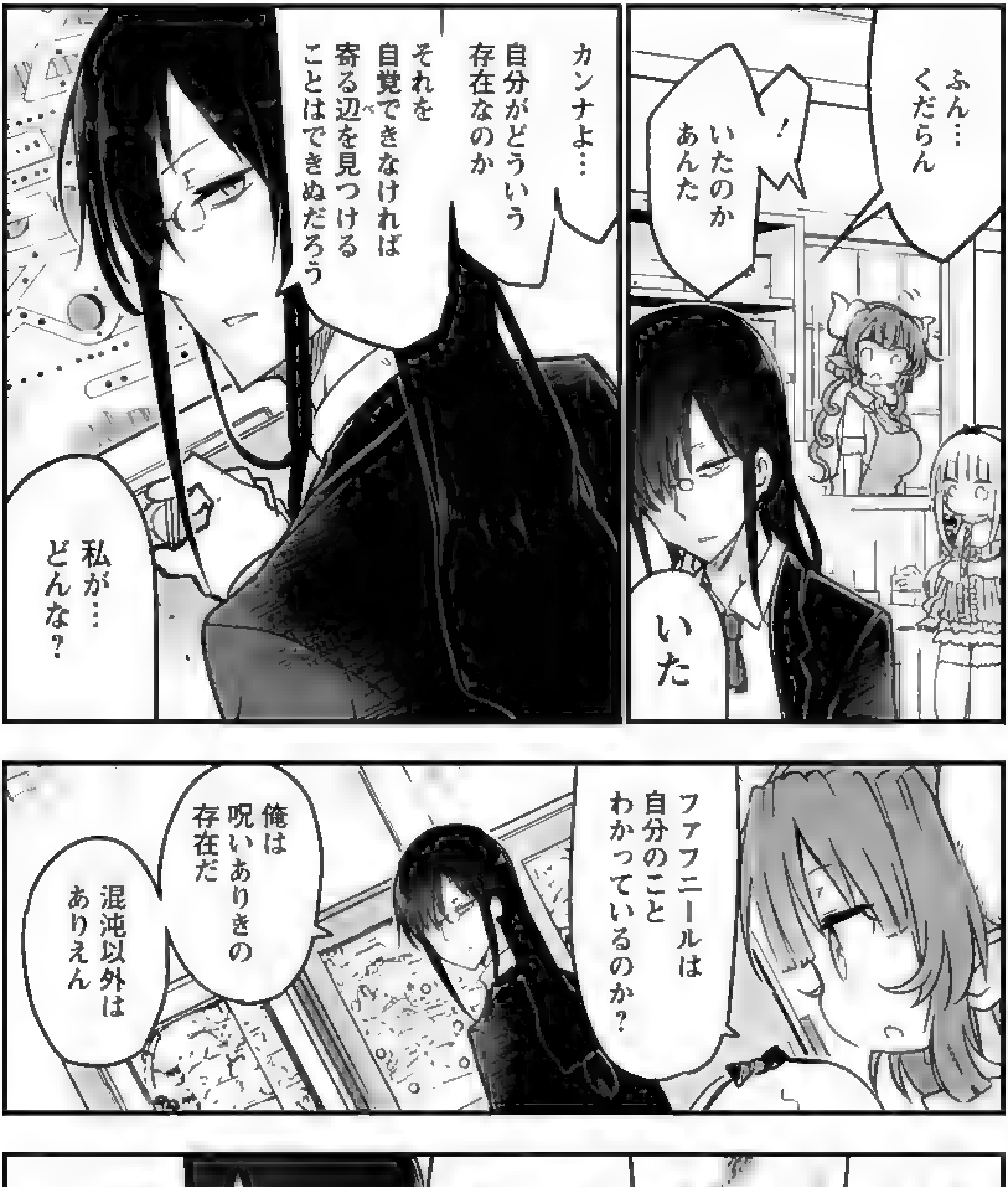

今時 新勢力なんて他勢力に即潰されますよ
パッ
決めないとダメ？
そうか…カンナちゃんは…
決める前にこっちに来たんだ…
悩み始めちゃったけど自分の立場を決めるのは大切なことだよねぇ
フンスッ
悩むことはないじゃないですか

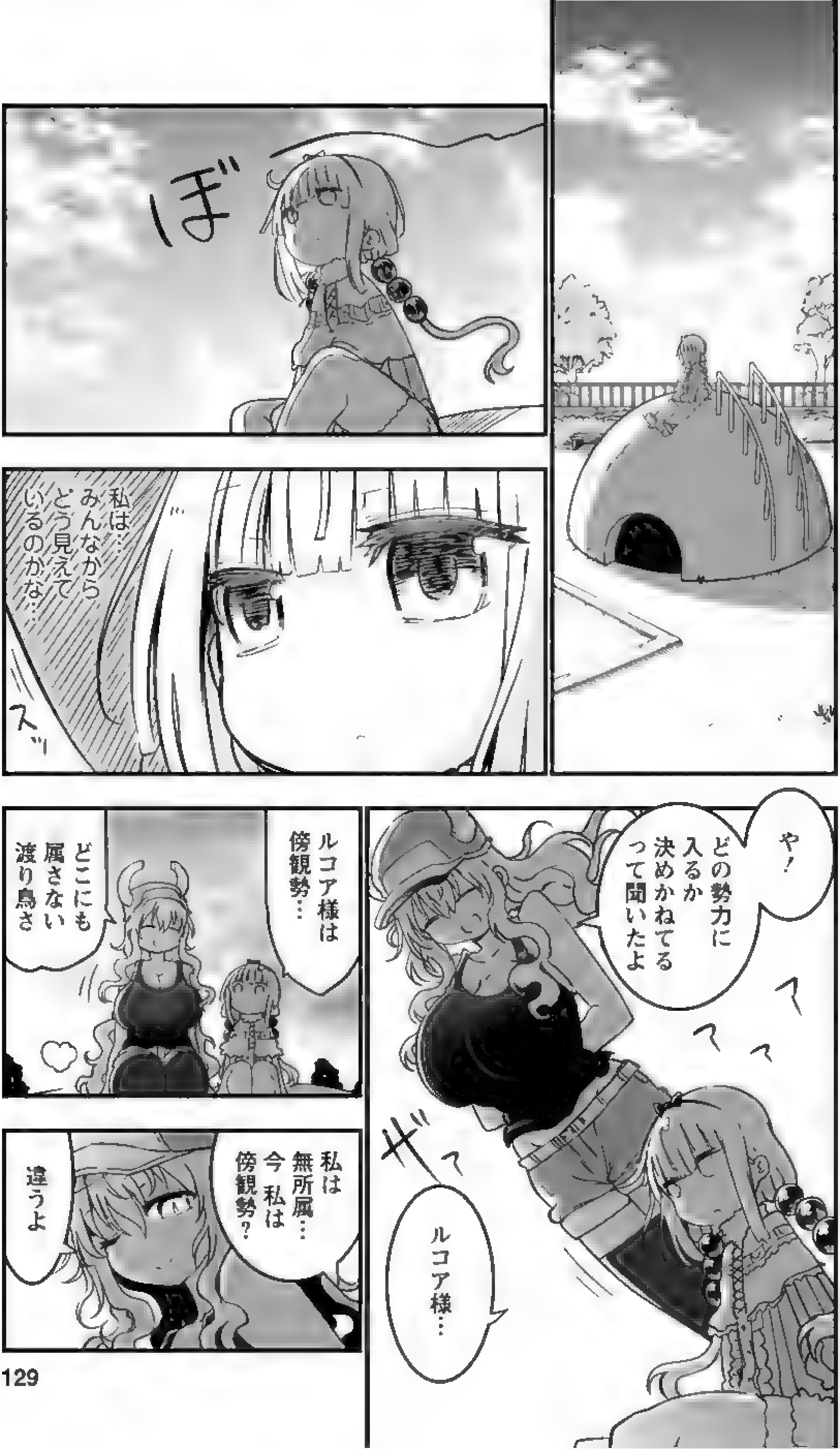

混沌勢一択！
私についてきなさいカンナ!!
共に覇道を歩みましょう！
……待って
おやおやおや煮え切りませんねぇ
他の話も聞く
他？
ギィ…
デ
コォ
私の話が聞きたいということは調和勢に入りたいということだな！
……待って
むぅ…煮え切らないな

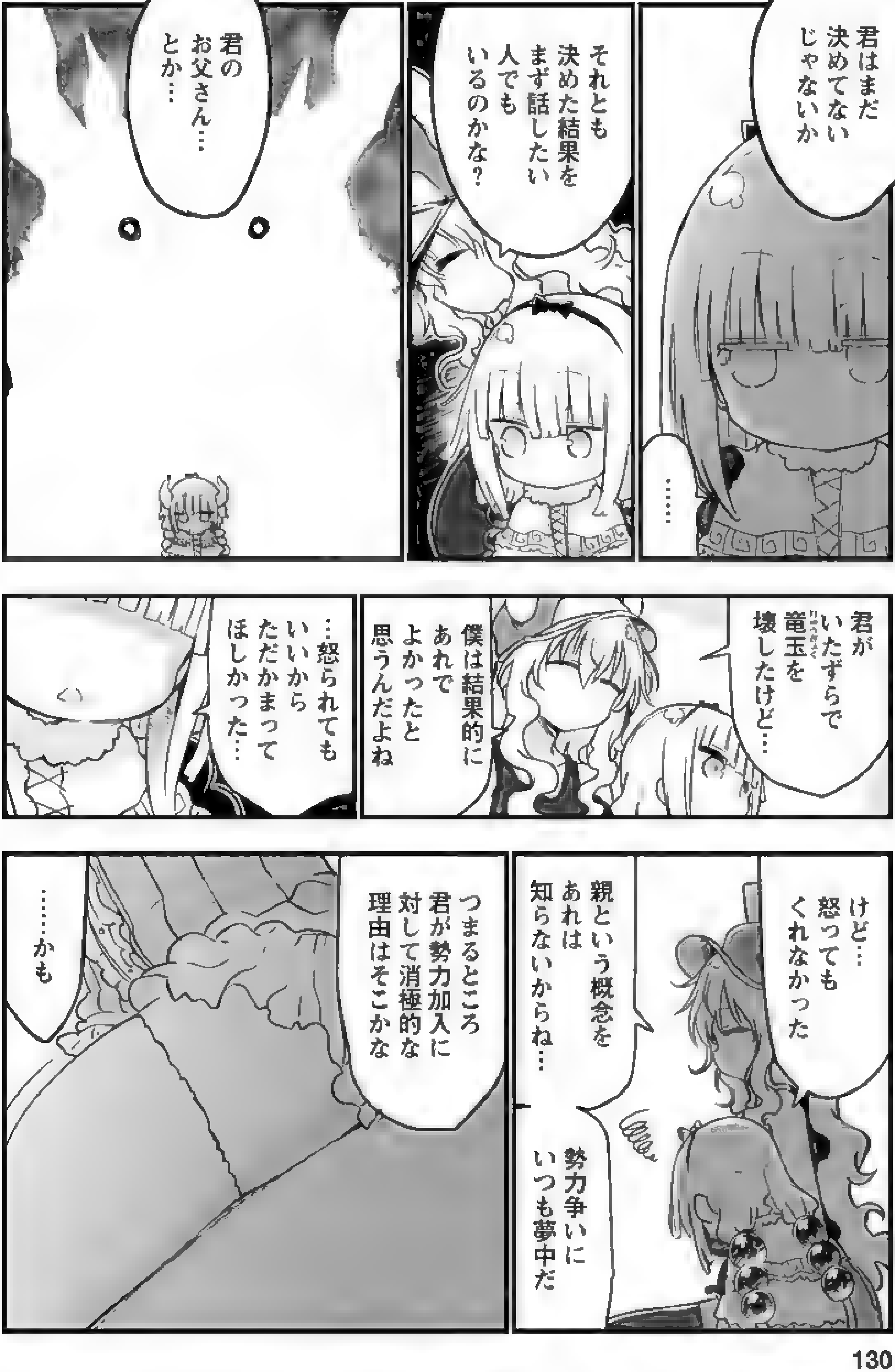

こんとんぜーと ちょうわぜーの いいところ 教えて
ビッ
むっ わかり ました
フッ
いい だろう
企業の 説明会 かな…？
混沌勢は 自由を旨とし 神の世界管理を 許さず戦い続ける 者達ですよ！
己の強さを 世に知らしめ 自由を謳歌（おうか）する 素晴らしき勢力です
調和勢は 神の管理の 方向性を人に伝え… また人の陳情を 神に伝える者達だ
世界のバランスを 取りもち導く とても素晴らしい 勢力なのだ！
……どっちも すごいと 思う
待って カンナ ちゃん
都合がいいこと ばかり言って デメリットを 提示してないよ
危険だ
アットホーム ですよー!!
心当たり
その口上（こうじょう） 危険だ

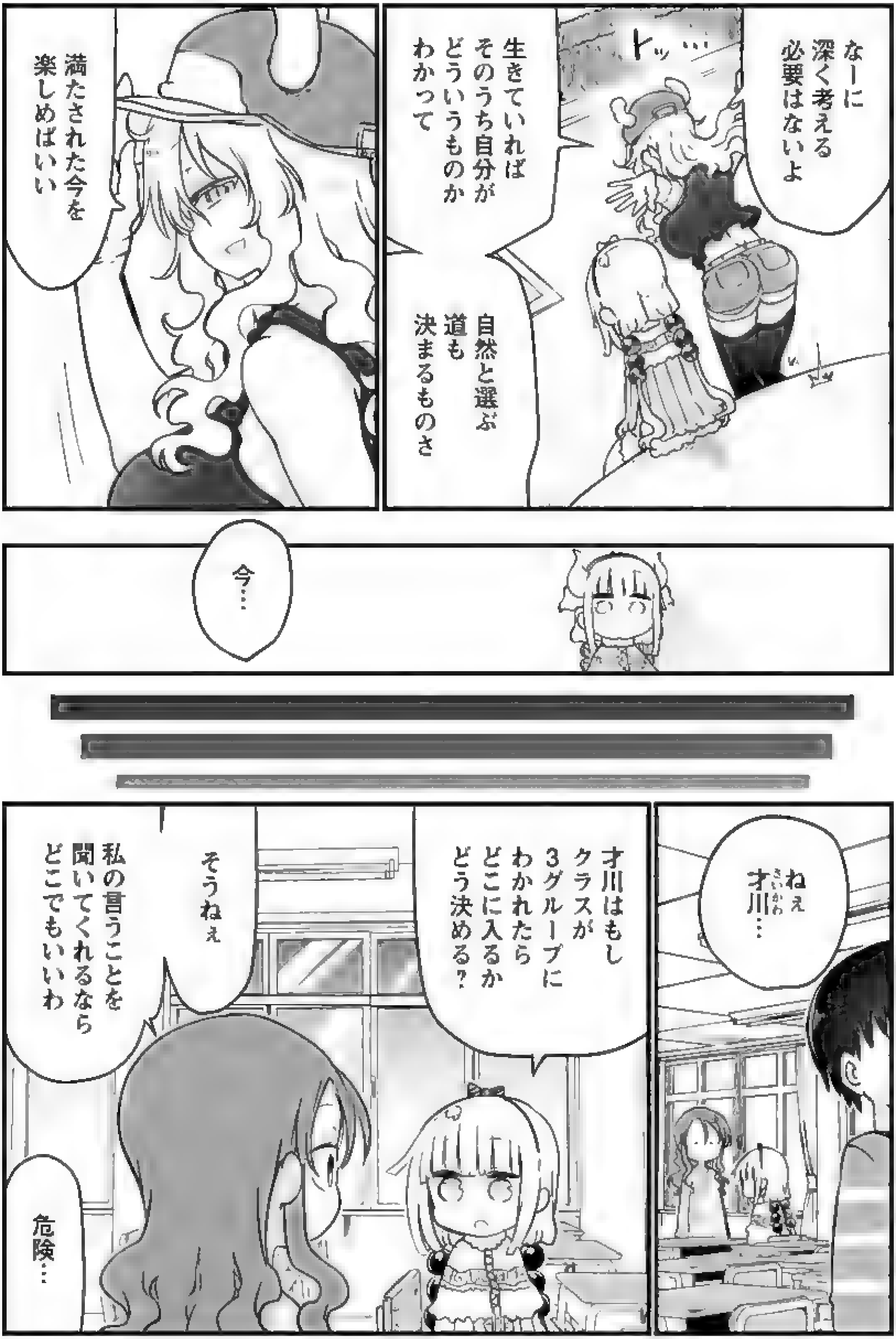

トール！
お前らの混沌勢は自由とは名ばかりで統制が取れず暴れたがりの集まりではないか！
う…
エルマ！調和勢だってやってることは人間からの搾取でしょう！
ぬぐぐ…
これがデメリット
おー
はっ!?
二人は…
勢力がちがう…
仲が悪くてこの前も殺し合った
でも本当は仲良し
……
………
まだ気恥ずかしいみたいだね
？

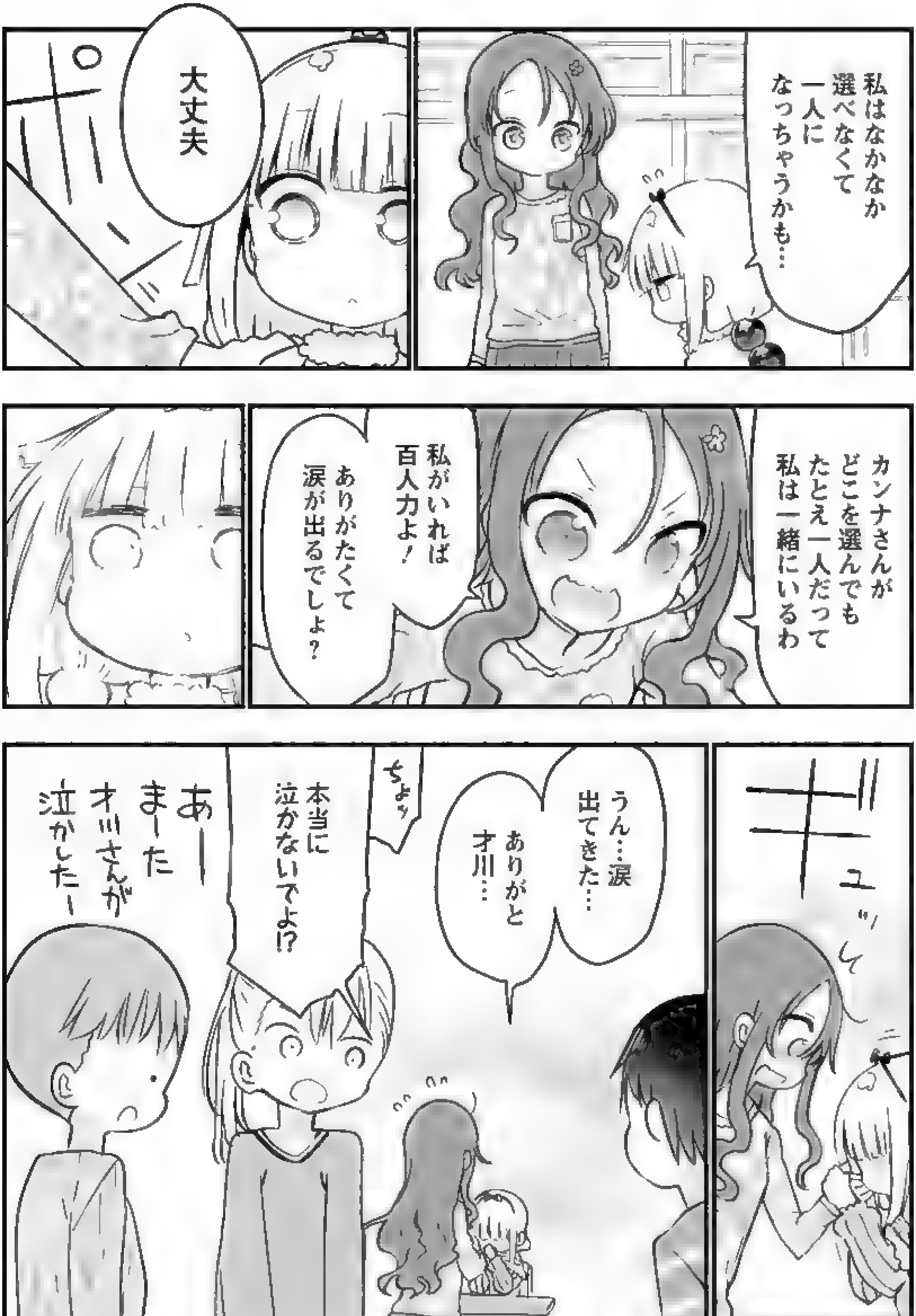

おぼろ商店
イルルはどう思う？
もひもひ
んー？
私さ…混沌勢やめようと思うんだ
新勢力はすぐ潰される！
強くなるさ
そうする
私は…
私はよくわかんない
そっか
わからないうちに決めちゃだめだぞ
きっと後悔しちゃうからさ…


ふん…
くだらん
！
いたのか
あんた
いた
カンナよ…
自分がどういう
存在なのか
それを
自覚できなければ
寄る辺を見つける
ことはできぬだろう
私が…
どんな？
ファフニールは
自分のこと
わかっているのか？
俺は
呪いありきの
存在だ
混沌以外は
ありえん
陰気で根暗
なのも
含めてか？
暗くて
じめじめ
したところ
好きだから？
聞こえ
てるぞ


ぼー
私は…
みんなから
どう見えて
いるのかな…
スッ
や！
どの勢力に
入るか
決めかねてる
って聞いたよ
ザッ
ルコア様…
ルコア様は
傍観勢…
どこにも
属さない
渡り鳥さ
私は
無所属…
今 私は
傍観勢？
違うよ

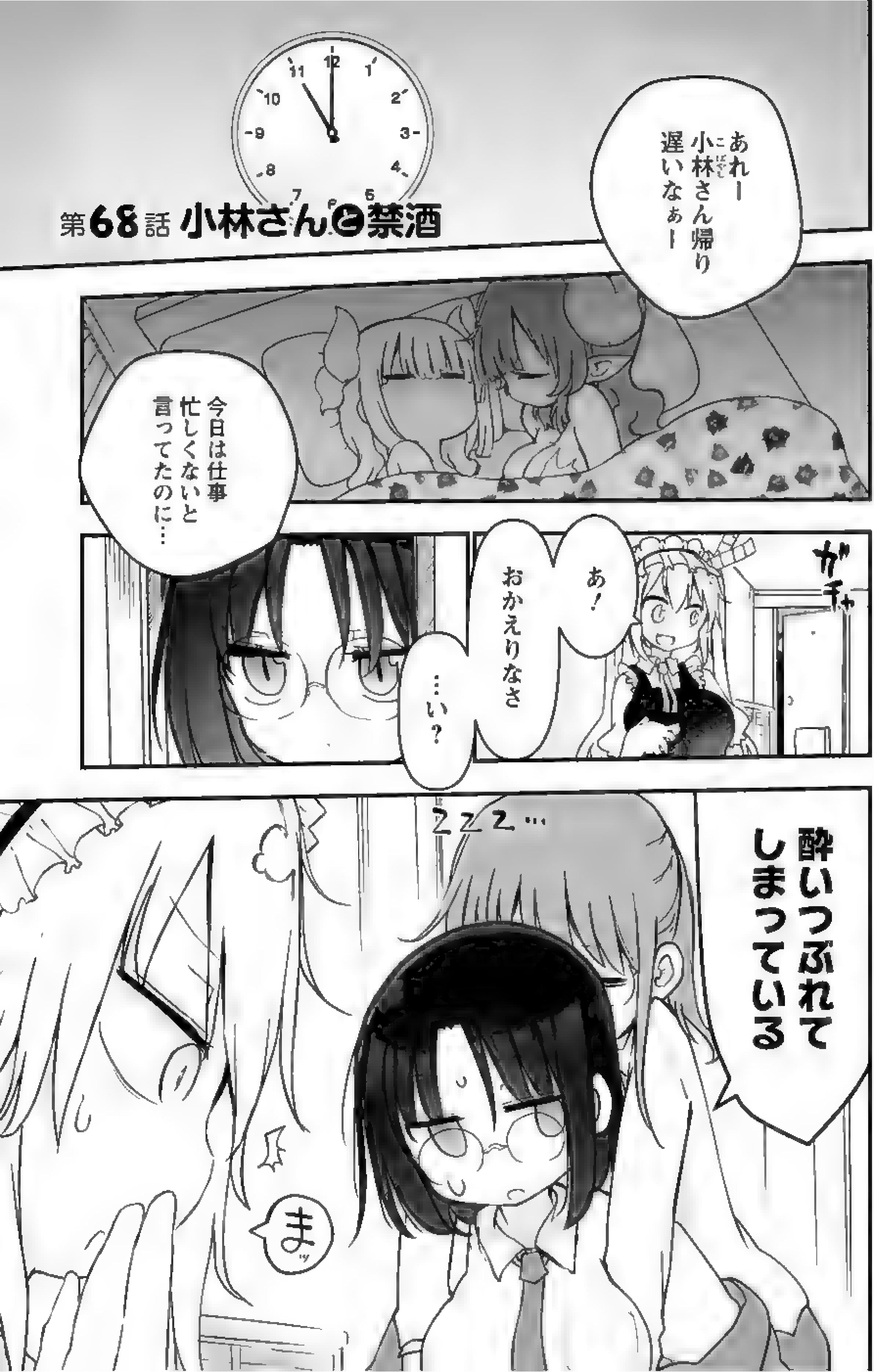

君はまだ決めてないじゃないか
……
それとも決めた結果をまず話したい人でもいるのかな？
君のお父さん…とか…
君がいたずらで竜玉を壊したけど…
僕は結果的にあれでよかったと思うんだよね
…怒られてもいいからただかまってほしかった…
けど…怒ってもくれなかった
親という概念をあれは知らないからね…
勢力争いにいつも夢中だ
つまるところ君が勢力加入に対して消極的な理由はそこかな
……かも

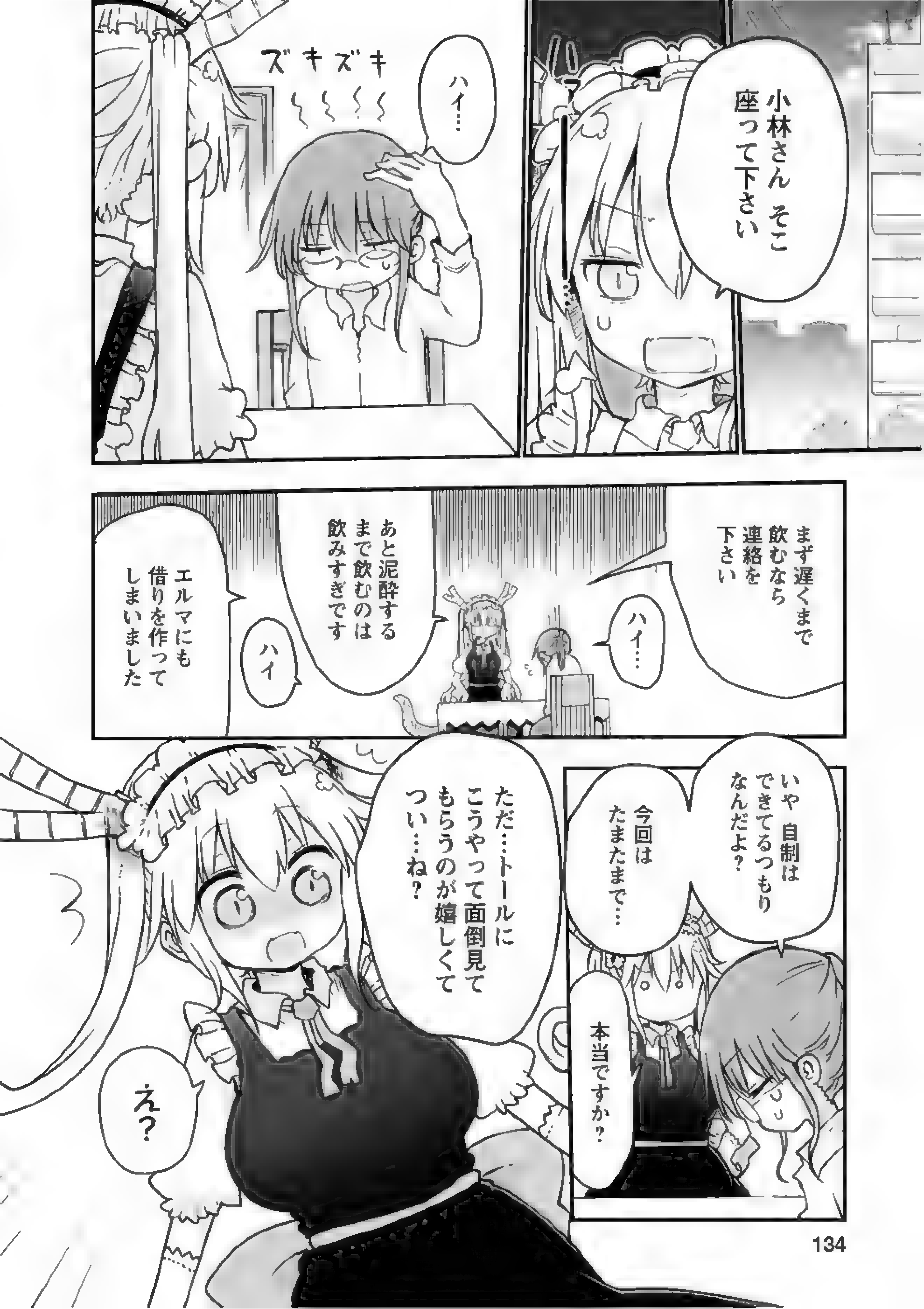

なーに
深く考える
必要はないよ
ドッ…
生きていれば
そのうち自分が
どういうものか
わかって
自然と選ぶ
道も
決まるものさ
満たされた今を
楽しめばいい
今…
ねぇ
才川（さいかわ）…
才川はもし
クラスが
3グループに
わかれたら
どこに入るか
どう決める？
そうねぇ
私の言うことを
聞いてくれるなら
どこでもいいわ
危険…

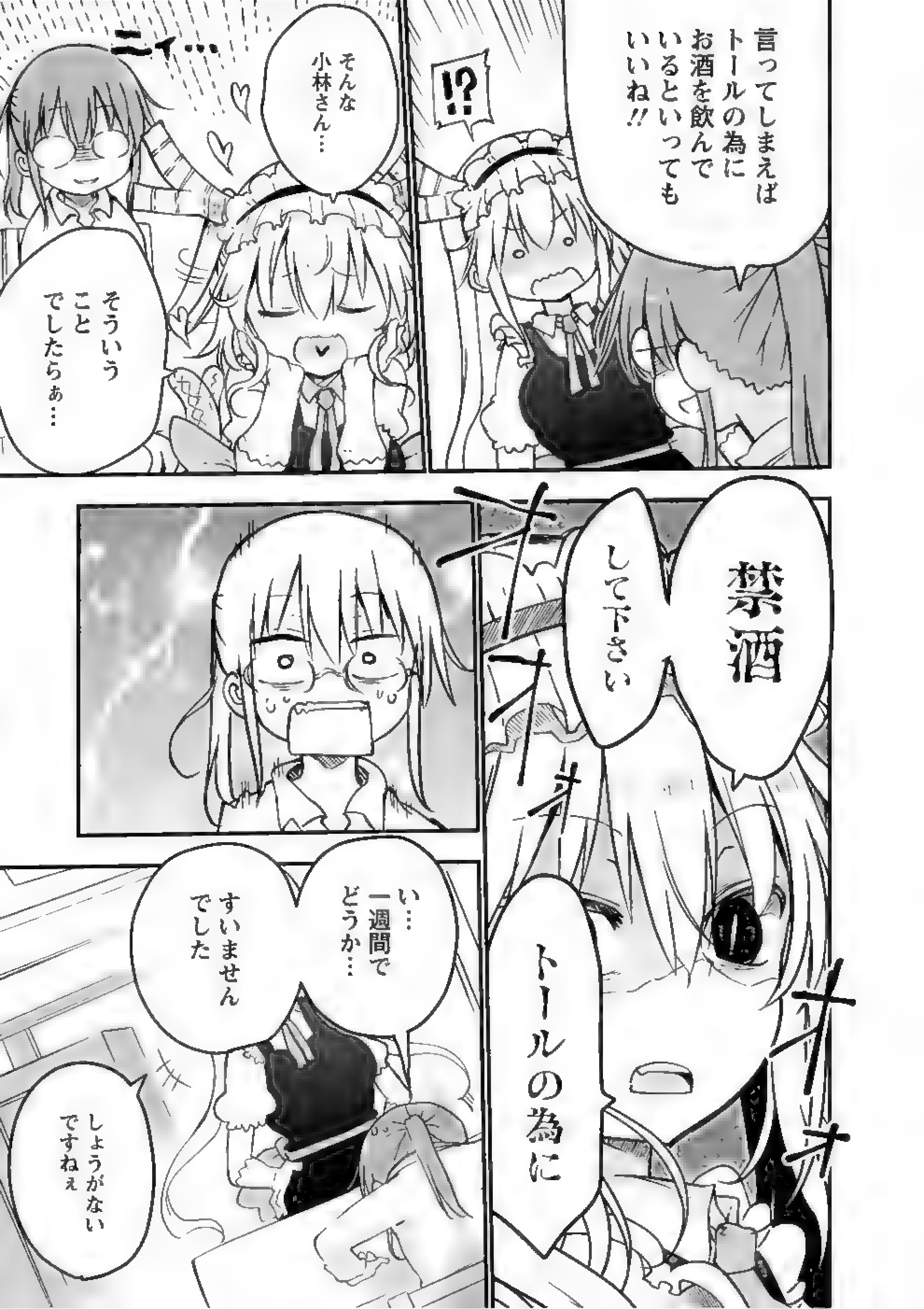

私はなかなか選べなくて一人になっちゃうかも…
パ
大丈夫
カンナさんがどこを選んでもたとえ一人だって私は一緒にいるわ
私がいれば百人力よ！
ありがたくて涙が出るでしょ？
ギュッ
して
うん…涙出てきた…
ありがと才川…
ちょっ
本当に泣かないでよ!?
あーまーた才川さんが泣かしたー

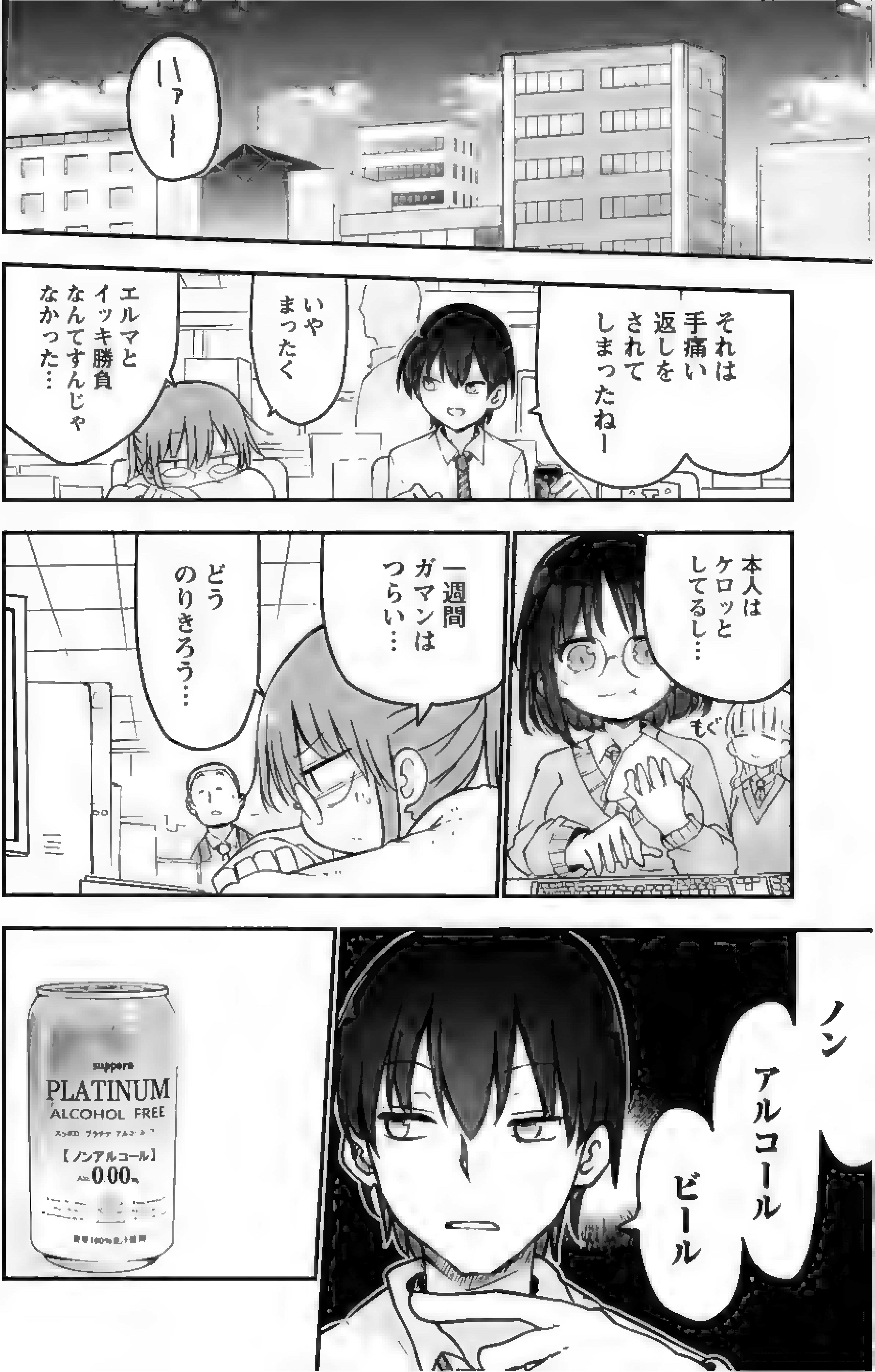
第67話／おわり

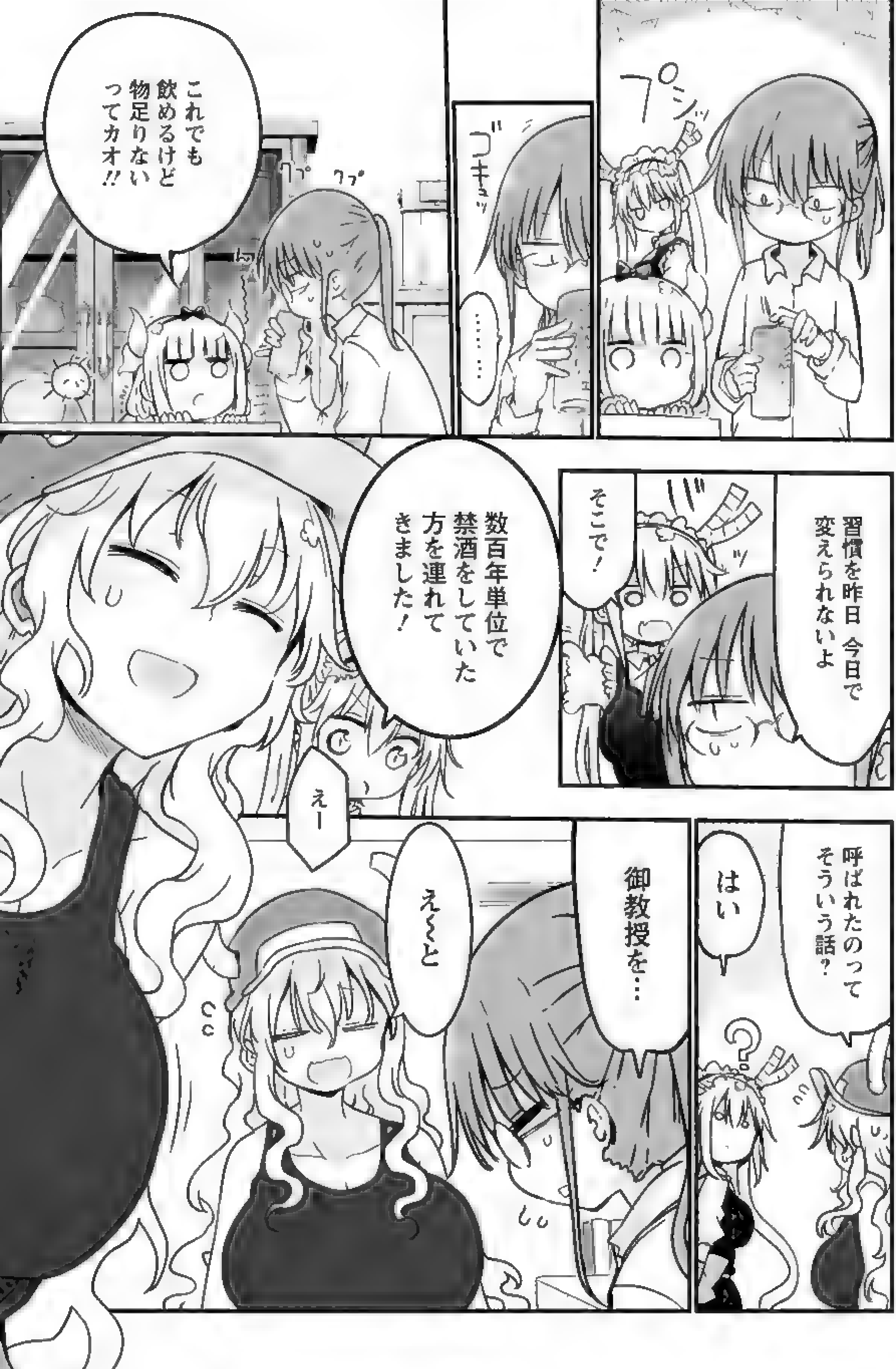
第68話 小林さんと禁酒

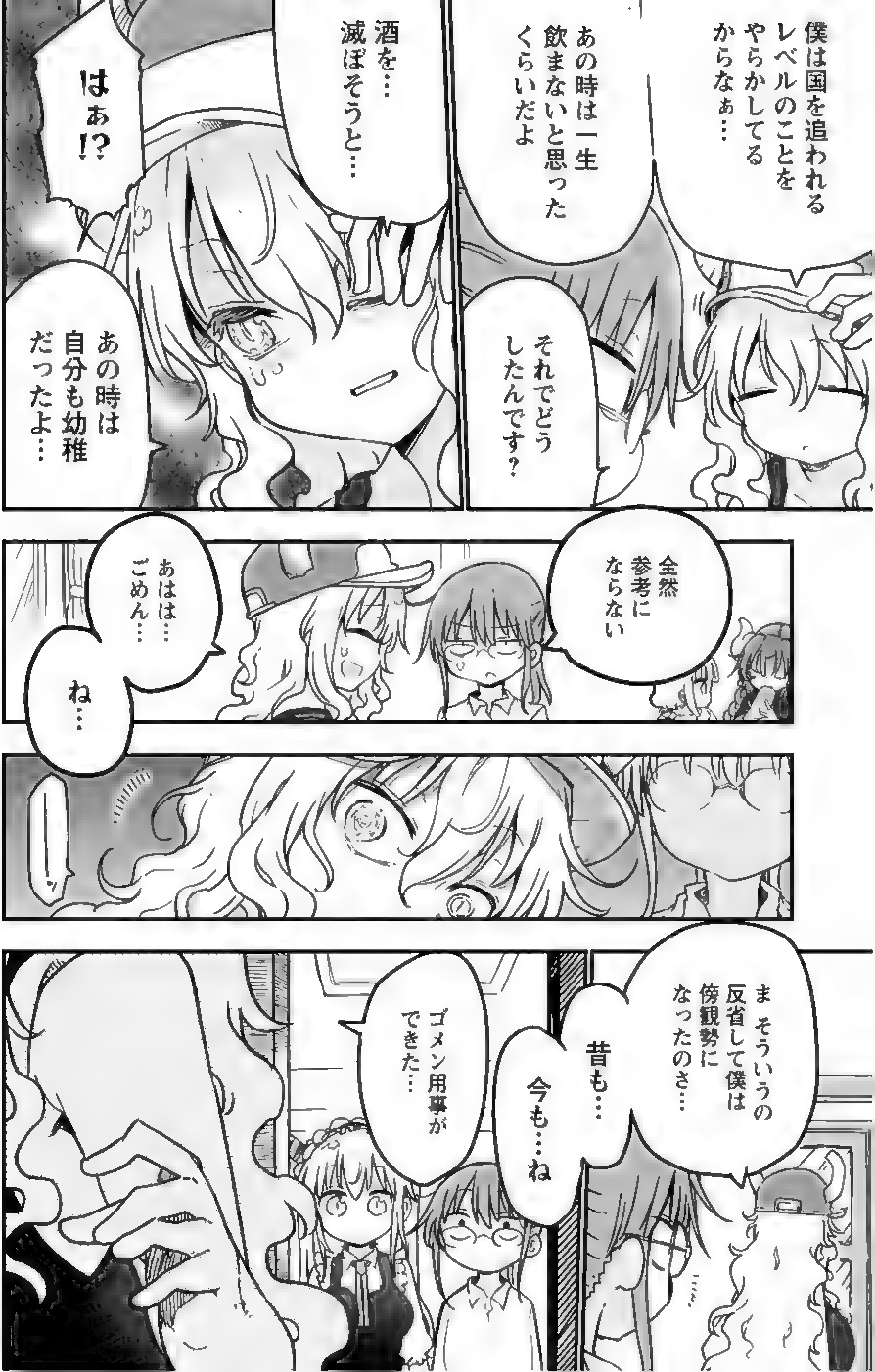

あれー
小林さん帰り遅いなぁー
今日は仕事忙しくないと言ってたのに…
ガチャ
あ！
おかえりなさ
…い？
酔いつぶれてしまっている
zzz…
まッ

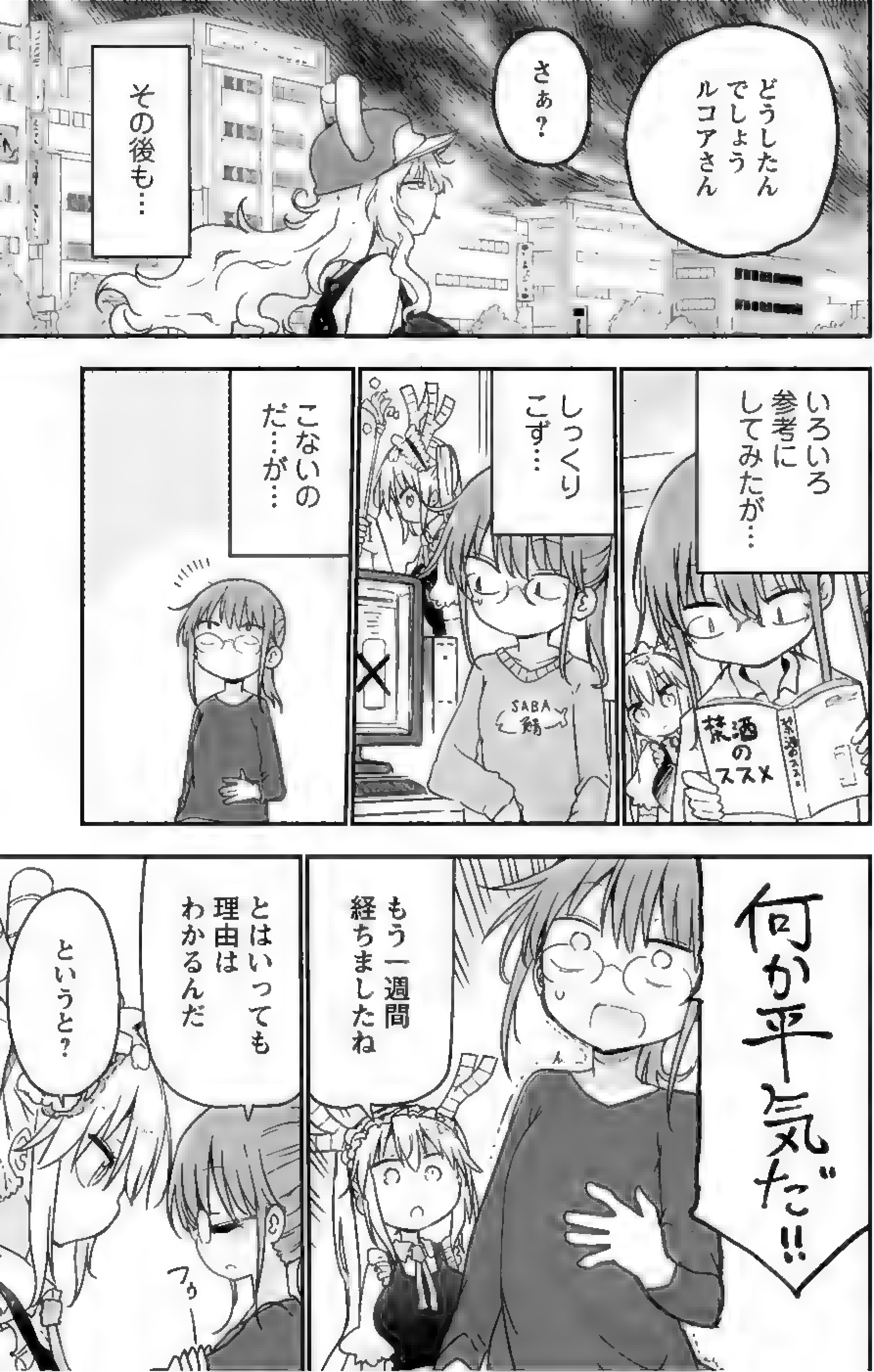

小林さん そこ座って下さい
ズキズキ
ハイ…
まず遅くまで飲むなら連絡を下さい
ハイ…
あと泥酔するまで飲むのは飲みすぎです
ハイ
エルマにも借りを作ってしまいました
いや 自制はできてるつもりなんだよ？
今回はたまたまで…
本当ですか？
ただ…トールにこうやって面倒見てもらうのが嬉しくてつい…ね？
え？

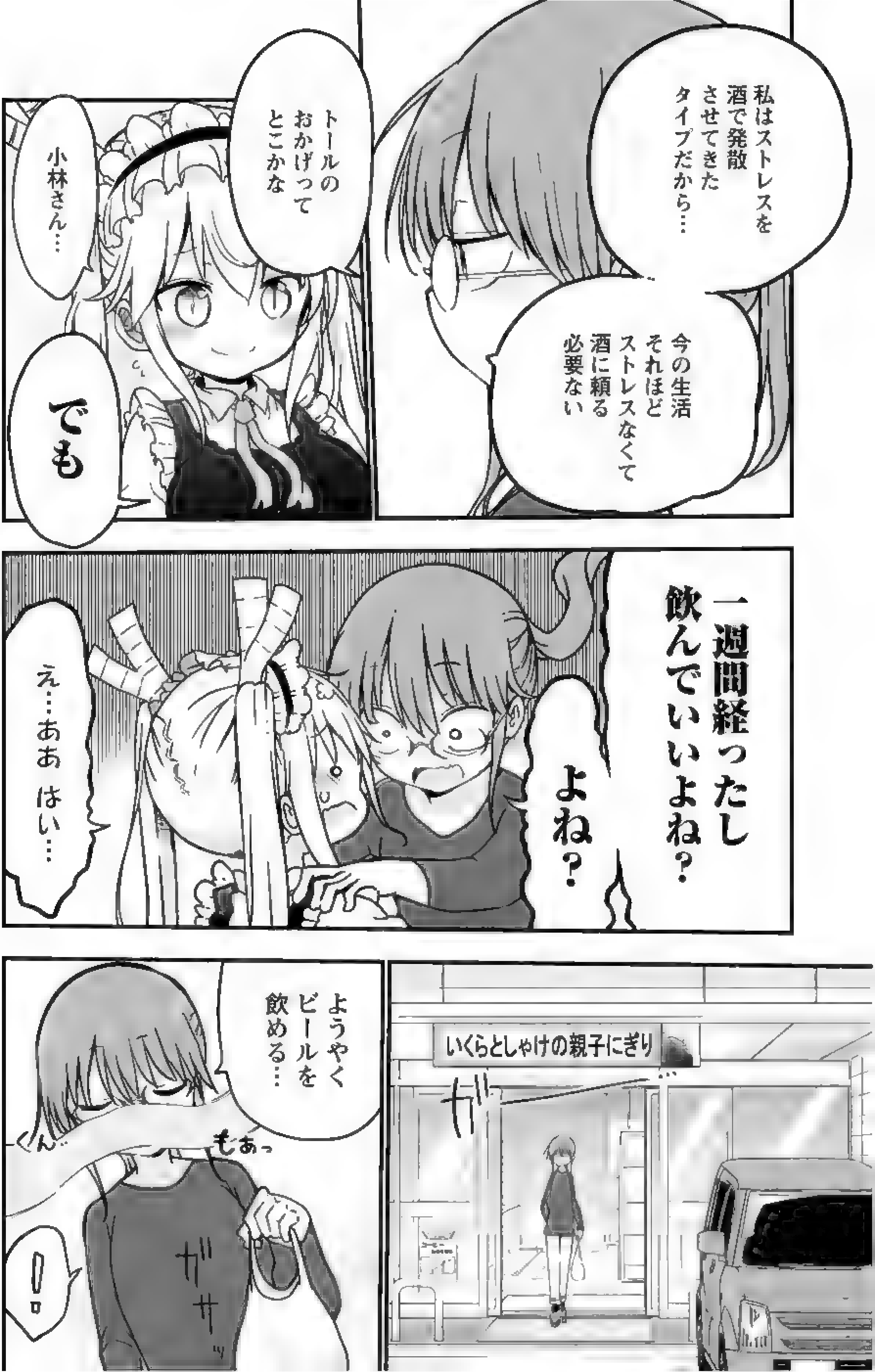

言ってしまえばトールの為にお酒を飲んでいるといってもいいね!!
!?
ニィ…
そんな小林さん…
そういうことでしたらぁ…
禁酒して下さい
トールの為に
い…一週間でどうか…
すいませんでした
しょうがないですねぇ

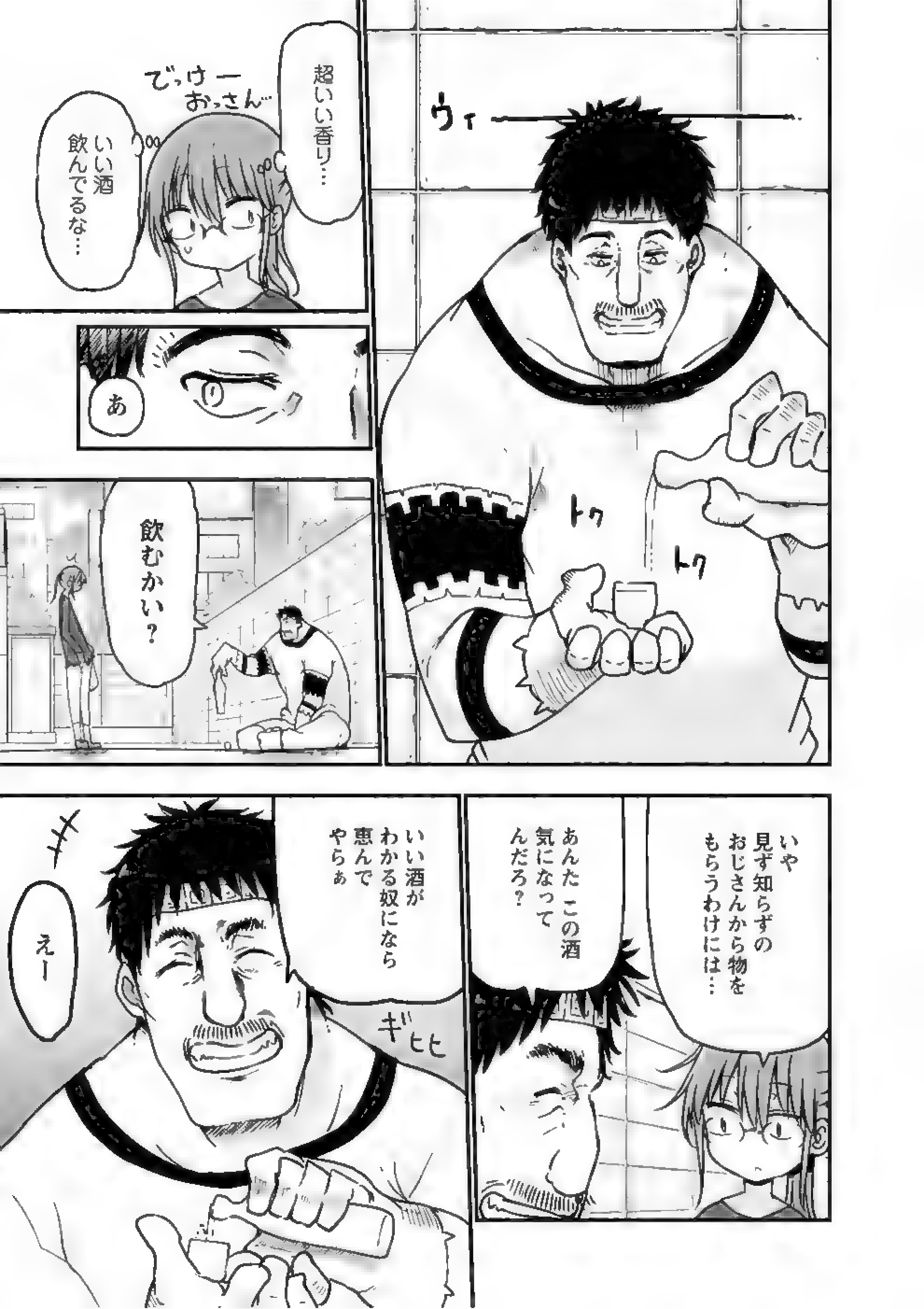

ハァ〜〜〜
それは手痛い返しをされてしまったねー
いやまったく
エルマとイッキ勝負なんてすんじゃなかった…
本人はケロッとしてるし…
もぐ
一週間ガマンはつらい…
どうのりきろう…
ノンアルコールビール
PLATINUM
ALCOHOL FREE
【ノンアルコール】
0.00%

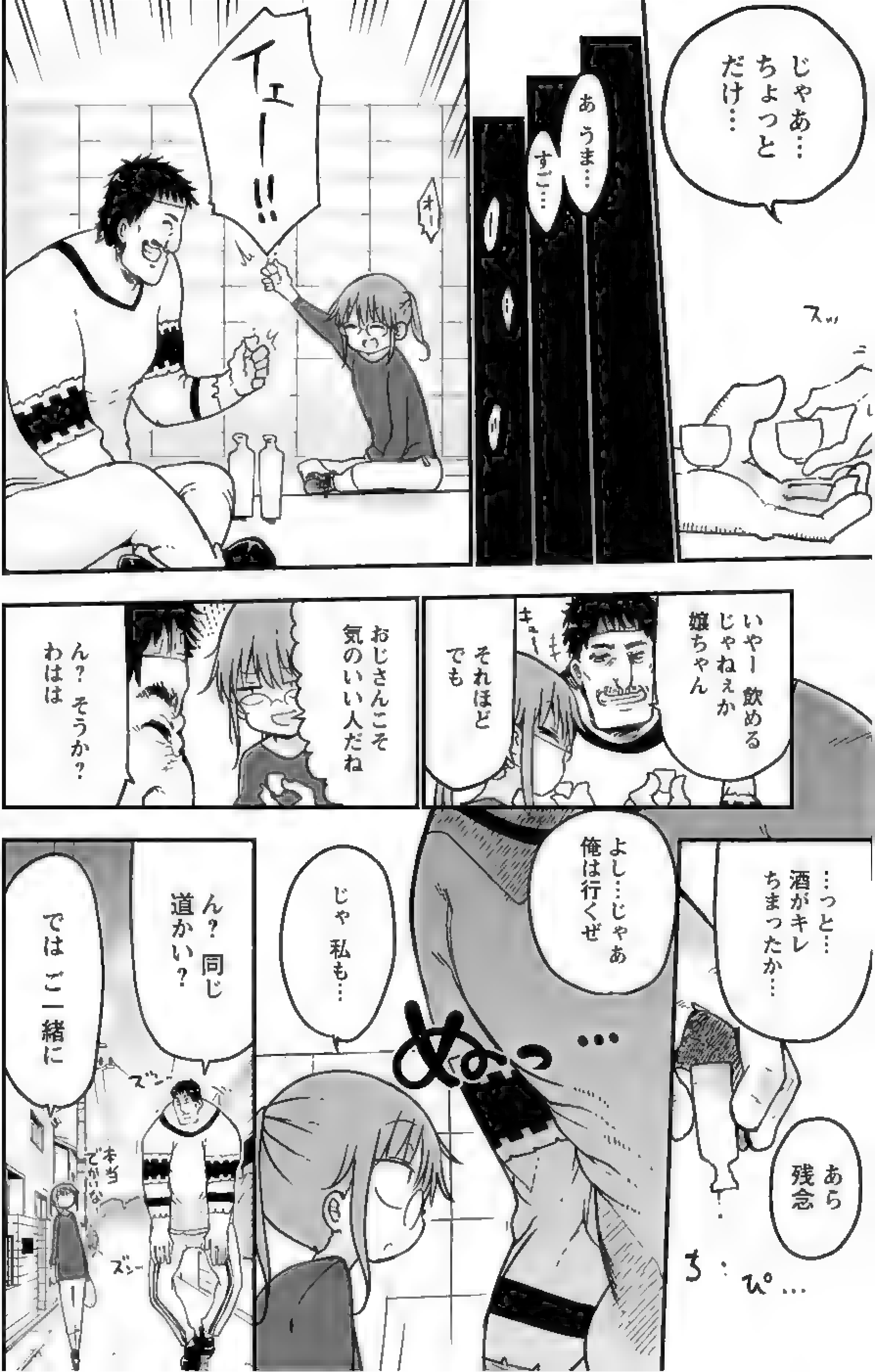

プシッ
ゴキュッ
……
クプ クプ
これでも飲めるけど物足りないってカオ!!
習慣を昨日 今日で変えられないよ
ババッ
そこで!
数百年単位で禁酒をしていた方を連れてきました!
えー
呼ばれたのってそういう話?
はい
御教授を…
え〜と

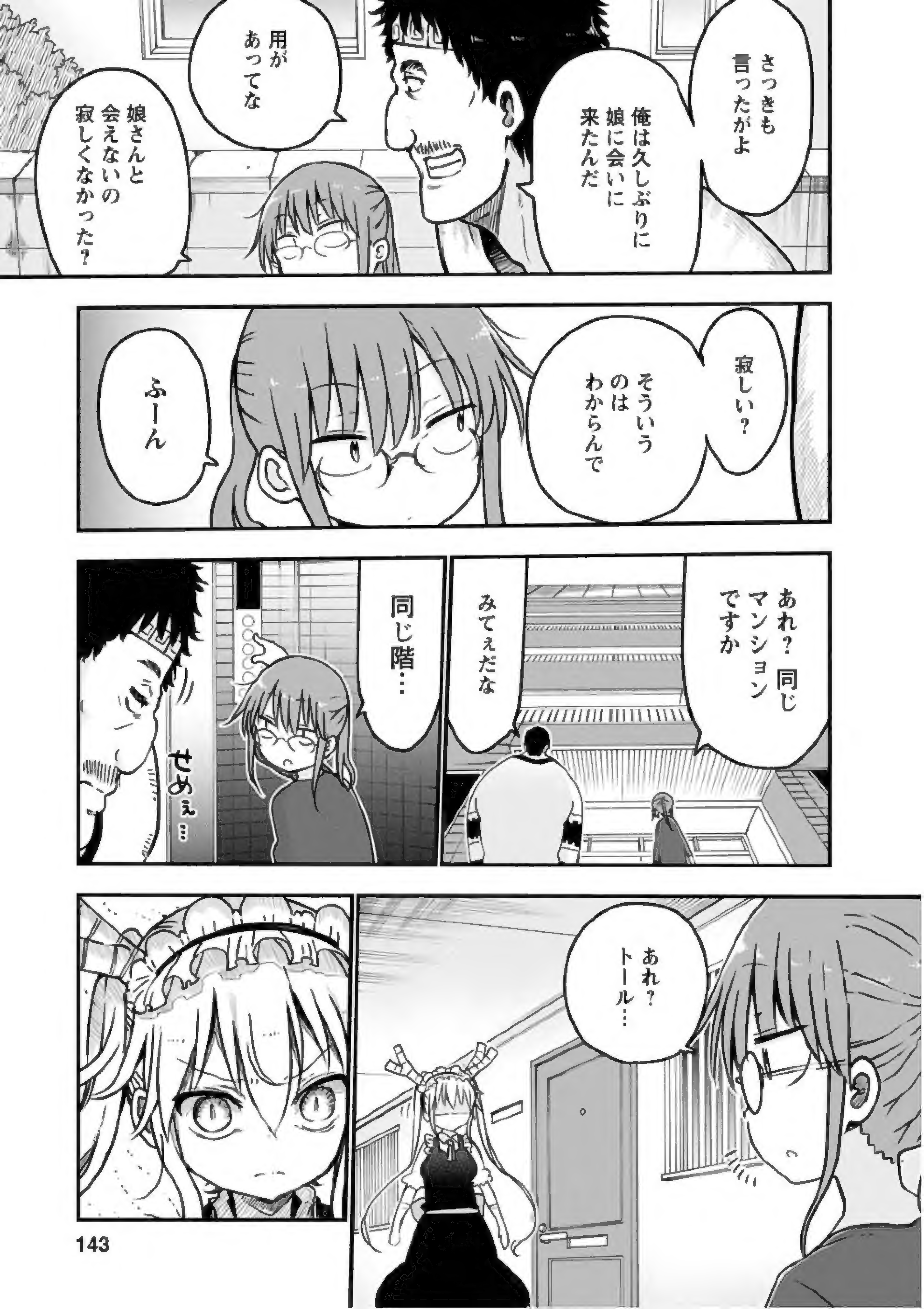

僕は国を追われるレベルのことをやらかしてるからなぁ…
あの時は一生飲まないと思ったくらいだよ
それでどうしたんです？
酒を…滅ぼそうと…
はぁ!?
あの時は自分も幼稚だったよ…
全然参考にならない
あはは…ごめん…
ね…
！…
まぁそういうの反省して僕は傍観勢になったのさ…
昔も…
今も…ね
ゴメン用事ができた…
…

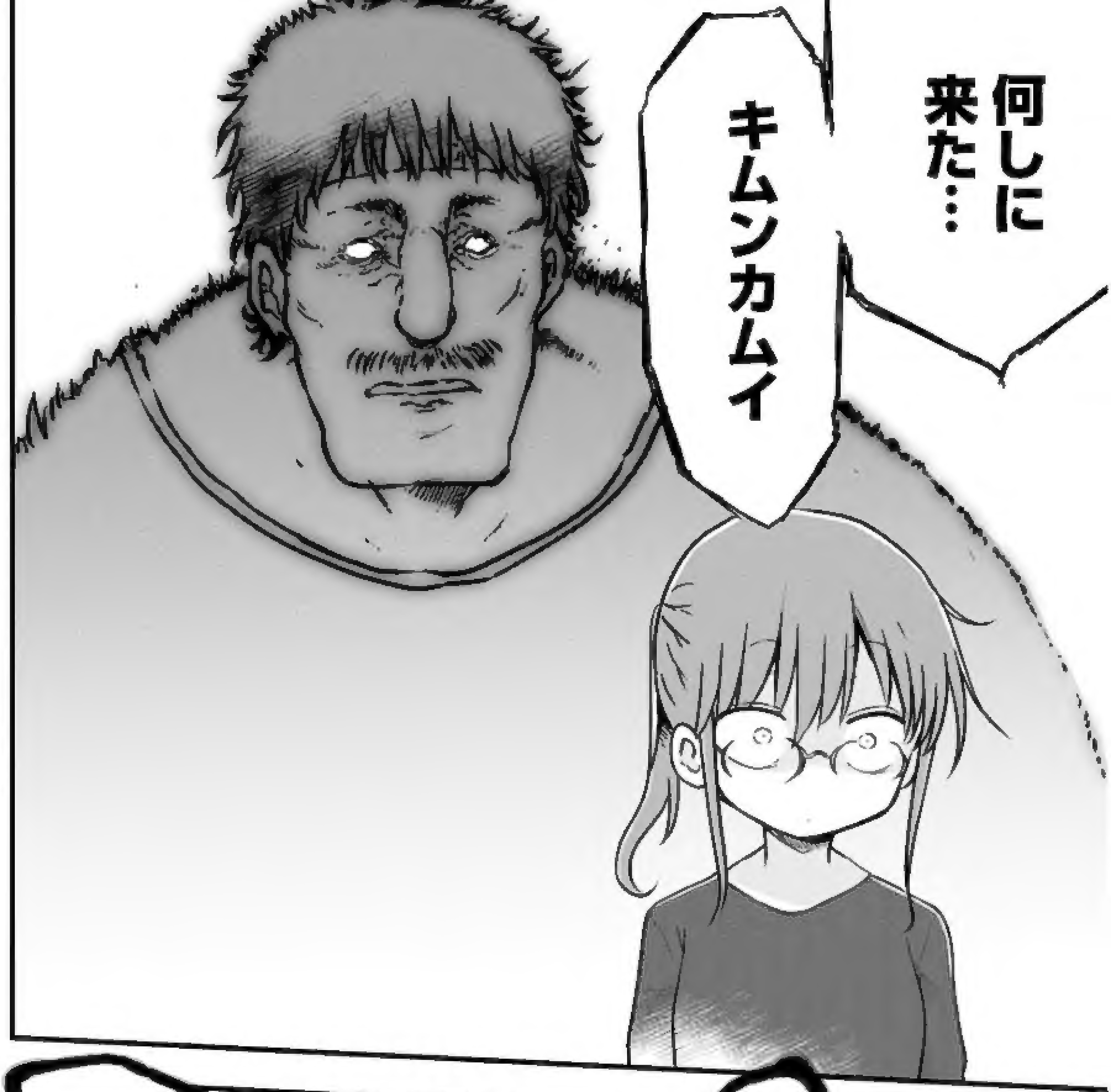

どうしたんでしょうルコアさん
さぁ？
その後も…
いろいろ参考にしてみたが…
禁酒のススメ
しっくりこず…
SABA 鯖
こないのだ…が…
何か平気だ!!
もう一週間経ちましたね
とはいっても理由はわかるんだ
というと？
フゥ

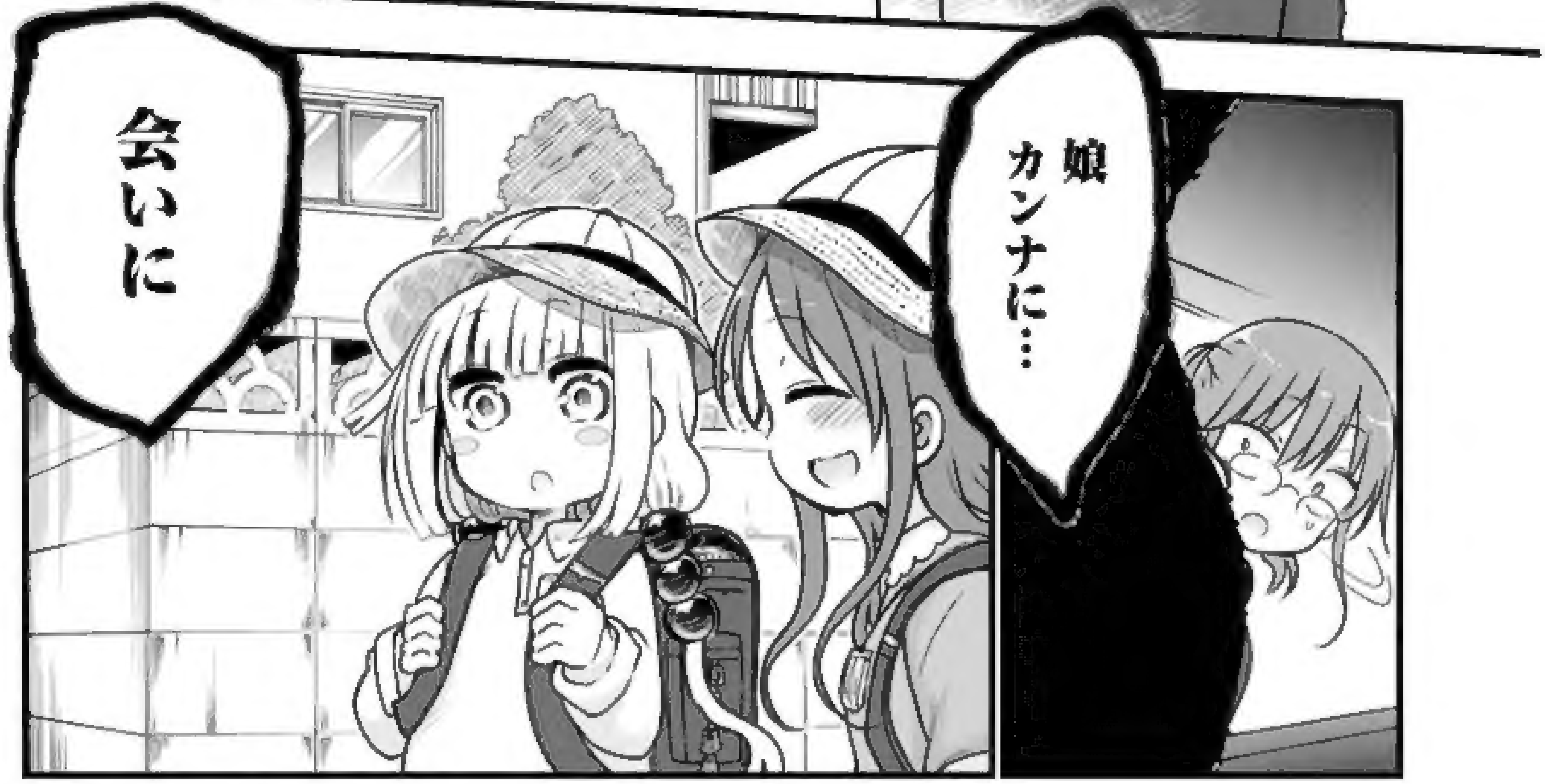

私はストレスを酒で発散させてきたタイプだから…
今の生活それほどストレスなくて酒に頼る必要ない
トールのおかげってとこかな
小林さん…
でも
一週間経ったし飲んでいいよね？
よね？
え…ああ はい…
いくらとしゃけの親子にぎり
ガー
ようやくビールを飲める…
くん…
もあっ
ガサッ
！


ウィーーー
トク
トク
超いい香り…
でっけーおっさん…
いい酒飲んでるな…
あ
飲むかい？
いや見ず知らずのおじさんから物をもらうわけには…
あんた この酒気になってんだろ？
いい酒がわかる奴になら恵んでやらぁ
ギヒヒ
ギ
えー


じゃあ…
ちょっと
だけ…
スッ
あ うま…
すご…
イエー!!
オー
いやー 飲める
じゃねぇか
嬢ちゃん
それほど
でも
キュ〜
おじさんこそ
気のいい人だね
ん？ そうか？
わはは
…っと…
酒がキレ
ちまったか…
よし…じゃあ
俺は行くぜ
…
ぬっ
あら
残念
ち：ぴ…
じゃ 私も…
ん？ 同じ
道かい？
では ご一緒に
本当
でかいな
ズン
ズン

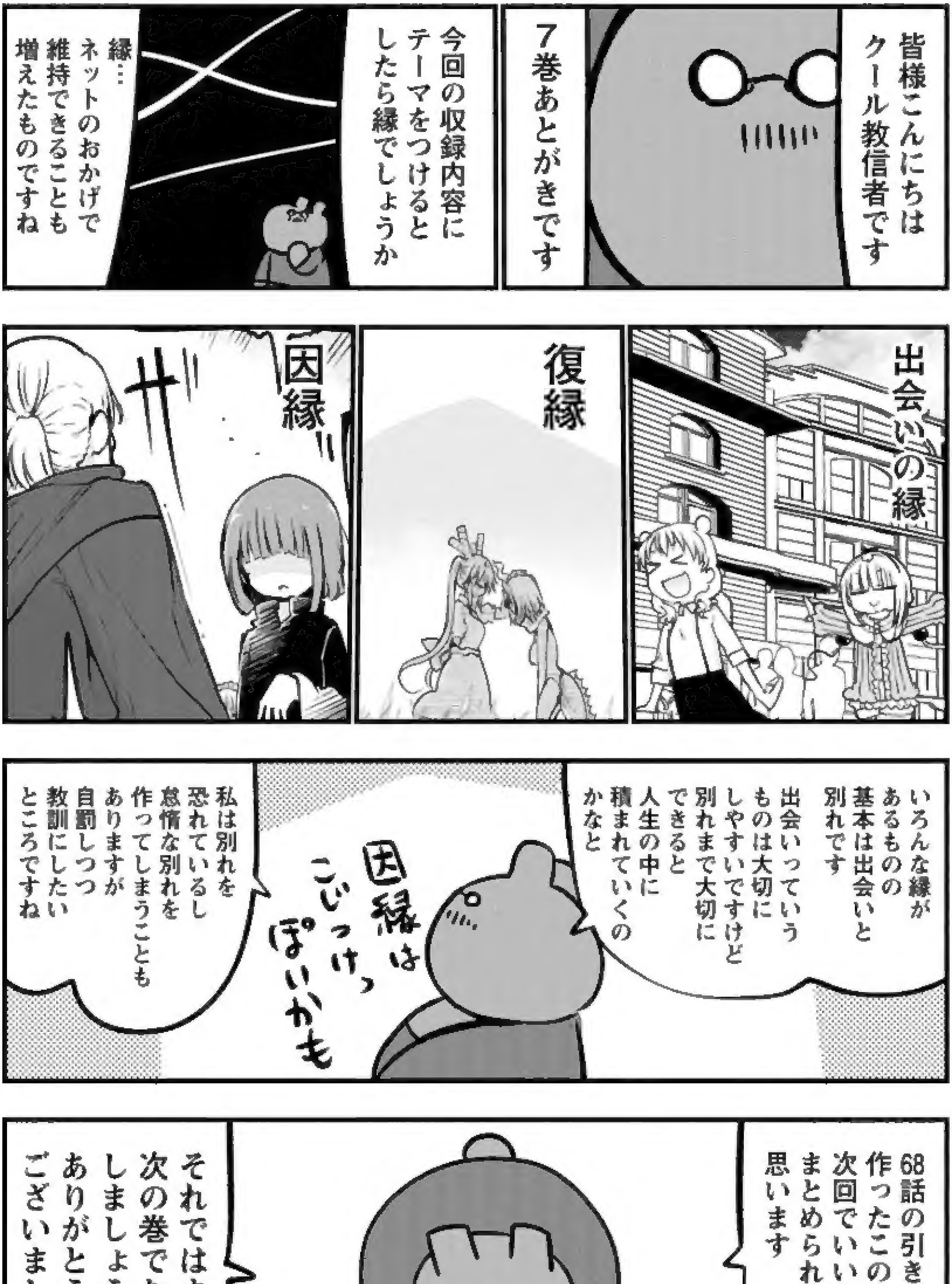

さっきも言ったがよ
俺は久しぶりに娘に会いに来たんだ
用があってな
娘さんと会えないの寂しくなかった？
寂しい？
そういうのはわからんで
ふーん
あれ？同じマンションですか
みてぇだな
同じ階…
せめぇ…
あれ？トール…


何しに
来た…
キムンカムイ



第68話／おわり

あとがき


皆様こんにちは クール教信者です
7巻あとがきです
今回の収録内容にテーマをつけるとしたら縁でしょうか
縁… ネットのおかげで維持できることも増えたものですね
出会いの縁
復縁
因縁
いろんな縁があるものの基本は出会いと別れです 出会いっていうものは大切にしやすいですけど別れまで大切にできると人生の中に積まれていくのかなと
因縁はこじつけっぽいかも
私は別れを恐れているし怠惰な別れを作ってしまうこともありますが自罰しつつ教訓にしたいところですね
68話の引きで作ったこの縁も次回でいい感じにまとめられたらなと思います
それではまた次の巻でお会いしましょう ありがとうございました！

アシスタント「おかいす様」「ジョヴァンニワークス様」

月刊アクション発コミックスを
無料で試し読み!!

専用アプリをダウンロードして
読み取り用画像に「かざす」だけ!

※スマートフォン、タブレット端末のみ対応
（一部未対応の機種もあります）

月刊
アクション
コミックス
試し読み!!
Where's the ACTION?
読み取り用画像

読み取りには専用アプリ(無料)
のダウンロードが必要です

詳細につきましては、特設ページ
<http://webaction.jp/appDL/>をご覧ください。
左のQRコードを読み取るか、WEBコミックアクション
TOPページのバナーからも飛べます。

初出「月刊アクション」2017年8月号～2018年3月号

ACTION COMICS

小林（こばやし）さんちのメイドラゴン⑦

2018年 4月12日　第1刷発行

著　者　クール教信者（きょうしんじゃ）
©coolkyousinnjya 2013
発行者　稲垣 潔
発行所　株式会社 双葉社　〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3-28
電話03-5261-4818(営業)　03-5261-4804(編集)
装　丁　LIGHTNING
印刷所　三晃印刷株式会社
製本所　株式会社宮本製本所

落丁･乱丁の場合は送料双葉社負担でお取り替えいたします。「製作部」あてにお送りください。
ただし、古書店で購入したものについてはお取り替えできません。
[電話]03-5261-4822(製作部)定価はカバーに表示してあります。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製･転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

WEBコミックアクション　http://webaction.jp
双葉社ホームページ　http://www.futabasha.co.jp
(双葉社の書籍･コミック･ムックが買えます)

この物語はフィクションです。登場人物･団体等はすべて実在のものとは関係ありません。

ISBN978-4-575-85134-2　C9979